

**介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査**

結果報告書

令和2年3月

瑞穂町

目 次

第1章 調査概要

1 調査の目的	3
2 調査の種類	3
3 調査の方法と回収状況	3
4 標本誤差	4
5 報告書の見方	4

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 あなた（あて名のご主人）自身や生活状況について	7
2 からだを動かすことについて	22
3 食べることについて	35
4 毎日の生活について	45
5 地域での活動について	70
6 たすけあいについて	74
7 健康について	92
8 その他について	105

第3章 在宅介護実態調査

1 ご本人（あて名の方）の状況について	129
2 ご本人（あて名の方）の生活状況について	133
3 介護保険等のサービス利用について	140
4 施設等への入所・入居について	151
5 ご本人（あて名の方）の健康について	157
6 ご本人（あて名の方）の住まいについて	158
7 認知症や成年後見制度について	166
8 地域住民によるサービス提供について	180
9 支援・サービスの利用状況及びニーズについて	184
10 主な介護者の状況について	188

資 料 編・使用した調査票

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	215
2 在宅介護実態調査	219

第 1 章

調査概要

第1章 調査概要

1 調査の目的

令和3年度を初年度とする瑞穂町第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に当たり、国が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」を実施し、高齢者の生活状況や健康状態などをうかがい、介護の実態や課題、意見や要望を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2 調査の種類

調査名	調査対象	規模
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護認定を受けていない 65歳以上の高齢者	郵送調査（3,000件）
2 在宅介護実態調査	要支援・要介護認定を受けている 65歳以上の高齢者	郵送調査（444件） 聞き取り調査（56件）

3 調査の方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査と、町による聞き取り調査

調査期間：令和2年1月17日（金）～令和2年2月17日（月）
（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査・郵送分）

令和元年5月～令和元年11月
（在宅介護実態調査・聞き取り調査分）

図表 調査結果

調査名	調査対象者数(件)	回収数(件)	回収率(%)	有効回答数(件)	有効回答率(%)
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000	2,435	81.2	2,426	80.9
2 在宅介護実態調査	500	384	76.8	383	76.6
郵送分	444	328	73.9	327	73.6
聞き取り調査分	56	56	100.0	56	100.0
合 計	3,500	2,819	80.5	2,809	80.3

4 標本誤差

この調査は、対象となる母集団の中から、無作為に選ばれた一部の人（標本）について調査を行う「標本調査」です。標本調査では、標本から母集団における数値を推定する際に誤差がともないます。

調査で生じた標本誤差はおおよそ下表のとおりです。標本誤差の値は、母集団数（N）、比率算出の基数（n）、及び回答の比率（P）によって異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{P(1-P) \div \frac{n(N-1)}{N-n}}$$

■ 標本誤差

回答比率（P） n（回答者数）	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
2,426	± 1.19%	± 1.59%	± 1.82%	± 1.95%	± 1.99%
2,000	± 1.31%	± 1.75%	± 2.01%	± 2.15%	± 2.19%
1,000	± 1.86%	± 2.48%	± 2.84%	± 3.04%	± 3.10%
500	± 2.63%	± 3.51%	± 4.02%	± 4.29%	± 4.38%
383	± 3.07%	± 4.09%	± 4.68%	± 5.01%	± 5.11%
100	± 5.88%	± 7.84%	± 8.98%	± 9.60%	± 9.80%

※この表の計算式の信頼度は95%です。

例えば、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査1-問7の回答者数が2,426人で、経済的な状況を「やや苦しい」と回答した割合が20.0%であった場合、「その回答比率の誤差の範囲は最高でも±1.59%以内（18.41%～21.59%）である」とみることができます。

5 報告書の見方

- ・集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・基数となるべき実数は、n（number of cases の略）として表示しています。
- ・性別、年齢別等の図表では、無回答があるため合計が全体と一致しない場合があります。
- ・性別のコメントについて、3ポイント未満（標本誤差の範囲）は「同程度となっています。」のコメントになっています。
- ・回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- ・調査結果の考察文中にある二重括弧（『・・・』）は2つの選択肢を総合したことを表します。（例：「よくある」＋「たまにある」→『ある』）

第2章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

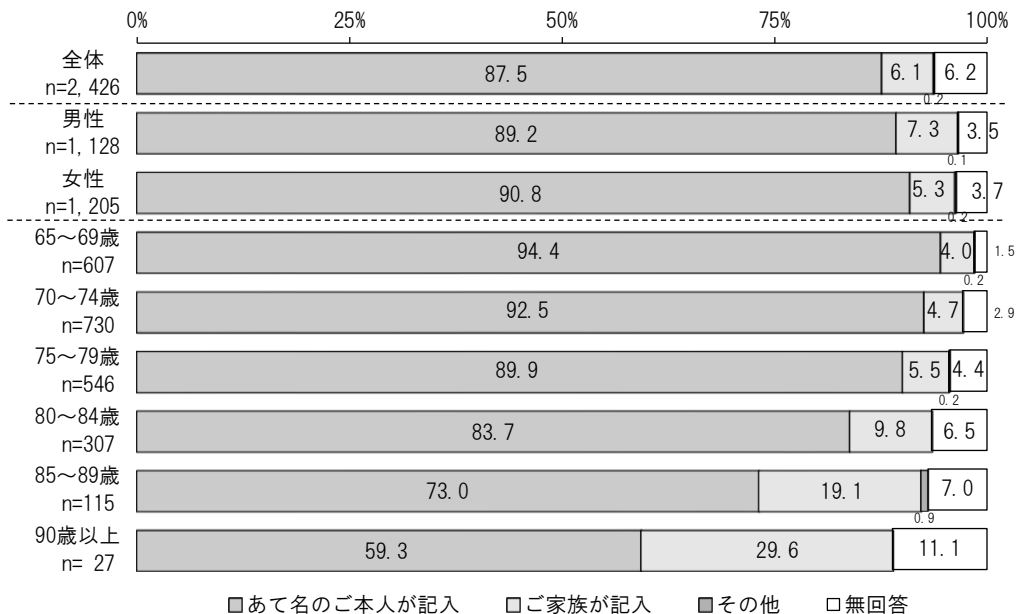
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 あなた（あて名のご本人）自身や生活状況について

1-問1 この調査票を記入されるのはどなたですか（○は1つ）

全体では、「あて名のご本人が記入」が87.5%となっています。
性別にみると、「あて名のご本人が記入」は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、「あて名のご本人が記入」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-1-1 調査票記入者（性別・年齢階級別）



図表 2-1-2 調査票記入者（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
あて名のご本人が記入	2,122 87.5	147 92.5	233 90.0	423 89.4	40 90.9	44 88.0	147 93.0	122 89.7
ご家族が記入	149 6.1	8 5.0	17 6.6	32 6.8	3 6.8	5 10.0	7 4.4	8 5.9
その他	4 0.2	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	151 6.2	3 1.9	9 3.5	18 3.8	1 2.3	1 2.0	4 2.5	6 4.4

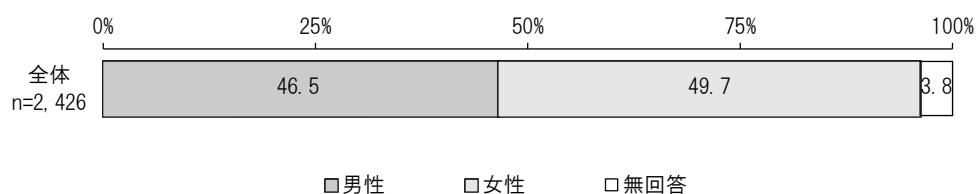
	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
あて名のご本人が記入	121 86.4	21 84.0	33 84.6	58 86.6	150 88.8	88 95.7	190 87.6	297 90.8
ご家族が記入	9 6.4	4 16.0	1 2.6	7 10.4	11 6.5	4 4.3	14 6.5	18 5.5
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.6
無回答	10 7.1	0 0.0	5 12.8	1 1.5	8 4.7	0 0.0	13 6.0	10 3.1

1-問2 あなたの性別と年齢をお答えください

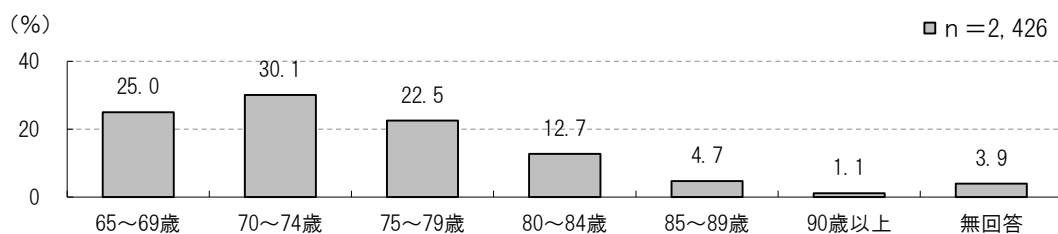
(性別に○は1つ、年齢は数字を記入)

性別では、「女性」が49.7%と男性より3.2ポイント高くなっています。
年齢階級では、「70～74歳」が30.1%と最も高く、次いで「65～69歳」が25.0%、「75～79歳」が22.5%となっています。

図表 2-2-1 性別



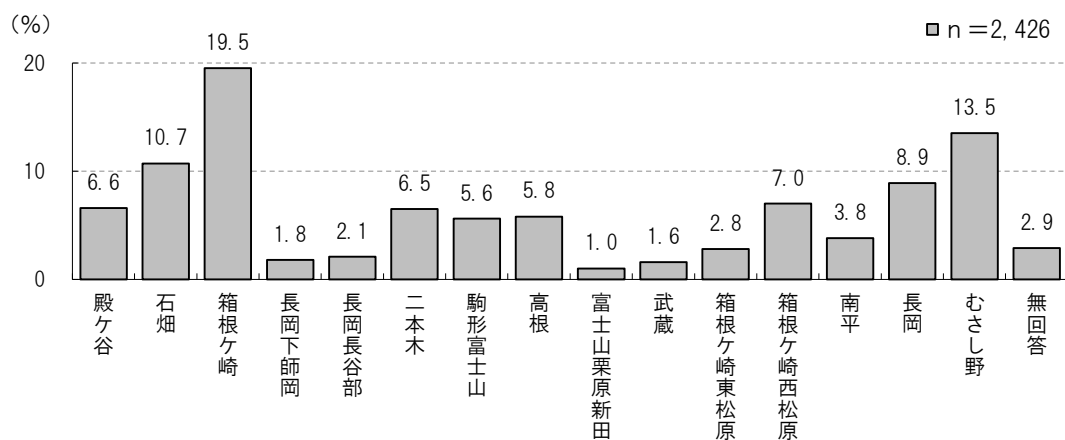
図表 2-2-2 年齢階級



1-問3 あなたのお住まいをお答えください (○は1つ)

「箱根ヶ崎」が19.5%と最も高く、次いで「むさし野」が13.5%、「石畑」が10.7%となっています。

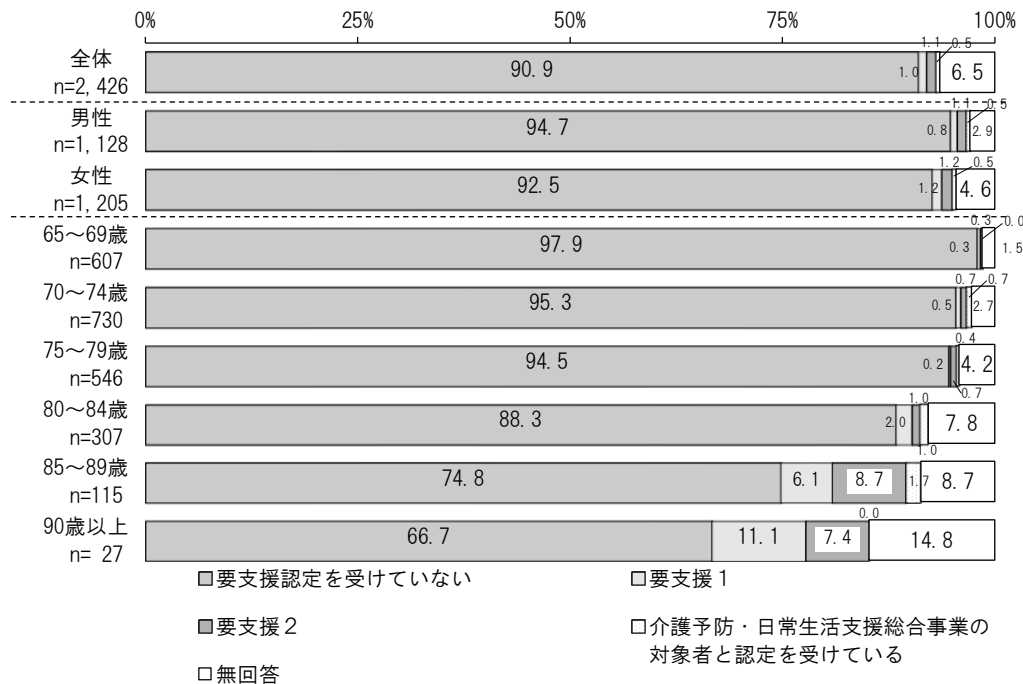
図表 2-3-1 居住地区



1-問4 要支援認定状態をお答えください（○は1つ）

全体では、「要支援認定を受けていない」が90.9%となっています。
性別にみると、「要支援認定を受けていない」は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、「要支援認定を受けていない」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-4-1 要支援認定状態（性別・年齢階級別）



図表 2-4-2 要支援認定状態（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡下師岡	長岡長谷部	二本木	駒形富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
要支援認定を受けていない	2,206 90.9	145 91.2	244 94.2	437 92.4	41 93.2	47 94.0	151 95.6	131 96.3
要支援 1	24 1.0	3 1.9	3 1.2	5 1.1	0 0.0	1 2.0	1 0.6	2 1.5
要支援 2	27 1.1	1 0.6	4 1.5	7 1.5	0 0.0	2 4.0	1 0.6	1 0.7
介護予防・日常生活支援総合事業の対象者と認定を受けている	12 0.5	0 0.0	1 0.4	5 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	157 6.5	10 6.3	7 2.7	19 4.0	3 6.8	0 0.0	5 3.2	2 1.5

	高根	富士山栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎東松原	箱根ヶ崎西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
要支援認定を受けていない	132 94.3	23 92.0	36 92.3	60 89.6	163 96.4	87 94.6	205 94.5	298 91.1
要支援 1	2 1.4	0 0.0	0 0.0	2 3.0	0 0.0	0 0.0	2 0.9	2 0.6
要支援 2	0 0.0	2 8.0	1 2.6	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 2.1
介護予防・日常生活支援総合事業の対象者と認定を受けている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	1 0.6	0 0.0	1 0.5	3 0.9
無回答	6 4.3	0 0.0	2 5.1	3 4.5	5 3.0	5 5.4	9 4.1	17 5.2

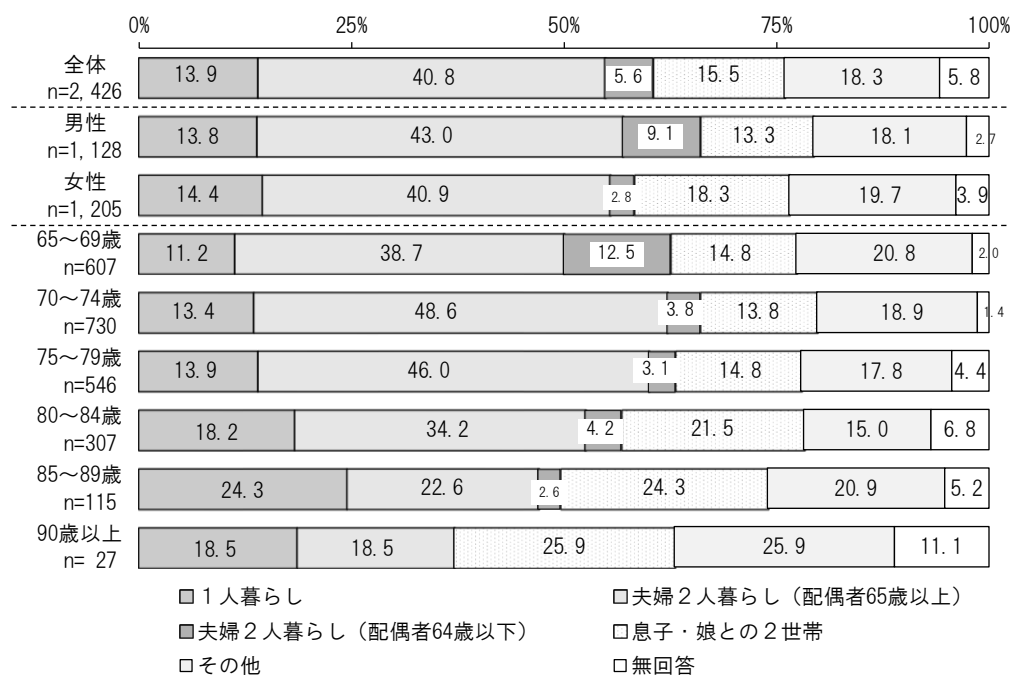
1-問5 家族構成をお答えください（○は1つ）

全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が40.8%、「その他」が18.3%、「息子・娘との2世帯」が15.5%、「1人暮らし」は13.9%となっています。

性別にみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」は2.1ポイント、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」は男性が6.3ポイント高く、それ以外の項目は全て女性が高くなっています。

年齢階級別にみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」は70歳から加齢とともに低くなり、「1人暮らし」は89歳まで加齢とともに高くなっています。

図表 2-5-1 家族構成（性別・年齢階級別）



図表 2-5-2 家族構成（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
1人暮らし	338 13.9	24 15.1	37 14.3	66 14.0	6 13.6	3 6.0	18 11.4	13 9.6
夫婦2人暮らし （配偶者 65 歳以上）	990 40.8	56 35.2	105 40.5	208 44.0	17 38.6	16 32.0	63 39.9	62 45.6
夫婦2人暮らし （配偶者 64 歳以下）	137 5.6	12 7.5	12 4.6	22 4.7	2 4.5	7 14.0	11 7.0	7 5.1
息子・娘との2世帯	376 15.5	26 16.4	42 16.2	79 16.7	9 20.5	14 28.0	28 17.7	23 16.9
その他	444 18.3	36 22.6	52 20.1	85 18.0	7 15.9	8 16.0	31 19.6	25 18.4
無回答	141 5.8	5 3.1	11 4.2	13 2.7	3 6.8	2 4.0	7 4.4	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
1人暮らし	26 18.6	2 8.0	8 20.5	5 7.5	22 13.0	11 12.0	32 14.7	63 19.3
夫婦2人暮らし （配偶者 65 歳以上）	59 42.1	12 48.0	21 53.8	28 41.8	73 43.2	41 44.6	86 39.6	141 43.1
夫婦2人暮らし （配偶者 64 歳以下）	10 7.1	2 8.0	1 2.6	4 6.0	10 5.9	7 7.6	16 7.4	14 4.3
息子・娘との2世帯	11 7.9	7 28.0	5 12.8	13 19.4	24 14.2	15 16.3	37 17.1	42 12.8
その他	30 21.4	2 8.0	3 7.7	16 23.9	35 20.7	16 17.4	38 17.5	58 17.7
無回答	4 2.9	0 0.0	1 2.6	1 1.5	5 3.0	2 2.2	8 3.7	9 2.8

1-問5（1）【問5で「1. 1人暮らし」以外の方のみ】

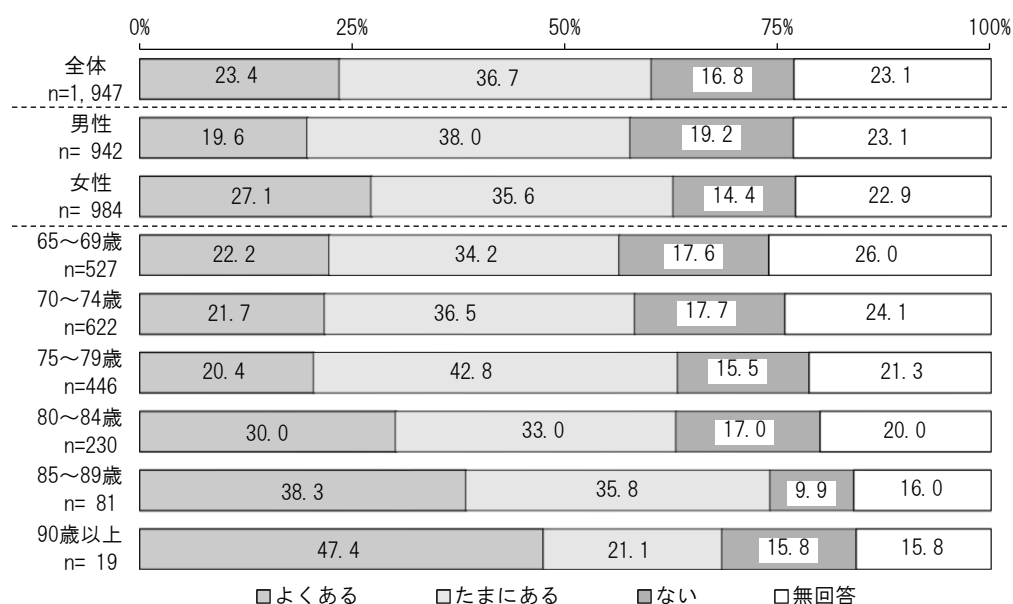
日中、1人になることがありますか（○は1つ）

全体では、『ある』（「よくある」＋「たまにある」）は60.1%となっています。

性別にみると、『ある』は女性が5.1ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、『ある』は加齢とともに高くなる傾向にあり、85～89歳では74.1%となっています。

図表 2-6-1 日中1人になることの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-6-2 日中1人になることの有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	1,947	130	211	394	35	45	133	117
よくある	456 23.4	36 27.7	43 20.4	88 22.3	8 22.9	14 31.1	41 30.8	25 21.4
たまにある	715 36.7	45 34.6	82 38.9	129 32.7	11 31.4	15 33.3	50 37.6	48 41.0
ない	327 16.8	19 14.6	48 22.7	78 19.8	9 25.7	7 15.6	18 13.5	16 13.7
無回答	449 23.1	30 23.1	38 18.0	99 25.1	7 20.0	9 20.0	24 18.0	28 23.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	110	23	30	61	142	79	177	255
よくある	25 22.7	3 13.0	8 26.7	15 24.6	26 18.3	19 24.1	49 27.7	56 22.0
たまにある	45 40.9	9 39.1	9 30.0	24 39.3	58 40.8	27 34.2	60 33.9	101 39.6
ない	17 15.5	4 17.4	3 10.0	5 8.2	24 16.9	8 10.1	29 16.4	41 16.1
無回答	23 20.9	7 30.4	10 33.3	17 27.9	34 23.9	25 31.6	39 22.0	57 22.4

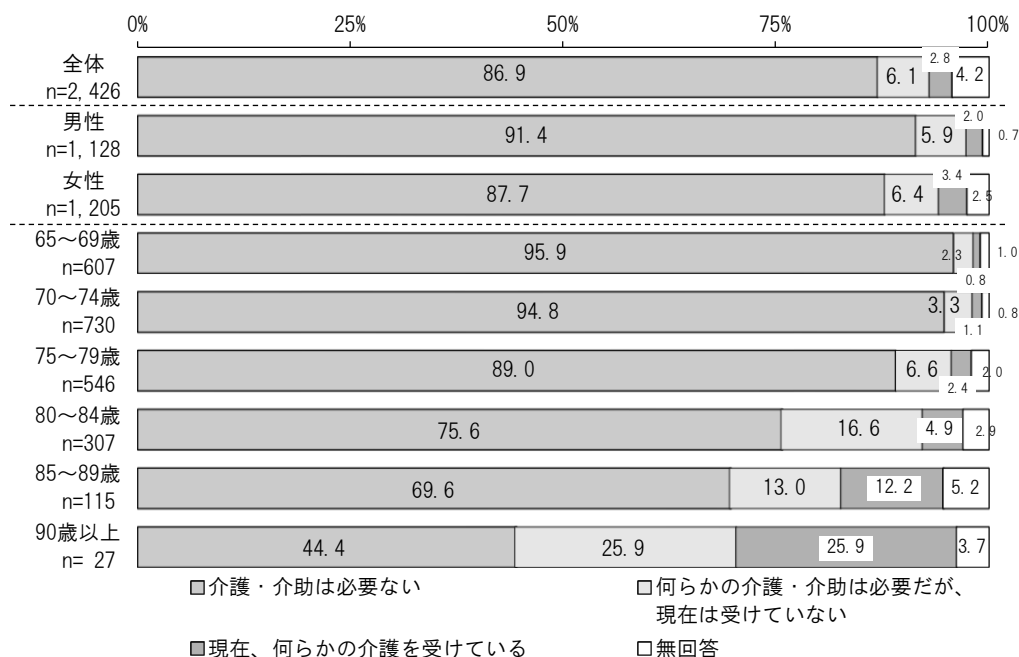
1-問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）

全体では、「介護・介助は必要ない」が 86.9%となっています。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は 6.1%、「現在、何らかの介護を受けている」は 2.8%といずれも 1 割未満となっています。

性別にみると、「介護・介助は必要ない」は男性が 3.7 ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「介護・介助は必要ない」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-7-1 介護・介助の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-7-2 介護・介助の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
介護・介助は必要ない	2,108 86.9	143 89.9	224 86.5	423 89.4	40 90.9	45 90.0	145 91.8	119 87.5
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	149 6.1	8 5.0	22 8.5	26 5.5	2 4.5	5 10.0	8 5.1	12 8.8
現在、何らかの介護を受けている	67 2.8	4 2.5	7 2.7	21 4.4	0 0.0	0 0.0	2 1.3	4 2.9
無回答	102 4.2	4 2.5	6 2.3	3 0.6	2 4.5	0 0.0	3 1.9	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
介護・介助は必要ない	127 90.7	20 80.0	37 94.9	57 85.1	161 95.3	88 95.7	197 90.8	274 83.8
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	6 4.3	4 16.0	2 5.1	5 7.5	2 1.2	2 2.2	11 5.1	33 10.1
現在、何らかの介護を受けている	4 2.9	1 4.0	0 0.0	3 4.5	4 2.4	0 0.0	6 2.8	11 3.4
無回答	3 2.1	0 0.0	0 0.0	2 3.0	2 1.2	2 2.2	3 1.4	9 2.8

1-問6（1）【問6で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

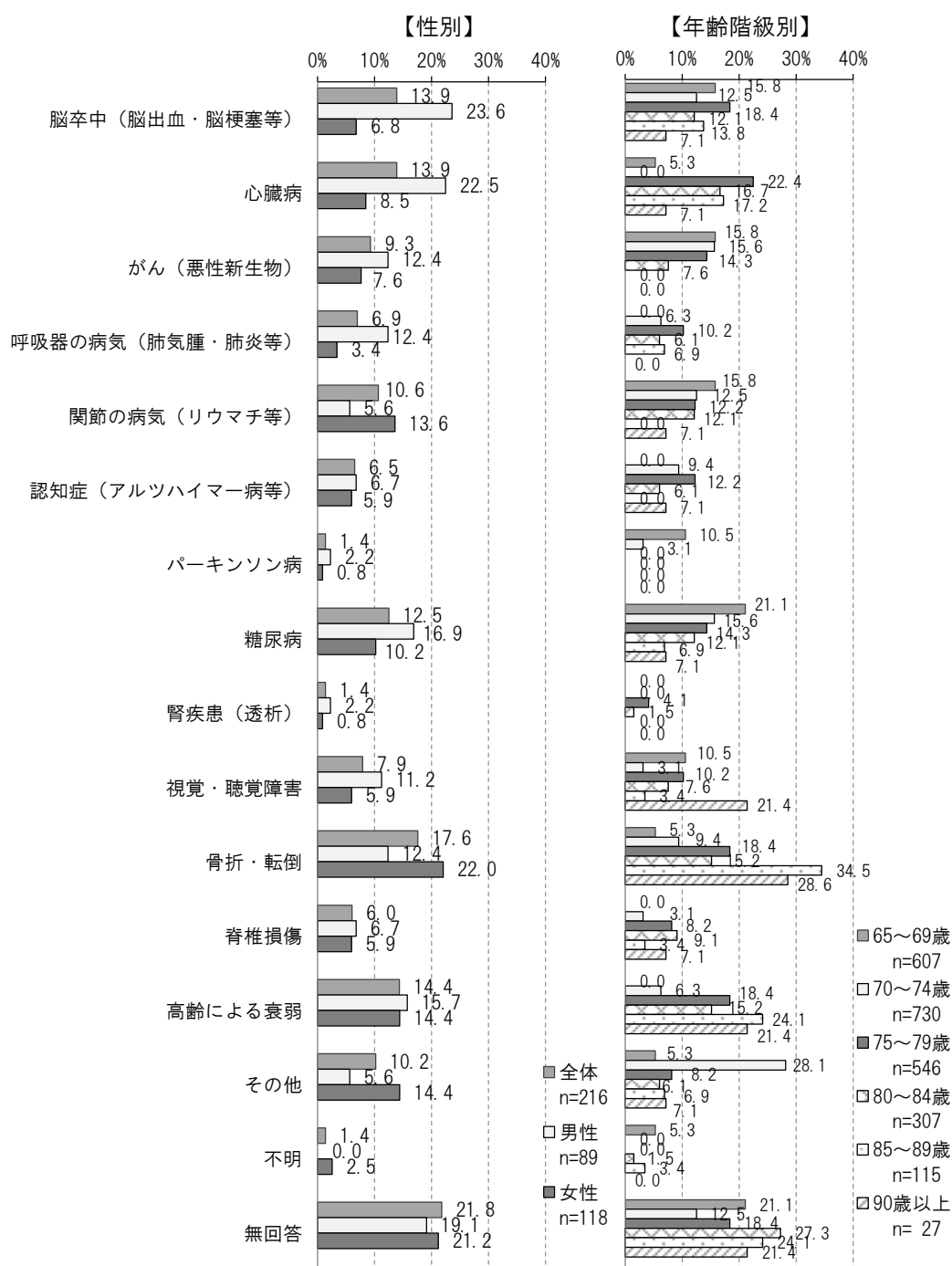
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（〇はいくつでも）

全体では、「骨折・転倒」が17.6%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が14.4%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」が13.9%となっています。

性別にみると、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は男性が16.8ポイント、「心臓病」は男性が14.0ポイント高く、「骨折・転倒」は女性が9.6ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「骨折・転倒」は85～89歳で34.5%と高く、「関節の病気（リウマチ等）」、「糖尿病」などでは65～69歳で最も高くなっています。

図表 2-8-1 介護・介助の原因（性別・年齢階級別）



図表 2-8-2 介護・介助の原因（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	216	12	29	47	2	5	10	16
脳卒中（脳出血・ 脳梗塞等）	30 13.9	2 16.7	2 6.9	7 14.9	0 0.0	2 40.0	4 40.0	4 25.0
心臓病	30 13.9	3 25.0	4 13.8	8 17.0	0 0.0	1 20.0	2 20.0	4 25.0
がん（悪性新生物）	20 9.3	0 0.0	4 13.8	3 6.4	0 0.0	1 20.0	1 10.0	2 12.5
呼吸器の病気 （肺気腫・肺炎等）	15 6.9	0 0.0	2 6.9	3 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3
関節の病気 （リウマチ等）	23 10.6	1 8.3	1 3.4	2 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 31.3
認知症 （アルツハイマー病等）	14 6.5	0 0.0	2 6.9	4 8.5	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 6.3
パーキンソン病	3 1.4	1 8.3	0 0.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
糖尿病	27 12.5	2 16.7	5 17.2	6 12.8	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3
腎疾患（透析）	3 1.4	0 0.0	1 3.4	1 2.1	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
視覚・聴覚障害	17 7.9	1 8.3	3 10.3	3 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5
骨折・転倒	38 17.6	3 25.0	4 13.8	10 21.3	0 0.0	1 20.0	0 0.0	3 18.8
脊椎損傷	13 6.0	0 0.0	0 0.0	2 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3
高齢による衰弱	31 14.4	1 8.3	3 10.3	6 12.8	0 0.0	3 60.0	1 10.0	2 12.5
その他	22 10.2	0 0.0	4 13.8	5 10.6	0 0.0	1 20.0	1 10.0	1 6.3
不明	3 1.4	1 8.3	1 3.4	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	47 21.8	2 16.7	8 27.6	7 14.9	1 50.0	1 20.0	3 30.0	2 12.5

図表 2-8-2 介護・介助の原因（地区別）

上段：人/下段：%

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	10	5	2	8	6	2	17	44
脳卒中（脳出血・ 脳梗塞等）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 5.9	7 15.9
心臓病	2 20.0	0 0.0	1 50.0	1 12.5	1 16.7	0 0.0	0 0.0	3 6.8
がん（悪性新生物）	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 16.7	0 0.0	5 29.4	1 2.3
呼吸器の病気 （肺気腫・肺炎等）	2 20.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 16.7	0 0.0	2 11.8	3 6.8
関節の病気 （リウマチ等）	4 40.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 23.5	4 9.1
認知症 （アルツハイマー病等）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	5 11.4
パーキンソン病	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
糖尿病	3 30.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	6 13.6
腎疾患（透析）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
視覚・聴覚障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	7 15.9
骨折・転倒	2 20.0	0 0.0	1 50.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	3 17.6	8 18.2
脊椎損傷	1 10.0	1 20.0	0 0.0	1 12.5	1 16.7	0 0.0	1 5.9	5 11.4
高齢による衰弱	1 10.0	2 40.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 5.9	10 22.7
その他	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 11.8	6 13.6
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	2 20.0	2 40.0	0 0.0	2 25.0	4 66.7	1 50.0	2 11.8	10 22.7

1-問6 (2) 【問6で「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

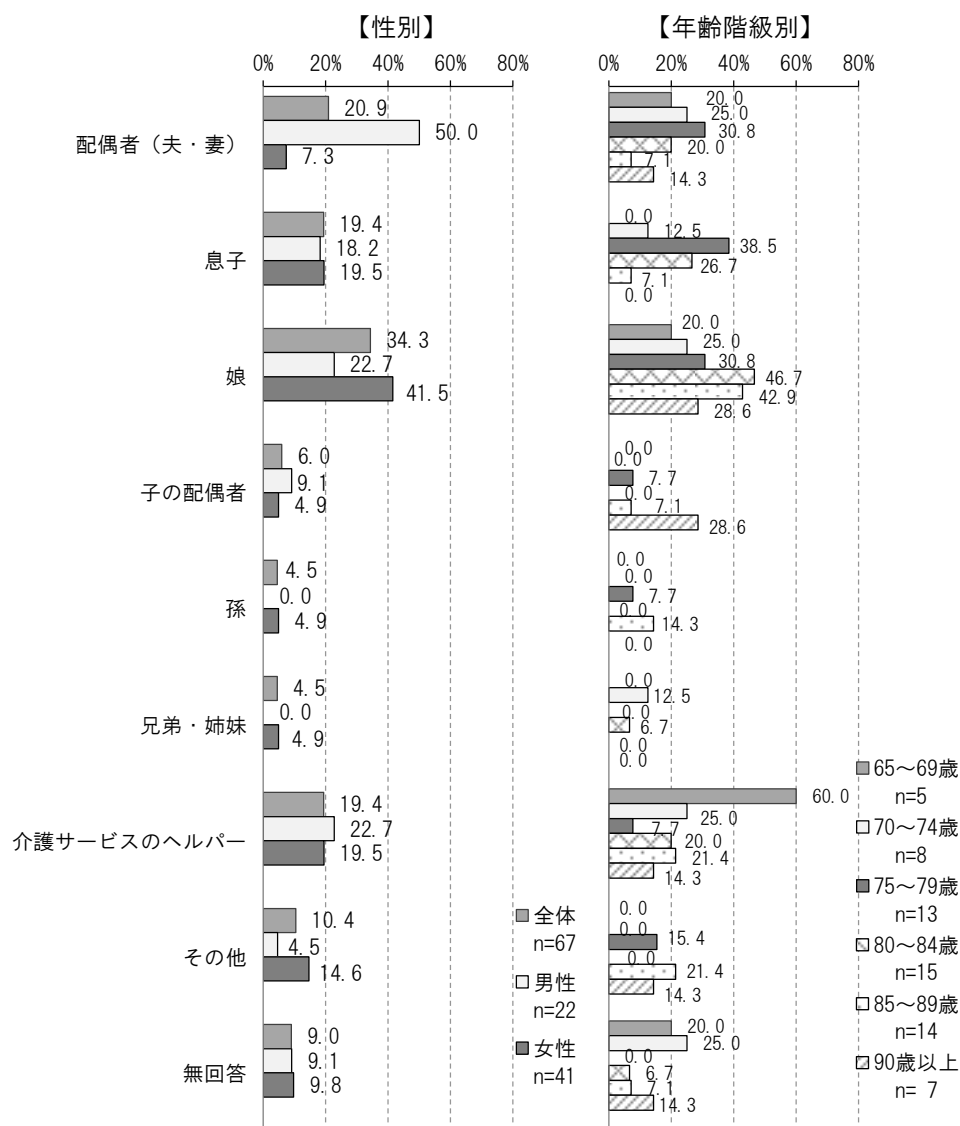
主にどなたの介護、介助を受けていますか (〇はいくつでも)

全体では、「娘」が34.3%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が20.9%、「息子」、「介護サービスのヘルパー」が19.4%となっています。

性別にみると、「配偶者(夫・妻)」は男性が42.7ポイント高く、「娘」は女性が18.8ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、回答者が少ないため参考としますが、「介護サービスのヘルパー」は65～69歳で60.0%と他の年齢階級より高くなっています。

図表 2-9-1 介護・介助の担い手 (性別・年齢階級別)



図表 2-9-2 介護・介助の担い手（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	67	4	7	21	0	0	2	4
配偶者（夫・妻）	14 20.9	1 25.0	1 14.3	6 28.6	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
息子	13 19.4	0 0.0	0 0.0	5 23.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
娘	23 34.3	0 0.0	3 42.9	7 33.3	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 25.0
子の配偶者	4 6.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
孫	3 4.5	1 25.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
兄弟・姉妹	3 4.5	0 0.0	1 14.3	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
介護サービスの ヘルパー	13 19.4	1 25.0	0 0.0	5 23.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	7 10.4	1 25.0	1 14.3	3 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	6 9.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	4	1	0	3	4	0	6	11
配偶者（夫・妻）	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2
息子	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	3 27.3
娘	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 33.3	1 25.0	0 0.0	4 66.7	4 36.4
子の配偶者	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
孫	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
兄弟・姉妹	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
介護サービスの ヘルパー	1 25.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 16.7	3 27.3
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 9.1
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2

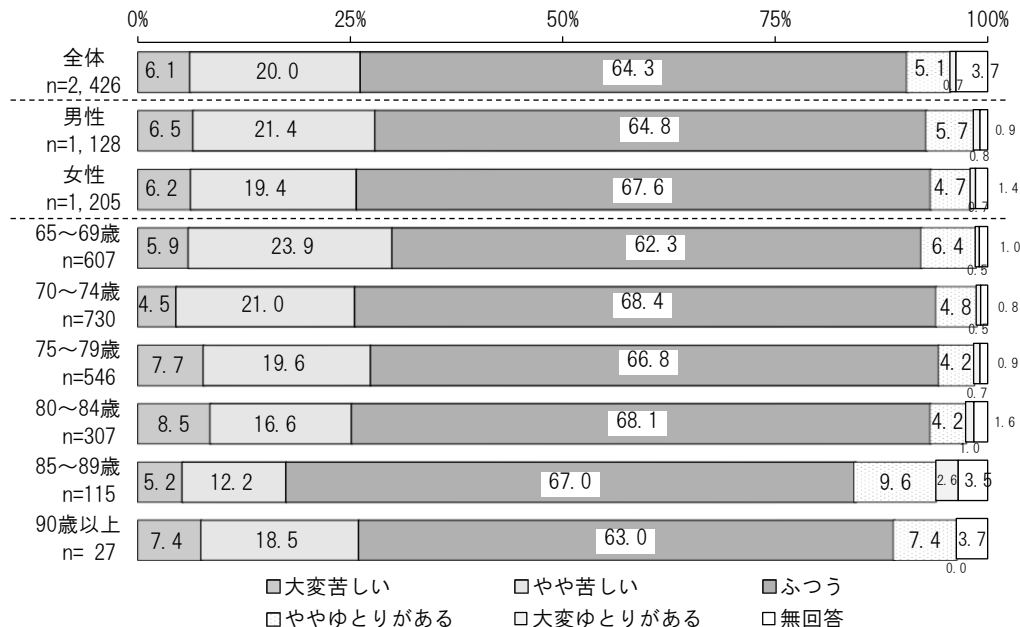
1-問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（〇は1つ）

全体では、「ふつう」は64.3%と6割以上を占めています。『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）は26.1%となっています。

性別にみると、『苦しい』は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、『苦しい』は65～69歳で29.8%と最も高くなっています。

図表 2-10-1 経済的な状況（性別・年齢階級別）



図表 2-10-2 経済的な状況（地区別）

上段：人/下段：%

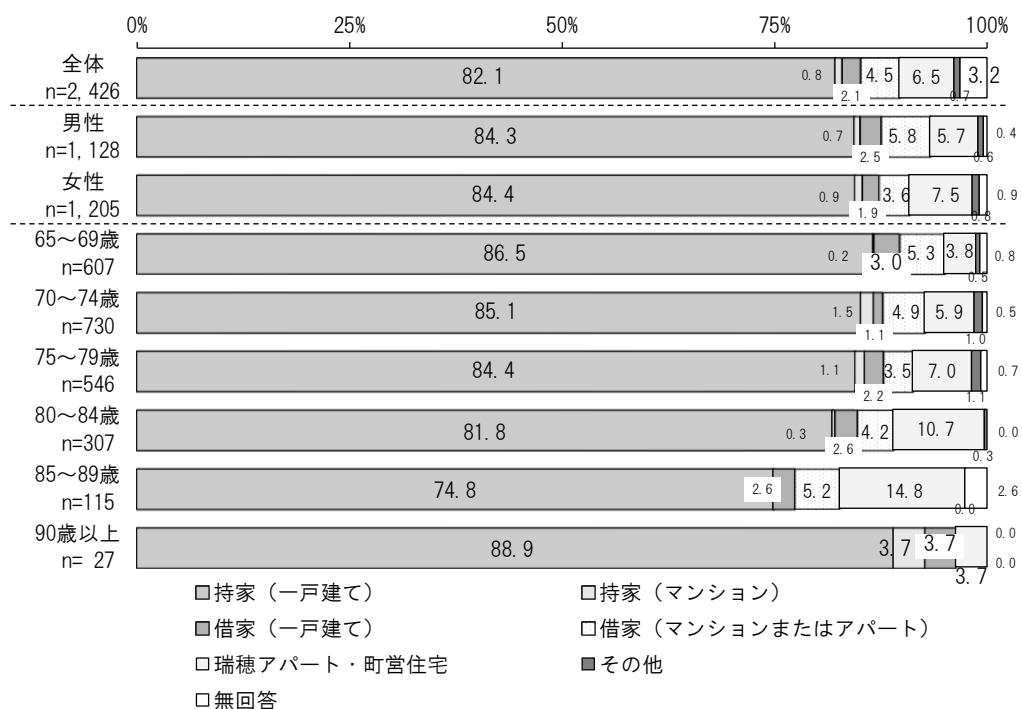
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
大変苦しい	149 6.1	10 6.3	11 4.2	25 5.3	2 4.5	4 8.0	5 3.2	8 5.9
やや苦しい	484 20.0	31 19.5	44 17.0	95 20.1	16 36.4	5 10.0	26 16.5	31 22.8
ふつう	1,561 64.3	103 64.8	180 69.5	310 65.5	23 52.3	39 78.0	122 77.2	87 64.0
ややゆとりがある	124 5.1	13 8.2	17 6.6	32 6.8	2 4.5	2 4.0	3 1.9	7 5.1
大変ゆとりがある	18 0.7	0 0.0	6 2.3	2 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7
無回答	90 3.7	2 1.3	1 0.4	9 1.9	1 2.3	0 0.0	2 1.3	2 1.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
大変苦しい	12 8.6	1 4.0	3 7.7	4 6.0	11 6.5	7 7.6	16 7.4	29 8.9
やや苦しい	20 14.3	7 28.0	7 17.9	17 25.4	36 21.3	14 15.2	45 20.7	86 26.3
ふつう	99 70.7	16 64.0	26 66.7	45 67.2	111 65.7	60 65.2	139 64.1	196 59.9
ややゆとりがある	7 5.0	0 0.0	2 5.1	1 1.5	7 4.1	8 8.7	13 6.0	10 3.1
大変ゆとりがある	1 0.7	1 4.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	2 2.2	1 0.5	2 0.6
無回答	1 0.7	0 0.0	1 2.6	0 0.0	2 1.2	1 1.1	3 1.4	4 1.2

1-問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（○は1つ）

全体では、「持家（一戸建て）」が82.1%と8割以上を占めています。
性別にみると、「借家（マンションまたはアパート）」は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、「瑞穂アパート・町営住宅」は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-11-1 居住形態（性別・年齢階級別）



図表 2-11-2 居住形態（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
持家（一戸建て）	1,992 82.1	141 88.7	230 88.8	408 86.3	39 88.6	49 98.0	155 98.1	122 89.7
持家（マンション）	20 0.8	1 0.6	3 1.2	11 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
借家（一戸建て）	52 2.1	3 1.9	14 5.4	9 1.9	2 4.5	0 0.0	2 1.3	2 1.5
借家（マンション またはアパート）	110 4.5	13 8.2	9 3.5	35 7.4	0 0.0	1 2.0	0 0.0	9 6.6
瑞穂アパート・ 町営住宅	158 6.5	0 0.0	0 0.0	4 0.8	1 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	17 0.7	0 0.0	1 0.4	3 0.6	1 2.3	0 0.0	1 0.6	2 1.5
無回答	77 3.2	1 0.6	2 0.8	3 0.6	1 2.3	0 0.0	0 0.0	1 0.7

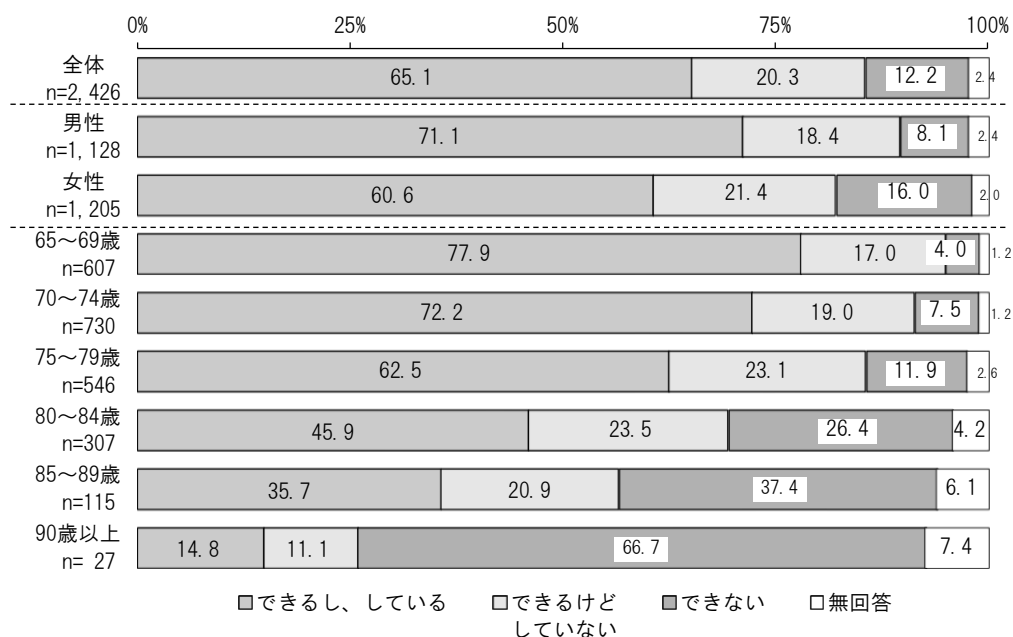
	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
持家（一戸建て）	131 93.6	24 96.0	32 82.1	56 83.6	164 97.0	82 89.1	187 86.2	163 49.8
持家（マンション）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	1 1.1	0 0.0	3 0.9
借家（一戸建て）	4 2.9	0 0.0	0 0.0	3 4.5	1 0.6	1 1.1	5 2.3	6 1.8
借家（マンション またはアパート）	3 2.1	0 0.0	3 7.7	7 10.4	4 2.4	8 8.7	10 4.6	7 2.1
瑞穂アパート・ 町営住宅	0 0.0	0 0.0	4 10.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 5.5	137 41.9
その他	1 0.7	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	6 1.8
無回答	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.9	5 1.5

2 からだを動かすことについて

2-問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が65.1%で、「できない」が12.2%となっています。
性別にみると、「できるし、している」は男性が10.5ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「できるし、している」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-12-1 階段を昇る能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-12-2 階段を昇る能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

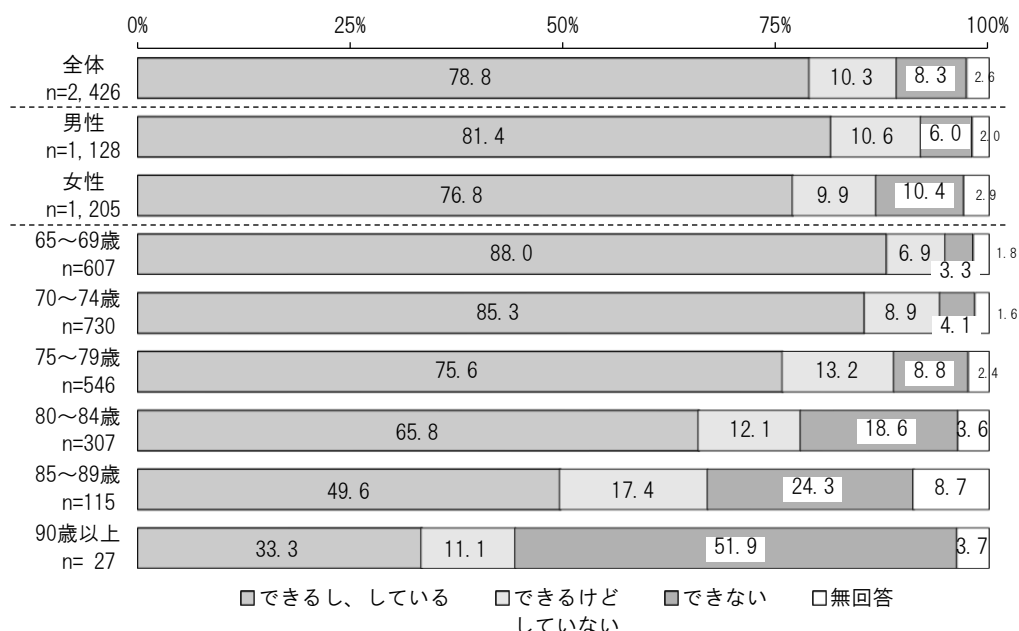
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できるし、している	1,580 65.1	96 60.4	169 65.3	316 66.8	28 63.6	25 50.0	106 67.1	83 61.0
できるけどしていない	493 20.3	40 25.2	46 17.8	98 20.7	8 18.2	16 32.0	32 20.3	27 19.9
できない	295 12.2	19 11.9	38 14.7	53 11.2	6 13.6	9 18.0	19 12.0	22 16.2
無回答	58 2.4	4 2.5	6 2.3	6 1.3	2 4.5	0 0.0	1 0.6	4 2.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
できるし、している	97 69.3	14 56.0	23 59.0	39 58.2	128 75.7	67 72.8	141 65.0	206 63.0
できるけどしていない	31 22.1	3 12.0	12 30.8	11 16.4	23 13.6	14 15.2	50 23.0	63 19.3
できない	9 6.4	7 28.0	4 10.3	13 19.4	12 7.1	10 10.9	18 8.3	49 15.0
無回答	3 2.1	1 4.0	0 0.0	4 6.0	6 3.6	1 1.1	8 3.7	9 2.8

2-問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(○は1つ)

全体では、「できるし、している」が78.8%、「できない」は8.3%となっています。
性別にみると、「できるし、している」は男性が4.6ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「できるし、している」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-13-1 椅子から立ち上がる能力の有無(性別・年齢階級別)



図表 2-13-2 椅子から立ち上がる能力の有無(地区別)

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できるし、している	1,912 78.8	117 73.6	193 74.5	372 78.6	33 75.0	34 68.0	134 84.8	106 77.9
できるけどしていない	251 10.3	23 14.5	34 13.1	50 10.6	4 9.1	9 18.0	12 7.6	11 8.1
できない	201 8.3	14 8.8	26 10.0	43 9.1	3 6.8	7 14.0	11 7.0	15 11.0
無回答	62 2.6	5 3.1	6 2.3	8 1.7	4 9.1	0 0.0	1 0.6	4 2.9

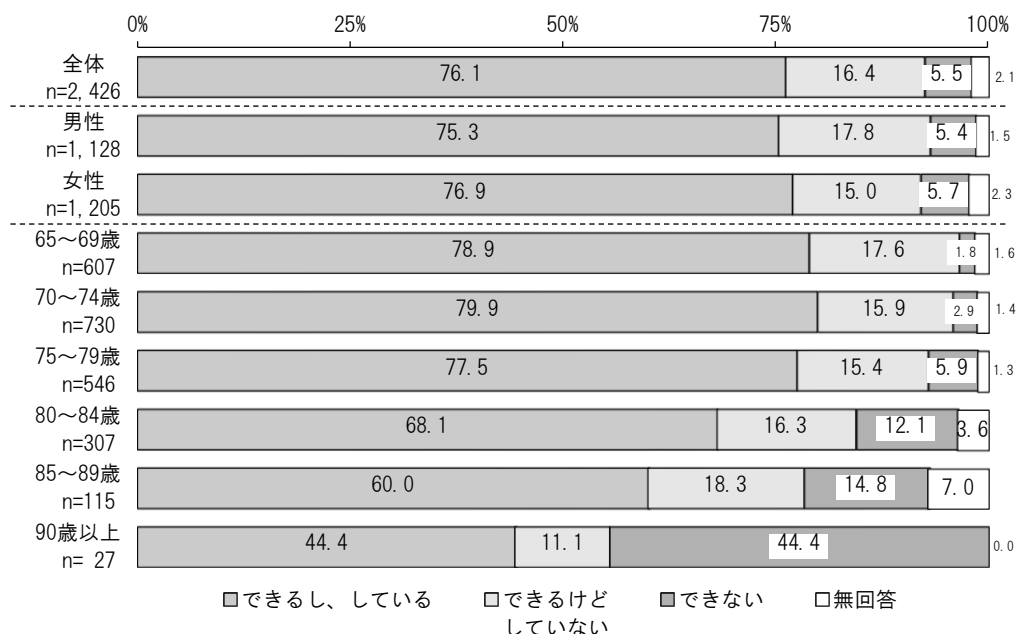
	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
できるし、している	113 80.7	15 60.0	26 66.7	49 73.1	146 86.4	70 76.1	181 83.4	268 82.0
できるけどしていない	17 12.1	3 12.0	9 23.1	7 10.4	11 6.5	16 17.4	13 6.0	24 7.3
できない	9 6.4	4 16.0	2 5.1	8 11.9	8 4.7	4 4.3	18 8.3	24 7.3
無回答	1 0.7	3 12.0	2 5.1	3 4.5	4 2.4	2 2.2	5 2.3	11 3.4

2-問3 15分位続けて歩いていますか（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が76.1%、「できない」は5.5%となっています。
性別にみると、「できるし、している」、「できるけどしていない」は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、「できるし、している」は70～74歳をピークに加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-14-1 15分位歩き続ける能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-14-2 15分位歩き続ける能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

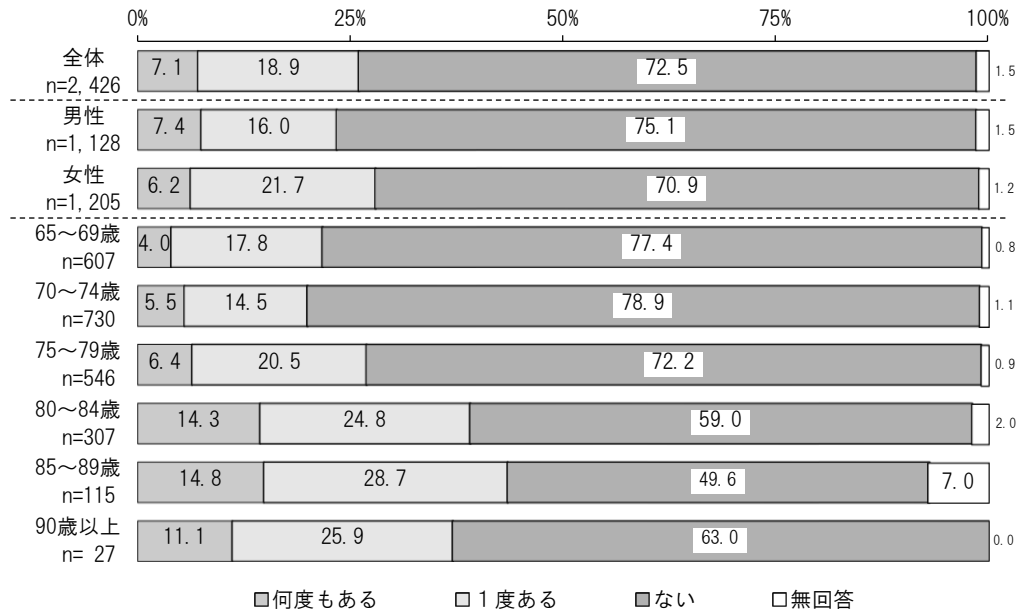
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できるし、している	1,846 76.1	116 73.0	193 74.5	365 77.2	35 79.5	36 72.0	121 76.6	98 72.1
できるけどしていない	397 16.4	30 18.9	42 16.2	68 14.4	5 11.4	11 22.0	26 16.5	26 19.1
できない	133 5.5	7 4.4	18 6.9	35 7.4	2 4.5	3 6.0	10 6.3	5 3.7
無回答	50 2.1	6 3.8	6 2.3	5 1.1	2 4.5	0 0.0	1 0.6	7 5.1

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
できるし、している	105 75.0	14 56.0	31 79.5	52 77.6	124 73.4	67 72.8	176 81.1	261 79.8
できるけどしていない	29 20.7	6 24.0	5 12.8	7 10.4	40 23.7	21 22.8	23 10.6	43 13.1
できない	6 4.3	4 16.0	3 7.7	5 7.5	2 1.2	4 4.3	14 6.5	14 4.3
無回答	0 0.0	1 4.0	0 0.0	3 4.5	3 1.8	0 0.0	4 1.8	9 2.8

2-問4 過去1年間に転んだ経験がありますか（○は1つ）

全体では、『ある』（「何度もある」＋「1度ある」）という人は26.0%となっています。
性別にみると、『ある』は女性が4.5ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、『ある』は加齢とともに高くなる傾向にあり、85～89歳で43.5%となっています。

図表 2-15-1 1年間での転倒経験の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-15-2 1年間での転倒経験の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
何度もある	172 7.1	16 10.1	16 6.2	34 7.2	4 9.1	6 12.0	5 3.2	10 7.4
1度ある	459 18.9	22 13.8	61 23.6	92 19.5	9 20.5	6 12.0	33 20.9	22 16.2
ない	1,759 72.5	115 72.3	176 68.0	344 72.7	30 68.2	38 76.0	120 75.9	100 73.5
無回答	36 1.5	6 3.8	6 2.3	3 0.6	1 2.3	0 0.0	0 0.0	4 2.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
何度もある	9 6.4	2 8.0	4 10.3	12 17.9	4 2.4	7 7.6	9 4.1	26 8.0
1度ある	28 20.0	4 16.0	8 20.5	12 17.9	41 24.3	9 9.8	39 18.0	60 18.3
ない	103 73.6	18 72.0	27 69.2	42 62.7	121 71.6	76 82.6	166 76.5	236 72.2
無回答	0 0.0	1 4.0	0 0.0	1 1.5	3 1.8	0 0.0	3 1.4	5 1.5

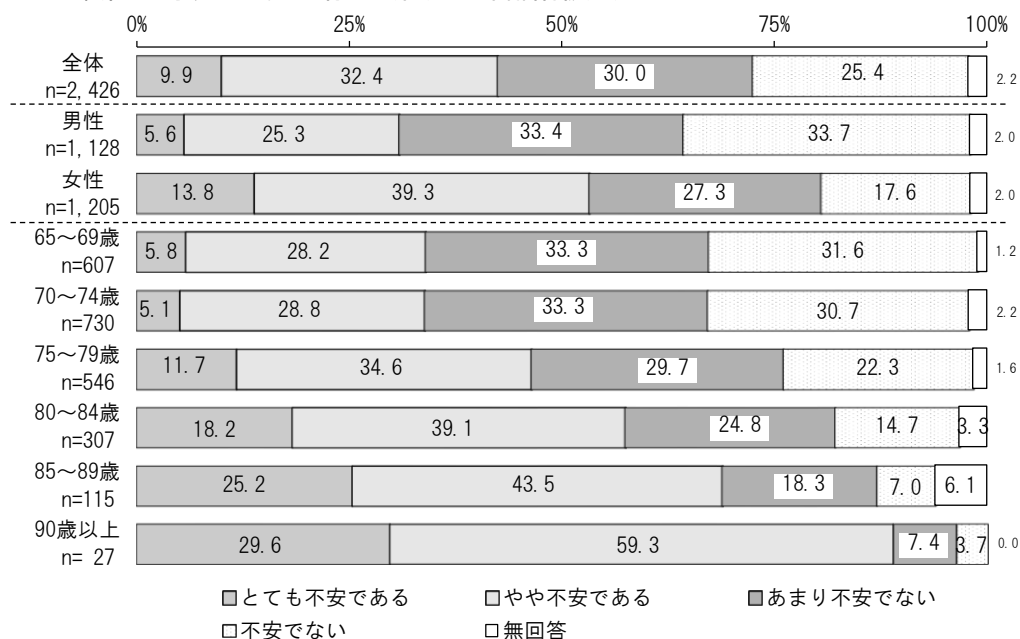
2-問5 転倒に対する不安は大きいですか（○は1つ）

全体では、『不安』（「とても不安である」＋「やや不安である」）は 42.3%となっています。一方、『不安でない』（「あまり不安でない」＋「不安でない」）は 55.4%となっています。

性別にみると、『不安』は女性が 22.2 ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、『不安』は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-16-1 転倒に対する不安の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-16-2 転倒に対する不安の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
とても不安である	241 9.9	18 11.3	21 8.1	49 10.4	5 11.4	3 6.0	13 8.2	12 8.8
やや不安である	787 32.4	62 39.0	97 37.5	159 33.6	13 29.5	13 26.0	44 27.8	43 31.6
あまり不安でない	728 30.0	34 21.4	74 28.6	139 29.4	17 38.6	25 50.0	52 32.9	41 30.1
不安でない	616 25.4	40 25.2	62 23.9	118 24.9	7 15.9	7 14.0	47 29.7	34 25.0
無回答	54 2.2	5 3.1	5 1.9	8 1.7	2 4.5	2 4.0	2 1.3	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
とても不安である	11 7.9	4 16.0	1 2.6	8 11.9	12 7.1	7 7.6	21 9.7	45 13.8
やや不安である	48 34.3	8 32.0	15 38.5	20 29.9	59 34.9	25 27.2	60 27.6	98 30.0
あまり不安でない	36 25.7	5 20.0	8 20.5	29 43.3	54 32.0	31 33.7	69 31.8	97 29.7
不安でない	42 30.0	7 28.0	14 35.9	10 14.9	40 23.7	28 30.4	65 30.0	80 24.5
無回答	3 2.1	1 4.0	1 2.6	0 0.0	4 2.4	1 1.1	2 0.9	7 2.1

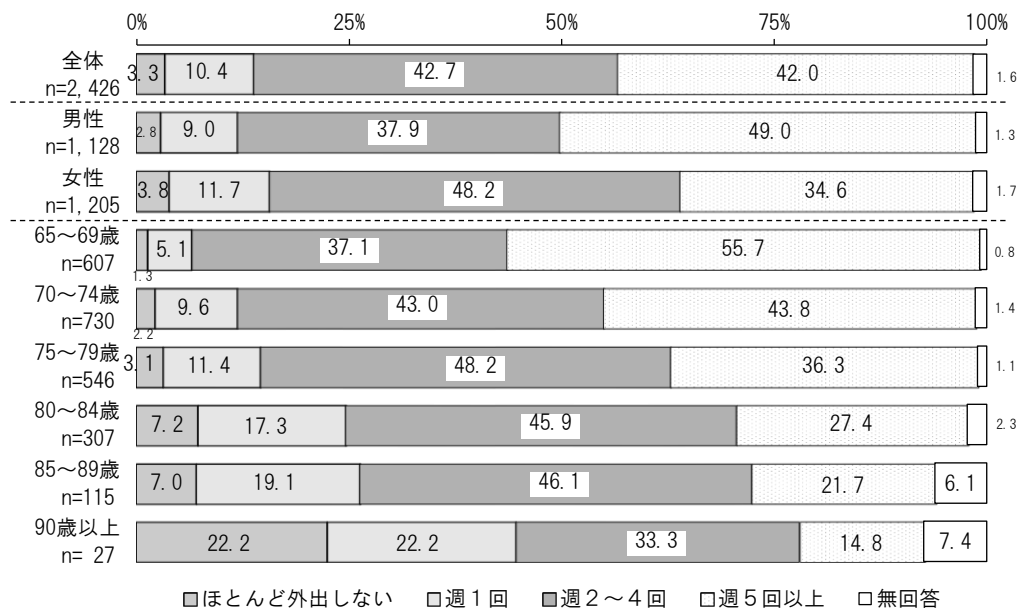
2-問6 週に1回以上は外出していますか（○は1つ）

全体では、「週2～4回」が42.7%、「週5回以上」が42.0%となっています。一方、「ほとんど外出しない」は3.3%となっています。

性別にみると、「週1回」は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、「ほとんど外出しない」、「週1回」は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-17-1 1週間の外出頻度（性別・年齢階級別）



図表 2-17-2 1週間の外出頻度（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
ほとんど外出しない	80 3.3	5 3.1	15 5.8	12 2.5	3 6.8	1 2.0	2 1.3	4 2.9
週1回	252 10.4	16 10.1	29 11.2	53 11.2	2 4.5	4 8.0	17 10.8	16 11.8
週2～4回	1,037 42.7	63 39.6	106 40.9	228 48.2	19 43.2	23 46.0	72 45.6	53 39.0
週5回以上	1,018 42.0	70 44.0	104 40.2	174 36.8	18 40.9	21 42.0	66 41.8	58 42.6
無回答	39 1.6	5 3.1	5 1.9	6 1.3	2 4.5	1 2.0	1 0.6	5 3.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
ほとんど外出しない	7 5.0	4 16.0	1 2.6	1 1.5	3 1.8	5 5.4	8 3.7	9 2.8
週1回	17 12.1	2 8.0	5 12.8	6 9.0	12 7.1	10 10.9	20 9.2	34 10.4
週2～4回	54 38.6	10 40.0	18 46.2	27 40.3	70 41.4	39 42.4	81 37.3	152 46.5
週5回以上	61 43.6	8 32.0	15 38.5	33 49.3	81 47.9	38 41.3	105 48.4	128 39.1
無回答	1 0.7	1 4.0	0 0.0	0 0.0	3 1.8	0 0.0	3 1.4	4 1.2

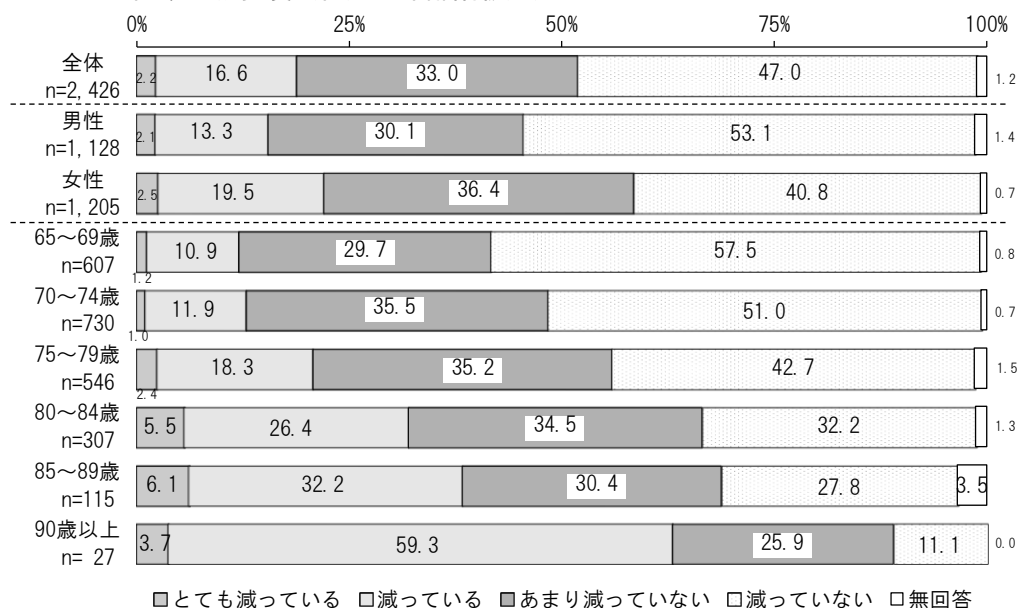
2-問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（〇は1つ）

全体では、『減っている』（「とても減っている」＋「減っている」）は 18.8%となっています。一方、『減っていない』（「あまり減っていない」＋「減っていない」）は 80.0%となっています。

性別にみると、『減っている』は女性が6.6ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、『減っている』は加齢とともに高くなっています。

図表 2-18-1 外出回数の減少度（性別・年齢階級別）



図表 2-18-2 外出回数の減少度（地区別）

上段：人/下段：%

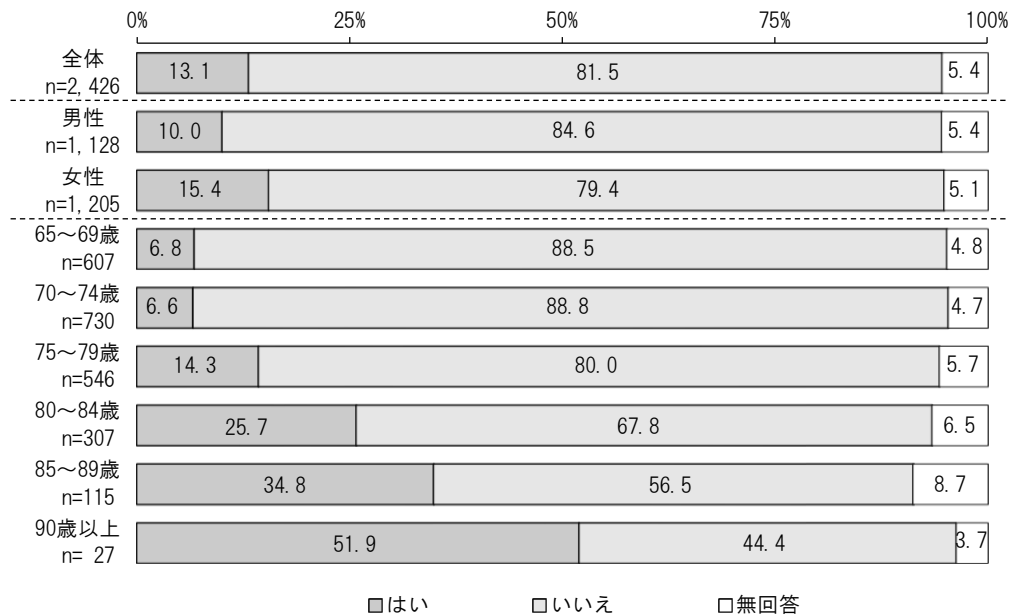
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
とても減っている	54 2.2	5 3.1	8 3.1	9 1.9	0 0.0	1 2.0	1 0.6	5 3.7
減っている	402 16.6	24 15.1	51 19.7	79 16.7	6 13.6	3 6.0	23 14.6	21 15.4
あまり減っていない	801 33.0	48 30.2	80 30.9	168 35.5	19 43.2	23 46.0	52 32.9	41 30.1
減っていない	1,140 47.0	79 49.7	115 44.4	215 45.5	18 40.9	23 46.0	82 51.9	65 47.8
無回答	29 1.2	3 1.9	5 1.9	2 0.4	1 2.3	0 0.0	0 0.0	4 2.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
とても減っている	2 1.4	2 8.0	1 2.6	2 3.0	2 1.2	3 3.3	5 2.3	7 2.1
減っている	26 18.6	7 28.0	8 20.5	9 13.4	28 16.6	18 19.6	29 13.4	57 17.4
あまり減っていない	47 33.6	7 28.0	10 25.6	29 43.3	51 30.2	23 25.0	67 30.9	116 35.5
減っていない	65 46.4	8 32.0	20 51.3	26 38.8	84 49.7	48 52.2	114 52.5	144 44.0
無回答	0 0.0	1 4.0	0 0.0	1 1.5	4 2.4	0 0.0	2 0.9	3 0.9

2-問8 外出を控えていますか（○は1つ）

全体では、「はい」が13.1%、「いいえ」が81.5%となっています。
性別にみると、外出を控えている人は女性が5.4ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、外出を控えている人は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-19-1 外出控えの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-19-2 外出控えの有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	318 13.1	19 11.9	39 15.1	66 14.0	4 9.1	8 16.0	19 12.0	18 13.2
いいえ	1,978 81.5	133 83.6	203 78.4	390 82.5	36 81.8	40 80.0	135 85.4	105 77.2
無回答	130 5.4	7 4.4	17 6.6	17 3.6	4 9.1	2 4.0	4 2.5	13 9.6

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	16 11.4	7 28.0	8 20.5	9 13.4	16 9.5	9 9.8	23 10.6	46 14.1
いいえ	120 85.7	17 68.0	28 71.8	55 82.1	145 85.8	81 88.0	179 82.5	255 78.0
無回答	4 2.9	1 4.0	3 7.7	3 4.5	8 4.7	2 2.2	15 6.9	26 8.0

2-問8（1）【問8で「1. はい」（外出を控えている）の方のみ】

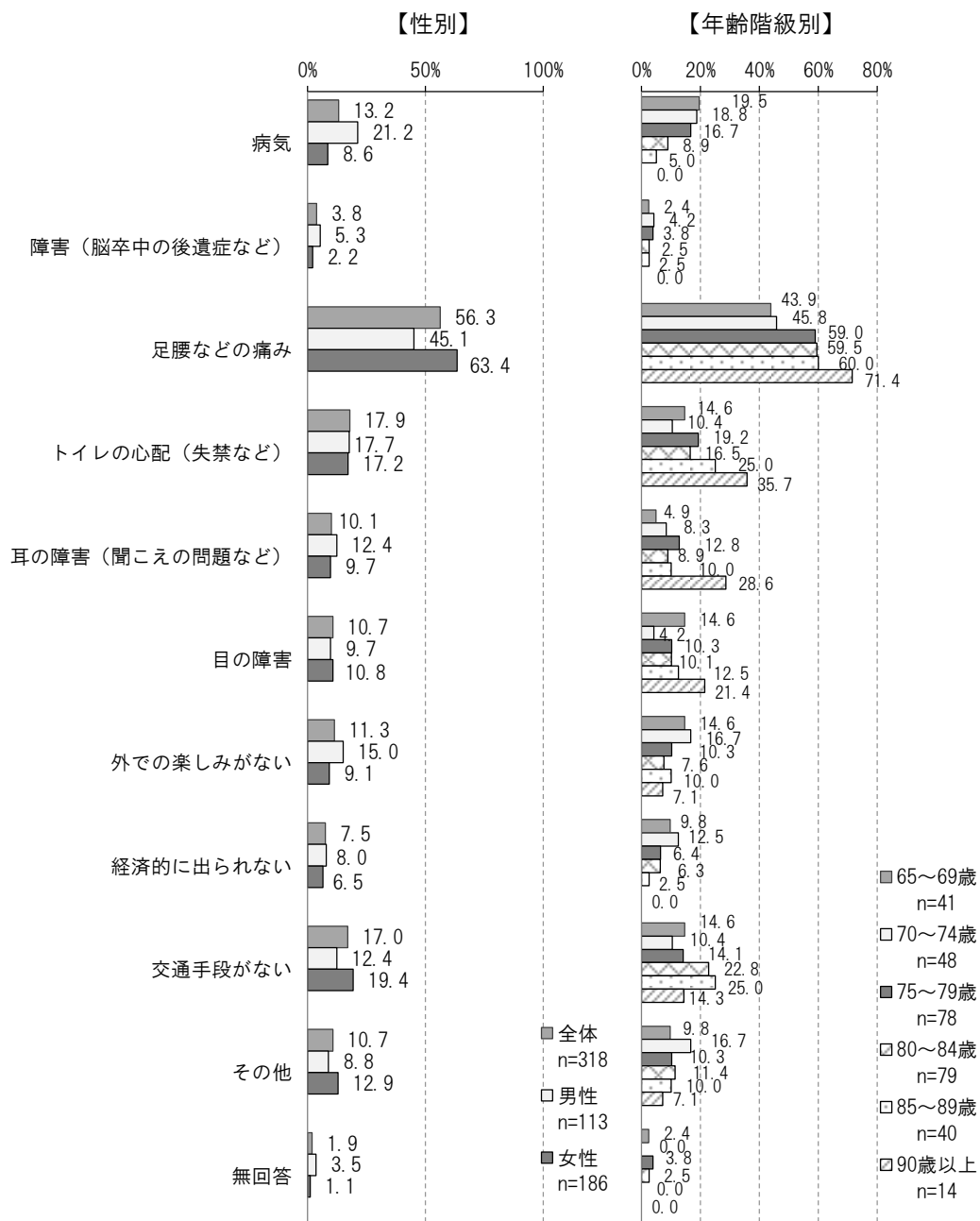
外出を控えている理由は、次のどれですか（〇はいくつでも）

全体では、「足腰などの痛み」が56.3%と最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が17.9%、「交通手段がない」が17.0%となっています。

性別にみると、「足腰などの痛み」は女性が18.3ポイント、「交通手段がない」は女性が7.0ポイント高く、「病気」は男性が12.6ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「足腰などの痛み」は加齢とともに高くなっています。

図表 2-20-1 外出を控えている理由（性別・年齢階級別）



図表 2-20-2 外出を控えている理由（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	318	19	39	66	4	8	19	18
病気	42 13.2	2 10.5	3 7.7	15 22.7	1 25.0	0 0.0	2 10.5	2 11.1
障害 （脳卒中の後遺症など）	12 3.8	0 0.0	0 0.0	4 6.1	0 0.0	0 0.0	2 10.5	1 5.6
足腰などの痛み	179 56.3	9 47.4	23 59.0	31 47.0	2 50.0	7 87.5	8 42.1	13 72.2
トイレの心配 （失禁など）	57 17.9	4 21.1	7 17.9	10 15.2	0 0.0	1 12.5	5 26.3	3 16.7
耳の障害 （聞こえの問題など）	32 10.1	1 5.3	5 12.8	14 21.2	0 0.0	0 0.0	4 21.1	1 5.6
目の障害	34 10.7	3 15.8	4 10.3	9 13.6	0 0.0	1 12.5	1 5.3	1 5.6
外での楽しみがない	36 11.3	0 0.0	4 10.3	7 10.6	0 0.0	0 0.0	3 15.8	2 11.1
経済的に出られない	24 7.5	1 5.3	3 7.7	7 10.6	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6
交通手段がない	54 17.0	1 5.3	5 12.8	9 13.6	0 0.0	0 0.0	4 21.1	6 33.3
その他	34 10.7	2 10.5	3 7.7	9 13.6	0 0.0	2 25.0	2 10.5	0 0.0
無回答	6 1.9	0 0.0	2 5.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	16	7	8	9	16	9	23	46
病気	3 18.8	0 0.0	1 12.5	1 11.1	2 12.5	2 22.2	1 4.3	5 10.9
障害 （脳卒中の後遺症など）	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 6.5
足腰などの痛み	9 56.3	5 71.4	4 50.0	8 88.9	7 43.8	3 33.3	14 60.9	28 60.9
トイレの心配 （失禁など）	2 12.5	4 57.1	1 12.5	3 33.3	2 12.5	0 0.0	7 30.4	6 13.0
耳の障害 （聞こえの問題など）	1 6.3	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	1 11.1	0 0.0	3 6.5
目の障害	1 6.3	1 14.3	1 12.5	1 11.1	2 12.5	0 0.0	2 8.7	7 15.2
外での楽しみがない	3 18.8	4 57.1	2 25.0	1 11.1	1 6.3	2 22.2	3 13.0	3 6.5
経済的に出られない	2 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	6 13.0
交通手段がない	3 18.8	4 57.1	1 12.5	3 33.3	3 18.8	3 33.3	3 13.0	8 17.4
その他	2 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 12.5	1 11.1	4 17.4	6 13.0
無回答	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 4.3	0 0.0

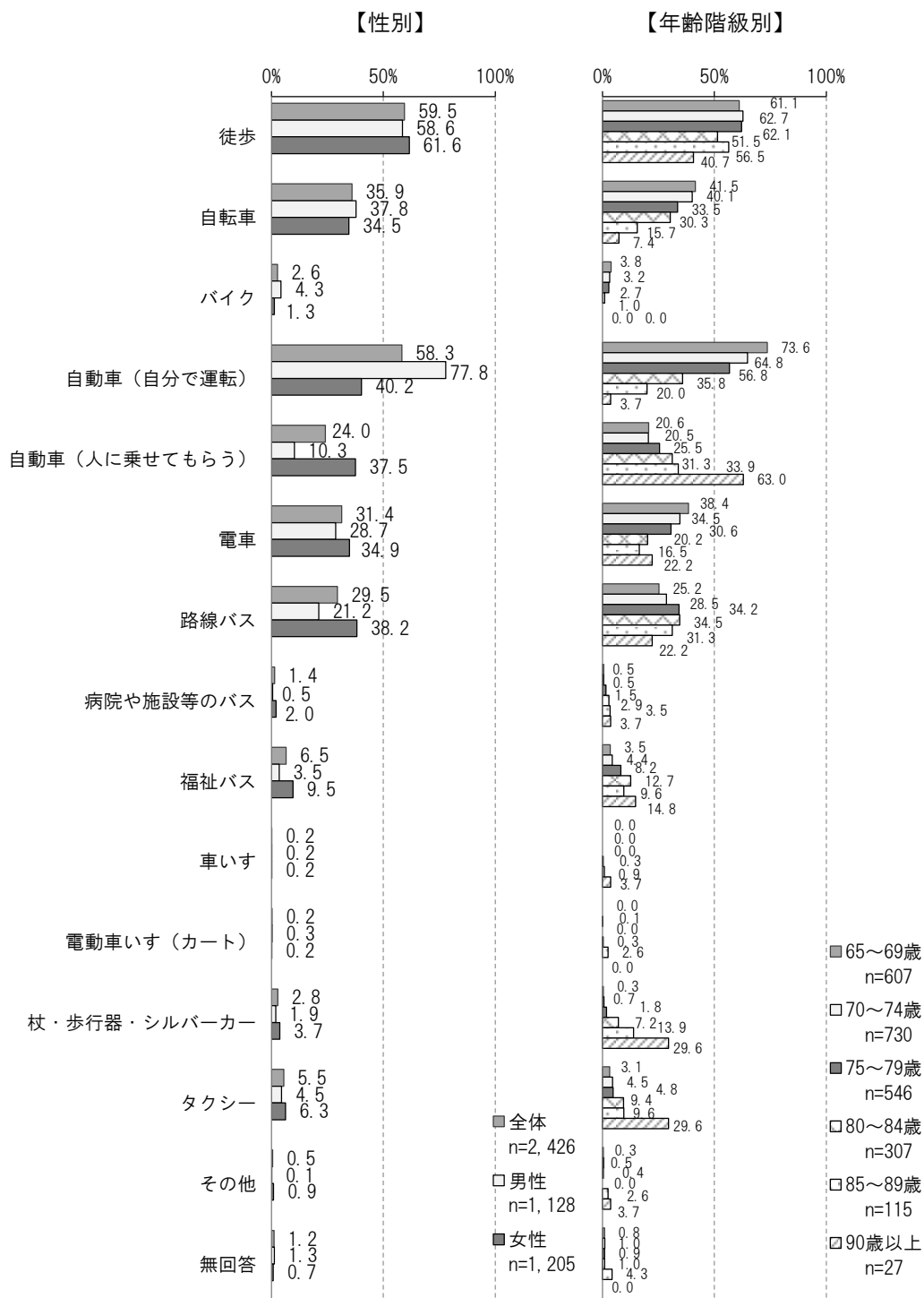
2-問9 外出する際の移動手段は何ですか（〇はいくつでも）

全体では、「徒歩」が59.5%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」が58.3%、「自転車」が35.9%、「電車」が31.4%となっています。

性別にみると、「自動車（自分で運転）」は男性が37.6ポイント、「自動車（人に乗せてもらう）」は女性が27.2ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「自動車（自分で運転）」は加齢とともに低くなる傾向にあり、一方「自動車（人に乗せてもらう）」は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-21-1 外出の際の移動手段（性別・年齢階級別）



地区別にみると、ほとんどの地区で「徒歩」、「自動車（自分で運転）」が上位2項目となっています。むさし野では「路線バス」が54.7%と「徒歩」に次いで2番目に高くなっており、長岡では47.0%と4割を超えています。

図表 2-21-2 外出の際の移動手段（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
徒歩	1,443 59.5	99 62.3	150 57.9	303 64.1	23 52.3	28 56.0	94 59.5	74 54.4
自転車	872 35.9	57 35.8	89 34.4	166 35.1	21 47.7	18 36.0	47 29.7	60 44.1
バイク	64 2.6	5 3.1	11 4.2	7 1.5	1 2.3	2 4.0	7 4.4	10 7.4
自動車 （自分で運転）	1,414 58.3	92 57.9	151 58.3	275 58.1	31 70.5	32 64.0	103 65.2	92 67.6
自動車 （人に乗せてもらう）	583 24.0	37 23.3	68 26.3	125 26.4	6 13.6	12 24.0	38 24.1	31 22.8
電車	761 31.4	35 22.0	74 28.6	180 38.1	15 34.1	8 16.0	44 27.8	36 26.5
路線バス	715 29.5	49 30.8	71 27.4	113 23.9	14 31.8	8 16.0	17 10.8	16 11.8
病院や施設等のバス	33 1.4	3 1.9	1 0.4	8 1.7	0 0.0	1 2.0	6 3.8	2 1.5
福祉バス	158 6.5	14 8.8	12 4.6	24 5.1	1 2.3	0 0.0	27 17.1	8 5.9
車いす	4 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	2 1.3	0 0.0
電動車いす（カート）	5 0.2	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0
杖・歩行器・ シルバーカー	68 2.8	4 2.5	9 3.5	10 2.1	1 2.3	0 0.0	6 3.8	6 4.4
タクシー	133 5.5	5 3.1	14 5.4	23 4.9	4 9.1	1 2.0	8 5.1	10 7.4
その他	12 0.5	1 0.6	0 0.0	4 0.8	0 0.0	1 2.0	1 0.6	0 0.0
無回答	28 1.2	3 1.9	6 2.3	3 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 3.7

図表 2-21-2 外出の際の移動手段（地区別）

上段：人/下段：%

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
徒歩	82 58.6	8 32.0	25 64.1	37 55.2	103 60.9	53 57.6	141 65.0	194 59.3
自転車	41 29.3	5 20.0	18 46.2	26 38.8	77 45.6	32 34.8	95 43.8	97 29.7
バイク	6 4.3	1 4.0	0 0.0	2 3.0	3 1.8	0 0.0	5 2.3	4 1.2
自動車 （自分で運転）	97 69.3	17 68.0	20 51.3	35 52.2	99 58.6	57 62.0	124 57.1	145 44.3
自動車 （人に乗せてもらう）	33 23.6	6 24.0	7 17.9	16 23.9	44 26.0	14 15.2	61 28.1	74 22.6
電車	36 25.7	2 8.0	11 28.2	22 32.8	62 36.7	27 29.3	79 36.4	112 34.3
路線バス	11 7.9	1 4.0	9 23.1	17 25.4	63 37.3	33 35.9	102 47.0	179 54.7
病院や施設等のバス	3 2.1	1 4.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	2 0.9	4 1.2
福祉バス	15 10.7	1 4.0	1 2.6	5 7.5	9 5.3	2 2.2	13 6.0	23 7.0
車いす	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
電動車いす（カート）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
杖・歩行器・ シルバーカー	4 2.9	1 4.0	2 5.1	2 3.0	1 0.6	0 0.0	4 1.8	17 5.2
タクシー	6 4.3	3 12.0	5 12.8	4 6.0	8 4.7	5 5.4	13 6.0	20 6.1
その他	1 0.7	0 0.0	0 0.0	2 3.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	1 0.3
無回答	1 0.7	1 4.0	0 0.0	1 1.5	1 0.6	1 1.1	2 0.9	2 0.6

3 食べることにについて

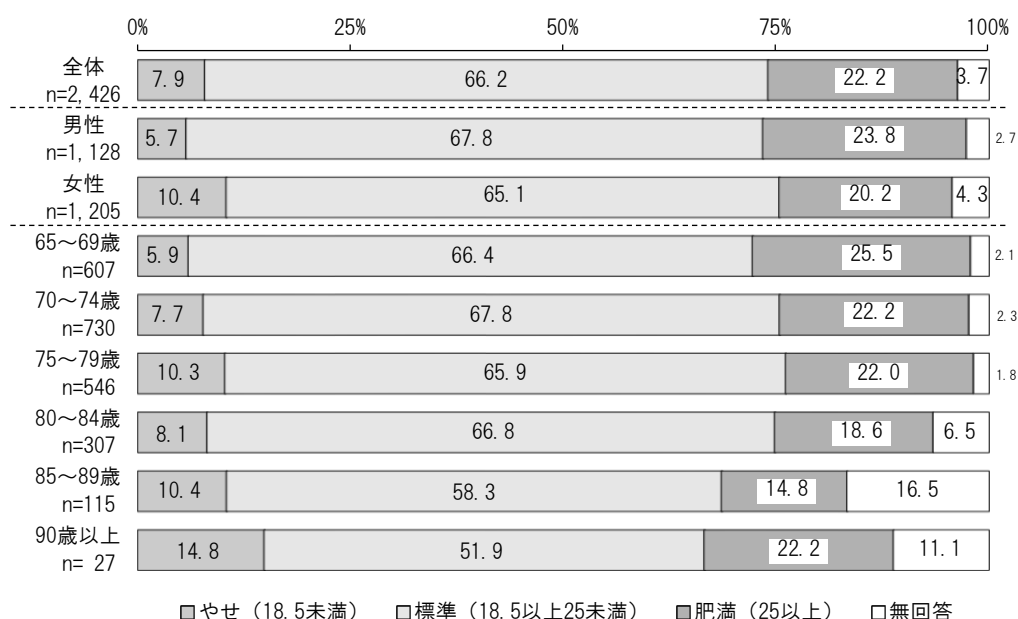
3-問1 身長・体重（数字を記入）

全体では、「標準（18.5 以上 25 未満）」が 66.2%、「肥満（25 以上）」が 22.2%、「やせ（18.5 未満）」が 7.9%となっています。

性別にみると、「やせ（18.5 未満）」の割合は女性が 4.7 ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「やせ（18.5 未満）」の割合は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-22-1 BMI 区分（性別・年齢階級別）



□ やせ (18.5 未満) □ 標準 (18.5 以上 25 未満) □ 肥満 (25 以上) □ 無回答

図表 2-22-2 BMI 区分（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
やせ (18.5 未満)	191 7.9	14 8.8	16 6.2	41 8.7	3 6.8	5 10.0	11 7.0	5 3.7
標準 (18.5 以上 25 未満)	1,607 66.2	99 62.3	184 71.0	333 70.4	28 63.6	31 62.0	108 68.4	88 64.7
肥満 (25 以上)	539 22.2	37 23.3	50 19.3	84 17.8	12 27.3	13 26.0	33 20.9	33 24.3
無回答	89 3.7	9 5.7	9 3.5	15 3.2	1 2.3	1 2.0	6 3.8	10 7.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
やせ (18.5 未満)	14 10.0	2 8.0	3 7.7	8 11.9	15 8.9	5 5.4	18 8.3	30 9.2
標準 (18.5 以上 25 未満)	87 62.1	16 64.0	29 74.4	40 59.7	110 65.1	58 63.0	141 65.0	206 63.0
肥満 (25 以上)	32 22.9	5 20.0	6 15.4	18 26.9	38 22.5	26 28.3	51 23.5	83 25.4
無回答	7 5.0	2 8.0	1 2.6	1 1.5	6 3.6	3 3.3	7 3.2	8 2.4

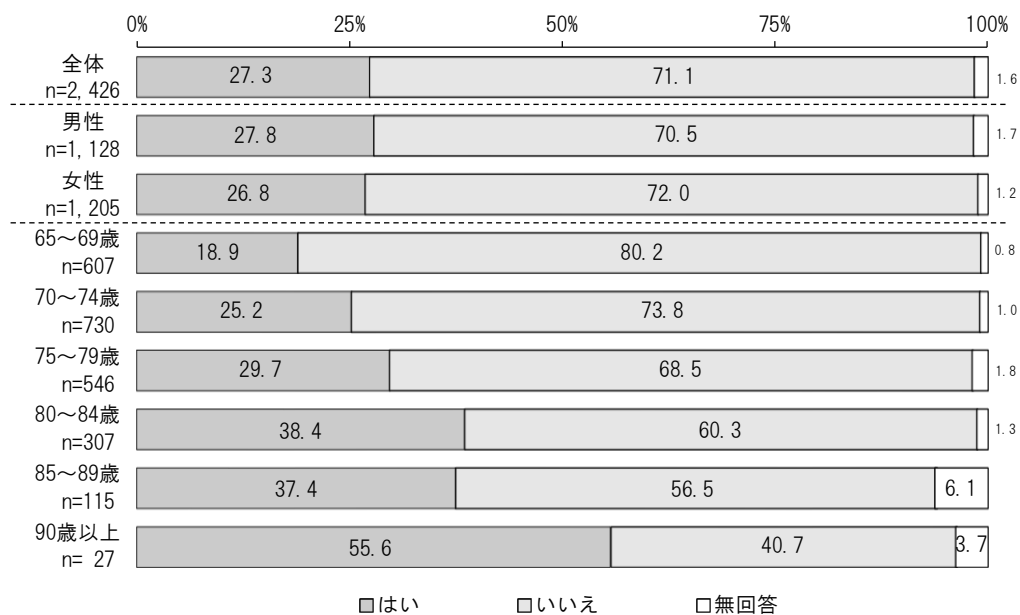
3-問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（○は1つ）

全体では、「はい」が27.3%で、食べにくくなったと感じている人3割弱となっています。

性別にみると、食べにくくなったと感じている人は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、食べにくくなったと感じている人は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-23-1 固いものが食べにくくなったことの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-23-2 固いものが食べにくくなったことの有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	663 27.3	45 28.3	62 23.9	135 28.5	13 29.5	17 34.0	38 24.1	38 27.9
いいえ	1,724 71.1	110 69.2	190 73.4	332 70.2	31 70.5	33 66.0	119 75.3	94 69.1
無回答	39 1.6	4 2.5	7 2.7	6 1.3	0 0.0	0 0.0	1 0.6	4 2.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	50 35.7	8 32.0	12 30.8	11 16.4	38 22.5	22 23.9	54 24.9	101 30.9
いいえ	89 63.6	16 64.0	27 69.2	55 82.1	128 75.7	70 76.1	160 73.7	221 67.6
無回答	1 0.7	1 4.0	0 0.0	1 1.5	3 1.8	0 0.0	3 1.4	5 1.5

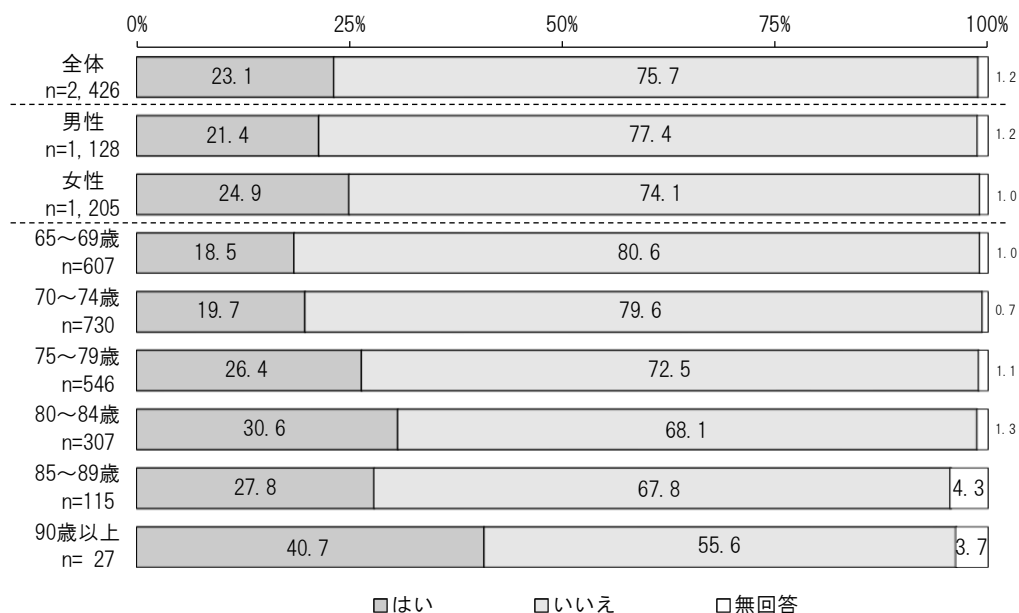
3-問3 お茶や汁物等でむせることがありますか（○は1つ）

全体では、「はい」が23.1%で、お茶や汁物でむせることがある人は2割強となっています。

性別にみると、お茶や汁物でむせることがある人は女性が3.5ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、お茶や汁物でむせることがある人は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-24-1 お茶や汁物等でむせることの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-24-2 お茶や汁物等でむせることの有無（地区別）

上段：人/下段：%

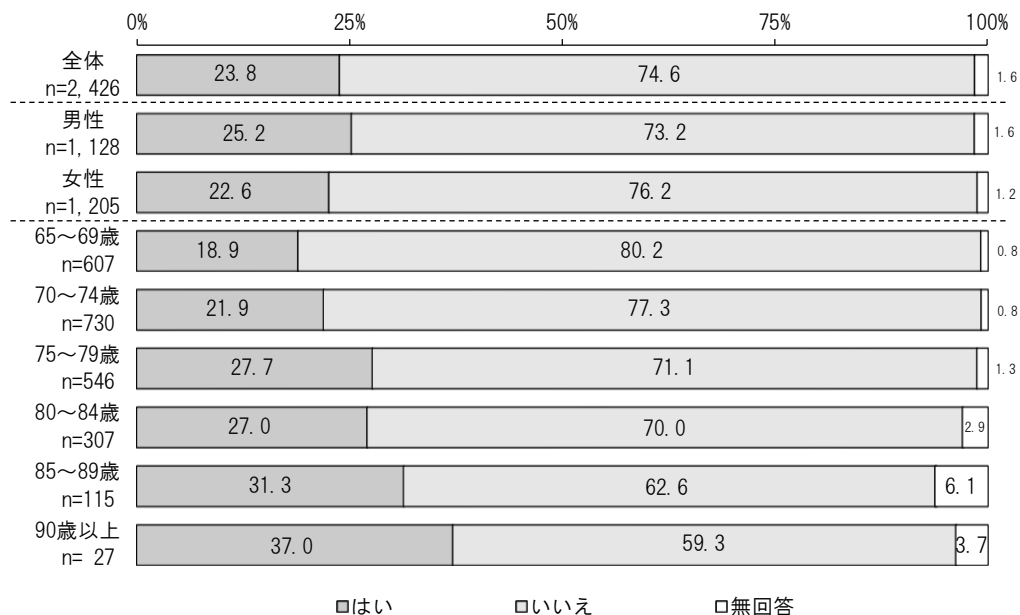
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	561 23.1	45 28.3	62 23.9	106 22.4	12 27.3	11 22.0	34 21.5	27 19.9
いいえ	1,836 75.7	110 69.2	191 73.7	363 76.7	32 72.7	38 76.0	123 77.8	105 77.2
無回答	29 1.2	4 2.5	6 2.3	4 0.8	0 0.0	1 2.0	1 0.6	4 2.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	35 25.0	5 20.0	9 23.1	15 22.4	38 22.5	23 25.0	48 22.1	77 23.5
いいえ	105 75.0	19 76.0	30 76.9	52 77.6	129 76.3	69 75.0	167 77.0	248 75.8
無回答	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	0 0.0	2 0.9	2 0.6

3-問4 口の渇きが気になりますか（○は1つ）

全体では、「はい」が23.8%で、口の渇きが気になる人は2割強となっています。
性別にみると、口の渇きが気になる人は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、口の渇きが気になる人は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-25-1 口の渇きが気になることの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-25-2 口の渇きが気になることの有無（地区別）

上段：人/下段：%

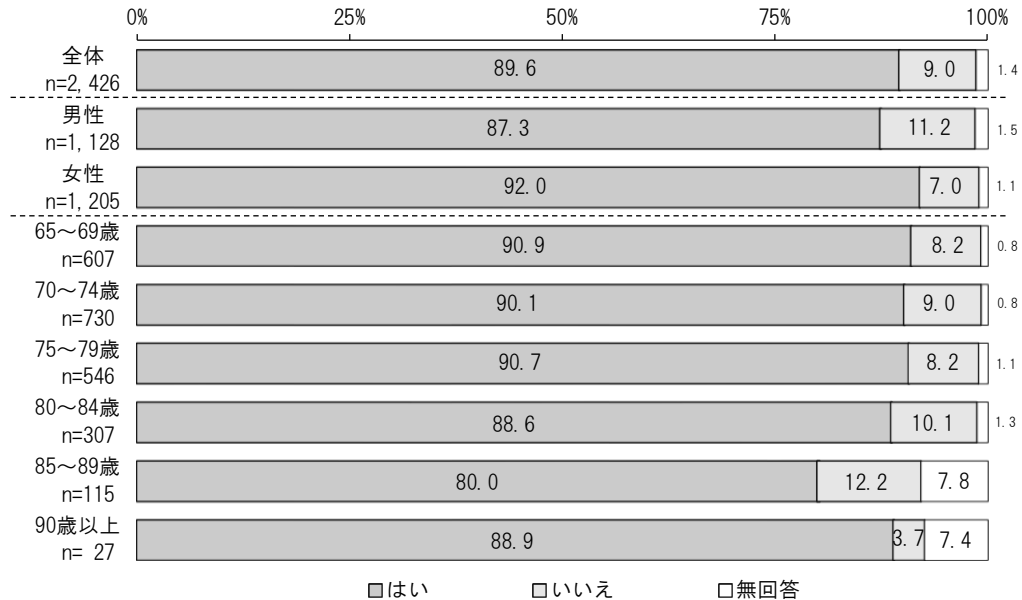
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	577 23.8	46 28.9	62 23.9	114 24.1	12 27.3	12 24.0	29 18.4	36 26.5
いいえ	1,811 74.6	108 67.9	190 73.4	355 75.1	31 70.5	38 76.0	128 81.0	94 69.1
無回答	38 1.6	5 3.1	7 2.7	4 0.8	1 2.3	0 0.0	1 0.6	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	38 27.1	5 20.0	14 35.9	11 16.4	36 21.3	23 25.0	45 20.7	74 22.6
いいえ	102 72.9	19 76.0	25 64.1	55 82.1	130 76.9	69 75.0	169 77.9	249 76.1
無回答	0 0.0	1 4.0	0 0.0	1 1.5	3 1.8	0 0.0	3 1.4	4 1.2

3-問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

全体では、歯磨きを毎日していない人は9.0%となっています。
 性別にみると、歯磨きを毎日していない人は男性が4.2ポイント高くなっています。
 年齢階級別にみると、歯磨きを毎日していない人は加齢とともに高くなる傾向にあり、
 85～89歳で12.2%となっています。

図表 2-26-1 毎日の歯磨きの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-26-2 毎日の歯磨きの有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	2,173 89.6	135 84.9	234 90.3	434 91.8	43 97.7	48 96.0	142 89.9	116 85.3
いいえ	219 9.0	20 12.6	19 7.3	32 6.8	1 2.3	2 4.0	16 10.1	15 11.0
無回答	34 1.4	4 2.5	6 2.3	7 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 3.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	126 90.0	21 84.0	36 92.3	63 94.0	149 88.2	80 87.0	192 88.5	291 89.0
いいえ	13 9.3	3 12.0	3 7.7	4 6.0	19 11.2	11 12.0	23 10.6	32 9.8
無回答	1 0.7	1 4.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 1.1	2 0.9	4 1.2

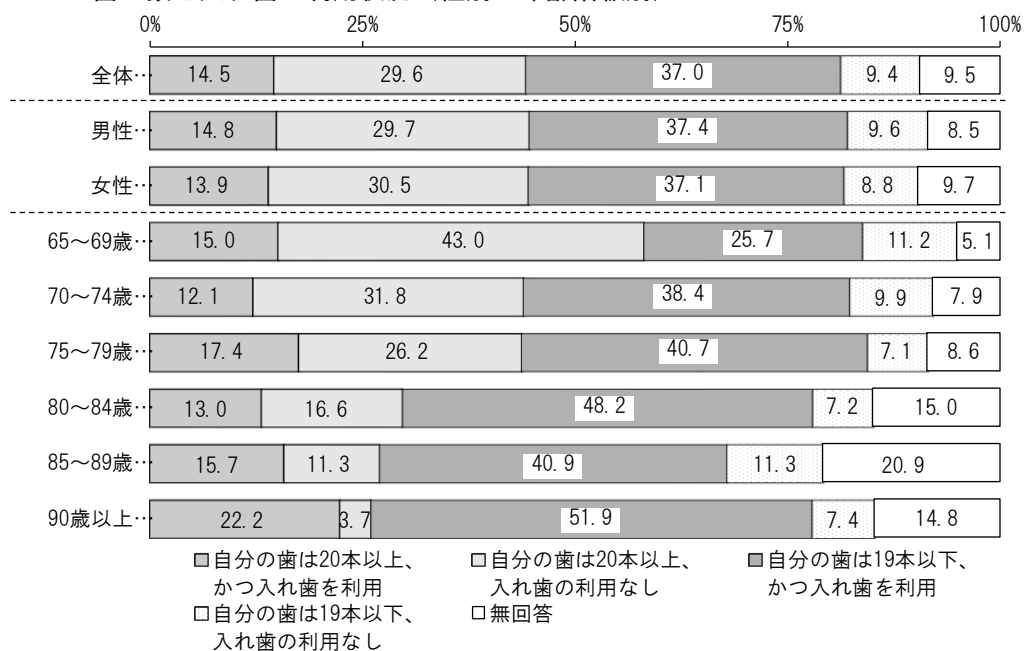
3-問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください（○は1つ）

全体では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.0%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.5%となっており、入れ歯を利用している人は51.5%となっています。

性別にみると、大きな差はみられませんでした。

年齢階級別にみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-27-1 歯の数と入れ歯の利用状況（性別・年齢階級別）



図表 2-27-2 歯の数と入れ歯の利用状況（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	352 14.5	14 8.8	44 17.0	76 16.1	4 9.1	6 12.0	18 11.4	18 13.2
自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし	718 29.6	62 39.0	78 30.1	135 28.5	13 29.5	13 26.0	56 35.4	40 29.4
自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	898 37.0	54 34.0	97 37.5	176 37.2	18 40.9	23 46.0	57 36.1	57 41.9
自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし	228 9.4	16 10.1	20 7.7	40 8.5	5 11.4	6 12.0	11 7.0	7 5.1
無回答	230 9.5	13 8.2	20 7.7	46 9.7	4 9.1	2 4.0	16 10.1	14 10.3

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	18 12.9	2 8.0	5 12.8	9 13.4	16 9.5	18 19.6	38 17.5	56 17.1
自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし	38 27.1	5 20.0	10 25.6	22 32.8	66 39.1	19 20.7	62 28.6	86 26.3
自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	54 38.6	10 40.0	13 33.3	24 35.8	55 32.5	36 39.1	82 37.8	117 35.8
自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし	21 15.0	5 20.0	2 5.1	4 6.0	19 11.2	10 10.9	20 9.2	30 9.2
無回答	9 6.4	3 12.0	9 23.1	8 11.9	13 7.7	9 9.8	15 6.9	38 11.6

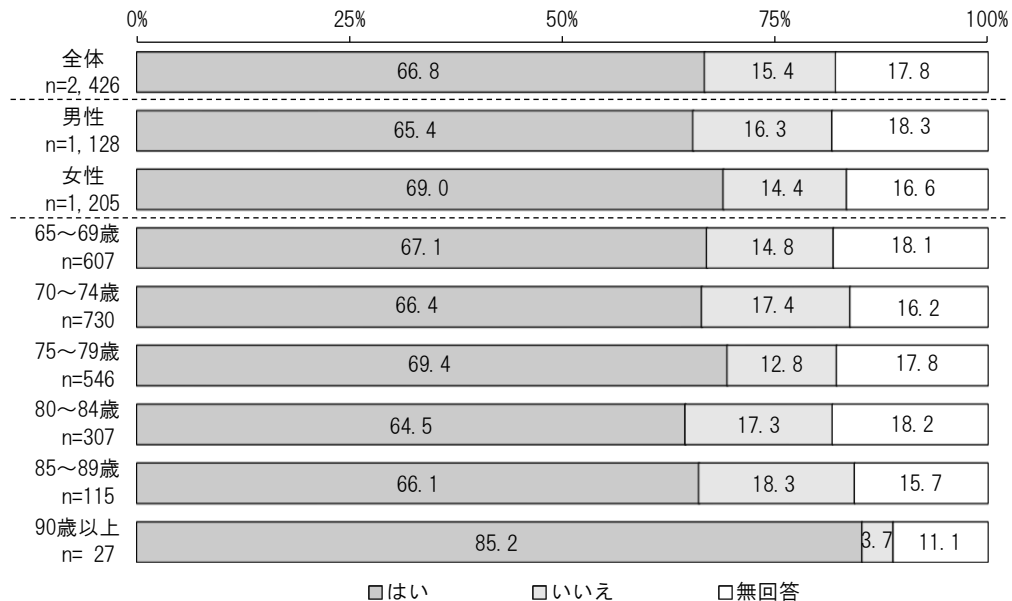
3-問6 (1) 噛み合わせは良いですか (○は1つ)

全体では、「はい」が66.8%と、噛み合わせが良いと感じている人が7割弱となっています。

性別にみると、噛み合わせが良いと感じている人は女性が3.6ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、噛み合わせが良いと感じている人は65～89歳で6割台となっています。

図表 2-28-1 噛み合わせの状況 (性別・年齢階級別)



図表 2-28-2 噛み合わせの状況 (地区別)

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	1,620 66.8	111 69.8	180 69.5	319 67.4	30 68.2	32 64.0	107 67.7	93 68.4
いいえ	373 15.4	25 15.7	39 15.1	72 15.2	6 13.6	15 30.0	19 12.0	23 16.9
無回答	433 17.8	23 14.5	40 15.4	82 17.3	8 18.2	3 6.0	32 20.3	20 14.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	92 65.7	17 68.0	29 74.4	39 58.2	121 71.6	55 59.8	138 63.6	219 67.0
いいえ	23 16.4	1 4.0	3 7.7	12 17.9	18 10.7	12 13.0	38 17.5	57 17.4
無回答	25 17.9	7 28.0	7 17.9	16 23.9	30 17.8	25 27.2	41 18.9	51 15.6

3-問6（2）【問6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

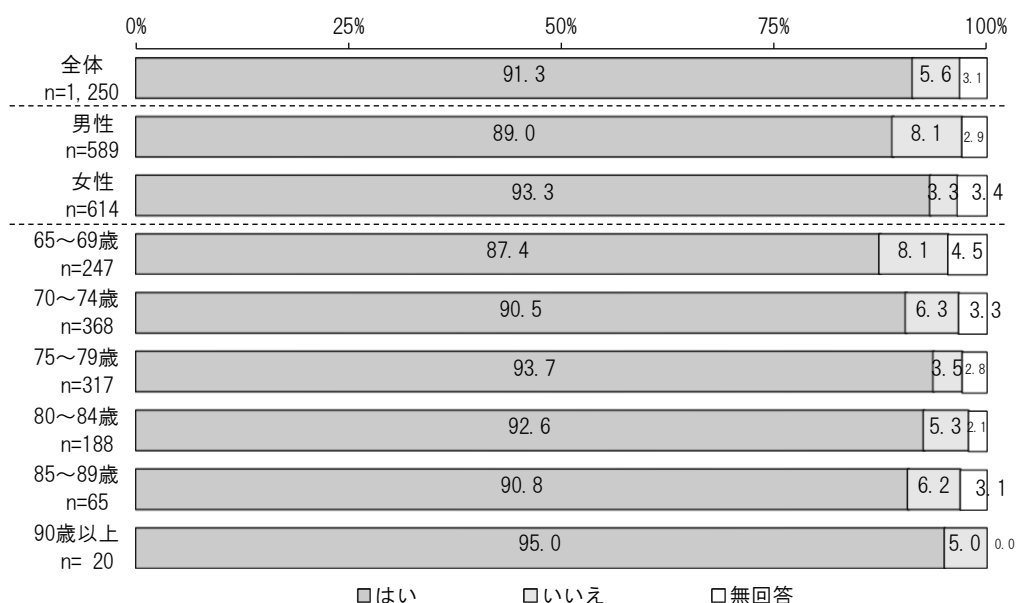
毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つ）

全体では、「はい」が91.3%と、毎日入れ歯の手入れをしている人は約9割となっています。

性別にみると、毎日入れ歯の手入れをしている人は男性が4.3ポイント低くなっています。

年齢階級別にみると、毎日入れ歯の手入れをしている人は65～69歳の87.4%が最も低くなっています。

図表 2-29-1 入れ歯の手入れの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-29-2 入れ歯の手入れの有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	1,250	68	141	252	22	29	75	75
はい	1,141 91.3	60 88.2	123 87.2	235 93.3	20 90.9	26 89.7	70 93.3	67 89.3
いいえ	70 5.6	6 8.8	12 8.5	14 5.6	1 4.5	2 6.9	4 5.3	7 9.3
無回答	39 3.1	2 2.9	6 4.3	3 1.2	1 4.5	1 3.4	1 1.3	1 1.3

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	72	12	18	33	71	54	120	173
はい	67 93.1	12 100.0	16 88.9	31 93.9	65 91.5	49 90.7	108 90.0	158 91.3
いいえ	2 2.8	0 0.0	1 5.6	0 0.0	4 5.6	4 7.4	4 3.3	8 4.6
無回答	3 4.2	0 0.0	1 5.6	2 6.1	2 2.8	1 1.9	8 6.7	7 4.0

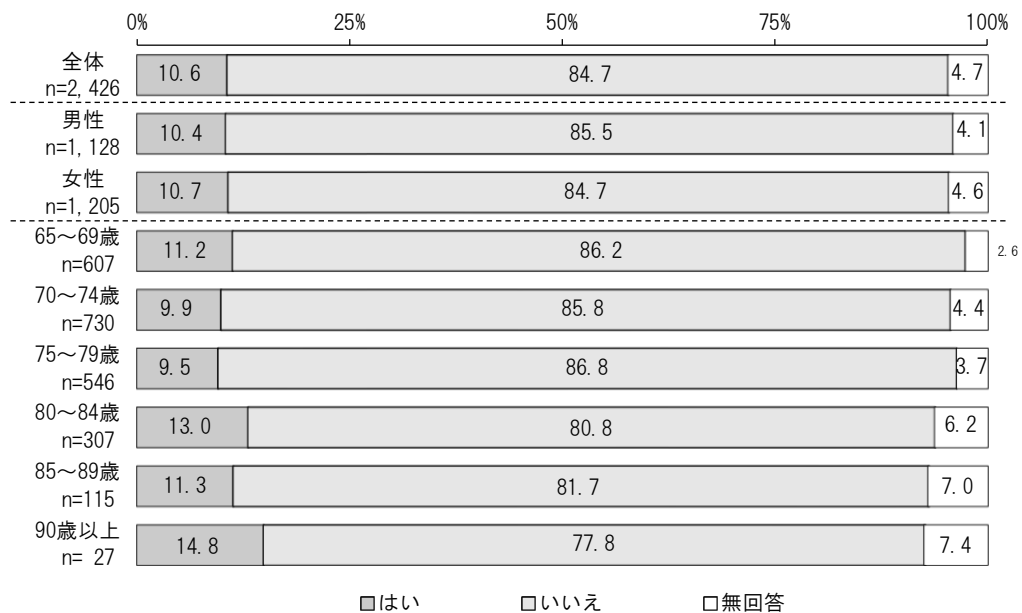
3-問7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○は1つ）

全体では、「はい」が10.6%で、6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人は約1割となっています。

性別にみると、体重減少があった人は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、体重減少があった人は90歳以上で14.8%と最も高く、次いで80～84歳で13.0%となっています。

図表 2-30-1 体重減少の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-30-2 体重減少の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	257 10.6	17 10.7	27 10.4	43 9.1	7 15.9	3 6.0	12 7.6	19 14.0
いいえ	2,056 84.7	132 83.0	223 86.1	407 86.0	37 84.1	47 94.0	138 87.3	111 81.6
無回答	113 4.7	10 6.3	9 3.5	23 4.9	0 0.0	0 0.0	8 5.1	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	16 11.4	0 0.0	4 10.3	6 9.0	20 11.8	9 9.8	27 12.4	39 11.9
いいえ	122 87.1	23 92.0	30 76.9	58 86.6	143 84.6	76 82.6	183 84.3	273 83.5
無回答	2 1.4	2 8.0	5 12.8	3 4.5	6 3.6	7 7.6	7 3.2	15 4.6

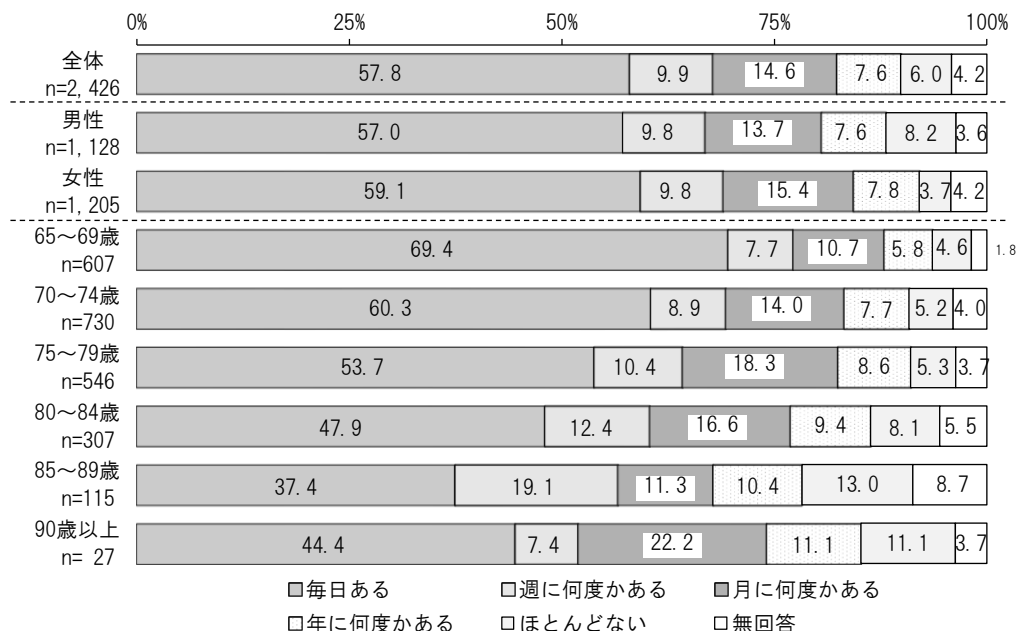
3-問8 どなたかと食事をとる機会がありますか（○は1つ）

全体では、「毎日ある」が57.8%、「月に何度かある」が14.6%となっています。「ほとんどない」は6.0%となっています。

性別にみると、「毎日ある」は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、「毎日ある」は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-31-1 誰かと食事をとる頻度（性別・年齢階級別）



図表 2-31-2 誰かと食事をとる頻度（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡下師岡	長岡長谷部	二本木	駒形富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
毎日ある	1,402 57.8	84 52.8	160 61.8	280 59.2	25 56.8	36 72.0	96 60.8	83 61.0
週に何度かある	240 9.9	22 13.8	26 10.0	47 9.9	5 11.4	1 2.0	14 8.9	9 6.6
月に何度かある	354 14.6	23 14.5	37 14.3	69 14.6	8 18.2	8 16.0	15 9.5	25 18.4
年に何度かある	184 7.6	10 6.3	13 5.0	35 7.4	4 9.1	3 6.0	12 7.6	10 7.4
ほとんどない	145 6.0	13 8.2	14 5.4	26 5.5	2 4.5	2 4.0	14 8.9	7 5.1
無回答	101 4.2	7 4.4	9 3.5	16 3.4	0 0.0	0 0.0	7 4.4	2 1.5

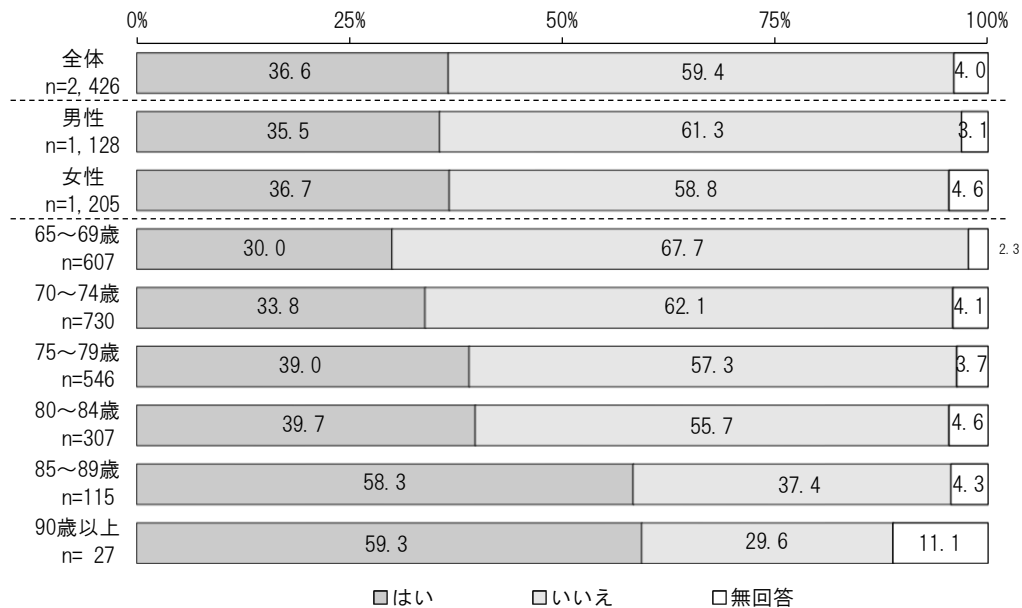
	高根	富士山栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎東松原	箱根ヶ崎西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
毎日ある	74 52.9	16 64.0	21 53.8	47 70.1	94 55.6	56 60.9	123 56.7	171 52.3
週に何度かある	15 10.7	2 8.0	5 12.8	1 1.5	17 10.1	11 12.0	25 11.5	32 9.8
月に何度かある	18 12.9	2 8.0	6 15.4	10 14.9	27 16.0	7 7.6	35 16.1	52 15.9
年に何度かある	18 12.9	1 4.0	3 7.7	2 3.0	20 11.8	8 8.7	16 7.4	28 8.6
ほとんどない	12 8.6	2 8.0	0 0.0	4 6.0	5 3.0	2 2.2	10 4.6	28 8.6
無回答	3 2.1	2 8.0	4 10.3	3 4.5	6 3.6	8 8.7	8 3.7	16 4.9

4 毎日の生活について

4-問1 物忘れが多いと感じますか（○は1つ）

全体では、「はい」が36.6%と、物忘れが多いと感じている人は4割弱となっています。
性別にみると、物忘れが多いと感じている人は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、物忘れが多いと感じている人は加齢とともに高くなっています。

図表 2-32-1 物忘れの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-32-2 物忘れの有無（地区別）

上段：人/下段：%

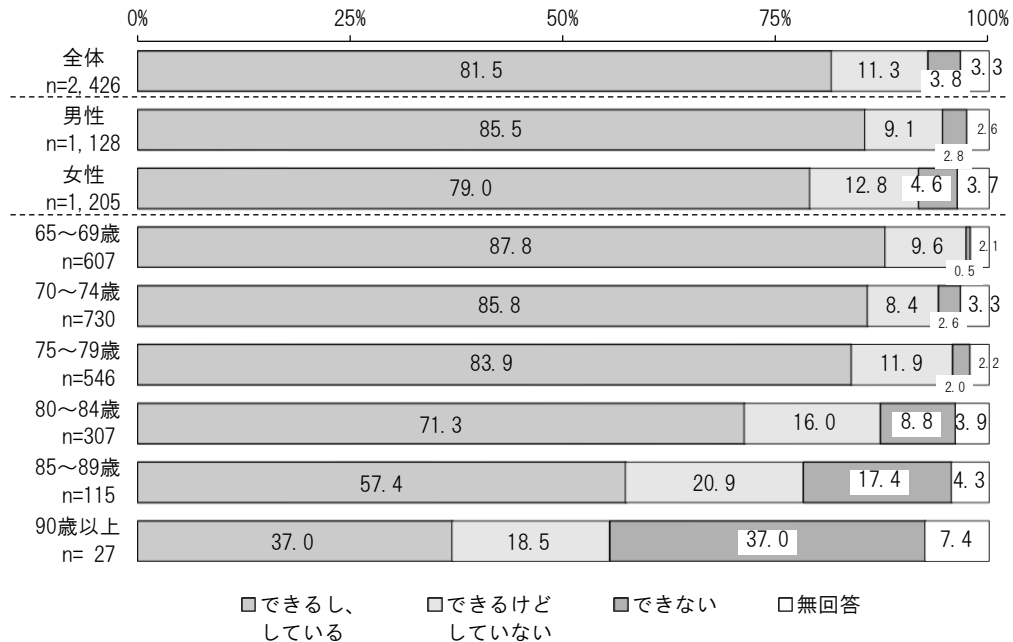
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	887 36.6	62 39.0	95 36.7	176 37.2	15 34.1	20 40.0	52 32.9	41 30.1
いいえ	1,442 59.4	92 57.9	150 57.9	277 58.6	26 59.1	30 60.0	98 62.0	93 68.4
無回答	97 4.0	5 3.1	14 5.4	20 4.2	3 6.8	0 0.0	8 5.1	2 1.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	57 40.7	9 36.0	15 38.5	31 46.3	53 31.4	29 31.5	69 31.8	131 40.1
いいえ	80 57.1	15 60.0	21 53.8	33 49.3	112 66.3	58 63.0	139 64.1	186 56.9
無回答	3 2.1	1 4.0	3 7.7	3 4.5	4 2.4	5 5.4	9 4.1	10 3.1

4-問2 バスや電車で1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が81.5%、「できない」は3.8%となっています。
性別にみると、「できるし、している」は女性が6.5ポイント低くなっています。
年齢階級別にみると、「できるし、している」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-33-1 1人での外出能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-33-2 1人での外出能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

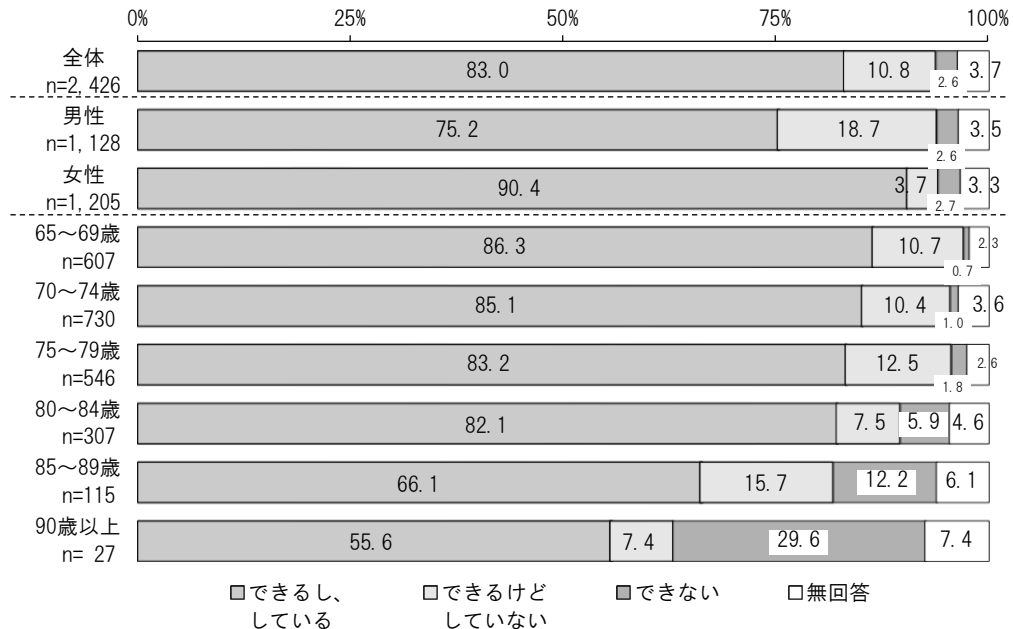
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡下師岡	長岡長谷部	二本木	駒形富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できるし、している	1,978 81.5	134 84.3	205 79.2	378 79.9	37 84.1	40 80.0	128 81.0	100 73.5
できるけどしていない	275 11.3	16 10.1	32 12.4	58 12.3	5 11.4	7 14.0	15 9.5	26 19.1
できない	93 3.8	5 3.1	16 6.2	23 4.9	1 2.3	3 6.0	6 3.8	6 4.4
無回答	80 3.3	4 2.5	6 2.3	14 3.0	1 2.3	0 0.0	9 5.7	4 2.9

	高根	富士山栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎東松原	箱根ヶ崎西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
できるし、している	114 81.4	19 76.0	31 79.5	57 85.1	147 87.0	78 84.8	176 81.1	285 87.2
できるけどしていない	21 15.0	1 4.0	3 7.7	5 7.5	14 8.3	6 6.5	29 13.4	25 7.6
できない	3 2.1	4 16.0	0 0.0	2 3.0	5 3.0	2 2.2	6 2.8	8 2.4
無回答	2 1.4	1 4.0	5 12.8	3 4.5	3 1.8	6 6.5	6 2.8	9 2.8

4-問3 自分で食品・日用品の買物をしていますか（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が83.0%、「できない」は2.6%となっています。
性別にみると、「できるし、している」は男性が15.2ポイント低くなっています。
年齢階級別にみると、「できるし、している」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-34-1 買物能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-34-2 買物能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡下師岡	長岡長谷部	二本木	駒形富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できるし、している	2,013 83.0	130 81.8	204 78.8	383 81.0	41 93.2	42 84.0	136 86.1	114 83.8
できるけどしていない	262 10.8	22 13.8	32 12.4	52 11.0	1 2.3	6 12.0	12 7.6	15 11.0
できない	62 2.6	3 1.9	14 5.4	22 4.7	0 0.0	2 4.0	2 1.3	3 2.2
無回答	89 3.7	4 2.5	9 3.5	16 3.4	2 4.5	0 0.0	8 5.1	4 2.9

	高根	富士山栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎東松原	箱根ヶ崎西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
できるし、している	114 81.4	19 76.0	33 84.6	60 89.6	148 87.6	74 80.4	175 80.6	281 85.9
できるけどしていない	22 15.7	2 8.0	2 5.1	3 4.5	13 7.7	13 14.1	30 13.8	32 9.8
できない	1 0.7	3 12.0	0 0.0	1 1.5	2 1.2	0 0.0	3 1.4	6 1.8
無回答	3 2.1	1 4.0	4 10.3	3 4.5	6 3.6	5 5.4	9 4.1	8 2.4

4-問3（1）【問3で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】

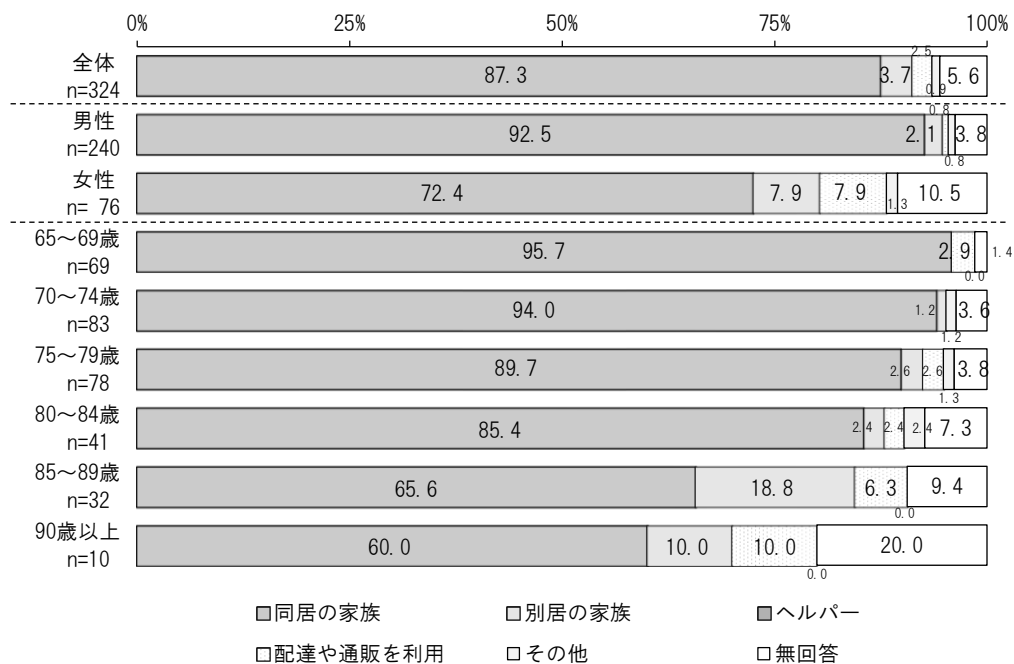
食品・日用品の買物は主にどなたに頼んでいますか（○は1つ）

全体では、「同居の家族」が87.3%と8割以上となっています。

性別にみると、「同居の家族」は男性が20.1ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「同居の家族」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-35-1 食品・日用品の買物の担い手（性別・年齢階級別）



図表 2-35-2 食品・日用品の買物の担い手（地区別）

上段：人/下段：%

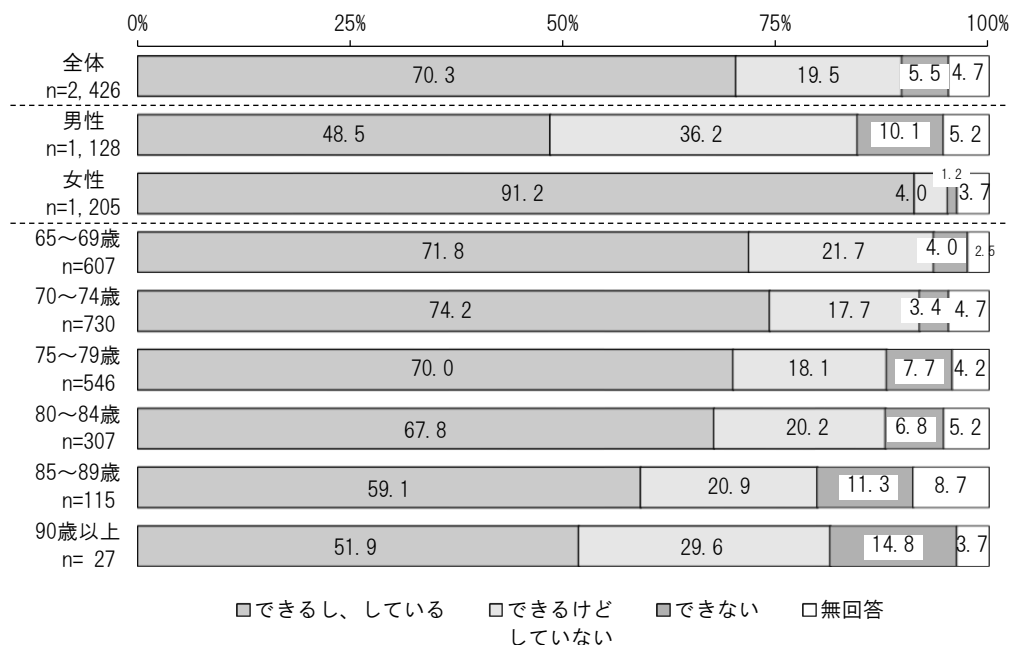
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	324	25	46	74	1	8	14	18
同居の家族	283 87.3	22 88.0	41 89.1	64 86.5	1 100.0	8 100.0	12 85.7	16 88.9
別居の家族	12 3.7	1 4.0	3 6.5	4 5.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ヘルパー	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
配達や通販を利用	8 2.5	2 8.0	1 2.2	1 1.4	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
その他	3 0.9	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	18 5.6	0 0.0	1 2.2	4 5.4	0 0.0	0 0.0	1 7.1	2 11.1

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	23	5	2	4	15	13	33	38
同居の家族	19 82.6	2 40.0	2 100.0	4 100.0	13 86.7	12 92.3	30 90.9	33 86.8
別居の家族	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	2 5.3
ヘルパー	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
配達や通販を利用	2 8.7	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0
無回答	1 4.3	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 7.7	1 3.0	3 7.9

4-問4 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が70.3%となっています。
性別にみると、「できるし、している」は男性が42.7ポイント低くなっています。
年齢階級別にみると、70～74歳をピークに加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-36-1 食事の用意能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-36-2 食事の用意能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できるし、している	1,706 70.3	109 68.6	164 63.3	322 68.1	33 75.0	32 64.0	124 78.5	95 69.9
できるけどしていない	474 19.5	34 21.4	68 26.3	99 20.9	7 15.9	12 24.0	16 10.1	29 21.3
できない	133 5.5	12 7.5	14 5.4	30 6.3	1 2.3	5 10.0	10 6.3	11 8.1
無回答	113 4.7	4 2.5	13 5.0	22 4.7	3 6.8	1 2.0	8 5.1	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
できるし、している	96 68.6	15 60.0	26 66.7	45 67.2	129 76.3	56 60.9	162 74.7	252 77.1
できるけどしていない	29 20.7	4 16.0	8 20.5	15 22.4	26 15.4	23 25.0	42 19.4	49 15.0
できない	8 5.7	4 16.0	1 2.6	1 1.5	8 4.7	4 4.3	5 2.3	15 4.6
無回答	7 5.0	2 8.0	4 10.3	6 9.0	6 3.6	9 9.8	8 3.7	11 3.4

4-問4 (1) 【問4で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】

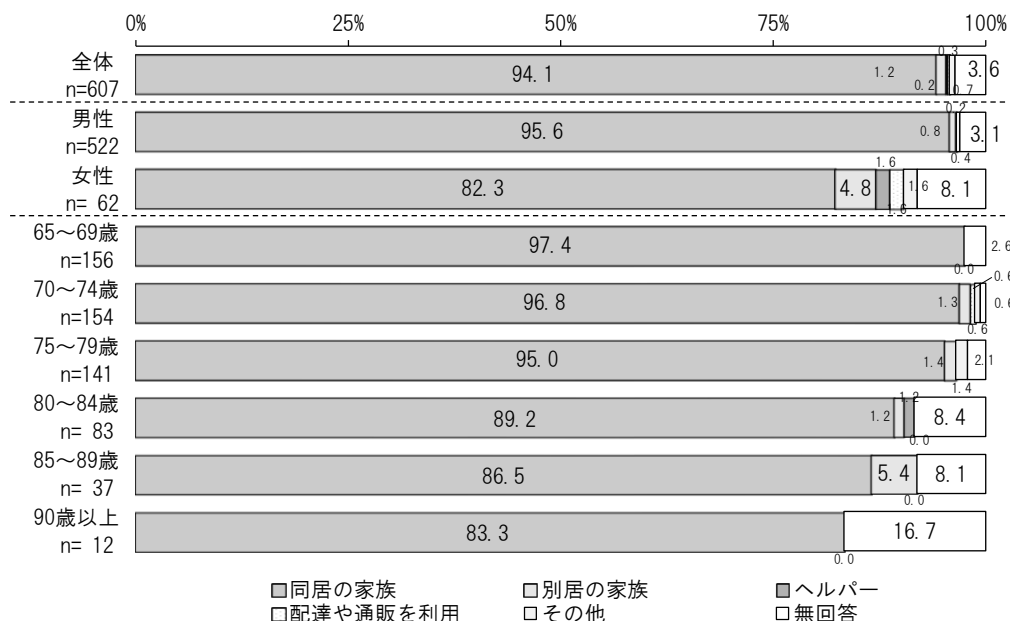
食事の用意は主にどなたに頼んでいますか (○は1つ)

全体では、「同居の家族」が94.1%で、9割以上となっています。

性別にみると、「同居の家族」は男性が13.3ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「同居の家族」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-37-1 食事の用意の担い手 (性別・年齢階級別)



図表 2-37-2 食事の用意の担い手 (地区別)

上段：人/下段：%

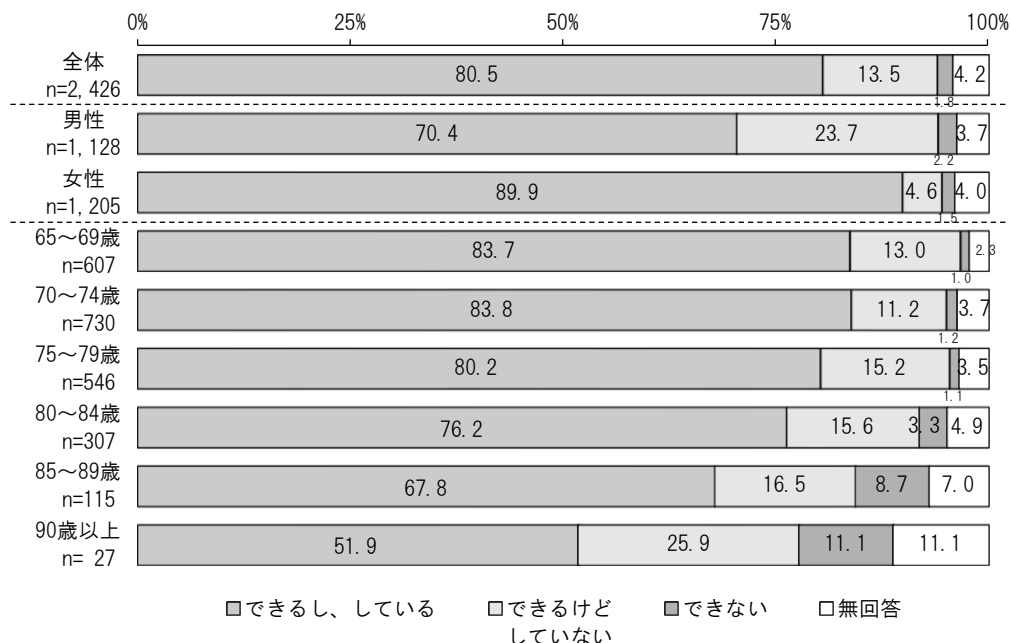
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	607	46	82	129	8	17	26	40
同居の家族	571 94.1	44 95.7	75 91.5	123 95.3	8 100.0	15 88.2	26 100.0	34 85.0
別居の家族	7 1.2	0 0.0	3 3.7	2 1.6	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 2.5
ヘルパー	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
配達や通販を利用	2 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	4 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	22 3.6	2 4.3	4 4.9	3 2.3	0 0.0	1 5.9	0 0.0	5 12.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	37	8	9	16	34	27	47	64
同居の家族	37 100.0	6 75.0	8 88.9	16 100.0	33 97.1	24 88.9	47 100.0	60 93.8
別居の家族	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ヘルパー	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
配達や通販を利用	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	1 12.5	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	2 7.4	0 0.0	3 4.7

4-問5 自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が80.5%となっています。
性別にみると、「できるし、している」は男性が19.5ポイント低くなっています。
年齢階級別にみると、「できるし、している」は70～74歳をピークに加齢とともに低くなっています。

図表 2-38-1 請求書の支払い能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-38-2 請求書の支払い能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

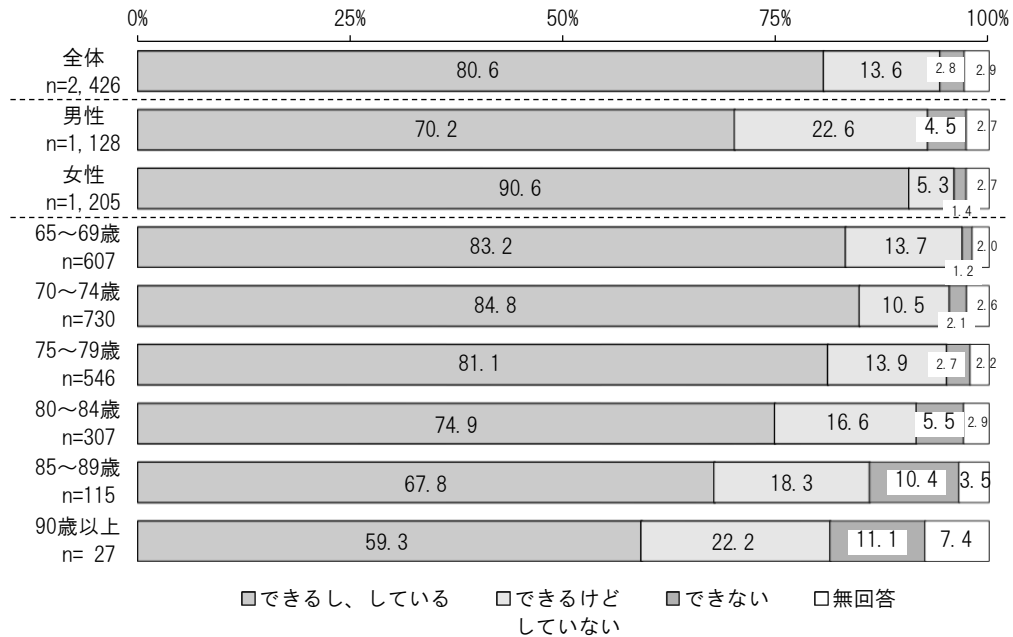
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できるし、している	1,952 80.5	125 78.6	199 76.8	374 79.1	37 84.1	41 82.0	134 84.8	112 82.4
できるけどしていない	328 13.5	23 14.5	45 17.4	65 13.7	4 9.1	7 14.0	18 11.4	18 13.2
できない	44 1.8	6 3.8	5 1.9	13 2.7	1 2.3	2 4.0	0 0.0	1 0.7
無回答	102 4.2	5 3.1	10 3.9	21 4.4	2 4.5	0 0.0	6 3.8	5 3.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
できるし、している	110 78.6	21 84.0	28 71.8	53 79.1	141 83.4	69 75.0	185 85.3	269 82.3
できるけどしていない	20 14.3	2 8.0	8 20.5	8 11.9	21 12.4	17 18.5	23 10.6	42 12.8
できない	5 3.6	0 0.0	0 0.0	2 3.0	1 0.6	0 0.0	2 0.9	6 1.8
無回答	5 3.6	2 8.0	3 7.7	4 6.0	6 3.6	6 6.5	7 3.2	10 3.1

4-問6 自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が80.6%、「できない」は2.8%となっています。
性別にみると、「できるし、している」は男性が20.4ポイント低くなっています。
年齢階級別にみると、「できるし、している」は70～74歳をピークに加齢とともに低くなっています。

図表 2-39-1 預貯金の出し入れ能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-39-2 預貯金の出し入れ能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できるし、している	1,956 80.6	132 83.0	205 79.2	375 79.3	34 77.3	39 78.0	131 82.9	110 80.9
できるけどしていない	331 13.6	19 11.9	39 15.1	69 14.6	7 15.9	8 16.0	20 12.7	19 14.0
できない	69 2.8	4 2.5	9 3.5	15 3.2	3 6.8	3 6.0	2 1.3	5 3.7
無回答	70 2.9	4 2.5	6 2.3	14 3.0	0 0.0	0 0.0	5 3.2	2 1.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
できるし、している	108 77.1	17 68.0	27 69.2	56 83.6	144 85.2	71 77.2	180 82.9	274 83.8
できるけどしていない	24 17.1	3 12.0	8 20.5	8 11.9	16 9.5	13 14.1	30 13.8	37 11.3
できない	5 3.6	4 16.0	1 2.6	1 1.5	4 2.4	2 2.2	2 0.9	9 2.8
無回答	3 2.1	1 4.0	3 7.7	2 3.0	5 3.0	6 6.5	5 2.3	7 2.1

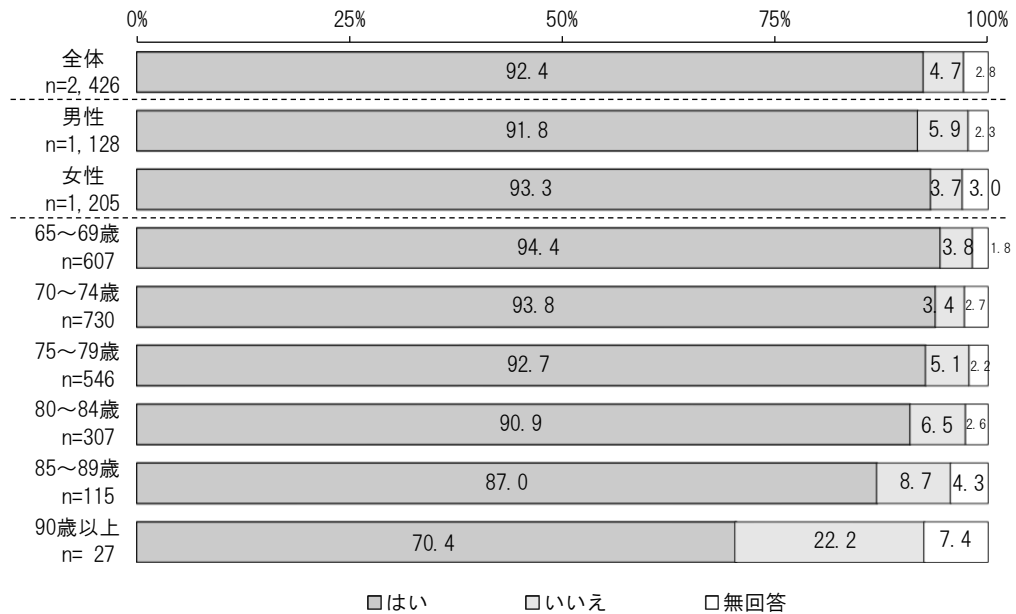
4-問7 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（○は1つ）

全体では、「はい」が92.4%と、自分で電話番号を調べて電話をかけている人は約9割となっています。

性別にみると、自分で電話番号を調べて電話をかけている人は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、自分で電話番号を調べて電話をかけている人は加齢とともに低くなっています。

図表 2-40-1 電話をかけることの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-40-2 電話をかけることの有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	2,242 92.4	148 93.1	240 92.7	434 91.8	38 86.4	48 96.0	150 94.9	131 96.3
いいえ	115 4.7	8 5.0	13 5.0	26 5.5	5 11.4	2 4.0	3 1.9	4 2.9
無回答	69 2.8	3 1.9	6 2.3	13 2.7	1 2.3	0 0.0	5 3.2	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	127 90.7	22 88.0	34 87.2	62 92.5	156 92.3	85 92.4	203 93.5	301 92.0
いいえ	10 7.1	2 8.0	2 5.1	3 4.5	8 4.7	1 1.1	9 4.1	18 5.5
無回答	3 2.1	1 4.0	3 7.7	2 3.0	5 3.0	6 6.5	5 2.3	8 2.4

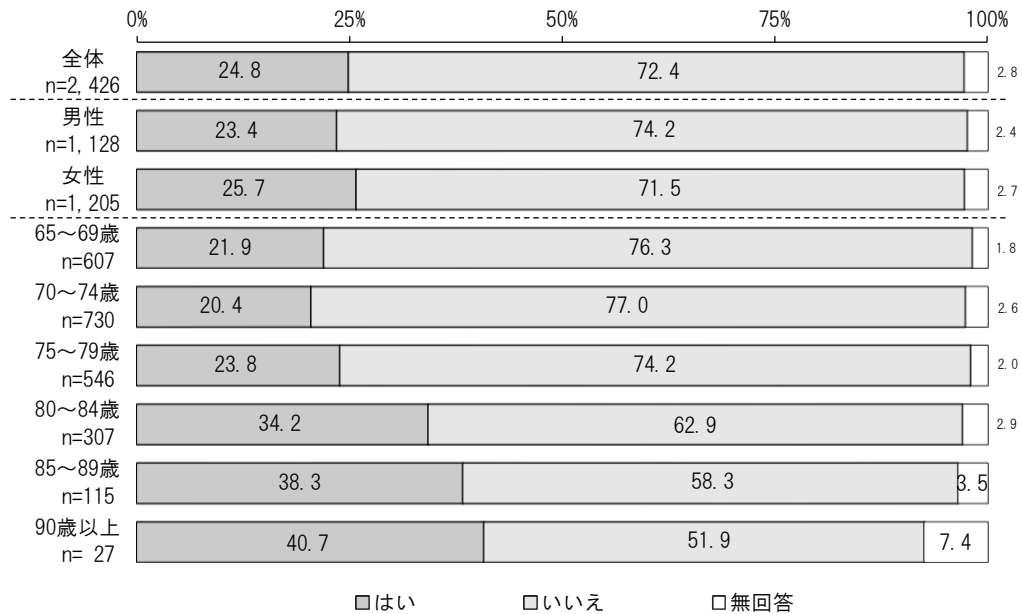
4-問8 今日が何月何日かわからない時がありますか（○は1つ）

全体では、「はい」が24.8%と、今日が何月何日かわからない時がある人は2割強となっています。

性別にみると、今日が何月何日かわからない時がある人は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、今日が何月何日かわからない時がある人は70～74歳から加齢とともに高くなっています。

図表 2-41-1 日付把握の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-41-2 日付把握の有無（地区別）

上段：人/下段：%

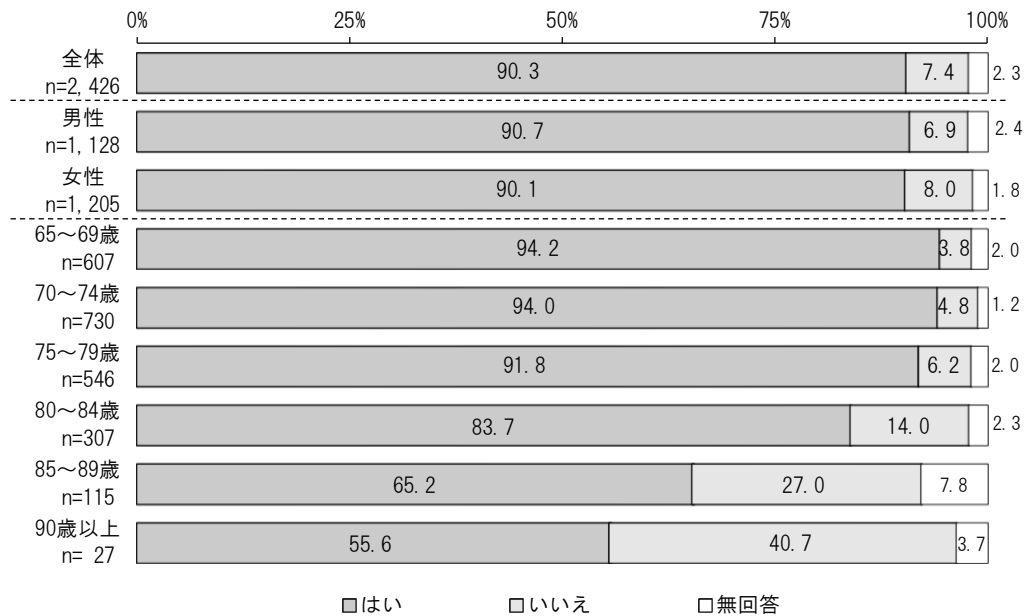
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	602 24.8	42 26.4	58 22.4	113 23.9	8 18.2	11 22.0	49 31.0	40 29.4
いいえ	1,757 72.4	114 71.7	194 74.9	346 73.2	36 81.8	39 78.0	104 65.8	95 69.9
無回答	67 2.8	3 1.9	7 2.7	14 3.0	0 0.0	0 0.0	5 3.2	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	40 28.6	7 28.0	11 28.2	18 26.9	33 19.5	14 15.2	50 23.0	88 26.9
いいえ	98 70.0	17 68.0	25 64.1	47 70.1	132 78.1	73 79.3	161 74.2	232 70.9
無回答	2 1.4	1 4.0	3 7.7	2 3.0	4 2.4	5 5.4	6 2.8	7 2.1

4-問9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）

全体では、「はい」が90.3%と、年金などの書類が書ける人は約9割となっています。
性別にみると、年金などの書類が書ける人は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、年金などの書類が書ける人は加齢とともに低くなっています。

図表 2-42-1 年金などの書類記入能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-42-2 年金などの書類記入能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

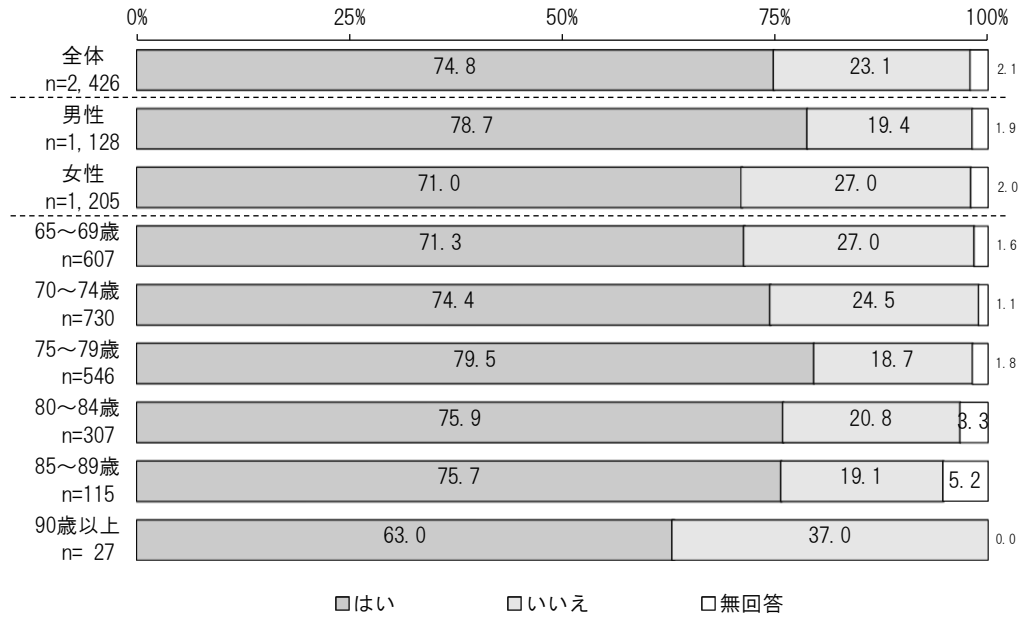
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	2,190 90.3	136 85.5	232 89.6	425 89.9	39 88.6	45 90.0	146 92.4	127 93.4
いいえ	180 7.4	18 11.3	21 8.1	39 8.2	5 11.4	4 8.0	8 5.1	7 5.1
無回答	56 2.3	5 3.1	6 2.3	9 1.9	0 0.0	1 2.0	4 2.5	2 1.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	122 87.1	19 76.0	37 94.9	63 94.0	157 92.9	89 96.7	199 91.7	288 88.1
いいえ	11 7.9	6 24.0	1 2.6	4 6.0	8 4.7	2 2.2	14 6.5	30 9.2
無回答	7 5.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	4 2.4	1 1.1	4 1.8	9 2.8

4-問10 新聞を読んでいますか（○は1つ）

全体では、「はい」が74.8%と、新聞を読んでいる人は7割以上となっています。
性別にみると、新聞を読んでいる人は男性が7.7ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、新聞を読んでいる人は75～79歳で79.5%と最も高くなっています。

図表 2-43-1 新聞読書の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-43-2 新聞読書の有無（地区別）

上段：人/下段：%

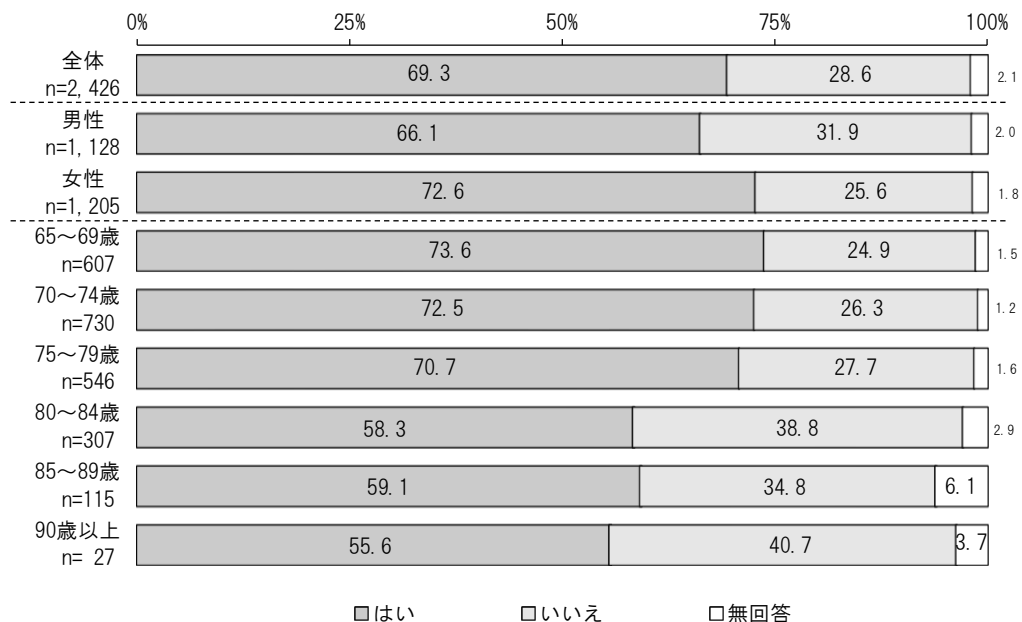
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	1,814 74.8	112 70.4	208 80.3	361 76.3	32 72.7	36 72.0	112 70.9	110 80.9
いいえ	561 23.1	43 27.0	44 17.0	102 21.6	12 27.3	14 28.0	41 25.9	25 18.4
無回答	51 2.1	4 2.5	7 2.7	10 2.1	0 0.0	0 0.0	5 3.2	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	96 68.6	19 76.0	28 71.8	48 71.6	131 77.5	73 79.3	158 72.8	237 72.5
いいえ	39 27.9	6 24.0	10 25.6	19 28.4	36 21.3	19 20.7	55 25.3	83 25.4
無回答	5 3.6	0 0.0	1 2.6	0 0.0	2 1.2	0 0.0	4 1.8	7 2.1

4-問 11 本や雑誌を読んでいますか（○は1つ）

全体では、「はい」が69.3%と、本や雑誌を読んでいる人は約7割となっています。
性別にみると、本や雑誌を読んでいる人は女性が6.5ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、本や雑誌を読んでいる人は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-44-1 本や雑誌の閲読の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-44-2 本や雑誌の閲読の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	1,681 69.3	108 67.9	169 65.3	338 71.5	28 63.6	34 68.0	115 72.8	96 70.6
いいえ	695 28.6	45 28.3	84 32.4	126 26.6	16 36.4	16 32.0	40 25.3	39 28.7
無回答	50 2.1	6 3.8	6 2.3	9 1.9	0 0.0	0 0.0	3 1.9	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	95 67.9	16 64.0	25 64.1	38 56.7	128 75.7	63 68.5	155 71.4	228 69.7
いいえ	41 29.3	8 32.0	12 30.8	28 41.8	39 23.1	29 31.5	57 26.3	92 28.1
無回答	4 2.9	1 4.0	2 5.1	1 1.5	2 1.2	0 0.0	5 2.3	7 2.1

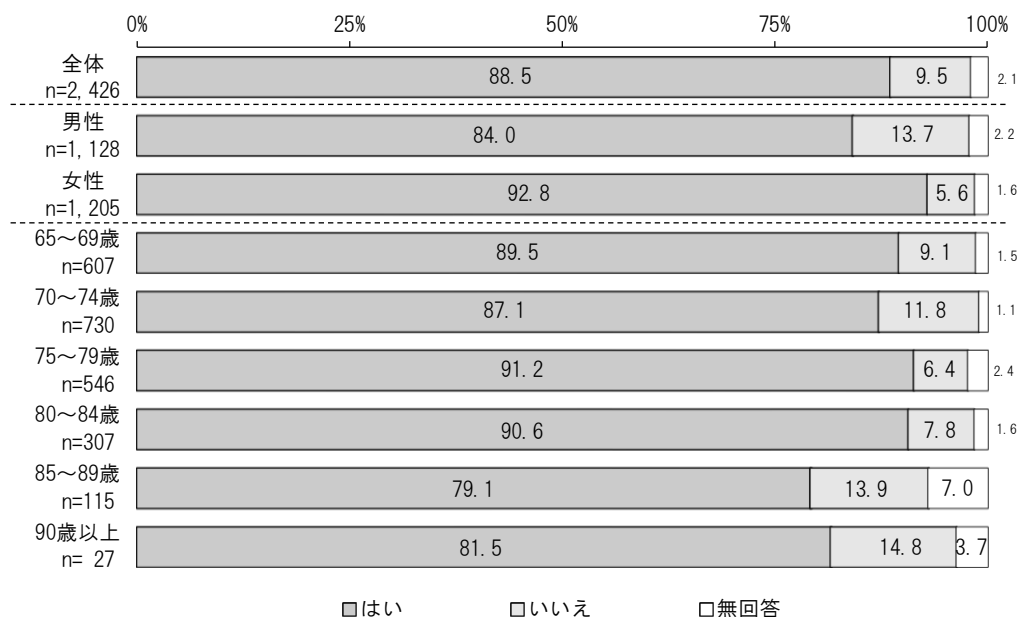
4-問12 健康についての記事や番組に関心がありますか（○は1つ）

全体では、「はい」が88.5%と、健康についての記事や番組に関心がある人は9割弱となっています。

性別にみると、健康についての記事や番組に関心がある人は女性が8.8ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、健康についての記事や番組に関心がある人は75～84歳で90%を超えています。

図表 2-45-1 健康についての記事や番組への関心の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-45-2 健康についての記事や番組への関心の有無（地区別） 上段：人/下段：%

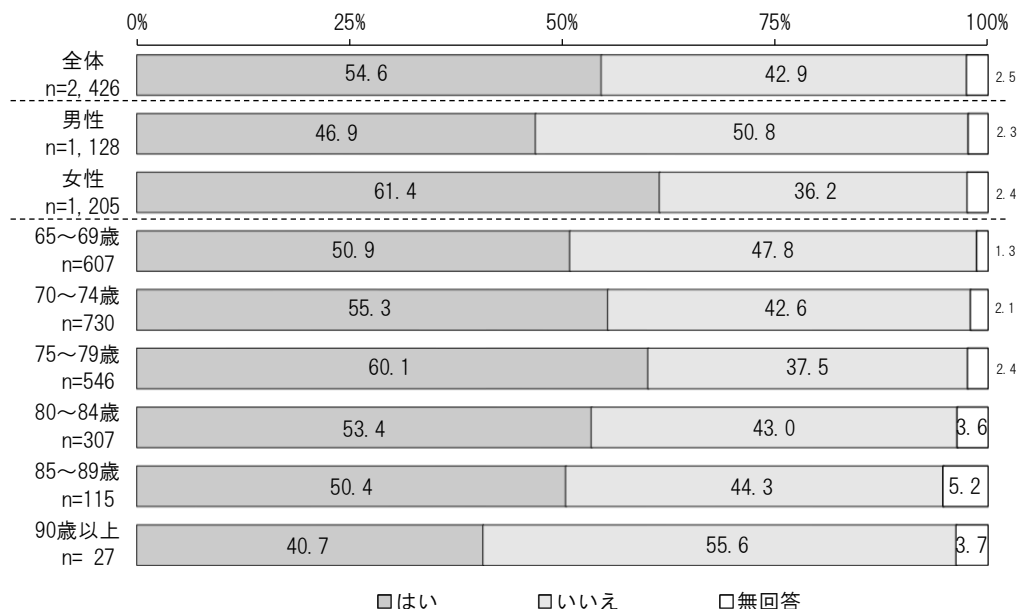
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	2,146 88.5	134 84.3	229 88.4	420 88.8	44 100.0	43 86.0	143 90.5	119 87.5
いいえ	230 9.5	19 11.9	23 8.9	44 9.3	0 0.0	7 14.0	12 7.6	16 11.8
無回答	50 2.1	6 3.8	7 2.7	9 1.9	0 0.0	0 0.0	3 1.9	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	116 82.9	23 92.0	36 92.3	60 89.6	150 88.8	84 91.3	195 89.9	288 88.1
いいえ	19 13.6	2 8.0	2 5.1	5 7.5	17 10.1	8 8.7	19 8.8	31 9.5
無回答	5 3.6	0 0.0	1 2.6	2 3.0	2 1.2	0 0.0	3 1.4	8 2.4

4-問 13 友人の家を訪ねていますか（○は1つ）

全体では、「はい」が54.6%と、友人の家へ訪問している人は5割以上となっています。性別にみると、友人の家へ訪問している人は男性が14.5ポイント低くなっています。年齢階級別にみると、友人の家へ訪問している人は75～79歳をピークに加齢とともに低くなっています。

図表 2-46-1 友人の家へ訪問の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-46-2 友人の家へ訪問の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	1,325 54.6	85 53.5	148 57.1	265 56.0	28 63.6	32 64.0	88 55.7	85 62.5
いいえ	1,040 42.9	70 44.0	104 40.2	197 41.6	16 36.4	18 36.0	65 41.1	49 36.0
無回答	61 2.5	4 2.5	7 2.7	11 2.3	0 0.0	0 0.0	5 3.2	2 1.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	65 46.4	11 44.0	22 56.4	35 52.2	89 52.7	49 53.3	108 49.8	172 52.6
いいえ	70 50.0	13 52.0	15 38.5	30 44.8	78 46.2	43 46.7	103 47.5	144 44.0
無回答	5 3.6	1 4.0	2 5.1	2 3.0	2 1.2	0 0.0	6 2.8	11 3.4

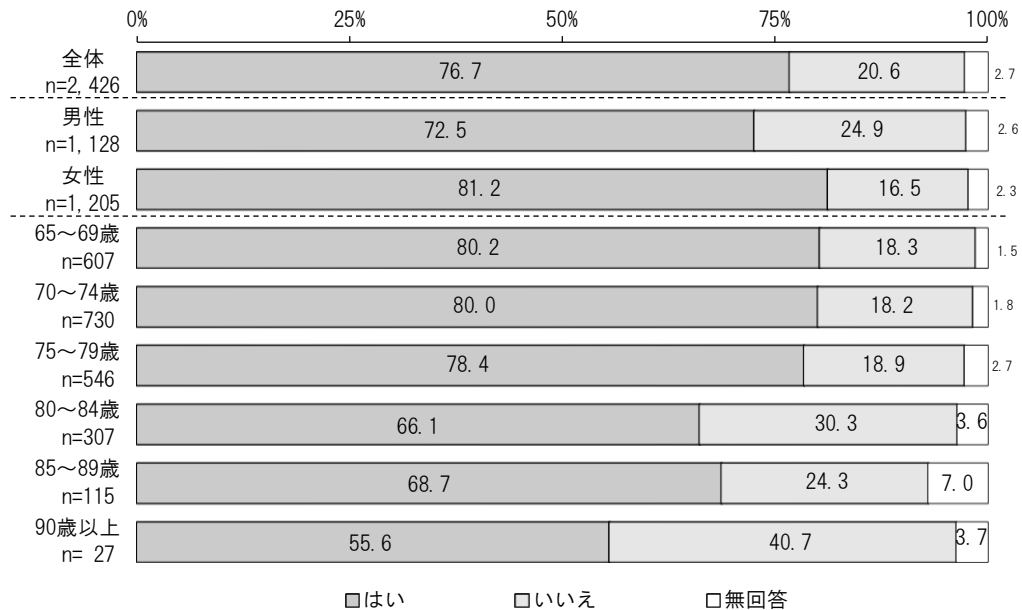
4-問 14 家族や友人の相談にのっていますか（○は1つ）

全体では、「はい」が76.7%と、家族や友人の相談にのっている人は8割弱となっています。

性別にみると、家族や友人の相談にのっている人は男性が8.7ポイント低くなっています。

年齢階級別にみると、家族や友人の相談にのっている人は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-47-1 家族や友人の相談にのることの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-47-2 家族や友人の相談にのることの有無（地区別）

上段：人/下段：%

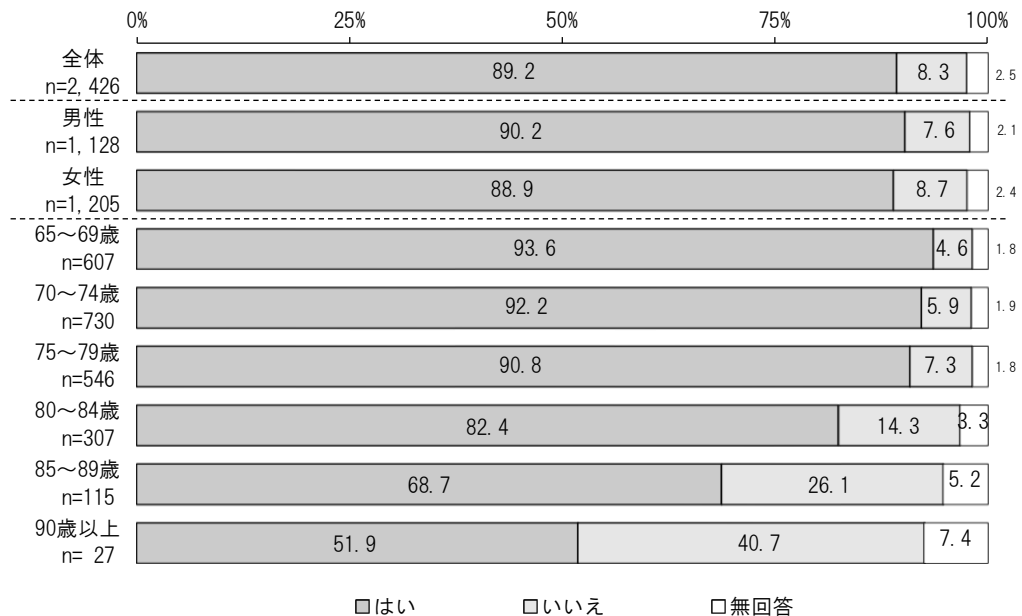
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	1,860 76.7	113 71.1	203 78.4	357 75.5	39 88.6	40 80.0	122 77.2	115 84.6
いいえ	500 20.6	41 25.8	48 18.5	103 21.8	5 11.4	10 20.0	32 20.3	19 14.0
無回答	66 2.7	5 3.1	8 3.1	13 2.7	0 0.0	0 0.0	4 2.5	2 1.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	100 71.4	20 80.0	28 71.8	49 73.1	139 82.2	78 84.8	165 76.0	240 73.4
いいえ	33 23.6	4 16.0	10 25.6	17 25.4	26 15.4	13 14.1	48 22.1	77 23.5
無回答	7 5.0	1 4.0	1 2.6	1 1.5	4 2.4	1 1.1	4 1.8	10 3.1

4-問 15 病人を見舞うことができますか（○は1つ）

全体では、「はい」が89.2%と、病人を見舞うことができる人は約9割となっています。
性別にみると、病人を見舞うことができる人は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、病人を見舞うことができる人は加齢とともに低くなっています。

図表 2-48-1 病人を見舞う能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-48-2 病人を見舞う能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	2,165 89.2	136 85.5	231 89.2	424 89.6	40 90.9	46 92.0	141 89.2	125 91.9
いいえ	201 8.3	19 11.9	22 8.5	39 8.2	3 6.8	4 8.0	12 7.6	9 6.6
無回答	60 2.5	4 2.5	6 2.3	10 2.1	1 2.3	0 0.0	5 3.2	2 1.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	126 90.0	18 72.0	37 94.9	62 92.5	160 94.7	81 88.0	190 87.6	287 87.8
いいえ	10 7.1	7 28.0	1 2.6	4 6.0	7 4.1	8 8.7	20 9.2	31 9.5
無回答	4 2.9	0 0.0	1 2.6	1 1.5	2 1.2	3 3.3	7 3.2	9 2.8

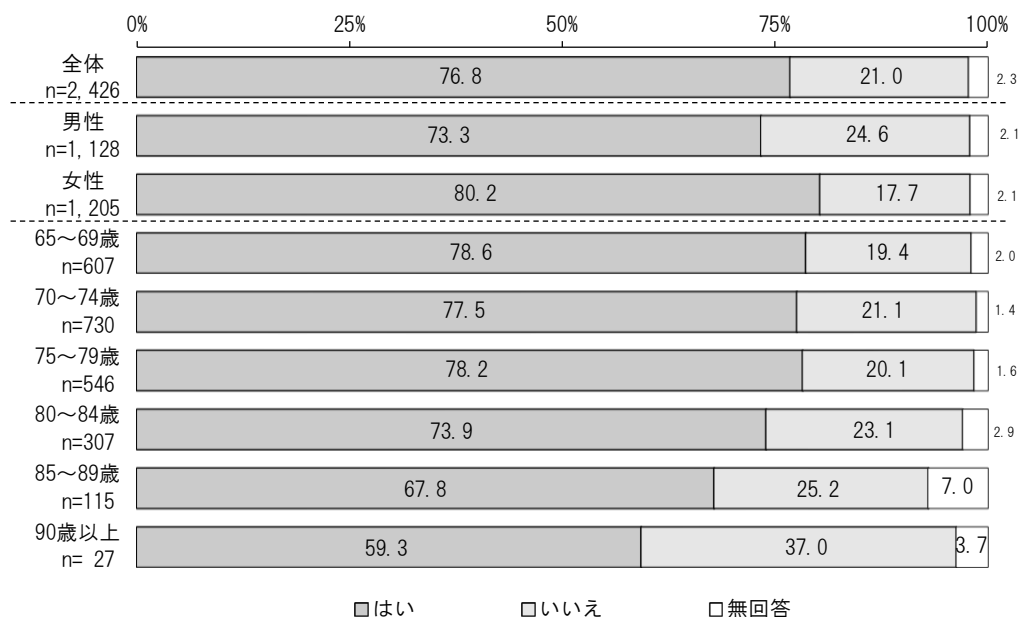
4-問 16 若い人に自分から話しかけることがありますか（○は1つ）

全体では、「はい」が76.8%と、若い人に自分から話しかけることがある人は8割弱となっています。

性別にみると、若い人に自分から話しかけることがある人は女性が6.9ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、若い人に自分から話しかけることがある人は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-49-1 若い人に話しかけることの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-49-2 若い人に話しかけることの有無（地区別）

上段：人/下段：%

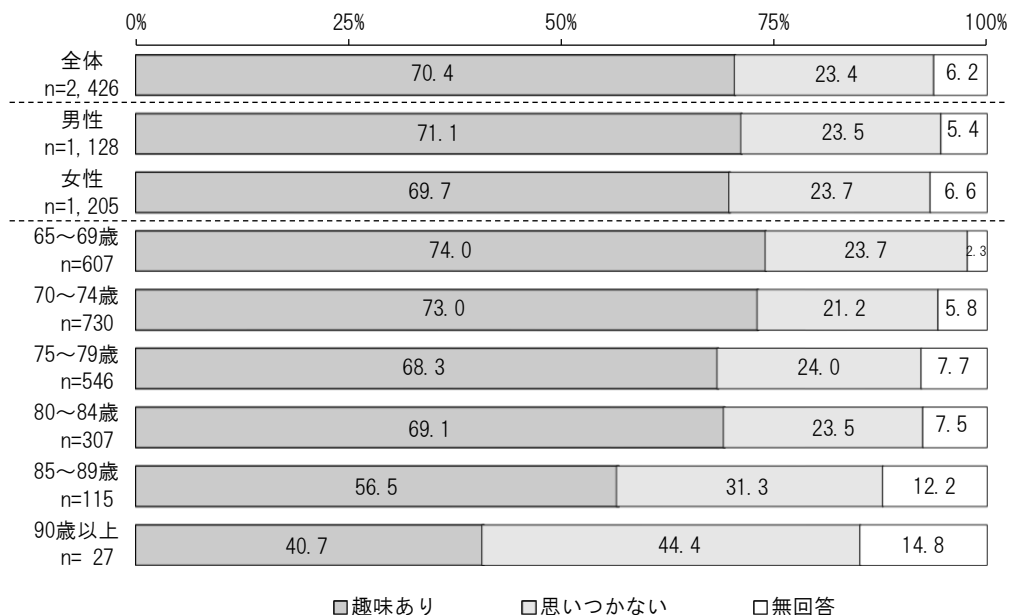
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	1,862 76.8	113 71.1	207 79.9	356 75.3	37 84.1	39 78.0	121 76.6	104 76.5
いいえ	509 21.0	40 25.2	47 18.1	106 22.4	6 13.6	10 20.0	32 20.3	30 22.1
無回答	55 2.3	6 3.8	5 1.9	11 2.3	1 2.3	1 2.0	5 3.2	2 1.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	105 75.0	20 80.0	30 76.9	55 82.1	142 84.0	71 77.2	169 77.9	240 73.4
いいえ	31 22.1	5 20.0	7 17.9	12 17.9	25 14.8	21 22.8	43 19.8	80 24.5
無回答	4 2.9	0 0.0	2 5.1	0 0.0	2 1.2	0 0.0	5 2.3	7 2.1

4-問 17 趣味はありますか（○は1つ）

全体では、「趣味あり」が70.4%となっています。
性別にみると、「趣味あり」は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、「趣味あり」は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-50-1 趣味の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-50-2 趣味の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
趣味あり	1,707 70.4	112 70.4	185 71.4	321 67.9	33 75.0	38 76.0	109 69.0	99 72.8
思いつかない	568 23.4	33 20.8	62 23.9	116 24.5	10 22.7	10 20.0	34 21.5	31 22.8
無回答	151 6.2	14 8.8	12 4.6	36 7.6	1 2.3	2 4.0	15 9.5	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
趣味あり	96 68.6	18 72.0	31 79.5	50 74.6	120 71.0	65 70.7	155 71.4	223 68.2
思いつかない	37 26.4	6 24.0	5 12.8	14 20.9	37 21.9	21 22.8	54 24.9	86 26.3
無回答	7 5.0	1 4.0	3 7.7	3 4.5	12 7.1	6 6.5	8 3.7	18 5.5

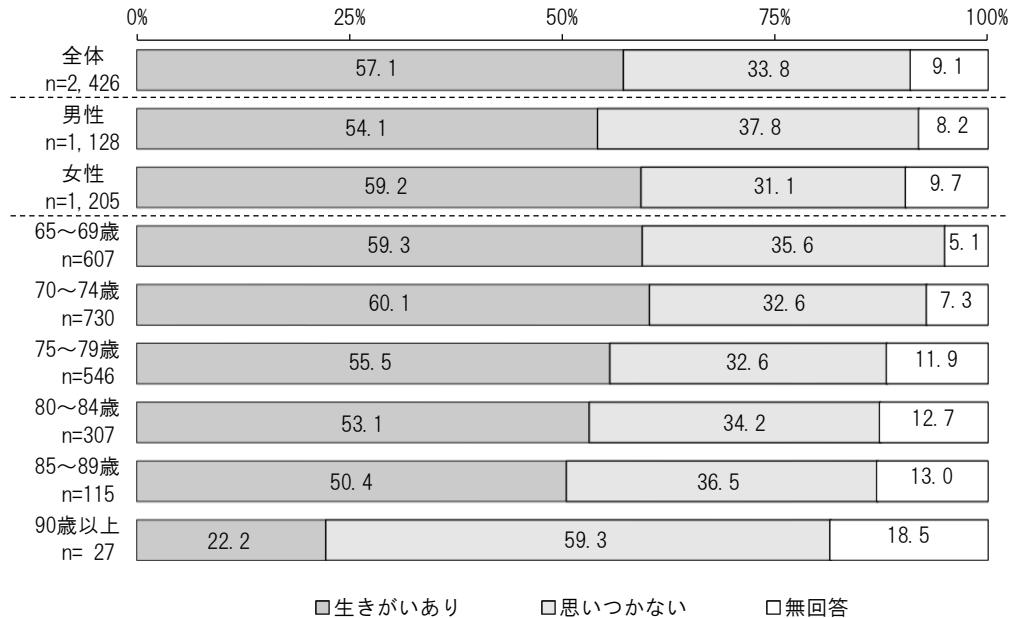
4-問 18 生きがいがありますか（○は1つ）

全体では、「生きがいあり」が57.1%となっています。

性別にみると、「生きがいあり」は女性が5.1ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「生きがいあり」は70～74歳をピークに加齢とともに低くなっています。

図表 2-51-1 生きがいの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-51-2 生きがいの有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
生きがいあり	1,385 57.1	83 52.2	139 53.7	272 57.5	22 50.0	34 68.0	83 52.5	89 65.4
思いつかない	820 33.8	52 32.7	100 38.6	164 34.7	17 38.6	13 26.0	56 35.4	39 28.7
無回答	221 9.1	24 15.1	20 7.7	37 7.8	5 11.4	3 6.0	19 12.0	8 5.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
生きがいあり	74 52.9	13 52.0	22 56.4	42 62.7	106 62.7	51 55.4	125 57.6	184 56.3
思いつかない	52 37.1	10 40.0	12 30.8	21 31.3	47 27.8	35 38.0	70 32.3	116 35.5
無回答	14 10.0	2 8.0	5 12.8	4 6.0	16 9.5	6 6.5	22 10.1	27 8.3

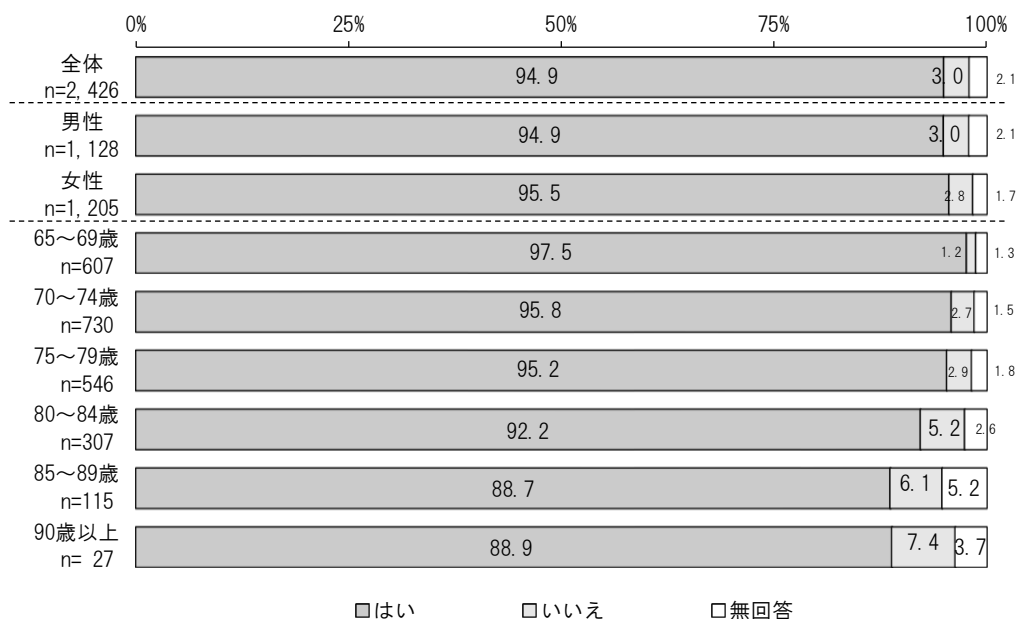
4-問 19 5分前に自分が何をしていたか思い出せますか（○は1つ）

全体では、「はい」が94.9%と、5分前に自分が何をしていたか思い出せる人は9割以上となっています。

性別にみると、5分前に自分が何をしていたか思い出せる人は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、5分前に自分が何をしていたか思い出せる人は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-52-1 5分前の行動の記憶の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-52-2 5分前の行動の記憶の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	2,302 94.9	151 95.0	247 95.4	451 95.3	43 97.7	49 98.0	151 95.6	127 93.4
いいえ	73 3.0	3 1.9	6 2.3	14 3.0	1 2.3	1 2.0	1 0.6	8 5.9
無回答	51 2.1	5 3.1	6 2.3	8 1.7	0 0.0	0 0.0	6 3.8	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	129 92.1	24 96.0	34 87.2	65 97.0	166 98.2	92 100.0	204 94.0	307 93.9
いいえ	7 5.0	1 4.0	4 10.3	1 1.5	1 0.6	0 0.0	8 3.7	13 4.0
無回答	4 2.9	0 0.0	1 2.6	1 1.5	2 1.2	0 0.0	5 2.3	7 2.1

4-問 20 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか

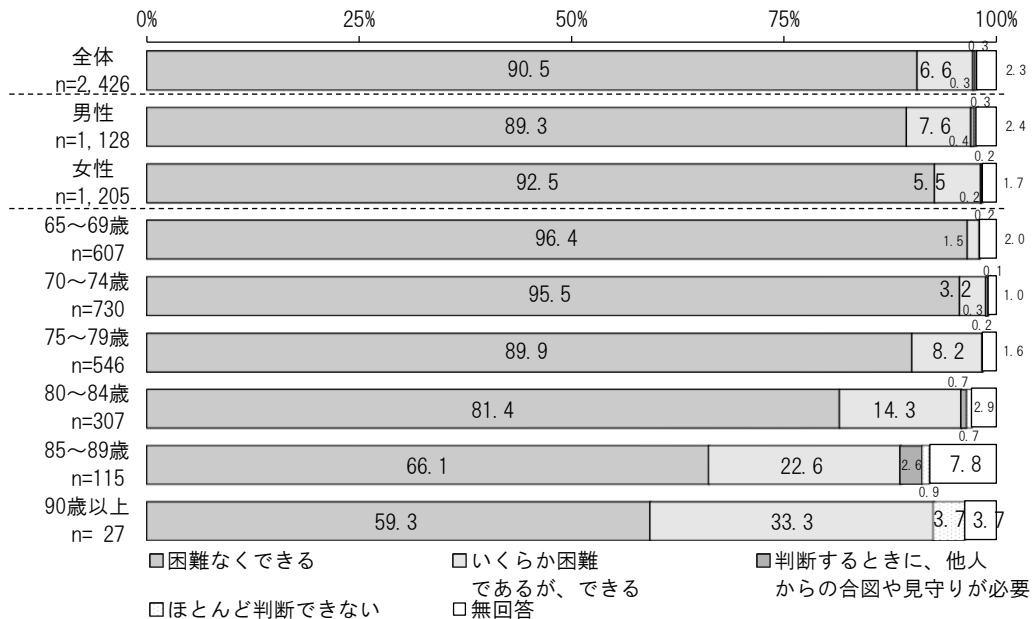
(○は1つ)

全体では、「困難なくできる」が90.5%と、その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で困難なく判断できる人は約9割となっています。

性別にみると、「困難なくできる」は女性が3.2ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「困難なくできる」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-53-1 1日の活動の判断能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-53-2 1日の活動の判断能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡下師岡	長岡長谷部	二本木	駒形富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
困難なくできる	2,196 90.5	142 89.3	229 88.4	426 90.1	41 93.2	47 94.0	142 89.9	123 90.4
いくらか困難であるが、できる	160 6.6	10 6.3	25 9.7	36 7.6	2 4.5	1 2.0	13 8.2	11 8.1
判断するときに、他人からの合図や見守りが必要	7 0.3	1 0.6	0 0.0	1 0.2	0 0.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0
ほとんど判断できない	7 0.3	0 0.0	1 0.4	1 0.2	1 2.3	0 0.0	0 0.0	1 0.7
無回答	56 2.3	6 3.8	4 1.5	9 1.9	0 0.0	0 0.0	3 1.9	1 0.7

	高根	富士山栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎東松原	箱根ヶ崎西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
困難なくできる	125 89.3	21 84.0	38 97.4	60 89.6	157 92.9	87 94.6	199 91.7	295 90.2
いくらか困難であるが、できる	7 5.0	4 16.0	0 0.0	6 9.0	7 4.1	4 4.3	10 4.6	21 6.4
判断するときに、他人からの合図や見守りが必要	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	2 0.6
ほとんど判断できない	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	1 0.3
無回答	7 5.0	0 0.0	1 2.6	1 1.5	4 2.4	1 1.1	7 3.2	8 2.4

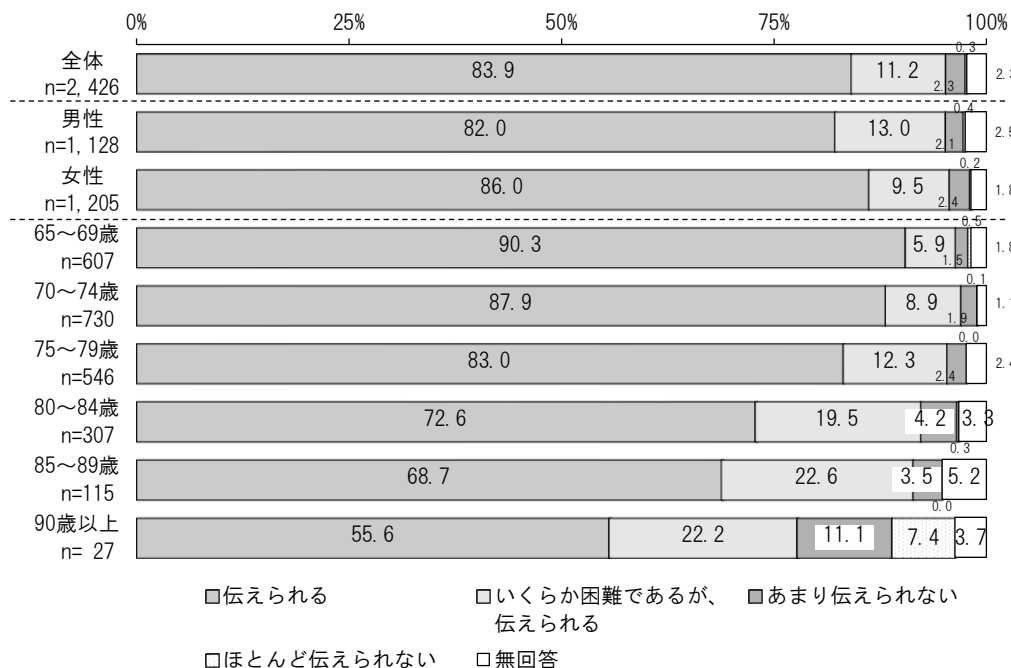
4-問 21 人に自分の考えをうまく伝えられますか（○は1つ）

全体では、「伝えられる」が 83.9%、「いくらか困難であるが、伝えられる」が 11.2% となっています。

性別にみると、「伝えられる」は男性が 4.0 ポイント低くなっています。

年齢階級別にみると、「伝えられる」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-54-1 意思伝達能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-54-2 意思伝達能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

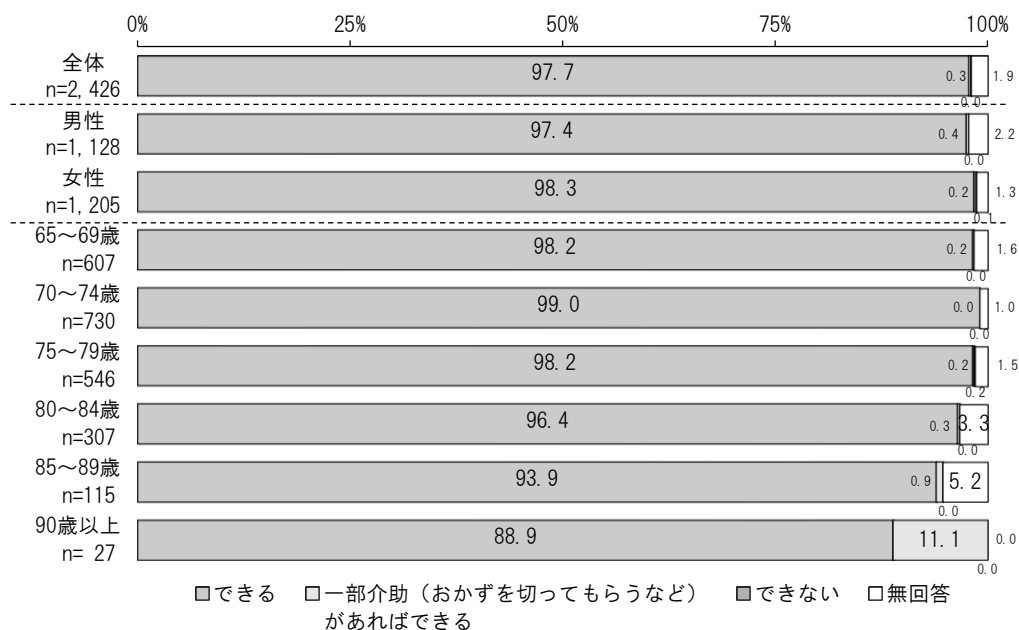
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
伝えられる	2,036 83.9	131 82.4	203 78.4	399 84.4	35 79.5	43 86.0	134 84.8	121 89.0
いくらか困難であるが、 伝えられる	271 11.2	18 11.3	40 15.4	52 11.0	7 15.9	5 10.0	18 11.4	10 7.4
あまり伝えられない	56 2.3	4 2.5	7 2.7	13 2.7	2 4.5	2 4.0	2 1.3	4 2.9
ほとんど伝えられない	7 0.3	0 0.0	2 0.8	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	56 2.3	6 3.8	7 2.7	8 1.7	0 0.0	0 0.0	4 2.5	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
伝えられる	110 78.6	22 88.0	37 94.9	57 85.1	152 89.9	83 90.2	179 82.5	272 83.2
いくらか困難であるが、 伝えられる	17 12.1	2 8.0	0 0.0	9 13.4	12 7.1	6 6.5	26 12.0	40 12.2
あまり伝えられない	5 3.6	0 0.0	1 2.6	1 1.5	3 1.8	1 1.1	6 2.8	5 1.5
ほとんど伝えられない	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	2 0.6
無回答	7 5.0	1 4.0	1 2.6	0 0.0	2 1.2	1 1.1	6 2.8	8 2.4

4-問 22 食事は自分で食べられますか（○は1つ）

全体では、「できる」が97.7%と、自分で食事ができる人は9割以上となっています。
性別にみると、「できる」は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、「できる」は70～74歳をピークに加齢とともに低くなっています。

図表 2-55-1 自力で食事摂取能力の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-55-2 自力で食事摂取能力の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
できる	2,371 97.7	154 96.9	254 98.1	463 97.9	44 100.0	50 100.0	154 97.5	132 97.1
一部介助（おかずを 切ってもらふなど）が あればできる	7 0.3	1 0.6	0 0.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.7
できない	1 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	47 1.9	4 2.5	5 1.9	7 1.5	0 0.0	0 0.0	3 1.9	3 2.2

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
できる	134 95.7	24 96.0	38 97.4	67 100.0	166 98.2	91 98.9	213 98.2	320 97.9
一部介助（おかずを 切ってもらふなど）が あればできる	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
できない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	5 3.6	1 4.0	1 2.6	0 0.0	2 1.2	1 1.1	4 1.8	7 2.1

5 地域での活動について

5-問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

全体では、『参加している』は③趣味関係のグループが27.9%と最も高く、次いで⑨収入のある仕事で26.8%、⑧町内会・自治会が25.6%となっています。

⑨収入のある仕事では、「週4回以上」が14.6%と最も高くなっています。

図表 2-56-1 地域の会・グループ等への参加状況

上段：人/下段：%

全体（n=2,426）	参加している	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	293 12.1	19 0.8	31 1.3	28 1.2	101 4.2	114 4.7	1,449 59.7	684 28.2
②スポーツ関係のグループやクラブ	561 23.1	51 2.1	166 6.8	160 6.6	107 4.4	77 3.2	1,251 51.6	614 25.3
③趣味関係のグループ	678 27.9	49 2.0	111 4.6	145 6.0	246 10.1	127 5.2	1,158 47.7	590 24.3
④学習・教養サークル	207 8.5	5 0.2	21 0.9	35 1.4	69 2.8	77 3.2	1,477 60.9	742 30.6
⑤「にこにこおさらい会」、「ほほえみ自主グループ」などの介護予防のための通いの場	79 3.3	5 0.2	16 0.7	20 0.8	20 0.8	18 0.7	1,621 66.8	726 29.9
⑥地域住民などが集まる交流の場（サロンなど）	250 10.3	9 0.4	18 0.7	18 0.7	76 3.1	129 5.3	1,473 60.7	703 29.0
⑦老人クラブ	209 8.6	21 0.9	21 0.9	25 1.0	83 3.4	59 2.4	1,555 64.1	662 27.3
⑧町内会・自治会	621 25.6	8 0.3	10 0.4	15 0.6	80 3.3	508 20.9	1,132 46.7	673 27.7
⑨収入のある仕事	650 26.8	353 14.6	194 8.0	38 1.6	35 1.4	30 1.2	1,118 46.1	658 27.1
⑩その他の団体や会	407 16.8	16 0.7	35 1.4	34 1.4	126 5.2	196 8.1	1,326 54.7	693 28.6

※①～⑩の会・グループ「全てに参加していない」と答えた人は531人（21.9%）となっています。

地区別にみると、『参加している』は石畑、二本木、高根、箱根ヶ崎東松原、南平では⑨収入のある仕事が3割以上、長岡長谷部、富士山栗原新田では②スポーツ関係のグループやクラブが3割以上、全ての地区で③趣味関係のグループが2割以上となっており、長岡下師岡、駒形富士山が3割以上となっています。ほとんどの地区で⑧町内会・自治会が2割以上となっており、長岡長谷部、二本木、高根が3割以上、富士山栗原新田が48.0%と約半数となっています。

図表 2-56-2 地域の会・グループ等への参加状況（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
①ボランティアのグループ	293 12.1	20 12.6	25 9.7	53 11.2	7 15.9	8 16.0	25 15.8	17 12.5
②スポーツ関係のグループやクラブ	561 23.1	45 28.3	57 22.0	104 22.0	11 25.0	17 34.0	44 27.8	29 21.3
③趣味関係のグループ	678 27.9	36 22.6	68 26.3	137 29.0	15 34.1	13 26.0	43 27.2	44 32.4
④学習・教養サークル	207 8.5	12 7.5	23 8.9	50 10.6	2 4.5	7 14.0	14 8.9	17 12.5
⑤「にこにこおさらい会」、「ほほえみ自主グループ」などの介護予防のための通いの場	79 3.3	7 4.4	12 4.6	11 2.3	2 4.5	3 6.0	6 3.8	5 3.7
⑥地域住民などが集まる交流の場（サロンなど）	250 10.3	23 14.5	22 8.5	38 8.0	6 13.6	8 16.0	19 12.0	11 8.1
⑦老人クラブ	209 8.6	8 5.0	29 11.2	21 4.4	4 9.1	9 18.0	29 18.4	17 12.5
⑧町内会・自治会	621 25.6	33 20.8	77 29.7	131 27.7	10 22.7	15 30.0	49 31.0	37 27.2
⑨収入のある仕事	650 26.8	36 22.6	79 30.5	122 25.8	10 22.7	14 28.0	51 32.3	33 24.3
⑩その他の団体や会	407 16.8	25 15.7	48 18.5	80 16.9	7 15.9	11 22.0	26 16.5	24 17.6

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
①ボランティアのグループ	22 15.7	3 12.0	3 7.7	8 11.9	26 15.4	10 10.9	24 11.1	35 10.7
②スポーツ関係のグループやクラブ	29 20.7	9 36.0	6 15.4	13 19.4	35 20.7	22 23.9	51 23.5	67 20.5
③趣味関係のグループ	40 28.6	7 28.0	11 28.2	18 26.9	46 27.2	24 26.1	58 26.7	88 26.9
④学習・教養サークル	12 8.6	2 8.0	4 10.3	3 4.5	12 7.1	4 4.3	18 8.3	21 6.4
⑤「にこにこおさらい会」、「ほほえみ自主グループ」などの介護予防のための通いの場	3 2.1	1 4.0	1 2.6	1 1.5	4 2.4	2 2.2	6 2.8	11 3.4
⑥地域住民などが集まる交流の場（サロンなど）	18 12.9	6 24.0	7 17.9	7 10.4	14 8.3	7 7.6	18 8.3	35 10.7
⑦老人クラブ	9 6.4	6 24.0	0 0.0	3 4.5	11 6.5	7 7.6	27 12.4	24 7.3
⑧町内会・自治会	47 33.6	12 48.0	9 23.1	15 22.4	34 20.1	14 15.2	36 16.6	88 26.9
⑨収入のある仕事	50 35.7	6 24.0	10 25.6	21 31.3	40 23.7	29 31.5	49 22.6	80 24.5
⑩その他の団体や会	28 20.0	4 16.0	6 15.4	10 14.9	23 13.6	18 19.6	33 15.2	49 15.0

※参加している（「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた）人数及び割合

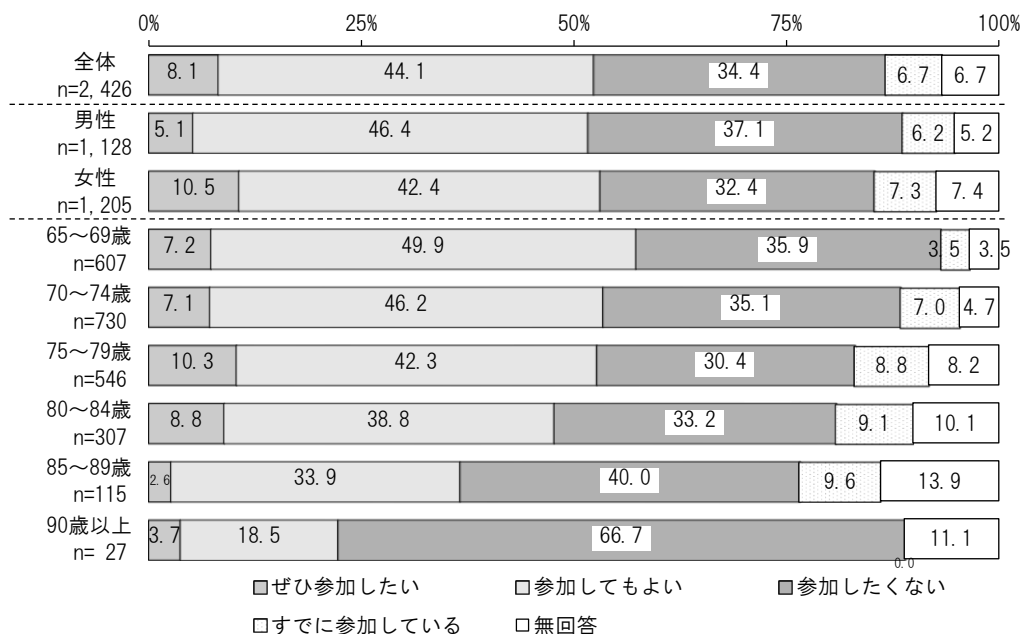
5-問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

全体では、『参加の意向』（「ぜひ参加したい」＋「参加してもよい」）が52.2%となっています。

性別にみると、「ぜひ参加したい」は女性が5.4ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、『参加の意向』は加齢とともに低くなっています。

図表 2-57-1 地域のグループ活動への参加意向（性別・年齢階級別）



図表 2-57-2 地域のグループ活動への参加意向（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
ぜひ参加したい	197 8.1	22 13.8	17 6.6	33 7.0	3 6.8	1 2.0	13 8.2	17 12.5
参加してもよい	1,069 44.1	61 38.4	126 48.6	221 46.7	20 45.5	26 52.0	66 41.8	61 44.9
参加したくない	834 34.4	53 33.3	90 34.7	167 35.3	12 27.3	17 34.0	56 35.4	43 31.6
すでに参加している	163 6.7	11 6.9	13 5.0	26 5.5	7 15.9	4 8.0	11 7.0	8 5.9
無回答	163 6.7	12 7.5	13 5.0	26 5.5	2 4.5	2 4.0	12 7.6	7 5.1

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
ぜひ参加したい	13 9.3	2 8.0	3 7.7	10 14.9	8 4.7	7 7.6	23 10.6	12 3.7
参加してもよい	62 44.3	11 44.0	18 46.2	25 37.3	83 49.1	37 40.2	84 38.7	139 42.5
参加したくない	54 38.6	6 24.0	12 30.8	26 38.8	55 32.5	39 42.4	68 31.3	120 36.7
すでに参加している	8 5.7	1 4.0	2 5.1	2 3.0	12 7.1	6 6.5	22 10.1	27 8.3
無回答	3 2.1	5 20.0	4 10.3	4 6.0	11 6.5	3 3.3	20 9.2	29 8.9

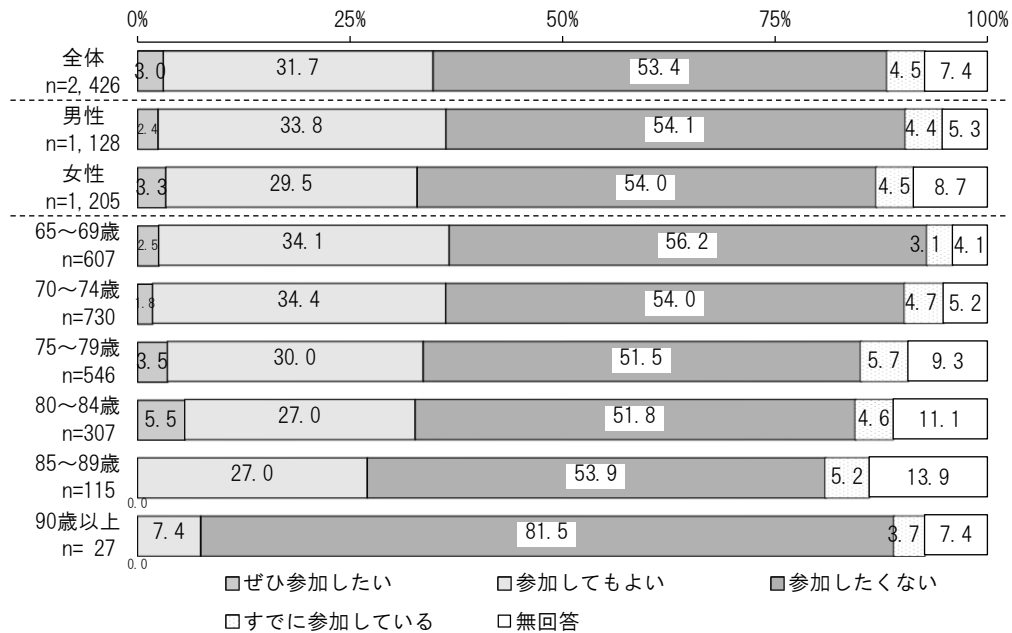
5-問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

全体では、『参加の意向』（「ぜひ参加したい」＋「参加してもよい」）が34.7%となっています。

性別にみると、『参加の意向』は女性が3.4ポイント低くなっています。

年齢階級別にみると、『参加の意向』は加齢とともに低くなっています。

図表 2-58-1 地域のグループ活動への企画・運営としての参加意向（性別・年齢階級別）



図表 2-58-2 地域のグループ活動への企画・運営としての参加意向（地区別） 上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
ぜひ参加したい	73 3.0	10 6.3	10 3.9	7 1.5	0 0.0	1 2.0	7 4.4	6 4.4
参加してもよい	768 31.7	45 28.3	82 31.7	157 33.2	16 36.4	16 32.0	44 27.8	44 32.4
参加したくない	1,296 53.4	77 48.4	142 54.8	256 54.1	22 50.0	28 56.0	86 54.4	75 55.1
すでに参加している	110 4.5	10 6.3	10 3.9	22 4.7	3 6.8	3 6.0	9 5.7	3 2.2
無回答	179 7.4	17 10.7	15 5.8	31 6.6	3 6.8	2 4.0	12 7.6	8 5.9

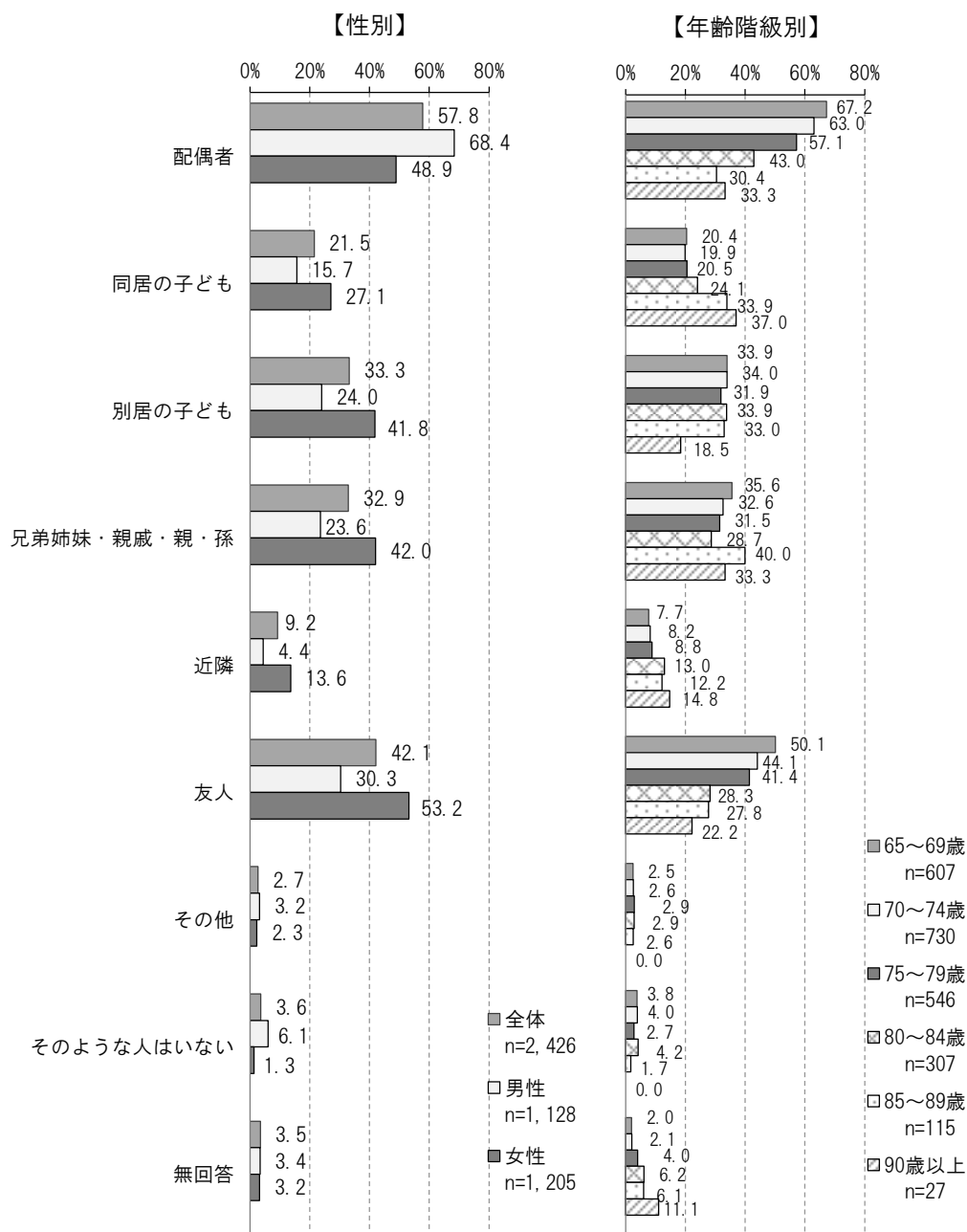
	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
ぜひ参加したい	4 2.9	1 4.0	1 2.6	3 4.5	2 1.2	2 2.2	9 4.1	4 1.2
参加してもよい	45 32.1	9 36.0	16 41.0	15 22.4	63 37.3	27 29.3	63 29.0	96 29.4
参加したくない	80 57.1	10 40.0	15 38.5	44 65.7	86 50.9	55 59.8	112 51.6	185 56.6
すでに参加している	7 5.0	1 4.0	3 7.7	0 0.0	7 4.1	3 3.3	15 6.9	13 4.0
無回答	4 2.9	4 16.0	4 10.3	5 7.5	11 6.5	5 5.4	18 8.3	29 8.9

6 たすけあいについて

6-問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）

全体では「配偶者」が57.8%と最も高く、次いで「友人」が42.1%となっています。
性別にみると、「配偶者」は男性が19.5ポイント、「友人」は女性が22.9ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「友人」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-59-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人（性別・年齢階級別）



図表 2-59-2 心配事や愚痴を聞いてくれる人（地区別）

上段：人/下段：%

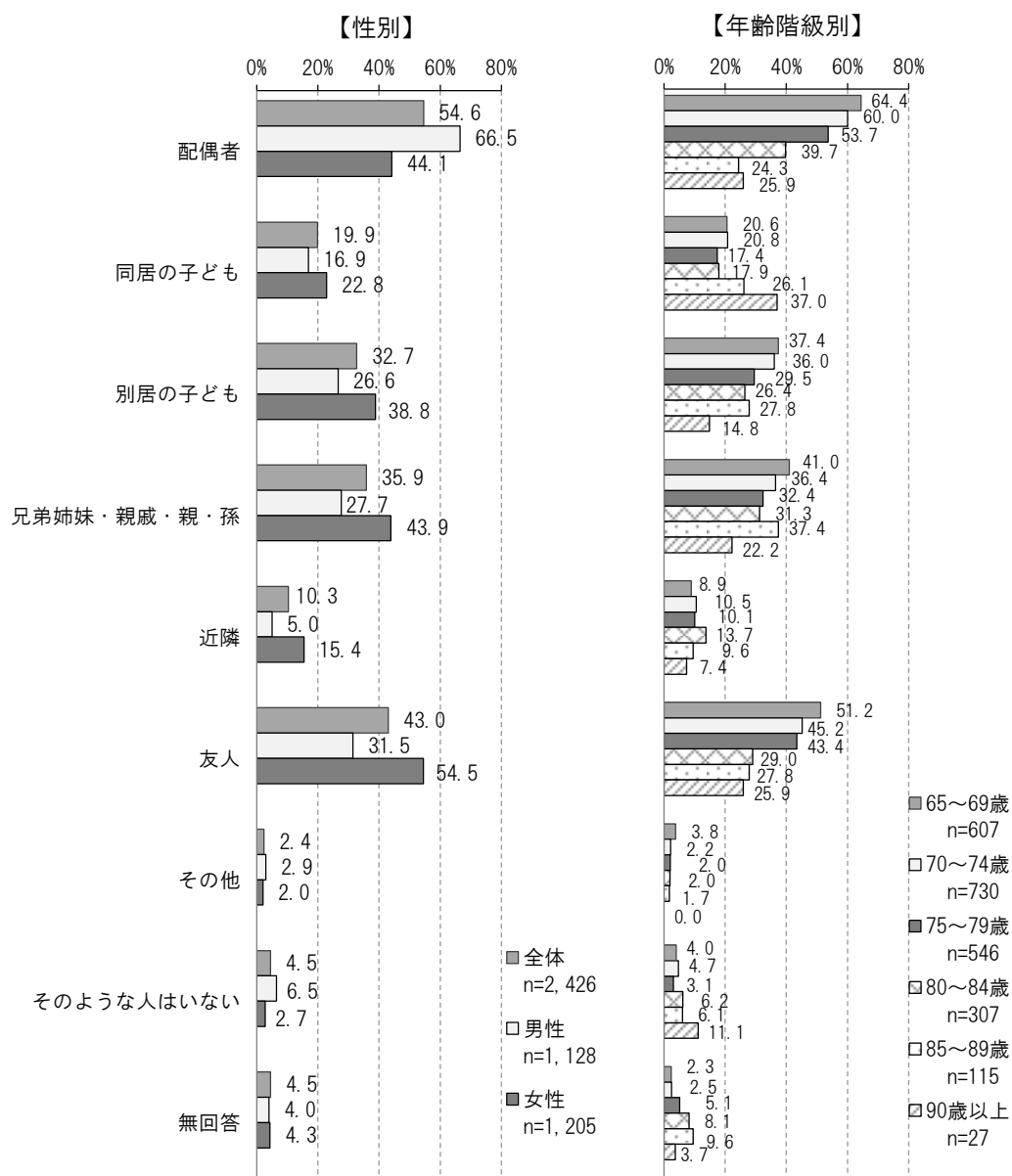
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
配偶者	1,403 57.8	80 50.3	152 58.7	282 59.6	22 50.0	32 64.0	94 59.5	85 62.5
同居の子ども	522 21.5	37 23.3	54 20.8	102 21.6	10 22.7	17 34.0	35 22.2	32 23.5
別居の子ども	807 33.3	50 31.4	81 31.3	151 31.9	13 29.5	21 42.0	54 34.2	43 31.6
兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	799 32.9	68 42.8	90 34.7	160 33.8	10 22.7	21 42.0	45 28.5	46 33.8
近隣	224 9.2	7 4.4	26 10.0	48 10.1	8 18.2	7 14.0	20 12.7	7 5.1
友人	1,022 42.1	63 39.6	106 40.9	190 40.2	17 38.6	20 40.0	65 41.1	71 52.2
その他	65 2.7	3 1.9	7 2.7	12 2.5	0 0.0	0 0.0	4 2.5	7 5.1
そのような人はいない	88 3.6	7 4.4	7 2.7	16 3.4	3 6.8	0 0.0	8 5.1	7 5.1
無回答	84 3.5	10 6.3	10 3.9	10 2.1	2 4.5	2 4.0	6 3.8	1 0.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
配偶者	82 58.6	15 60.0	23 59.0	44 65.7	102 60.4	55 59.8	128 59.0	170 52.0
同居の子ども	21 15.0	3 12.0	3 7.7	18 26.9	28 16.6	19 20.7	52 24.0	75 22.9
別居の子ども	49 35.0	9 36.0	18 46.2	19 28.4	69 40.8	31 33.7	75 34.6	99 30.3
兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	49 35.0	5 20.0	12 30.8	22 32.8	60 35.5	29 31.5	73 33.6	85 26.0
近隣	19 13.6	2 8.0	3 7.7	6 9.0	12 7.1	5 5.4	17 7.8	30 9.2
友人	62 44.3	5 20.0	21 53.8	31 46.3	81 47.9	37 40.2	90 41.5	129 39.4
その他	2 1.4	1 4.0	0 0.0	2 3.0	7 4.1	4 4.3	6 2.8	9 2.8
そのような人はいない	10 7.1	0 0.0	1 2.6	2 3.0	3 1.8	5 5.4	5 2.3	12 3.7
無回答	2 1.4	0 0.0	1 2.6	4 6.0	7 4.1	0 0.0	9 4.1	13 4.0

6-問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

全体では「配偶者」が54.6%と最も高く、次いで「友人」が43.0%となっています。
性別にみると、「配偶者」は男性が22.4ポイント高く、「配偶者」以外の項目は全て女性が高くなっています。特に「友人」は23.0ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は女性が16.2ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「友人」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-60-1 心配事や愚痴を聞いてあげる人（性別・年齢階級別）



図表 2-60-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
配偶者	1,324 54.6	76 47.8	140 54.1	268 56.7	20 45.5	33 66.0	93 58.9	80 58.8
同居の子ども	483 19.9	30 18.9	46 17.8	98 20.7	8 18.2	13 26.0	38 24.1	28 20.6
別居の子ども	794 32.7	39 24.5	83 32.0	158 33.4	13 29.5	22 44.0	56 35.4	39 28.7
兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	870 35.9	71 44.7	97 37.5	170 35.9	12 27.3	23 46.0	51 32.3	48 35.3
近隣	251 10.3	10 6.3	25 9.7	53 11.2	8 18.2	7 14.0	20 12.7	12 8.8
友人	1,044 43.0	66 41.5	110 42.5	195 41.2	16 36.4	22 44.0	65 41.1	65 47.8
その他	58 2.4	5 3.1	7 2.7	12 2.5	1 2.3	2 4.0	2 1.3	5 3.7
そのような人はいない	108 4.5	9 5.7	13 5.0	21 4.4	0 0.0	1 2.0	7 4.4	9 6.6
無回答	109 4.5	11 6.9	12 4.6	14 3.0	3 6.8	2 4.0	9 5.7	4 2.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
配偶者	77 55.0	17 68.0	21 53.8	42 62.7	101 59.8	53 57.6	113 52.1	153 46.8
同居の子ども	23 16.4	3 12.0	3 7.7	15 22.4	34 20.1	15 16.3	47 21.7	66 20.2
別居の子ども	44 31.4	11 44.0	16 41.0	25 37.3	73 43.2	29 31.5	79 36.4	87 26.6
兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	48 34.3	6 24.0	13 33.3	26 38.8	74 43.8	29 31.5	85 39.2	93 28.4
近隣	22 15.7	4 16.0	3 7.7	8 11.9	9 5.3	4 4.3	27 12.4	32 9.8
友人	56 40.0	6 24.0	18 46.2	28 41.8	87 51.5	38 41.3	97 44.7	144 44.0
その他	3 2.1	0 0.0	0 0.0	2 3.0	6 3.6	1 1.1	6 2.8	6 1.8
そのような人はいない	11 7.9	1 4.0	1 2.6	3 4.5	3 1.8	7 7.6	6 2.8	16 4.9
無回答	3 2.1	0 0.0	2 5.1	4 6.0	8 4.7	1 1.1	9 4.1	17 5.2

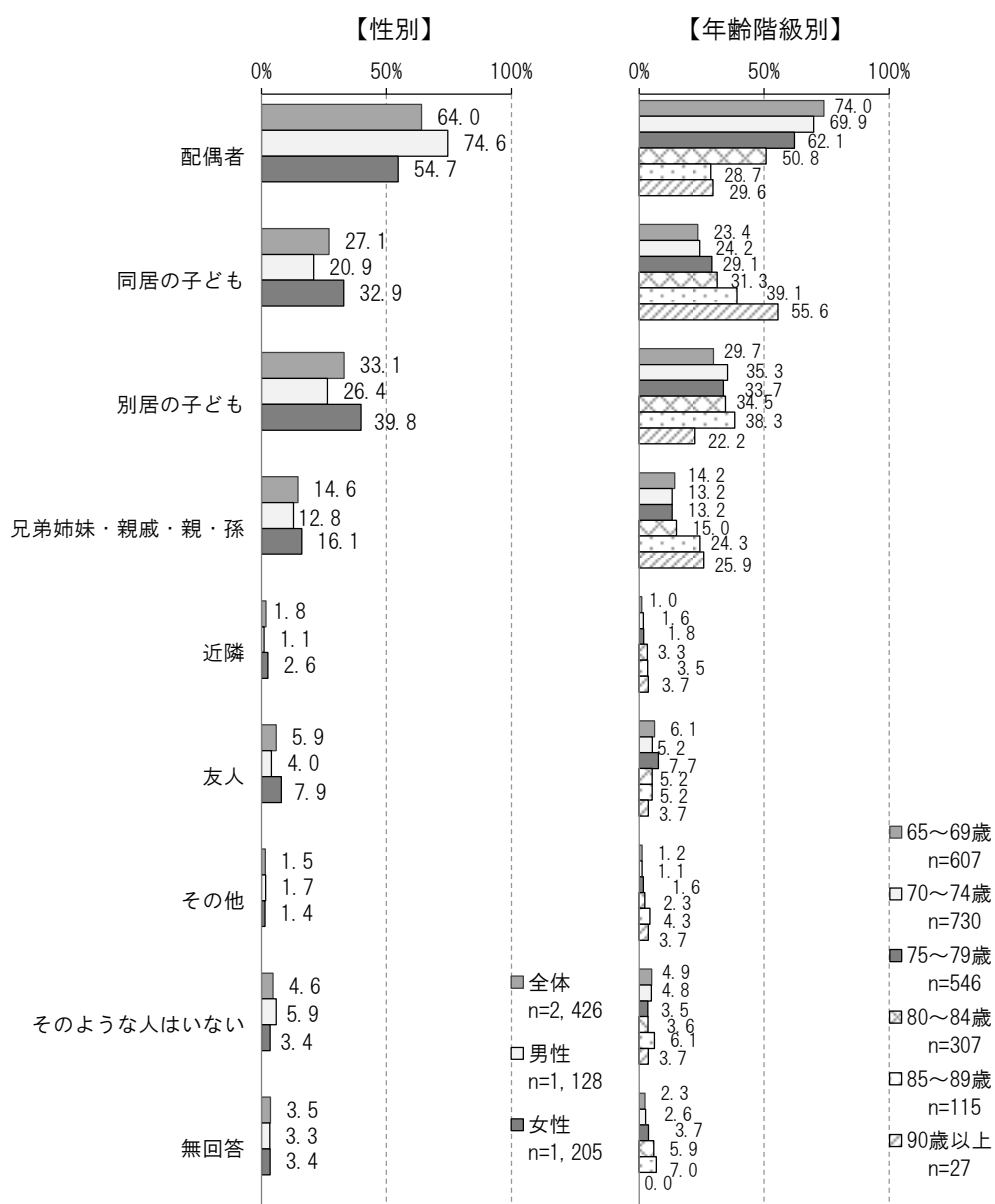
6-問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（〇は いくつでも）

全体では「配偶者」が64.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」が33.1%となっています。

性別にみると、「配偶者」は男性が19.9ポイント高く、「配偶者」以外の項目は全て女性が高くなっています。

年齢階級別にみると、「配偶者」は加齢とともに低くなる傾向にあり、一方「同居の子ども」は加齢とともに高くなっています。

図表 2-61-1 病気のときに看病や世話をしてくれる人（性別・年齢階級別）



図表 2-61-2 病気のときに看病や世話をしてくれる人（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
配偶者	1,553 64.0	93 58.5	162 62.5	310 65.5	28 63.6	36 72.0	104 65.8	94 69.1
同居の子ども	657 27.1	48 30.2	65 25.1	130 27.5	15 34.1	16 32.0	48 30.4	37 27.2
別居の子ども	802 33.1	44 27.7	90 34.7	159 33.6	7 15.9	19 38.0	54 34.2	33 24.3
兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	355 14.6	41 25.8	49 18.9	70 14.8	6 13.6	8 16.0	20 12.7	20 14.7
近隣	43 1.8	1 0.6	6 2.3	7 1.5	1 2.3	1 2.0	5 3.2	1 0.7
友人	143 5.9	10 6.3	13 5.0	26 5.5	6 13.6	1 2.0	7 4.4	6 4.4
その他	37 1.5	3 1.9	6 2.3	10 2.1	0 0.0	0 0.0	2 1.3	1 0.7
そのような人はいない	111 4.6	8 5.0	10 3.9	19 4.0	2 4.5	1 2.0	4 2.5	6 4.4
無回答	86 3.5	5 3.1	10 3.9	13 2.7	1 2.3	2 4.0	6 3.8	3 2.2

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
配偶者	90 64.3	15 60.0	27 69.2	45 67.2	113 66.9	61 66.3	136 62.7	196 59.9
同居の子ども	27 19.3	5 20.0	8 20.5	20 29.9	40 23.7	22 23.9	71 32.7	85 26.0
別居の子ども	39 27.9	14 56.0	21 53.8	16 23.9	74 43.8	33 35.9	71 32.7	109 33.3
兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	20 14.3	3 12.0	9 23.1	7 10.4	18 10.7	9 9.8	28 12.9	36 11.0
近隣	6 4.3	1 4.0	1 2.6	2 3.0	0 0.0	0 0.0	5 2.3	5 1.5
友人	10 7.1	0 0.0	3 7.7	3 4.5	9 5.3	4 4.3	13 6.0	27 8.3
その他	1 0.7	1 4.0	0 0.0	2 3.0	3 1.8	1 1.1	3 1.4	4 1.2
そのような人はいない	12 8.6	1 4.0	0 0.0	5 7.5	6 3.6	5 5.4	10 4.6	19 5.8
無回答	3 2.1	0 0.0	2 5.1	4 6.0	8 4.7	2 2.2	7 3.2	12 3.7

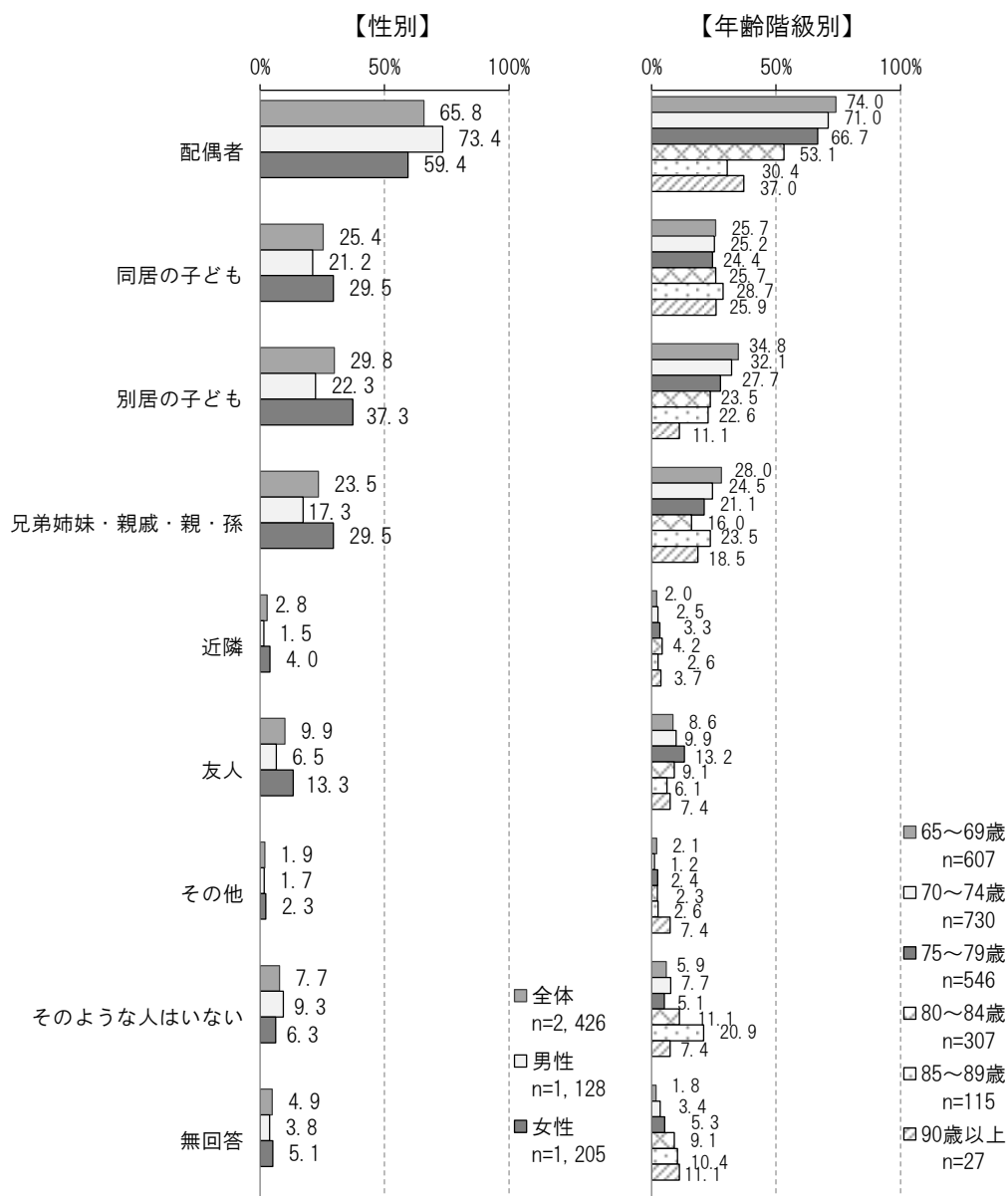
6-問4 反対に、あなたが看病や世話をしをあげる人（〇はいくつでも）

全体では「配偶者」が65.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」が29.8%となっています。

性別にみると、「配偶者」は男性が14.0ポイント高く、「配偶者」以外の項目は全て女性が高くなっています。

年齢階級別にみると、「配偶者」、「別居の子ども」は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-62-1 病気のときに看病や世話をしをあげる人（性別・年齢階級別）



図表 2-62-2 病気のときに看病や世話をしあける人（地区別） 上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
配偶者	1,596 65.8	96 60.4	162 62.5	319 67.4	28 63.6	38 76.0	110 69.6	100 73.5
同居の子ども	616 25.4	39 24.5	60 23.2	115 24.3	11 25.0	14 28.0	47 29.7	30 22.1
別居の子ども	723 29.8	42 26.4	72 27.8	142 30.0	8 18.2	16 32.0	49 31.0	31 22.8
兄弟姉妹・親戚・親・孫	570 23.5	42 26.4	65 25.1	119 25.2	5 11.4	12 24.0	38 24.1	35 25.7
近隣	69 2.8	3 1.9	8 3.1	10 2.1	2 4.5	0 0.0	6 3.8	2 1.5
友人	241 9.9	14 8.8	21 8.1	50 10.6	6 13.6	1 2.0	18 11.4	13 9.6
その他	47 1.9	2 1.3	10 3.9	12 2.5	1 2.3	4 8.0	1 0.6	0 0.0
そのような人はいない	188 7.7	17 10.7	26 10.0	31 6.6	2 4.5	3 6.0	6 3.8	7 5.1
無回答	118 4.9	8 5.0	11 4.2	19 4.0	2 4.5	2 4.0	10 6.3	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
配偶者	93 66.4	19 76.0	26 66.7	50 74.6	116 68.6	61 66.3	138 63.6	198 60.6
同居の子ども	28 20.0	6 24.0	9 23.1	21 31.3	51 30.2	21 22.8	62 28.6	80 24.5
別居の子ども	39 27.9	12 48.0	16 41.0	18 26.9	63 37.3	31 33.7	71 32.7	96 29.4
兄弟姉妹・親戚・親・孫	33 23.6	6 24.0	7 17.9	18 26.9	40 23.7	23 25.0	48 22.1	59 18.0
近隣	7 5.0	0 0.0	2 5.1	2 3.0	2 1.2	1 1.1	5 2.3	15 4.6
友人	15 10.7	0 0.0	9 23.1	4 6.0	15 8.9	7 7.6	24 11.1	35 10.7
その他	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 3.0	1 1.1	6 2.8	4 1.2
そのような人はいない	10 7.1	1 4.0	2 5.1	6 9.0	15 8.9	8 8.7	18 8.3	32 9.8
無回答	6 4.3	2 8.0	2 5.1	4 6.0	8 4.7	1 1.1	11 5.1	16 4.9

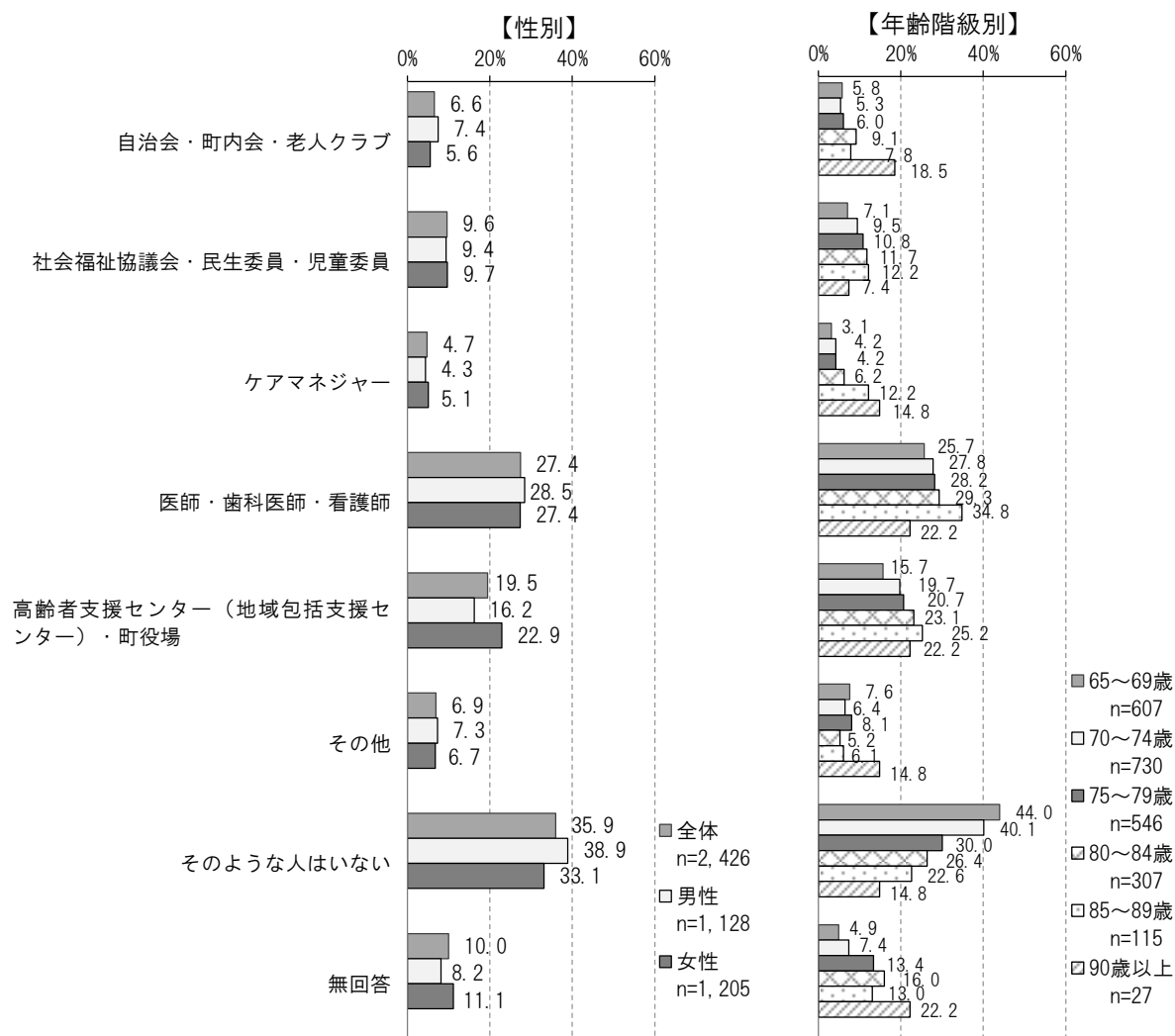
6-問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はどなたですか
(〇はいくつでも)

全体では「医師・歯科医師・看護師」が 27.4%と最も高く、次いで「高齢者支援センター（地域包括支援センター）・町役場」が 19.5%となっています。一方、「そのような人はいない」は 35.9%となっています。

性別にみると、「高齢者支援センター（地域包括支援センター）・町役場」は女性が 6.7 ポイント高くなっています。また、「そのような人はいない」は男性が 5.8 ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「医師・歯科医師・看護師」、「高齢者支援センター（地域包括支援センター）・町役場」などは加齢とともに高くなる傾向にあり、「そのような人はいない」は加齢とともに低くなっています。

図表 2-63-1 家族や友人・知人以外の相談相手（性別・年齢階級別）



図表 2-63-2 家族や友人・知人以外の相談相手（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
自治会・町内会・ 老人クラブ	159 6.6	9 5.7	21 8.1	32 6.8	2 4.5	7 14.0	10 6.3	10 7.4
社会福祉協議会・ 民生委員・児童委員	232 9.6	15 9.4	26 10.0	46 9.7	3 6.8	3 6.0	11 7.0	17 12.5
ケアマネジャー	115 4.7	7 4.4	6 2.3	22 4.7	3 6.8	4 8.0	5 3.2	8 5.9
医師・歯科医師・ 看護師	665 27.4	32 20.1	73 28.2	144 30.4	13 29.5	19 38.0	38 24.1	29 21.3
高齢者支援センター （地域包括支援 センター）・町役場	472 19.5	28 17.6	45 17.4	106 22.4	10 22.7	15 30.0	28 17.7	26 19.1
その他	167 6.9	8 5.0	16 6.2	27 5.7	2 4.5	4 8.0	15 9.5	9 6.6
そのような人はいない	872 35.9	63 39.6	93 35.9	155 32.8	16 36.4	12 24.0	58 36.7	52 38.2
無回答	243 10.0	20 12.6	28 10.8	43 9.1	6 13.6	3 6.0	18 11.4	14 10.3

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
自治会・町内会・ 老人クラブ	8 5.7	5 20.0	0 0.0	2 3.0	9 5.3	1 1.1	12 5.5	24 7.3
社会福祉協議会・ 民生委員・児童委員	10 7.1	2 8.0	5 12.8	4 6.0	15 8.9	1 1.1	29 13.4	38 11.6
ケアマネジャー	5 3.6	7 28.0	3 7.7	3 4.5	6 3.6	1 1.1	11 5.1	22 6.7
医師・歯科医師・ 看護師	45 32.1	7 28.0	11 28.2	18 26.9	46 27.2	26 28.3	64 29.5	89 27.2
高齢者支援センター （地域包括支援 センター）・町役場	23 16.4	4 16.0	11 28.2	13 19.4	32 18.9	9 9.8	44 20.3	68 20.8
その他	8 5.7	1 4.0	3 7.7	5 7.5	13 7.7	11 12.0	13 6.0	29 8.9
そのような人はいない	56 40.0	5 20.0	13 33.3	27 40.3	68 40.2	43 46.7	74 34.1	112 34.3
無回答	13 9.3	3 12.0	1 2.6	7 10.4	12 7.1	4 4.3	25 11.5	31 9.5

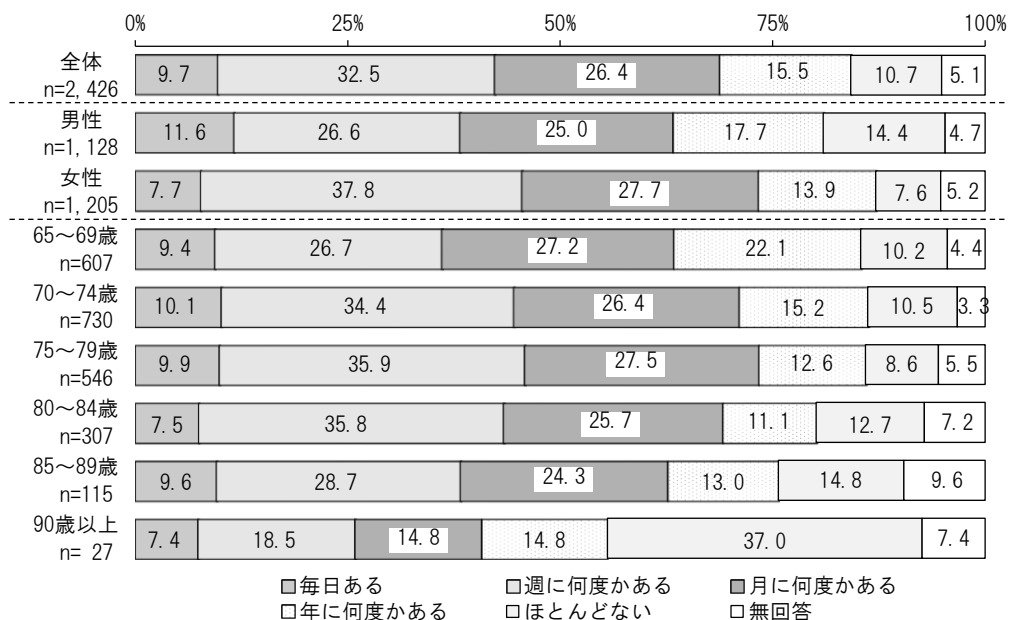
6-問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（〇は1つ）

全体では、「週に何度かある」が32.5%、「月に何度かある」が26.4%となっています。
一方、「ほとんどない」は10.7%となっています。

性別にみると、「ほとんどない」は男性が6.8ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「ほとんどない」は80歳以降から加齢とともに高くなっています。

図表 2-64-1 友人・知人と会う頻度（性別・年齢階級別）



図表 2-64-2 友人・知人と会う頻度（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
毎日ある	236 9.7	19 11.9	24 9.3	36 7.6	5 11.4	3 6.0	17 10.8	9 6.6
週に何度かある	789 32.5	53 33.3	85 32.8	155 32.8	16 36.4	19 38.0	49 31.0	54 39.7
月に何度かある	641 26.4	34 21.4	75 29.0	132 27.9	8 18.2	16 32.0	47 29.7	30 22.1
年に何度かある	376 15.5	30 18.9	42 16.2	73 15.4	7 15.9	7 14.0	17 10.8	19 14.0
ほとんどない	260 10.7	17 10.7	22 8.5	43 9.1	4 9.1	2 4.0	15 9.5	17 12.5
無回答	124 5.1	6 3.8	11 4.2	34 7.2	4 9.1	3 6.0	13 8.2	7 5.1

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
毎日ある	22 15.7	1 4.0	1 2.6	7 10.4	21 12.4	6 6.5	19 8.8	36 11.0
週に何度かある	30 21.4	5 20.0	12 30.8	17 25.4	50 29.6	31 33.7	65 30.0	121 37.0
月に何度かある	46 32.9	7 28.0	13 33.3	22 32.8	47 27.8	16 17.4	61 28.1	70 21.4
年に何度かある	16 11.4	5 20.0	7 17.9	13 19.4	31 18.3	20 21.7	37 17.1	45 13.8
ほとんどない	22 15.7	5 20.0	4 10.3	2 3.0	16 9.5	15 16.3	28 12.9	44 13.5
無回答	4 2.9	2 8.0	2 5.1	6 9.0	4 2.4	4 4.3	7 3.2	11 3.4

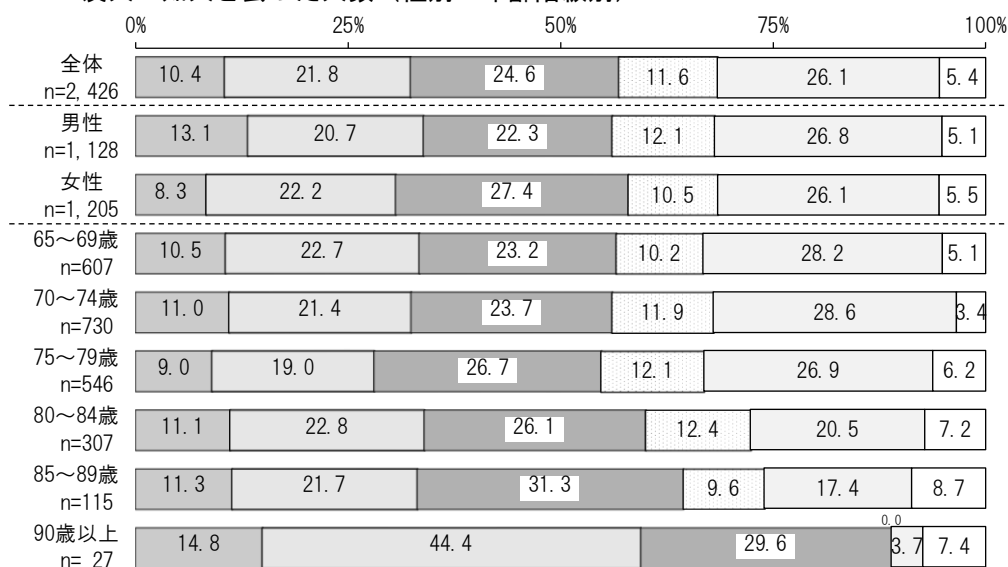
6-問7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（○は1つ）同じ人には何度会っても1人と数えることとします

全体では、「10人以上」が26.1%、「3～5人」が24.6%となっています。また、「0人（いない）」は10.4%となっています。

性別にみると、「0人（いない）」は男性が4.8ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「10人以上」は75歳以降から加齢とともに低くなっています。

図表 2-65-1 友人・知人と会った人数（性別・年齢階級別）



□ 0人（いない） □ 1～2人 □ 3～5人 □ 6～9人 □ 10人以上 □ 無回答

図表 2-65-2 友人・知人と会った人数（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
0人（いない）	253 10.4	19 11.9	23 8.9	40 8.5	6 13.6	0 0.0	14 8.9	17 12.5
1～2人	530 21.8	38 23.9	61 23.6	100 21.1	10 22.7	9 18.0	41 25.9	22 16.2
3～5人	596 24.6	38 23.9	59 22.8	127 26.8	14 31.8	10 20.0	34 21.5	37 27.2
6～9人	281 11.6	15 9.4	39 15.1	58 12.3	2 4.5	5 10.0	16 10.1	15 11.0
10人以上	634 26.1	42 26.4	64 24.7	114 24.1	10 22.7	23 46.0	41 25.9	37 27.2
無回答	132 5.4	7 4.4	13 5.0	34 7.2	2 4.5	3 6.0	12 7.6	8 5.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
0人（いない）	17 12.1	3 12.0	5 12.8	3 4.5	14 8.3	17 18.5	29 13.4	41 12.5
1～2人	33 23.6	7 28.0	10 25.6	15 22.4	36 21.3	21 22.8	39 18.0	69 21.1
3～5人	38 27.1	7 28.0	7 17.9	13 19.4	45 26.6	19 20.7	55 25.3	84 25.7
6～9人	11 7.9	0 0.0	3 7.7	13 19.4	18 10.7	8 8.7	26 12.0	36 11.0
10人以上	36 25.7	8 32.0	11 28.2	17 25.4	49 29.0	23 25.0	60 27.6	84 25.7
無回答	5 3.6	0 0.0	3 7.7	6 9.0	7 4.1	4 4.3	8 3.7	13 4.0

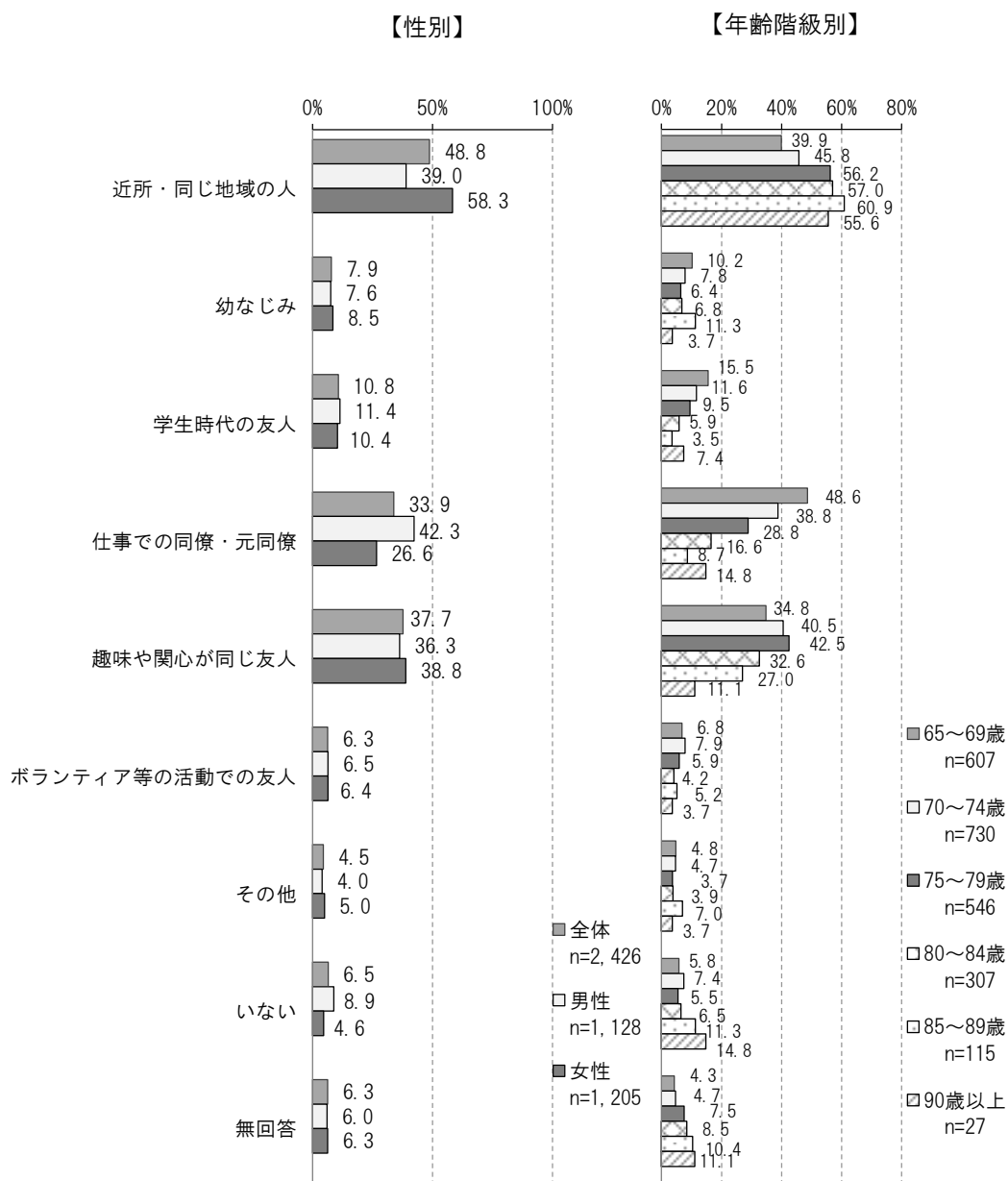
6-問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（〇はいくつでも）

全体では、「近所・同じ地域の人」が48.8%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が37.7%、「仕事での同僚・元同僚」が33.9%となっています。

性別にみると、「仕事での同僚・元同僚」は男性が15.7ポイント、「近所・同じ地域の人」は女性が19.3ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「近所・同じ地域の人」は加齢とともに高くなり、「仕事での同僚・元同僚」は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-66-1 よく会う友人・知人との関係（性別・年齢階級別）



図表 2-66-2 よく会う友人・知人との関係（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
近所・同じ地域の人	1,184 48.8	78 49.1	137 52.9	235 49.7	20 45.5	30 60.0	80 50.6	72 52.9
幼なじみ	192 7.9	11 6.9	30 11.6	48 10.1	4 9.1	5 10.0	8 5.1	17 12.5
学生時代の友人	261 10.8	14 8.8	37 14.3	61 12.9	6 13.6	7 14.0	13 8.2	18 13.2
仕事での同僚・元同僚	823 33.9	47 29.6	97 37.5	142 30.0	15 34.1	17 34.0	55 34.8	44 32.4
趣味や関心が同じ友人	914 37.7	57 35.8	92 35.5	180 38.1	19 43.2	25 50.0	47 29.7	55 40.4
ボランティア等の 活動での友人	153 6.3	15 9.4	10 3.9	29 6.1	3 6.8	4 8.0	13 8.2	7 5.1
その他	109 4.5	6 3.8	7 2.7	25 5.3	2 4.5	2 4.0	8 5.1	6 4.4
いない	158 6.5	11 6.9	16 6.2	24 5.1	2 4.5	1 2.0	10 6.3	11 8.1
無回答	153 6.3	7 4.4	13 5.0	36 7.6	3 6.8	2 4.0	16 10.1	9 6.6

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
近所・同じ地域の人	79 56.4	18 72.0	15 38.5	31 46.3	65 38.5	30 32.6	107 49.3	158 48.3
幼なじみ	13 9.3	2 8.0	5 12.8	0 0.0	8 4.7	4 4.3	19 8.8	14 4.3
学生時代の友人	16 11.4	2 8.0	6 15.4	3 4.5	18 10.7	8 8.7	17 7.8	28 8.6
仕事での同僚・元同僚	55 39.3	6 24.0	12 30.8	30 44.8	68 40.2	36 39.1	80 36.9	99 30.3
趣味や関心が同じ友人	52 37.1	8 32.0	15 38.5	24 35.8	73 43.2	35 38.0	79 36.4	122 37.3
ボランティア等の 活動での友人	13 9.3	1 4.0	2 5.1	1 1.5	15 8.9	5 5.4	13 6.0	20 6.1
その他	5 3.6	0 0.0	1 2.6	2 3.0	10 5.9	3 3.3	11 5.1	18 5.5
いない	12 8.6	2 8.0	2 5.1	1 1.5	10 5.9	11 12.0	12 5.5	32 9.8
無回答	7 5.0	2 8.0	3 7.7	5 7.5	9 5.3	7 7.6	10 4.6	17 5.2

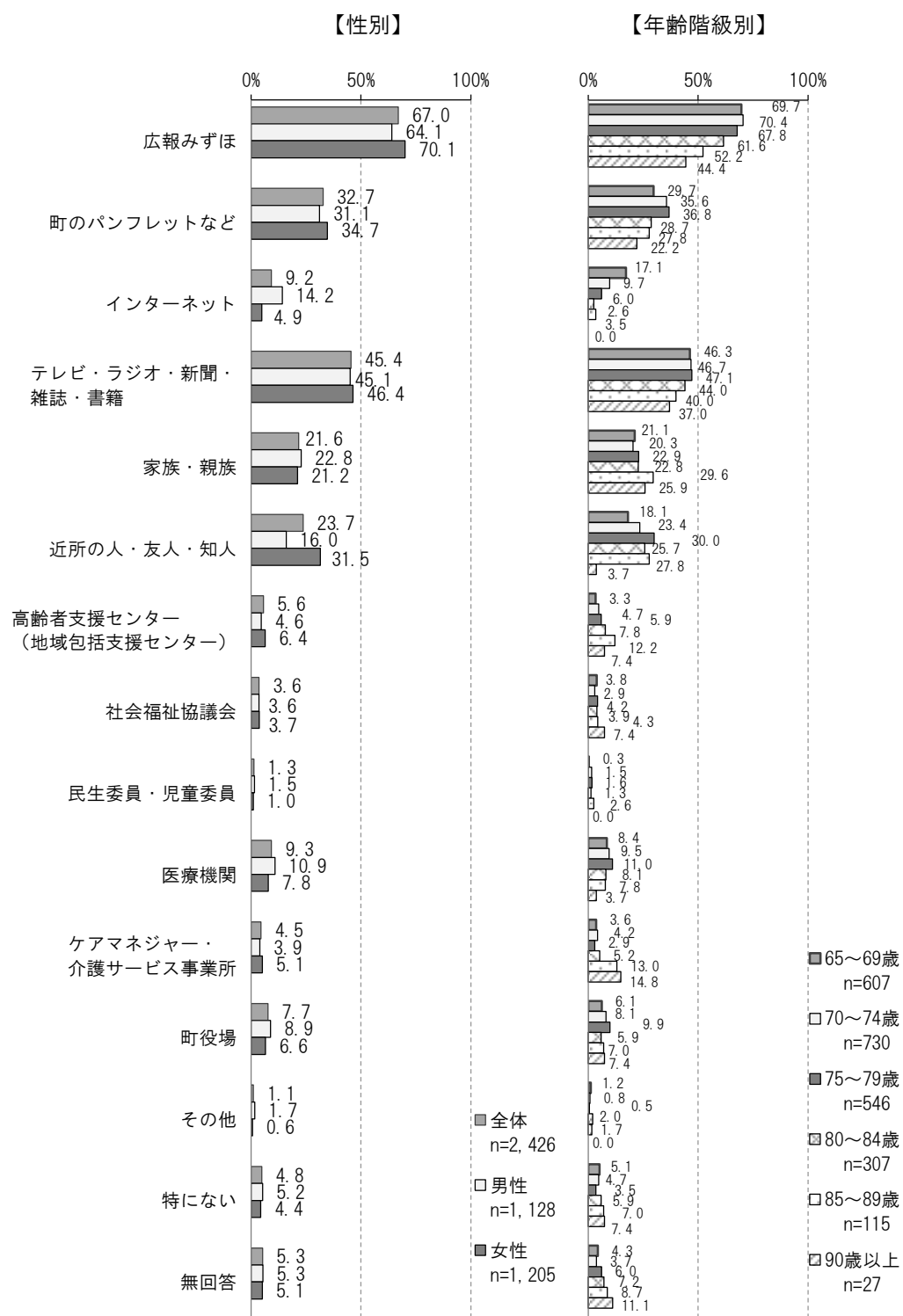
6-問9 あなたは、介護や保健・福祉に関する情報をどこから知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

全体では、「広報みずほ」が67.0%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍」が45.4%、「町のパンフレットなど」が32.7%となっています。

性別にみると、「近所の人・友人・知人」は女性が15.5ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「広報みずほ」は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-67-1 介護や保健・福祉に関する情報源（性別・年齢階級別）



図表 2-67-2 介護や保健・福祉に関する情報源（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
広報みずほ	1,625 67.0	106 66.7	173 66.8	311 65.8	26 59.1	32 64.0	104 65.8	94 69.1
町のパンフレットなど	794 32.7	46 28.9	96 37.1	163 34.5	13 29.5	16 32.0	46 29.1	50 36.8
インターネット	223 9.2	13 8.2	20 7.7	34 7.2	4 9.1	8 16.0	14 8.9	10 7.4
テレビ・ラジオ・ 新聞・雑誌・書籍	1,102 45.4	68 42.8	109 42.1	215 45.5	22 50.0	17 34.0	66 41.8	66 48.5
家族・親族	524 21.6	26 16.4	68 26.3	109 23.0	6 13.6	12 24.0	38 24.1	32 23.5
近所の人・友人・知人	575 23.7	32 20.1	75 29.0	111 23.5	16 36.4	12 24.0	38 24.1	31 22.8
高齢者支援センター （地域包括支援センター）	135 5.6	15 9.4	9 3.5	24 5.1	3 6.8	3 6.0	4 2.5	12 8.8
社会福祉協議会	88 3.6	8 5.0	12 4.6	20 4.2	2 4.5	1 2.0	6 3.8	3 2.2
民生委員・児童委員	31 1.3	1 0.6	1 0.4	8 1.7	0 0.0	0 0.0	1 0.6	2 1.5
医療機関	225 9.3	14 8.8	19 7.3	52 11.0	2 4.5	5 10.0	13 8.2	13 9.6
ケアマネジャー・ 介護サービス事業所	110 4.5	4 2.5	6 2.3	17 3.6	1 2.3	6 12.0	4 2.5	7 5.1
町役場	186 7.7	8 5.0	18 6.9	39 8.2	2 4.5	5 10.0	12 7.6	12 8.8
その他	26 1.1	2 1.3	3 1.2	5 1.1	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.7
特にない	117 4.8	16 10.1	15 5.8	21 4.4	3 6.8	2 4.0	9 5.7	5 3.7
無回答	128 5.3	7 4.4	14 5.4	34 7.2	4 9.1	4 8.0	14 8.9	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
広報みずほ	96 68.6	18 72.0	24 61.5	46 68.7	117 69.2	59 64.1	153 70.5	219 67.0
町のパンフレットなど	50 35.7	11 44.0	15 38.5	23 34.3	51 30.2	23 25.0	57 26.3	111 33.9
インターネット	11 7.9	2 8.0	1 2.6	8 11.9	23 13.6	11 12.0	26 12.0	35 10.7
テレビ・ラジオ・ 新聞・雑誌・書籍	64 45.7	10 40.0	16 41.0	31 46.3	90 53.3	48 52.2	97 44.7	160 48.9
家族・親族	28 20.0	5 20.0	8 20.5	12 17.9	36 21.3	21 22.8	49 22.6	67 20.5
近所の人・友人・知人	29 20.7	3 12.0	10 25.6	12 17.9	36 21.3	14 15.2	61 28.1	83 25.4
高齢者支援センター （地域包括支援センター）	11 7.9	0 0.0	3 7.7	3 4.5	9 5.3	2 2.2	11 5.1	22 6.7
社会福祉協議会	4 2.9	2 8.0	3 7.7	1 1.5	4 2.4	0 0.0	6 2.8	13 4.0
民生委員・児童委員	0 0.0	0 0.0	2 5.1	0 0.0	2 1.2	0 0.0	3 1.4	9 2.8
医療機関	15 10.7	0 0.0	6 15.4	8 11.9	14 8.3	6 6.5	18 8.3	32 9.8
ケアマネジャー・ 介護サービス事業所	10 7.1	4 16.0	3 7.7	5 7.5	8 4.7	1 1.1	10 4.6	22 6.7
町役場	12 8.6	1 4.0	7 17.9	1 1.5	15 8.9	4 4.3	19 8.8	25 7.6
その他	2 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 3.0	1 1.1	0 0.0	5 1.5
特にない	8 5.7	0 0.0	3 7.7	1 1.5	7 4.1	2 2.2	9 4.1	13 4.0
無回答	3 2.1	0 0.0	2 5.1	6 9.0	4 2.4	7 7.6	9 4.1	9 2.8

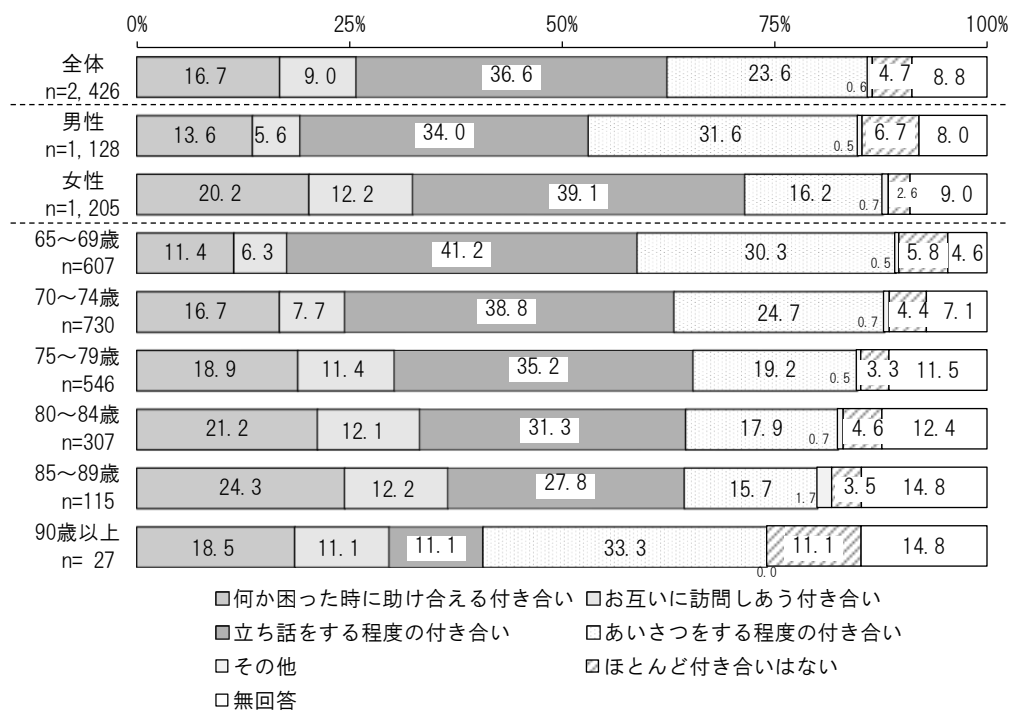
6-問 10 普段、近所の方とどの程度のお付き合いをしていますか（○は1つ）

全体では、「立ち話をする程度の付き合い」が 36.6%、「あいさつをする程度の付き合い」が 23.6%となっています。また、「ほとんど付き合いはない」は 4.7%となっています。

性別にみると、「何か困った時に助け合える付き合い」は男性が 6.6 ポイント低くなっています。

年齢階級別にみると、「何か困った時に助け合える付き合い」は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-68-1 近所づきあいの程度（性別・年齢階級別）



図表 2-68-2 近所づきあいの程度（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
何か困った時に 助け合える付き合い	406 16.7	30 18.9	46 17.8	89 18.8	7 15.9	8 16.0	34 21.5	21 15.4
お互いに訪問しあう 付き合い	219 9.0	11 6.9	36 13.9	48 10.1	8 18.2	6 12.0	10 6.3	15 11.0
立ち話をする程度の 付き合い	887 36.6	54 34.0	88 34.0	157 33.2	15 34.1	22 44.0	57 36.1	51 37.5
あいさつをする程度の 付き合い	572 23.6	39 24.5	56 21.6	103 21.8	6 13.6	9 18.0	32 20.3	34 25.0
その他	15 0.6	2 1.3	1 0.4	3 0.6	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0
ほとんど付き合いは ない	113 4.7	11 6.9	11 4.2	16 3.4	4 9.1	0 0.0	4 2.5	5 3.7
無回答	214 8.8	12 7.5	21 8.1	57 12.1	4 9.1	4 8.0	21 13.3	10 7.4

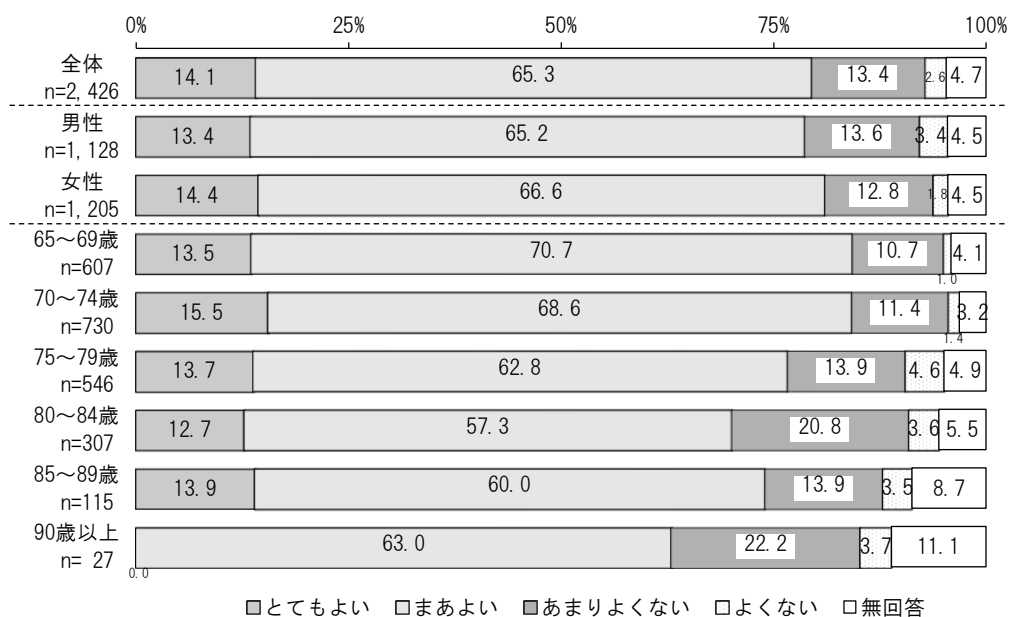
	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
何か困った時に 助け合える付き合い	24 17.1	7 28.0	5 12.8	7 10.4	25 14.8	6 6.5	35 16.1	52 15.9
お互いに訪問しあう 付き合い	12 8.6	3 12.0	7 17.9	3 4.5	8 4.7	4 4.3	15 6.9	26 8.0
立ち話をする程度の 付き合い	60 42.9	8 32.0	11 28.2	33 49.3	76 45.0	35 38.0	76 35.0	121 37.0
あいさつをする程度の 付き合い	29 20.7	5 20.0	11 28.2	14 20.9	44 26.0	32 34.8	57 26.3	85 26.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	1 1.1	2 0.9	3 0.9
ほとんど付き合いは ない	8 5.7	2 8.0	2 5.1	3 4.5	7 4.1	8 8.7	12 5.5	16 4.9
無回答	7 5.0	0 0.0	3 7.7	7 10.4	7 4.1	6 6.5	20 9.2	24 7.3

7 健康について

7-問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか（○は1つ）

全体では、『よい』（「とてもよい」＋「まあよい」）は79.4%となっています。
性別にみると、『よい』は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、『よい』は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-69-1 健康状態（性別・年齢階級別）



図表 2-69-2 健康状態（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
とてもよい	341 14.1	19 11.9	29 11.2	66 14.0	4 9.1	11 22.0	23 14.6	20 14.7
まあよい	1,585 65.3	101 63.5	180 69.5	294 62.2	30 68.2	30 60.0	105 66.5	89 65.4
あまりよくない	324 13.4	28 17.6	32 12.4	66 14.0	8 18.2	7 14.0	17 10.8	18 13.2
よくない	62 2.6	3 1.9	8 3.1	15 3.2	0 0.0	1 2.0	2 1.3	3 2.2
無回答	114 4.7	8 5.0	10 3.9	32 6.8	2 4.5	1 2.0	11 7.0	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
とてもよい	22 15.7	2 8.0	2 5.1	9 13.4	24 14.2	10 10.9	33 15.2	52 15.9
まあよい	93 66.4	17 68.0	26 66.7	43 64.2	122 72.2	65 70.7	143 65.9	209 63.9
あまりよくない	16 11.4	5 20.0	8 20.5	9 13.4	14 8.3	10 10.9	27 12.4	49 15.0
よくない	5 3.6	1 4.0	1 2.6	2 3.0	4 2.4	3 3.3	6 2.8	6 1.8
無回答	4 2.9	0 0.0	2 5.1	4 6.0	5 3.0	4 4.3	8 3.7	11 3.4

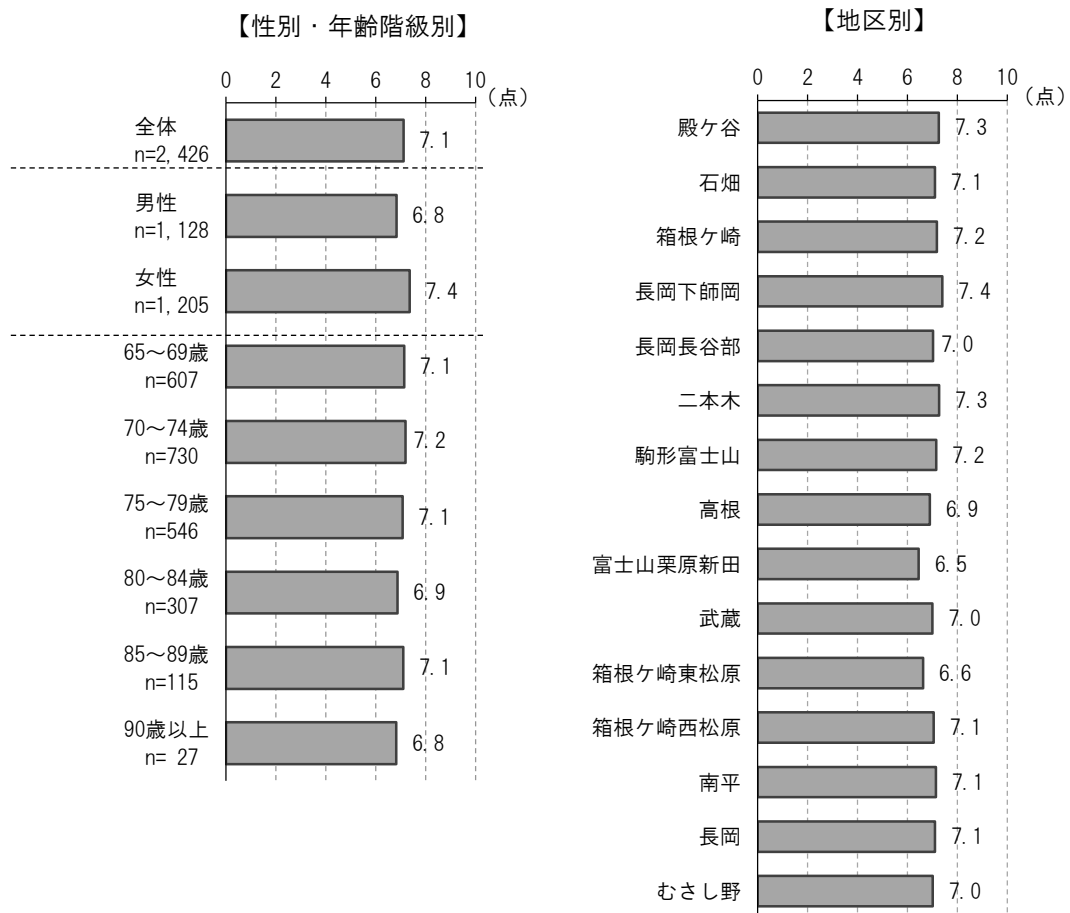
7-問2 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字をご記入ください）

全体では、幸福度の平均点は7.1点となっています。また、「5点」が18.7%と最も高く、次いで「8点」が18.5%、「7点」が16.2%となっています。

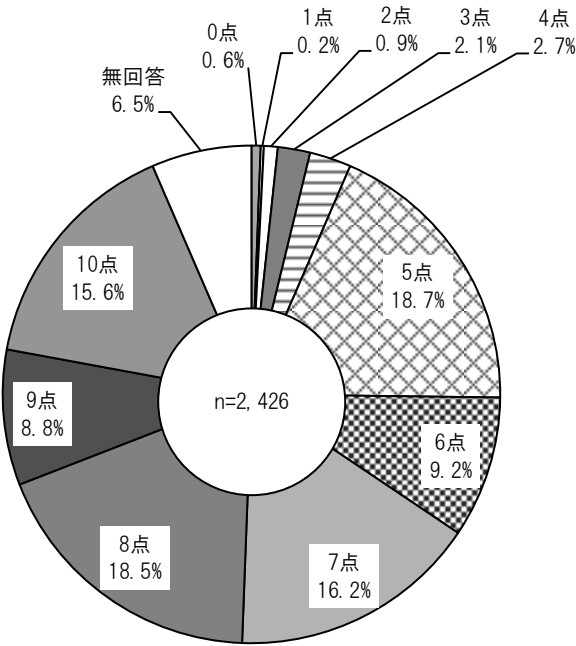
性別にみると、平均点は男性が6.8点、女性が7.4点と女性が0.6ポイント高くなっています。また、「10点」は女性が7.0ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、平均点は70～74歳の7.2点が最も高くなっています。また、「5点」は80～84歳の23.1%が最も高く、「8点」は65～69歳の22.9%が、「7点」は65～69歳の18.8%が最も高くなっています。

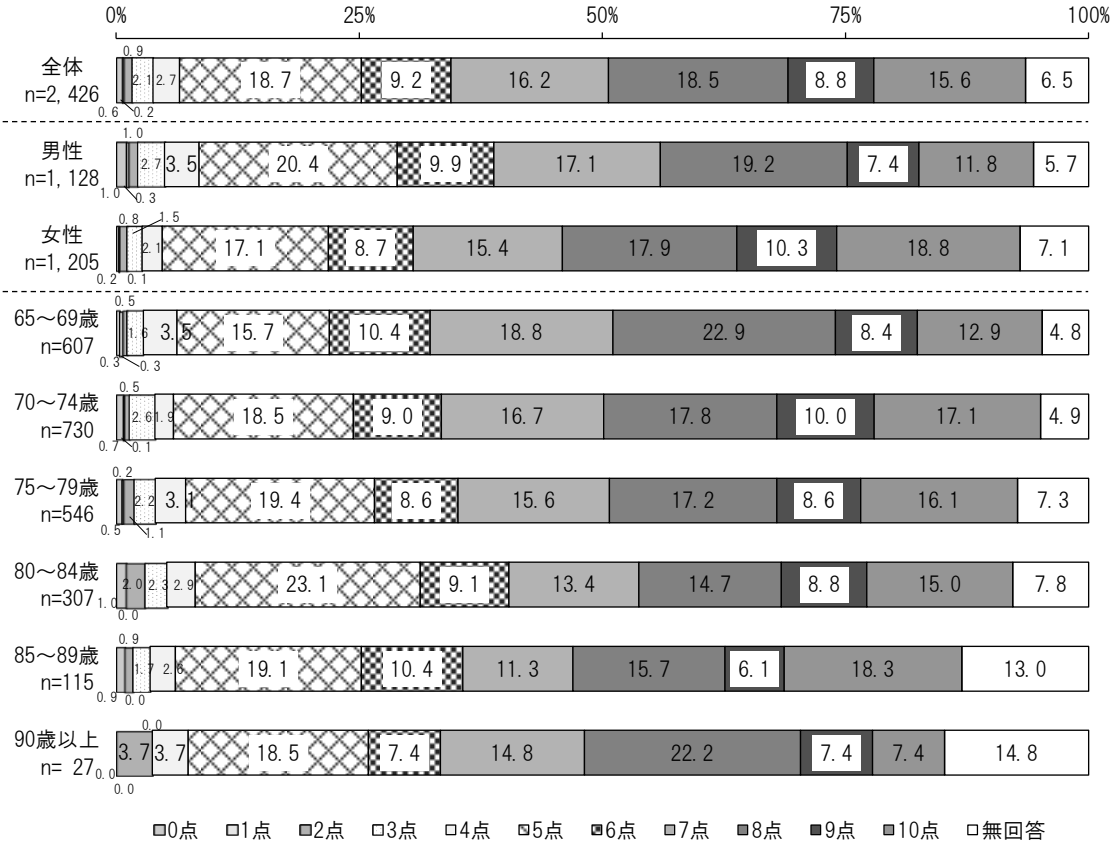
図表 2-70-1 幸福度の平均点（性別・年齢階級別・地区別）



図表 2-70-2 幸福度（全体）



図表 2-70-3 幸福度（性別・年齢階級別）



図表 2-70-4 幸福度（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
0点	14 0.6	0 0.0	1 0.4	3 0.6	0 0.0	1 2.0	0 0.0	2 1.5
1点	4 0.2	0 0.0	1 0.4	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2点	22 0.9	1 0.6	3 1.2	5 1.1	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0
3点	52 2.1	3 1.9	5 1.9	7 1.5	2 4.5	3 6.0	4 2.5	4 2.9
4点	66 2.7	6 3.8	2 0.8	9 1.9	1 2.3	1 2.0	4 2.5	4 2.9
5点	454 18.7	24 15.1	47 18.1	93 19.7	6 13.6	9 18.0	27 17.1	23 16.9
6点	223 9.2	13 8.2	32 12.4	41 8.7	6 13.6	4 8.0	13 8.2	16 11.8
7点	393 16.2	30 18.9	44 17.0	66 14.0	4 9.1	5 10.0	29 18.4	24 17.6
8点	448 18.5	30 18.9	43 16.6	93 19.7	7 15.9	11 22.0	29 18.4	15 11.0
9点	214 8.8	14 8.8	27 10.4	42 8.9	4 9.1	11 22.0	9 5.7	17 12.5
10点	379 15.6	25 15.7	36 13.9	79 16.7	10 22.7	4 8.0	31 19.6	25 18.4
無回答	157 6.5	13 8.2	18 6.9	34 7.2	4 9.1	1 2.0	11 7.0	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
0点	1 0.7	1 4.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	1 1.1	0 0.0	2 0.6
1点	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3
2点	3 2.1	2 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.9	4 1.2
3点	2 1.4	0 0.0	1 2.6	3 4.5	2 1.2	1 1.1	6 2.8	8 2.4
4点	8 5.7	0 0.0	1 2.6	4 6.0	7 4.1	1 1.1	4 1.8	13 4.0
5点	27 19.3	5 20.0	10 25.6	13 19.4	35 20.7	16 17.4	40 18.4	67 20.5
6点	10 7.1	3 12.0	2 5.1	6 9.0	11 6.5	12 13.0	20 9.2	29 8.9
7点	19 13.6	3 12.0	6 15.4	14 20.9	33 19.5	15 16.3	39 18.0	51 15.6
8点	31 22.1	2 8.0	8 20.5	10 14.9	33 19.5	22 23.9	46 21.2	54 16.5
9点	10 7.1	2 8.0	3 7.7	3 4.5	14 8.3	9 9.8	13 6.0	29 8.9
10点	20 14.3	4 16.0	5 12.8	6 9.0	24 14.2	10 10.9	32 14.7	55 16.8
無回答	8 5.7	3 12.0	3 7.7	8 11.9	8 4.7	5 5.4	15 6.9	14 4.3

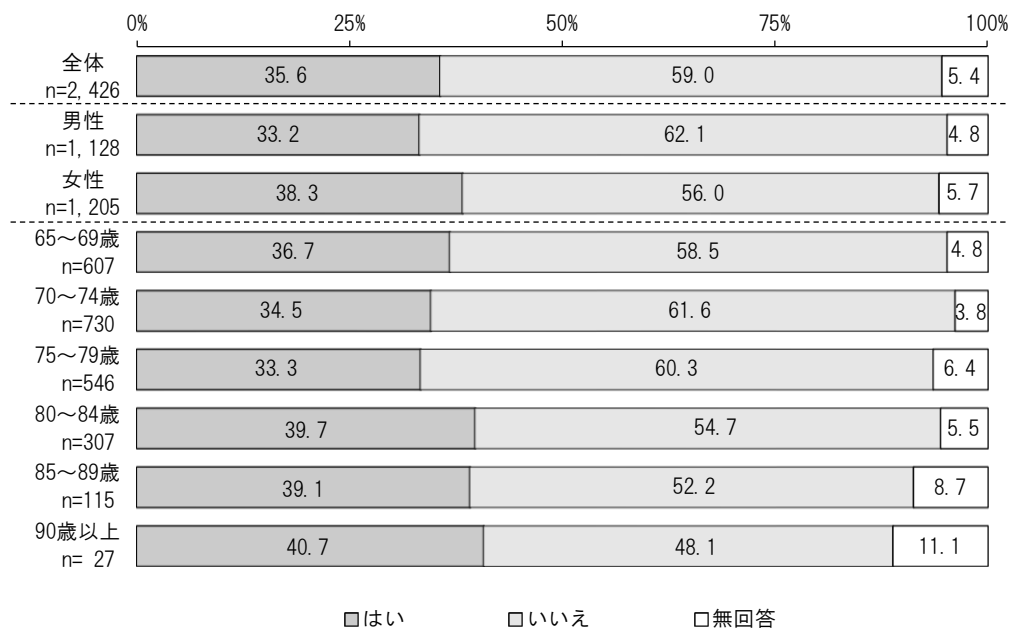
7-問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（○は1つ）

全体では、「はい」が35.6%と、この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがある人は3割以上となっています。

性別にみると、この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがある人は女性が5.1ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがある人は80歳以上で約4割となっています。

図表 2-71-1 1か月間で気分が沈んだことの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-71-2 1か月間で気分が沈んだことの有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	864 35.6	55 34.6	93 35.9	172 36.4	14 31.8	19 38.0	56 35.4	51 37.5
いいえ	1,431 59.0	94 59.1	156 60.2	265 56.0	28 63.6	30 60.0	88 55.7	80 58.8
無回答	131 5.4	10 6.3	10 3.9	36 7.6	2 4.5	1 2.0	14 8.9	5 3.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	55 39.3	8 32.0	14 35.9	30 44.8	54 32.0	21 22.8	69 31.8	132 40.4
いいえ	81 57.9	16 64.0	22 56.4	33 49.3	106 62.7	66 71.7	139 64.1	184 56.3
無回答	4 2.9	1 4.0	3 7.7	4 6.0	9 5.3	5 5.4	9 4.1	11 3.4

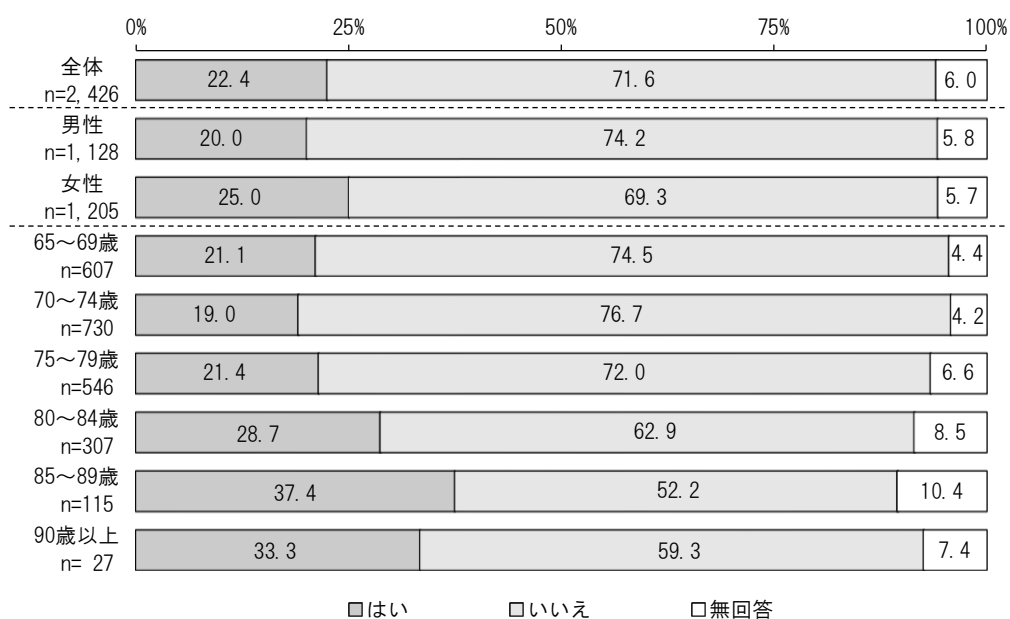
7-問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（○は1つ）

全体では、「はい」が22.4%と、この1か月間で物事に興味がわかないと感じた人は2割以上となっています。

性別にみると、この1か月間で物事に興味がわかないと感じた人は男性が5.0ポイント低くなっています。

年齢階級別にみると、この1か月間で物事に興味がわかないと感じた人は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-72-1 1か月間で物事に興味がわかなかったことの有無（性別・年齢階級別）



図表 2-72-2 1か月間で物事に興味がわかなかったことの有無（地区別） 上段：人/下段：%

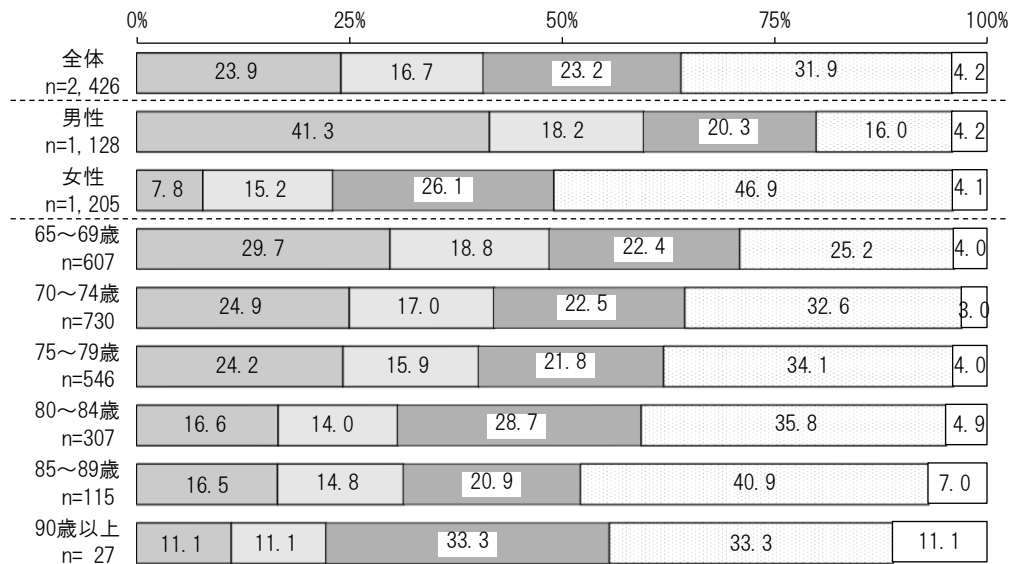
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	544 22.4	32 20.1	60 23.2	98 20.7	7 15.9	15 30.0	40 25.3	31 22.8
いいえ	1,737 71.6	116 73.0	186 71.8	339 71.7	33 75.0	34 68.0	105 66.5	99 72.8
無回答	145 6.0	11 6.9	13 5.0	36 7.6	4 9.1	1 2.0	13 8.2	6 4.4

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	41 29.3	5 20.0	9 23.1	19 28.4	29 17.2	19 20.7	41 18.9	86 26.3
いいえ	92 65.7	19 76.0	27 69.2	42 62.7	130 76.9	69 75.0	163 75.1	233 71.3
無回答	7 5.0	1 4.0	3 7.7	6 9.0	10 5.9	4 4.3	13 6.0	8 2.4

7-問5 お酒は飲みますか（○は1つ）

全体では、『飲む』（「ほぼ毎日飲む」＋「時々飲む」）は40.6%となっています。
性別にみると、『飲む』は男性が36.5ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、『飲む』は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-73-1 飲酒の有無（性別・年齢階級別）



□ ほぼ毎日飲む □ 時々飲む ■ ほとんど飲まない □ もともと飲まない □ 無回答

図表 2-73-2 飲酒の有無（地区別）

上段：人/下段：%

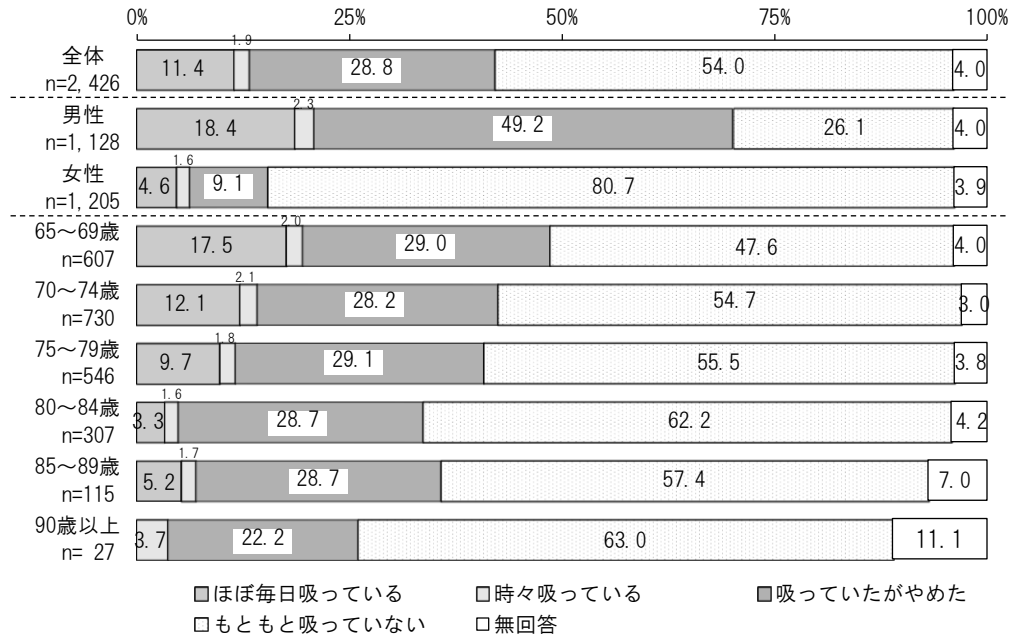
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
ほぼ毎日飲む	581 23.9	40 25.2	74 28.6	107 22.6	11 25.0	13 26.0	27 17.1	30 22.1
時々飲む	406 16.7	28 17.6	35 13.5	78 16.5	7 15.9	4 8.0	27 17.1	22 16.2
ほとんど飲まない	564 23.2	39 24.5	52 20.1	122 25.8	5 11.4	11 22.0	45 28.5	27 19.9
もともと飲まない	774 31.9	45 28.3	88 34.0	138 29.2	19 43.2	21 42.0	49 31.0	52 38.2
無回答	101 4.2	7 4.4	10 3.9	28 5.9	2 4.5	1 2.0	10 6.3	5 3.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
ほぼ毎日飲む	42 30.0	9 36.0	4 10.3	18 26.9	36 21.3	25 27.2	51 23.5	83 25.4
時々飲む	23 16.4	3 12.0	13 33.3	13 19.4	32 18.9	15 16.3	39 18.0	50 15.3
ほとんど飲まない	24 17.1	7 28.0	10 25.6	16 23.9	43 25.4	14 15.2	53 24.4	77 23.5
もともと飲まない	48 34.3	6 24.0	10 25.6	16 23.9	53 31.4	34 37.0	67 30.9	109 33.3
無回答	3 2.1	0 0.0	2 5.1	4 6.0	5 3.0	4 4.3	7 3.2	8 2.4

7-問6 タバコは吸っていますか（○は1つ）

全体では、「もともと吸っていない」が54.0%と、半数以上となっています。『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」＋「時々吸っている」）は13.3%となっています。
性別にみると、『吸っている』は男性が14.5ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、『吸っている』は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-74-1 喫煙の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-74-2 喫煙の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
ほぼ毎日吸っている	276 11.4	17 10.7	18 6.9	51 10.8	7 15.9	7 14.0	15 9.5	13 9.6
時々吸っている	45 1.9	2 1.3	5 1.9	9 1.9	2 4.5	2 4.0	1 0.6	5 3.7
吸っていたがやめた	698 28.8	44 27.7	84 32.4	123 26.0	12 27.3	11 22.0	44 27.8	36 26.5
もともと吸っていない	1,309 54.0	90 56.6	141 54.4	262 55.4	21 47.7	29 58.0	88 55.7	77 56.6
無回答	98 4.0	6 3.8	11 4.2	28 5.9	2 4.5	1 2.0	10 6.3	5 3.7

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
ほぼ毎日吸っている	13 9.3	1 4.0	5 12.8	11 16.4	20 11.8	11 12.0	27 12.4	48 14.7
時々吸っている	3 2.1	0 0.0	0 0.0	2 3.0	2 1.2	3 3.3	4 1.8	5 1.5
吸っていたがやめた	54 38.6	10 40.0	10 25.6	16 23.9	48 28.4	32 34.8	52 24.0	100 30.6
もともと吸っていない	67 47.9	14 56.0	22 56.4	34 50.7	94 55.6	42 45.7	129 59.4	167 51.1
無回答	3 2.1	0 0.0	2 5.1	4 6.0	5 3.0	4 4.3	5 2.3	7 2.1

7-問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（〇はいくつでも）

全体では、「高血圧」が40.1%と最も高く、次いで「目の病気」が18.5%、「糖尿病」が12.2%となっています。一方、「ない」は18.4%となっています。

性別にみると、「心臓病」、「糖尿病」は男性が5ポイント以上高く、「高脂血症（脂質異常）」、「目の病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」は女性が4ポイント以上高くなっています。

年齢階級別にみると、「高血圧」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」、「目の病気」などで加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 2-75-1 治療中の病気（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上
全体（n）	2,426	1,128	1,205	607	730	546	307	115	27
ない	447 18.4	205 18.2	225 18.7	142 23.4	157 21.5	82 15.0	38 12.4	9 7.8	1 3.7
高血圧	974 40.1	472 41.8	470 39.0	202 33.3	287 39.3	245 44.9	135 44.0	53 46.1	14 51.9
脳卒中（脳出血・ 脳梗塞等）	63 2.6	45 4.0	15 1.2	13 2.1	15 2.1	15 2.7	12 3.9	5 4.3	1 3.7
心臓病	218 9.0	133 11.8	77 6.4	45 7.4	44 6.0	54 9.9	39 12.7	21 18.3	3 11.1
糖尿病	296 12.2	177 15.7	108 9.0	75 12.4	81 11.1	76 13.9	36 11.7	13 11.3	2 7.4
高脂血症（脂質異常）	280 11.5	104 9.2	160 13.3	70 11.5	91 12.5	66 12.1	30 9.8	9 7.8	0 0.0
呼吸器の病気 （肺炎・気管支炎等）	109 4.5	62 5.5	44 3.7	28 4.6	22 3.0	31 5.7	16 5.2	8 7.0	1 3.7
胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	123 5.1	56 5.0	59 4.9	18 3.0	37 5.1	33 6.0	15 4.9	9 7.8	3 11.1
腎臓・前立腺の病気	145 6.0	121 10.7	20 1.7	20 3.3	42 5.8	44 8.1	23 7.5	11 9.6	2 7.4
筋骨格の病気（骨粗 しょう症・関節症等）	195 8.0	35 3.1	154 12.8	34 5.6	43 5.9	59 10.8	32 10.4	17 14.8	3 11.1
外傷（転倒・骨折等）	66 2.7	17 1.5	47 3.9	12 2.0	11 1.5	13 2.4	14 4.6	9 7.8	4 14.8
がん（悪性新生物）	86 3.5	41 3.6	43 3.6	17 2.8	24 3.3	29 5.3	11 3.6	0 0.0	1 3.7
血液・免疫の病気	26 1.1	12 1.1	14 1.2	8 1.3	6 0.8	5 0.9	4 1.3	3 2.6	0 0.0
うつ病	19 0.8	7 0.6	11 0.9	3 0.5	6 0.8	6 1.1	3 1.0	0 0.0	0 0.0
認知症 （アルツハイマー病等）	11 0.5	4 0.4	6 0.5	1 0.2	2 0.3	4 0.7	2 0.7	1 0.9	1 3.7
パーキンソン病	4 0.2	3 0.3	1 0.1	2 0.3	1 0.1	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0
目の病気	450 18.5	166 14.7	263 21.8	72 11.9	108 14.8	133 24.4	83 27.0	26 22.6	10 37.0
耳の病気	105 4.3	52 4.6	47 3.9	12 2.0	29 4.0	26 4.8	24 7.8	4 3.5	5 18.5
その他	222 9.2	102 9.0	113 9.4	71 11.7	72 9.9	43 7.9	23 7.5	6 5.2	3 11.1
無回答	180 7.4	75 6.6	96 8.0	48 7.9	46 6.3	36 6.6	28 9.1	11 9.6	2 7.4

図表 2-75-2 治療中の病気（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
ない	447 18.4	29 18.2	53 20.5	78 16.5	5 11.4	11 22.0	33 20.9	33 24.3
高血圧	974 40.1	63 39.6	97 37.5	189 40.0	22 50.0	19 38.0	61 38.6	49 36.0
脳卒中（脳出血・ 脳梗塞等）	63 2.6	5 3.1	4 1.5	17 3.6	2 4.5	1 2.0	3 1.9	6 4.4
心臓病	218 9.0	22 13.8	18 6.9	49 10.4	2 4.5	3 6.0	12 7.6	15 11.0
糖尿病	296 12.2	30 18.9	34 13.1	50 10.6	6 13.6	5 10.0	17 10.8	16 11.8
高脂血症（脂質異常）	280 11.5	17 10.7	31 12.0	55 11.6	6 13.6	1 2.0	13 8.2	16 11.8
呼吸器の病気 （肺炎・気管支炎等）	109 4.5	9 5.7	8 3.1	20 4.2	1 2.3	0 0.0	5 3.2	5 3.7
胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	123 5.1	6 3.8	12 4.6	27 5.7	1 2.3	4 8.0	2 1.3	5 3.7
腎臓・前立腺の病気	145 6.0	10 6.3	17 6.6	24 5.1	3 6.8	3 6.0	8 5.1	8 5.9
筋骨格の病気（骨粗 しょう症・関節症等）	195 8.0	15 9.4	19 7.3	42 8.9	2 4.5	5 10.0	8 5.1	9 6.6
外傷（転倒・骨折等）	66 2.7	5 3.1	9 3.5	15 3.2	1 2.3	1 2.0	0 0.0	2 1.5
がん（悪性新生物）	86 3.5	8 5.0	14 5.4	14 3.0	1 2.3	2 4.0	6 3.8	5 3.7
血液・免疫の病気	26 1.1	2 1.3	2 0.8	4 0.8	0 0.0	0 0.0	2 1.3	4 2.9
うつ病	19 0.8	2 1.3	3 1.2	5 1.1	0 0.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0
認知症 （アルツハイマー病等）	11 0.5	1 0.6	1 0.4	4 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
パーキンソン病	4 0.2	1 0.6	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
目の病気	450 18.5	22 13.8	50 19.3	99 20.9	11 25.0	9 18.0	23 14.6	25 18.4
耳の病気	105 4.3	4 2.5	12 4.6	19 4.0	1 2.3	2 4.0	6 3.8	5 3.7
その他	222 9.2	15 9.4	25 9.7	44 9.3	1 2.3	9 18.0	15 9.5	7 5.1
無回答	180 7.4	11 6.9	20 7.7	39 8.2	4 9.1	1 2.0	16 10.1	14 10.3

図表 2-75-2 治療中の病気（地区別）

上段：人/下段：%

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
ない	33 23.6	4 16.0	6 15.4	10 14.9	34 20.1	13 14.1	35 16.1	56 17.1
高血圧	63 45.0	12 48.0	19 48.7	22 32.8	54 32.0	39 42.4	89 41.0	148 45.3
脳卒中（脳出血・ 脳梗塞等）	5 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	2 2.2	6 2.8	9 2.8
心臓病	8 5.7	2 8.0	6 15.4	7 10.4	13 7.7	10 10.9	17 7.8	26 8.0
糖尿病	17 12.1	5 20.0	6 15.4	7 10.4	18 10.7	9 9.8	25 11.5	41 12.5
高脂血症（脂質異常）	9 6.4	1 4.0	2 5.1	14 20.9	20 11.8	10 10.9	29 13.4	42 12.8
呼吸器の病気 （肺炎・気管支炎等）	9 6.4	1 4.0	2 5.1	5 7.5	12 7.1	3 3.3	7 3.2	18 5.5
胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	7 5.0	0 0.0	4 10.3	3 4.5	9 5.3	5 5.4	9 4.1	22 6.7
腎臓・前立腺の病気	9 6.4	1 4.0	2 5.1	5 7.5	12 7.1	6 6.5	18 8.3	17 5.2
筋骨格の病気（骨粗 しょう症・関節症等）	12 8.6	2 8.0	3 7.7	3 4.5	6 3.6	7 7.6	24 11.1	34 10.4
外傷（転倒・骨折等）	5 3.6	1 4.0	0 0.0	3 4.5	4 2.4	3 3.3	5 2.3	10 3.1
がん（悪性新生物）	4 2.9	0 0.0	0 0.0	3 4.5	5 3.0	4 4.3	10 4.6	8 2.4
血液・免疫の病気	1 0.7	1 4.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	1 0.5	8 2.4
うつ病	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	2 0.9	2 0.6
認知症 （アルツハイマー病等）	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	3 0.9
パーキンソン病	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0
目の病気	24 17.1	3 12.0	5 12.8	10 14.9	30 17.8	16 17.4	40 18.4	69 21.1
耳の病気	6 4.3	1 4.0	1 2.6	4 6.0	11 6.5	4 4.3	10 4.6	15 4.6
その他	9 6.4	3 12.0	9 23.1	3 4.5	16 9.5	10 10.9	17 7.8	36 11.0
無回答	5 3.6	1 4.0	2 5.1	9 13.4	10 5.9	8 8.7	14 6.5	19 5.8

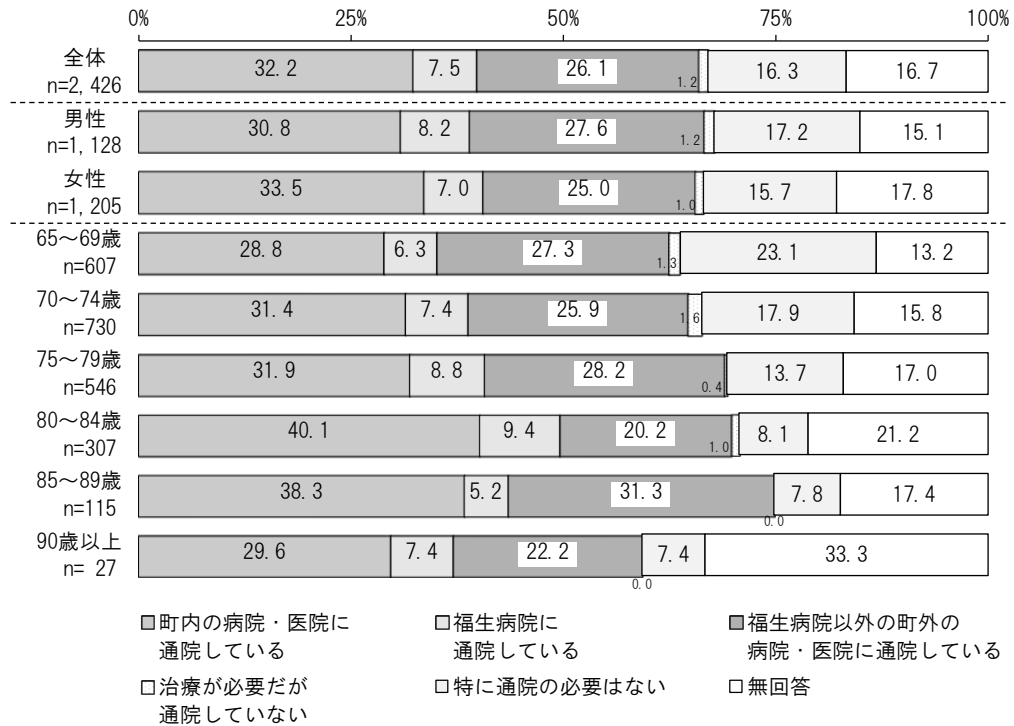
7-問8 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか（○は1つ）

全体では、「町内の病院・医院に通院している」が32.2%、「福生病院に通院している」が7.5%、「福生病院以外の町外の病院・医院に通院している」が26.1%と、合わせて65.8%の人が『通院している』と回答しています。

性別にみると、「町内の病院・医院に通院している」は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、「町内の病院・医院に通院している」は80～84歳で40.1%と最も高くなっています。

図表 2-76-1 病院・医院への通院の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-76-2 病院・医院への通院の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
町内の病院・医院に 通院している	782 32.2	38 23.9	86 33.2	159 33.6	24 54.5	17 34.0	48 30.4	44 32.4
福生病院に 通院している	183 7.5	11 6.9	20 7.7	31 6.6	0 0.0	3 6.0	6 3.8	7 5.1
福生病院以外の町外の 病院・医院に通院している	633 26.1	54 34.0	65 25.1	126 26.6	8 18.2	15 30.0	42 26.6	41 30.1
治療が必要だが 通院していない	28 1.2	4 2.5	4 1.5	3 0.6	1 2.3	1 2.0	3 1.9	0 0.0
特に通院の必要はない	395 16.3	22 13.8	43 16.6	75 15.9	6 13.6	5 10.0	34 21.5	29 21.3
無回答	405 16.7	30 18.9	41 15.8	79 16.7	5 11.4	9 18.0	25 15.8	15 11.0

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
町内の病院・医院に 通院している	56 40.0	8 32.0	10 25.6	23 34.3	49 29.0	30 32.6	92 42.4	72 22.0
福生病院に 通院している	7 5.0	0 0.0	5 12.8	6 9.0	14 8.3	6 6.5	14 6.5	48 14.7
福生病院以外の町外の 病院・医院に通院している	26 18.6	8 32.0	10 25.6	11 16.4	35 20.7	27 29.3	48 22.1	99 30.3
治療が必要だが 通院していない	2 1.4	1 4.0	0 0.0	1 1.5	3 1.8	2 2.2	1 0.5	1 0.3
特に通院の必要はない	25 17.9	4 16.0	6 15.4	12 17.9	38 22.5	14 15.2	29 13.4	43 13.1
無回答	24 17.1	4 16.0	8 20.5	14 20.9	30 17.8	13 14.1	33 15.2	64 19.6

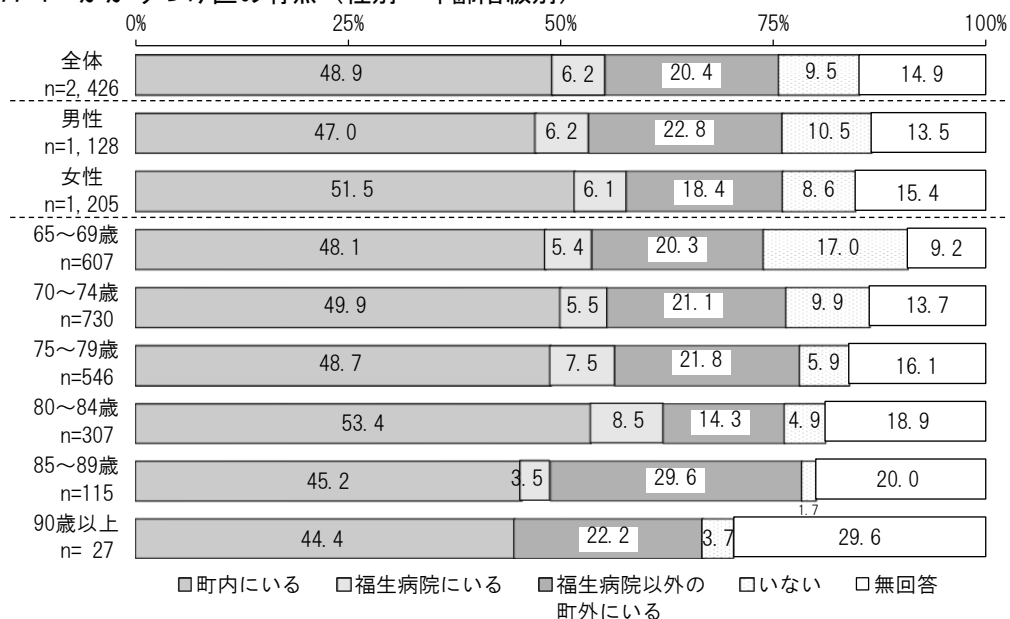
8 その他について

8-問1 ふだんから治療や指導を受けたり相談のできる、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか（1つの質問につき○は1つ）

①かかりつけ医

全体では、「町内にいる」が48.9%、「福生病院にいる」が6.2%、「福生病院以外の町外にいる」が20.4%と合わせて、かかりつけ医が『いる』は75.5%となっています。
性別にみると、「町内にいる」は女性が4.5ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「町内にいる」は80～84歳で5割以上となっています。

図表 2-77-1 かかりつけ医の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-77-2 かかりつけ医の有無（地区別）

上段：人/下段：%

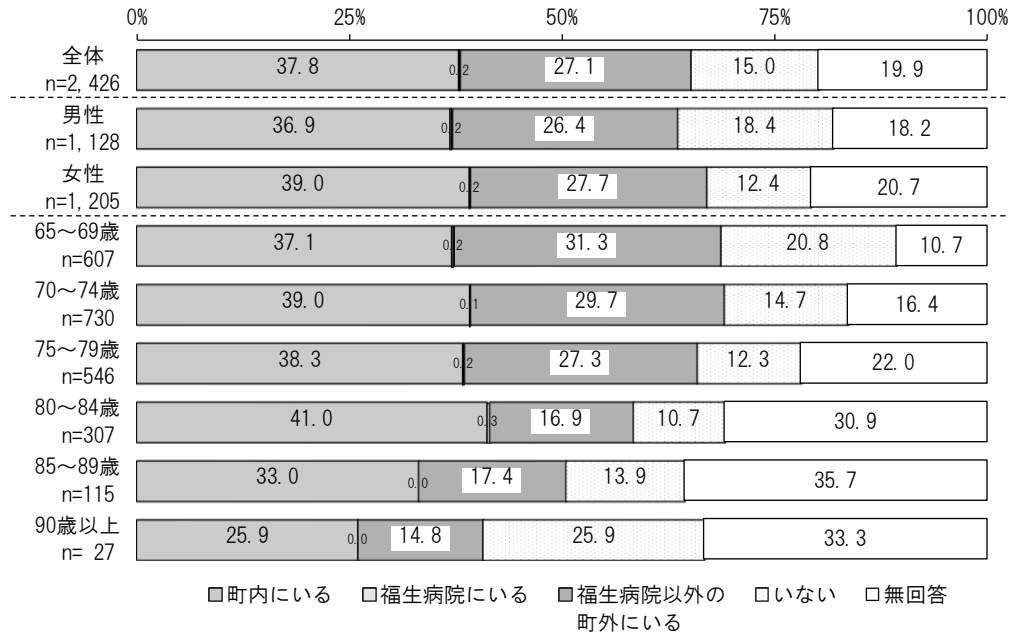
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡下師岡	長岡長谷部	二本木	駒形富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
町内にいる	1,187 48.9	68 42.8	126 48.6	268 56.7	26 59.1	29 58.0	70 44.3	71 52.2
福生病院にいる	150 6.2	8 5.0	9 3.5	29 6.1	0 0.0	0 0.0	7 4.4	3 2.2
福生病院以外の町外にいる	496 20.4	50 31.4	54 20.8	81 17.1	10 22.7	10 20.0	34 21.5	29 21.3
いない	231 9.5	13 8.2	26 10.0	33 7.0	2 4.5	2 4.0	23 14.6	16 11.8
無回答	362 14.9	20 12.6	44 17.0	62 13.1	6 13.6	9 18.0	24 15.2	17 12.5

	高根	富士山栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎東松原	箱根ヶ崎西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
町内にいる	79 56.4	12 48.0	13 33.3	35 52.2	94 55.6	39 42.4	132 60.8	93 28.4
福生病院にいる	6 4.3	1 4.0	6 15.4	3 4.5	10 5.9	9 9.8	12 5.5	42 12.8
福生病院以外の町外にいる	21 15.0	5 20.0	9 23.1	8 11.9	27 16.0	22 23.9	23 10.6	100 30.6
いない	15 10.7	4 16.0	4 10.3	9 13.4	19 11.2	13 14.1	15 6.9	32 9.8
無回答	19 13.6	3 12.0	7 17.9	12 17.9	19 11.2	9 9.8	35 16.1	60 18.3

②かかりつけ歯科医

全体では、「町内にいる」が37.8%、「福生病院にいる」が0.2%、「福生病院以外の町外にいる」が27.1%と合わせて、かかりつけ歯科医が『いる』は65.1%となっています。
性別にみると、「町内にいる」は男女で同程度となっています。
年齢階級別にみると、「町内にいる」は80～84歳で約4割となっています。

図表 2-78-1 かかりつけ歯科医の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-78-2 かかりつけ歯科医の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡下師岡	長岡長谷部	二本木	駒形富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
町内にいる	917 37.8	69 43.4	130 50.2	238 50.3	15 34.1	13 26.0	48 30.4	62 45.6
福生病院にいる	4 0.2	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
福生病院以外の町外にいる	657 27.1	36 22.6	37 14.3	95 20.1	14 31.8	20 40.0	43 27.2	38 27.9
いない	365 15.0	27 17.0	33 12.7	64 13.5	6 13.6	5 10.0	35 22.2	13 9.6
無回答	483 19.9	27 17.0	58 22.4	76 16.1	9 20.5	12 24.0	32 20.3	23 16.9

	高根	富士山栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎東松原	箱根ヶ崎西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
町内にいる	54 38.6	3 12.0	17 43.6	29 43.3	53 31.4	32 34.8	52 24.0	76 23.2
福生病院にいる	1 0.7	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3
福生病院以外の町外にいる	32 22.9	12 48.0	8 20.5	16 23.9	65 38.5	36 39.1	76 35.0	109 33.3
いない	28 20.0	4 16.0	3 7.7	8 11.9	26 15.4	9 9.8	37 17.1	59 18.0
無回答	25 17.9	6 24.0	10 25.6	14 20.9	25 14.8	15 16.3	52 24.0	82 25.1

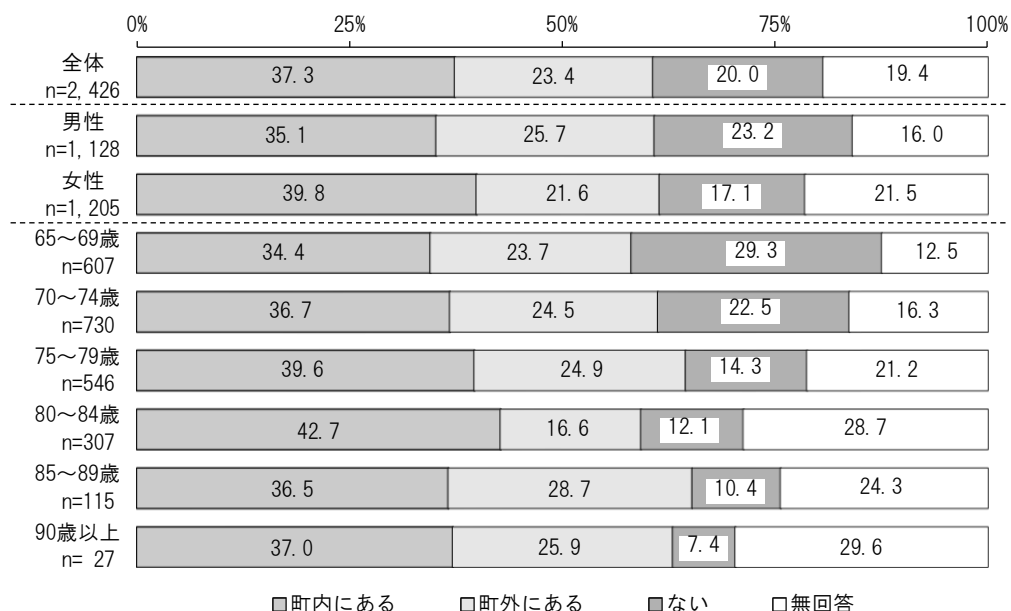
③かかりつけ薬局

全体では、「町内にある」が37.3%、「町外にある」が23.4%と合わせて、かかりつけ薬局が『ある』は60.7%となっています。

性別にみると、「町内にある」は女性が4.7ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「町内にある」は80～84歳で4割以上となっています。

図表 2-79-1 かかりつけ薬局の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-79-2 かかりつけ薬局の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
町内にある	904 37.3	47 29.6	76 29.3	207 43.8	17 38.6	24 48.0	56 35.4	60 44.1
町外にある	568 23.4	50 31.4	70 27.0	93 19.7	12 27.3	8 16.0	30 19.0	32 23.5
ない	484 20.0	34 21.4	59 22.8	87 18.4	5 11.4	4 8.0	40 25.3	21 15.4
無回答	470 19.4	28 17.6	54 20.8	86 18.2	10 22.7	14 28.0	32 20.3	23 16.9

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
町内にある	60 42.9	11 44.0	7 17.9	30 44.8	75 44.4	31 33.7	105 48.4	73 22.3
町外にある	29 20.7	5 20.0	15 38.5	9 13.4	31 18.3	27 29.3	34 15.7	110 33.6
ない	28 20.0	5 20.0	9 23.1	16 23.9	40 23.7	22 23.9	36 16.6	65 19.9
無回答	23 16.4	4 16.0	8 20.5	12 17.9	23 13.6	12 13.0	42 19.4	79 24.2

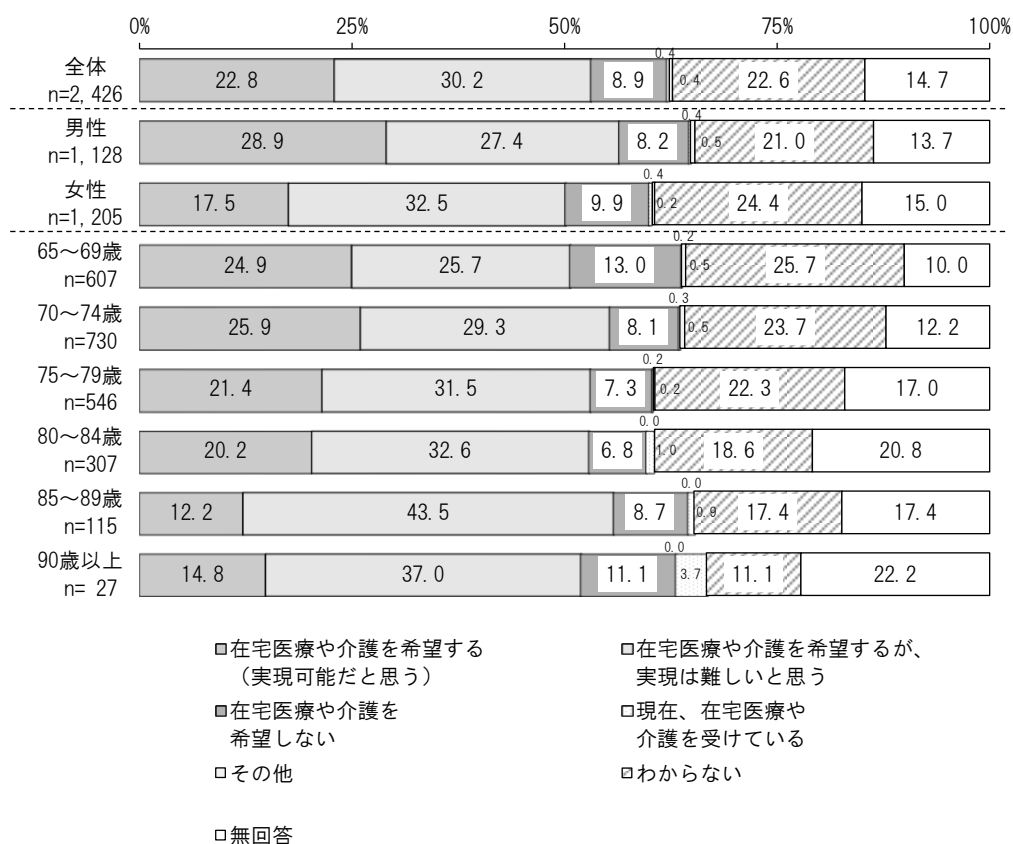
8-問2 あなたが病気になったり介護が必要になった場合、自宅での在宅医療や介護を希望しますか、また、それは実現可能だと思いますか（○は1つ）

全体では、「在宅医療や介護を希望する（実現可能だと思う）」が22.8%、「在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う」は30.2%と合わせて、自宅での在宅医療や介護を『希望する』が53.0%となっています。

性別にみると、「在宅医療や介護を希望する（実現可能だと思う）」は男性が11.4ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う」は加齢とともに高くなる傾向にあり、85～89歳で43.5%と最も高くなっています。

図表 2-80-1 在宅医療や介護の希望の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-80-2 在宅医療や介護の希望の有無（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
在宅医療や介護を希望する （実現可能だと思う）	554 22.8	35 22.0	71 27.4	106 22.4	12 27.3	10 20.0	38 24.1	25 18.4
在宅医療や介護を 希望するが、実現は 難しいと思う	732 30.2	42 26.4	80 30.9	159 33.6	15 34.1	18 36.0	37 23.4	52 38.2
在宅医療や介護を 希望しない	217 8.9	15 9.4	17 6.6	50 10.6	4 9.1	5 10.0	14 8.9	15 11.0
現在、在宅医療や 介護を受けている	9 0.4	0 0.0	0 0.0	5 1.1	1 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	9 0.4	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0
わからない	549 22.6	43 27.0	47 18.1	93 19.7	4 9.1	8 16.0	45 28.5	27 19.9
無回答	356 14.7	24 15.1	44 17.0	58 12.3	8 18.2	9 18.0	23 14.6	17 12.5

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
在宅医療や介護を希望する （実現可能だと思う）	31 22.1	3 12.0	7 17.9	16 23.9	41 24.3	22 23.9	45 20.7	74 22.6
在宅医療や介護を 希望するが、実現は 難しいと思う	42 30.0	8 32.0	13 33.3	17 25.4	44 26.0	27 29.3	55 25.3	101 30.9
在宅医療や介護を 希望しない	12 8.6	2 8.0	1 2.6	8 11.9	11 6.5	4 4.3	28 12.9	27 8.3
現在、在宅医療や 介護を受けている	0 0.0	1 4.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3
その他	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	2 1.2	0 0.0	1 0.5	2 0.6
わからない	38 27.1	6 24.0	10 25.6	12 17.9	47 27.8	29 31.5	58 26.7	67 20.5
無回答	17 12.1	5 20.0	7 17.9	13 19.4	24 14.2	10 10.9	30 13.8	55 16.8

8-問2(1)【問2で「2. 在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う」「3. 在宅医療や介護を希望しない」の方のみ】

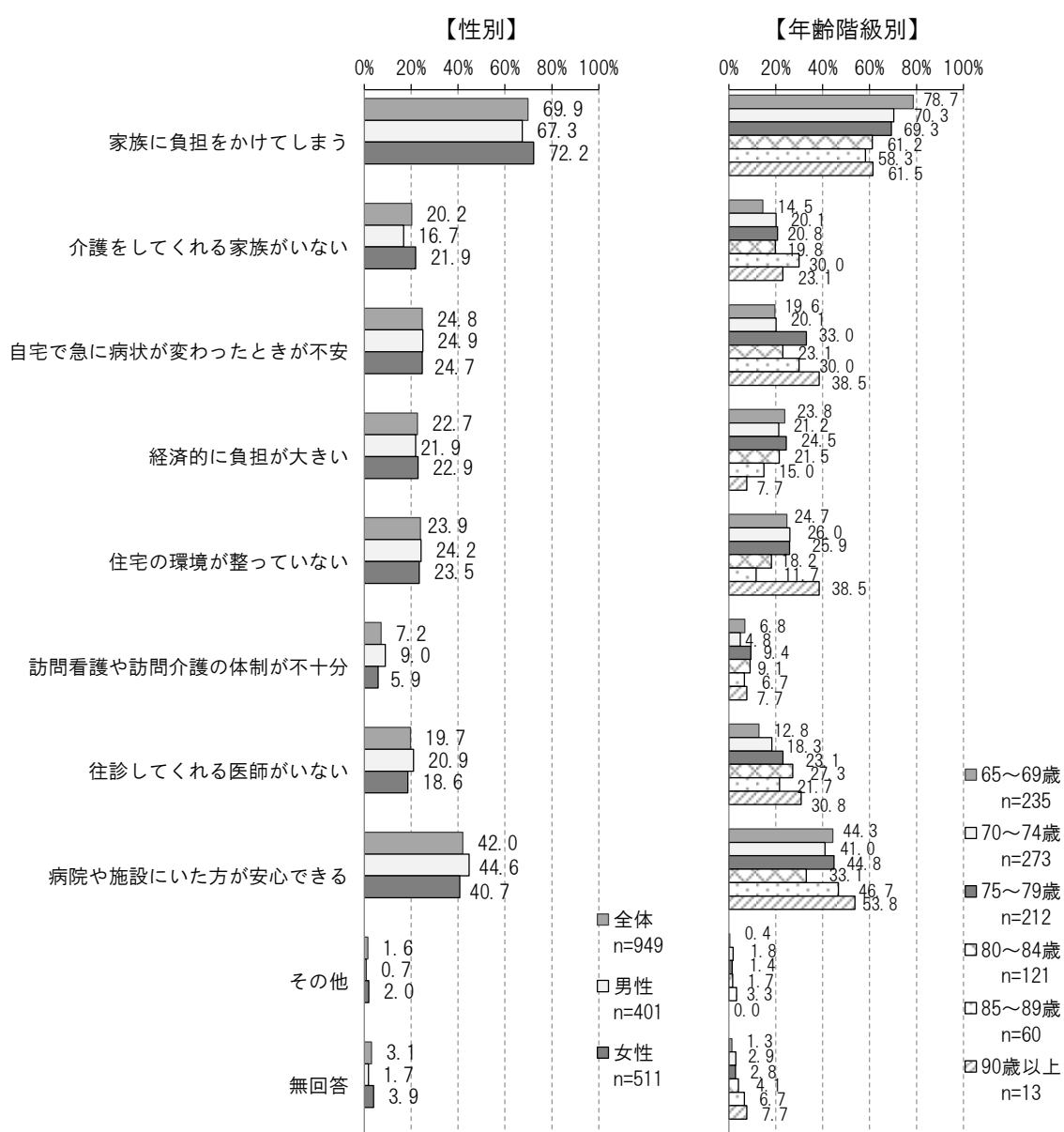
在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか(〇はいくつでも)

全体では、「家族に負担をかけてしまう」が69.9%と最も高く、次いで「病院や施設にいた方が安心できる」が42.0%、「自宅で急に病状が変わったときが不安」が24.8%となっています。

性別にみると、「家族に負担をかけてしまう」、「介護をしてくれる家族がいない」は女性が約5ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「家族に負担をかけてしまう」は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-81-1 希望しない、難しいと思う理由(性別・年齢階級別)



図表 2-81-2 希望しない、難しいと思う理由（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	949	57	97	209	19	23	51	67
家族に負担をかけて しまう	663 69.9	45 78.9	68 70.1	145 69.4	16 84.2	16 69.6	38 74.5	50 74.6
介護をしてくれる 家族がいない	192 20.2	11 19.3	16 16.5	34 16.3	6 31.6	3 13.0	10 19.6	9 13.4
自宅で急に病状が 変わったときが不安	235 24.8	16 28.1	16 16.5	57 27.3	9 47.4	2 8.7	16 31.4	12 17.9
経済的に負担が 大きい	215 22.7	16 28.1	22 22.7	35 16.7	5 26.3	5 21.7	12 23.5	14 20.9
住宅の環境が 整っていない	227 23.9	14 24.6	27 27.8	46 22.0	5 26.3	1 4.3	12 23.5	14 20.9
訪問看護や訪問介護の 体制が不十分	68 7.2	2 3.5	4 4.1	22 10.5	2 10.5	4 17.4	2 3.9	7 10.4
往診してくれる医師が いない	187 19.7	7 12.3	23 23.7	38 18.2	11 57.9	6 26.1	8 15.7	16 23.9
病院や施設にいた方が 安心できる	399 42.0	32 56.1	40 41.2	86 41.1	10 52.6	9 39.1	24 47.1	21 31.3
その他	15 1.6	0 0.0	2 2.1	3 1.4	0 0.0	1 4.3	1 2.0	0 0.0
無回答	29 3.1	0 0.0	4 4.1	7 3.3	0 0.0	2 8.7	1 2.0	4 6.0

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	54	10	14	25	55	31	83	128
家族に負担をかけて しまう	42 77.8	6 60.0	12 85.7	15 60.0	38 69.1	22 71.0	63 75.9	71 55.5
介護をしてくれる 家族がいない	15 27.8	4 40.0	1 7.1	7 28.0	9 16.4	7 22.6	14 16.9	38 29.7
自宅で急に病状が 変わったときが不安	18 33.3	2 20.0	4 28.6	4 16.0	10 18.2	5 16.1	19 22.9	37 28.9
経済的に負担が 大きい	15 27.8	0 0.0	4 28.6	5 20.0	12 21.8	7 22.6	20 24.1	34 26.6
住宅の環境が 整っていない	15 27.8	3 30.0	4 28.6	6 24.0	14 25.5	13 41.9	15 18.1	30 23.4
訪問看護や訪問介護の 体制が不十分	2 3.7	1 10.0	0 0.0	1 4.0	4 7.3	3 9.7	9 10.8	4 3.1
往診してくれる医師が いない	11 20.4	2 20.0	3 21.4	2 8.0	5 9.1	6 19.4	16 19.3	28 21.9
病院や施設にいた方が 安心できる	20 37.0	4 40.0	6 42.9	7 28.0	19 34.5	14 45.2	35 42.2	63 49.2
その他	3 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 3.1
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	2 3.6	1 3.2	2 2.4	2 1.6

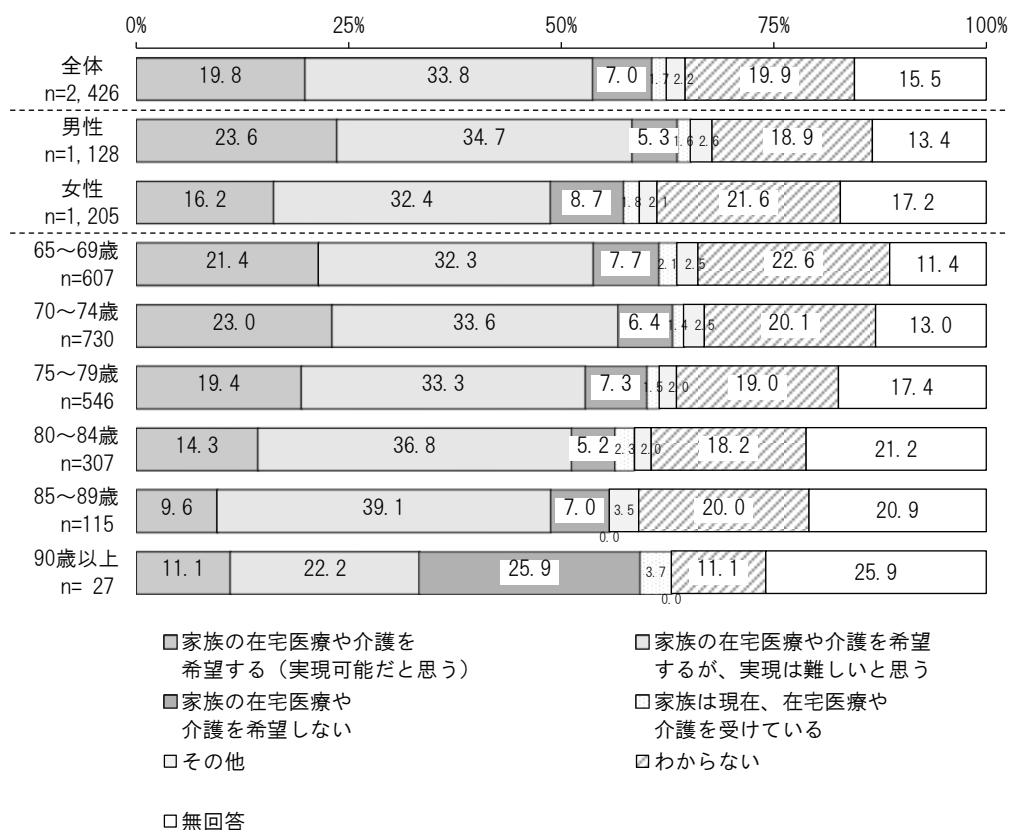
8-問3 あなたの家族が病気になったり介護が必要になった場合、自宅での在宅医療や介護を希望しますか、また、それは実現可能だと思いますか（○は1つ）

全体では、「家族の在宅医療や介護を希望する（実現可能だと思う）」が19.8%、「家族の在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う」は33.8%と合わせて、家族の在宅医療や介護を『希望する』が53.6%となっています。

性別にみると、家族の在宅医療や介護を『希望する』は男性が9.7ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、家族の在宅医療や介護を『希望する』は70～74歳をピークに年齢とともに低くなっています。

図表 2-82-1 家族が病気等になった場合の在宅医療や介護の希望の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-82-2 家族が病気等になった場合の在宅医療や介護の希望の有無（地区別）

上段：人/下段：%

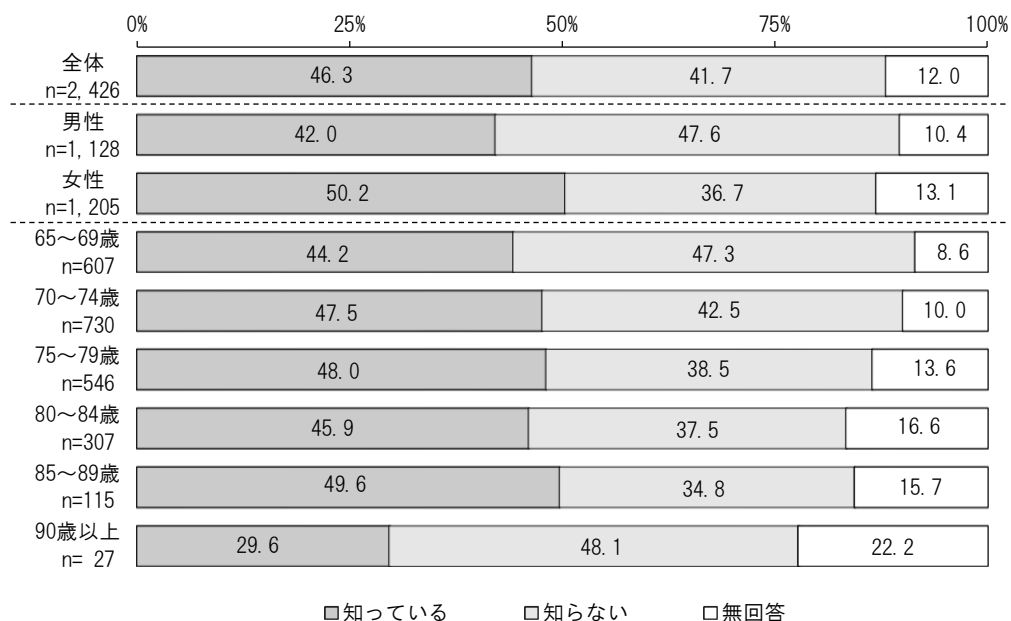
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
家族の在宅医療や 介護を希望する （実現可能だと思う）	481 19.8	30 18.9	52 20.1	90 19.0	9 20.5	8 16.0	34 21.5	26 19.1
家族の在宅医療や 介護を希望するが、 実現は難しいと思う	820 33.8	45 28.3	89 34.4	176 37.2	17 38.6	18 36.0	45 28.5	57 41.9
家族の在宅医療や 介護を希望しない	170 7.0	15 9.4	16 6.2	38 8.0	2 4.5	4 8.0	12 7.6	7 5.1
家族は現在、在宅医療や 介護を受けている	42 1.7	2 1.3	1 0.4	7 1.5	0 0.0	1 2.0	2 1.3	2 1.5
その他	54 2.2	2 1.3	6 2.3	11 2.3	0 0.0	1 2.0	2 1.3	2 1.5
わからない	483 19.9	42 26.4	44 17.0	89 18.8	7 15.9	6 12.0	38 24.1	30 22.1
無回答	376 15.5	23 14.5	51 19.7	62 13.1	9 20.5	12 24.0	25 15.8	12 8.8

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
家族の在宅医療や 介護を希望する （実現可能だと思う）	24 17.1	3 12.0	6 15.4	18 26.9	39 23.1	24 26.1	42 19.4	57 17.4
家族の在宅医療や 介護を希望するが、 実現は難しいと思う	51 36.4	6 24.0	15 38.5	19 28.4	48 28.4	26 28.3	68 31.3	113 34.6
家族の在宅医療や 介護を希望しない	9 6.4	3 12.0	3 7.7	6 9.0	8 4.7	5 5.4	12 5.5	27 8.3
家族は現在、在宅医療や 介護を受けている	1 0.7	2 8.0	0 0.0	3 4.5	7 4.1	3 3.3	4 1.8	5 1.5
その他	5 3.6	1 4.0	1 2.6	1 1.5	3 1.8	2 2.2	5 2.3	12 3.7
わからない	31 22.1	6 24.0	8 20.5	11 16.4	40 23.7	24 26.1	47 21.7	50 15.3
無回答	19 13.6	4 16.0	6 15.4	9 13.4	24 14.2	8 8.7	39 18.0	63 19.3

8-問4 高齢者の方の介護予防の助言や権利擁護、地域でのネットワーク構築など総合的な相談窓口として活動している「高齢者支援センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか（○は1つ）

全体では、「知っている」が46.3%となっています。
性別にみると、「知っている」は女性が8.2ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「知っている」は85～89歳が約5割となっています。

図表 2-83-1 高齢者支援センター（地域包括支援センター）の認知度（性別・年齢階級別）



図表 2-83-2 高齢者支援センター（地域包括支援センター）の認知度（地区別）

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
知っている	1,124 46.3	78 49.1	117 45.2	224 47.4	18 40.9	22 44.0	66 41.8	62 45.6
知らない	1,011 41.7	61 38.4	104 40.2	197 41.6	21 47.7	21 42.0	70 44.3	64 47.1
無回答	291 12.0	20 12.6	38 14.7	52 11.0	5 11.4	7 14.0	22 13.9	10 7.4

上段：人/下段：%

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
知っている	62 44.3	13 52.0	19 48.7	28 41.8	89 52.7	36 39.1	105 48.4	150 45.9
知らない	64 45.7	8 32.0	17 43.6	31 46.3	63 37.3	51 55.4	83 38.2	130 39.8
無回答	14 10.0	4 16.0	3 7.7	8 11.9	17 10.1	5 5.4	29 13.4	47 14.4

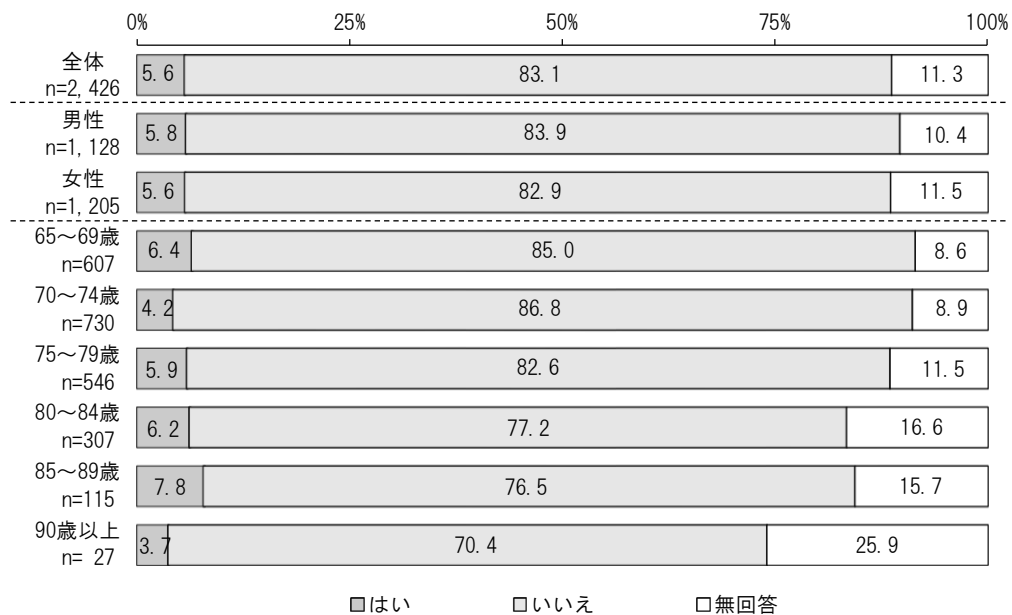
8-問5 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（○は1つ）

全体では、「いいえ」が83.1%と、自分又は家族に認知症の症状はない人が8割以上となっています。

性別にみると、「はい」は男女で同程度となっています。

年齢階級別にみると、自分又は家族に認知症の症状がある人は85～89歳で高くなっています。

図表 2-84-1 自分又は家族の認知症の症状の有無（性別・年齢階級別）



図表 2-84-2 自分又は家族の認知症の症状の有無（地区別）

上段：人/下段：%

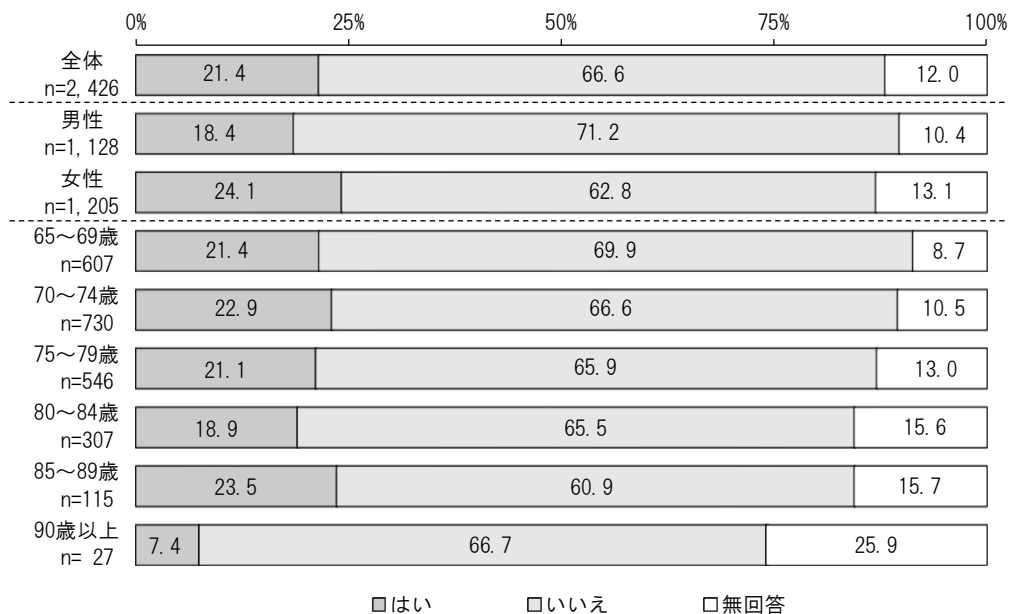
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	136 5.6	8 5.0	9 3.5	23 4.9	0 0.0	6 12.0	7 4.4	9 6.6
いいえ	2,015 83.1	132 83.0	212 81.9	400 84.6	40 90.9	36 72.0	130 82.3	118 86.8
無回答	275 11.3	19 11.9	38 14.7	50 10.6	4 9.1	8 16.0	21 13.3	9 6.6

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	8 5.7	3 12.0	2 5.1	5 7.5	16 9.5	4 4.3	11 5.1	22 6.7
いいえ	119 85.0	19 76.0	34 87.2	55 82.1	136 80.5	84 91.3	181 83.4	262 80.1
無回答	13 9.3	3 12.0	3 7.7	7 10.4	17 10.1	4 4.3	25 11.5	43 13.1

8-問6 認知症に関する相談窓口を知っていますか（○は1つ）

全体では、「はい」が21.4%と、相談窓口を知っている人は約2割となっています。
性別にみると、相談窓口を知っている人は女性が5.7ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、相談窓口を知っている人は85～89歳で23.5%と最も高くなっています。

図表 2-85-1 認知症に関する相談窓口の認知度（性別・年齢階級別）



図表 2-85-2 認知症に関する相談窓口の認知度（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	519 21.4	28 17.6	48 18.5	114 24.1	8 18.2	12 24.0	30 19.0	30 22.1
いいえ	1,615 66.6	112 70.4	171 66.0	307 64.9	32 72.7	31 62.0	108 68.4	95 69.9
無回答	292 12.0	19 11.9	40 15.4	52 11.0	4 9.1	7 14.0	20 12.7	11 8.1

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	29 20.7	5 20.0	10 25.6	15 22.4	43 25.4	17 18.5	47 21.7	67 20.5
いいえ	95 67.9	15 60.0	25 64.1	45 67.2	109 64.5	69 75.0	140 64.5	216 66.1
無回答	16 11.4	5 20.0	4 10.3	7 10.4	17 10.1	6 6.5	30 13.8	44 13.5

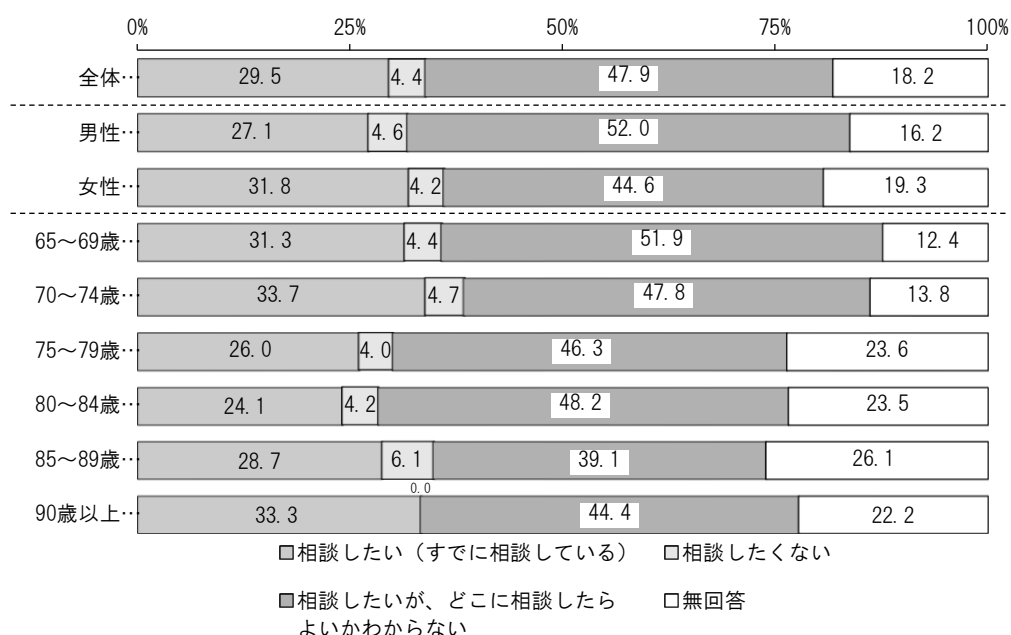
8-問7 もしあなたが認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外でどこに相談したいと思いますか（○は1つ）

全体では、「相談したいが、どこに相談したらいいかわからない」が47.9%、「相談したい（すでに相談している）」が29.5%となっています。

性別にみると、「相談したい（すでに相談している）」は女性が4.7ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「相談したいが、どこに相談したらいいかわからない」は65～69歳で5割以上となっています。

図表 2-86-1 認知症になった際の家族以外への相談意向（性別・年齢階級別）



図表 2-86-2 認知症になった際の家族以外への相談意向（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
相談したい （すでに相談している）	715 29.5	40 25.2	73 28.2	151 31.9	10 22.7	14 28.0	43 27.2	40 29.4
相談したくない	106 4.4	9 5.7	12 4.6	23 4.9	1 2.3	1 2.0	10 6.3	4 2.9
相談したいが、どこに 相談したらいいかわからない	1,163 47.9	78 49.1	126 48.6	217 45.9	25 56.8	23 46.0	72 45.6	70 51.5
無回答	442 18.2	32 20.1	48 18.5	82 17.3	8 18.2	12 24.0	33 20.9	22 16.2

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
相談したい （すでに相談している）	53 37.9	3 12.0	11 28.2	18 26.9	56 33.1	26 28.3	70 32.3	87 26.6
相談したくない	6 4.3	3 12.0	1 2.6	2 3.0	9 5.3	3 3.3	11 5.1	9 2.8
相談したいが、どこに 相談したらいいかわからない	58 41.4	13 52.0	22 56.4	36 53.7	73 43.2	49 53.3	108 49.8	162 49.5
無回答	23 16.4	6 24.0	5 12.8	11 16.4	31 18.3	14 15.2	28 12.9	69 21.1

8-問7（1）【問7で「2. 相談したくない」の方のみ】

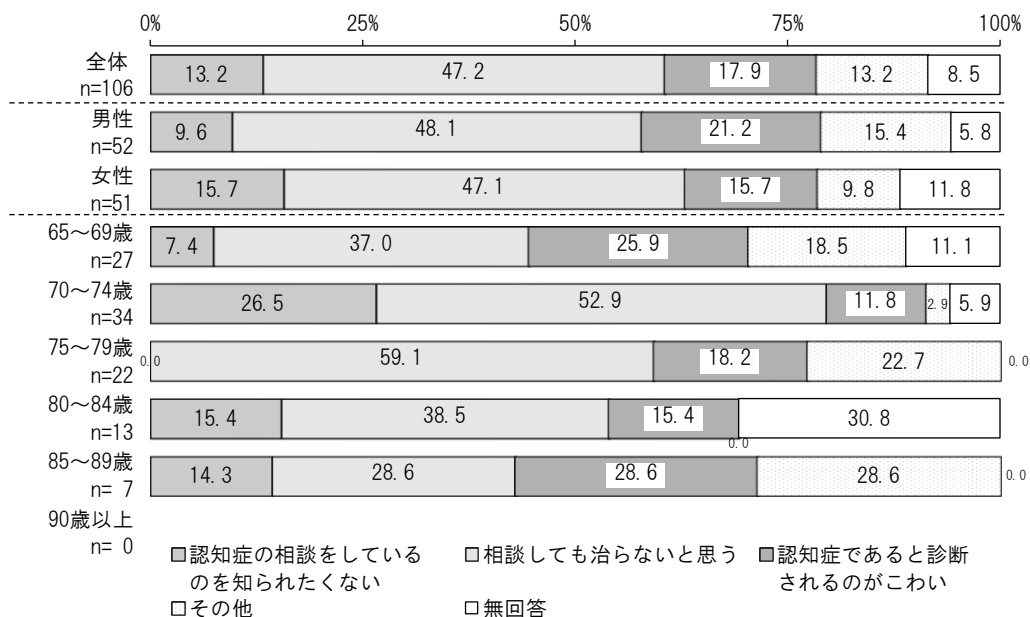
相談したくない理由を教えてください（○は1つ）

全体では、「相談しても治らないと思う」が47.2%となっています。

性別にみると、「認知症の相談をしているのを知られたくない」は女性が6.1ポイント高く、また「認知症であると診断されるのがこわい」は男性が5.5ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「認知症の相談をしているのを知られたくない」は70～74歳で26.5%と最も高くなっています。

図表 2-87-1 相談したくない理由（性別・年齢階級別）



図表 2-87-2 相談したくない理由（地区別）

上段：人/下段：%

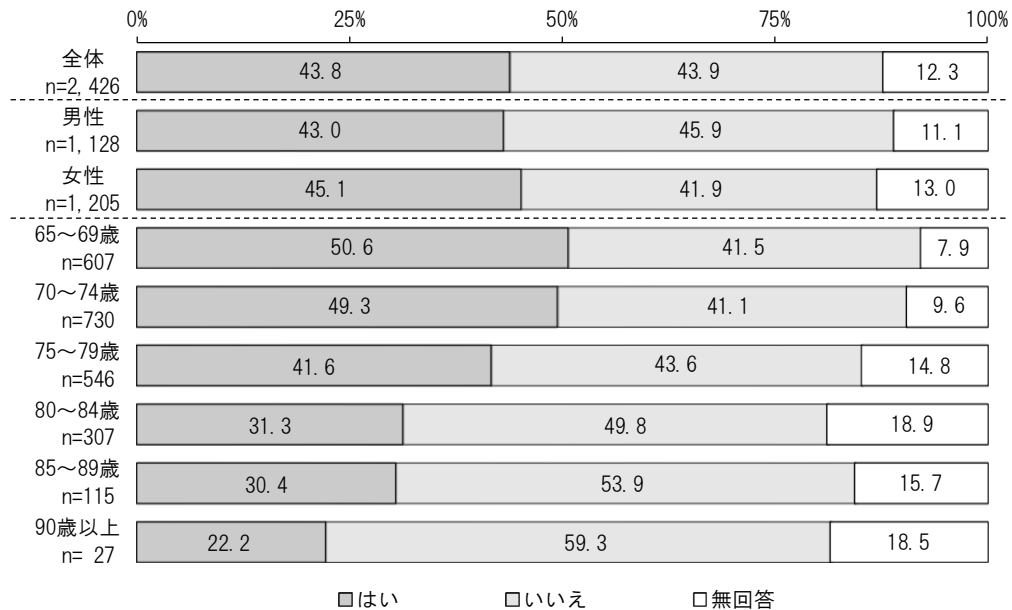
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡下師岡	長岡長谷部	二本木	駒形富士山
全体（n）	106	9	12	23	1	1	10	4
認知症の相談をしているのを知られたくない	14 13.2	1 11.1	0 0.0	3 13.0	0 0.0	1 100.0	3 30.0	1 25.0
相談しても治らないと思う	50 47.2	3 33.3	7 58.3	11 47.8	0 0.0	0 0.0	4 40.0	2 50.0
認知症であると診断されるのがこわい	19 17.9	2 22.2	4 33.3	5 21.7	1 100.0	0 0.0	1 10.0	1 25.0
その他	14 13.2	2 22.2	1 8.3	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
無回答	9 8.5	1 11.1	0 0.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0

	高根	富士山栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎東松原	箱根ヶ崎西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	6	3	1	2	9	3	11	9
認知症の相談をしているのを知られたくない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 9.1	2 22.2
相談しても治らないと思う	2 33.3	2 66.7	1 100.0	0 0.0	7 77.8	1 33.3	7 63.6	3 33.3
認知症であると診断されるのがこわい	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0
その他	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 33.3	1 9.1	3 33.3
無回答	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1

8-問8 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」 を知っていますか（○は1つ）

全体では、「はい」が43.8%、「いいえ」が43.9%と同程度となっています。
性別にみると、知っている人は女性が2.1ポイント高く、一方知らない人は男性が4.0ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、知っている人は加齢とともに低くなっています。

図表 2-88-1 「成年後見制度」の認知度（性別・年齢階級別）



図表 2-88-2 「成年後見制度」の認知度（地区別）

上段：人/下段：%

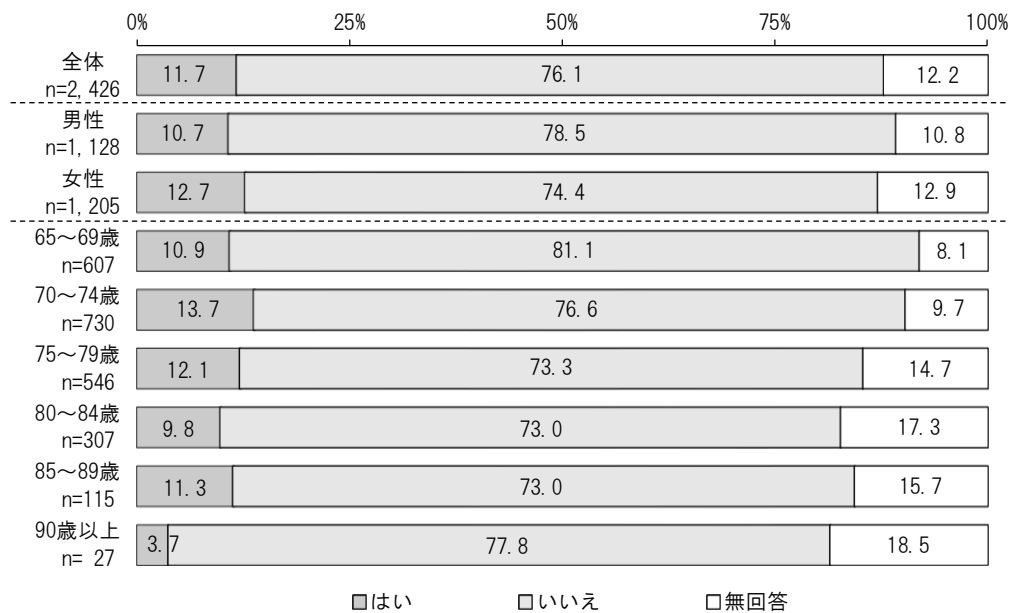
	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	1,062 43.8	61 38.4	108 41.7	226 47.8	13 29.5	17 34.0	71 44.9	61 44.9
いいえ	1,065 43.9	78 49.1	108 41.7	199 42.1	27 61.4	24 48.0	63 39.9	62 45.6
無回答	299 12.3	20 12.6	43 16.6	48 10.1	4 9.1	9 18.0	24 15.2	13 9.6

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	70 50.0	10 40.0	23 59.0	32 47.8	84 49.7	44 47.8	83 38.2	135 41.3
いいえ	56 40.0	9 36.0	12 30.8	27 40.3	67 39.6	43 46.7	106 48.8	148 45.3
無回答	14 10.0	6 24.0	4 10.3	8 11.9	18 10.7	5 5.4	28 12.9	44 13.5

8-問9 成年後見制度の利用を支援する「権利擁護センターみずほ」を知っていますか（○は1つ）

全体では、「はい」が11.7%で、知っている人は約1割となっています。
性別にみると、「いいえ」は男性が4.1ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「いいえ」は65～69歳で約8割となっています。

図表 2-89-1 「権利擁護センターみずほ」の認知度（性別・年齢階級別）



図表 2-89-2 「権利擁護センターみずほ」の認知度（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体 (n)	2,426	159	259	473	44	50	158	136
はい	284 11.7	17 10.7	23 8.9	55 11.6	9 20.5	6 12.0	26 16.5	18 13.2
いいえ	1,845 76.1	124 78.0	193 74.5	368 77.8	31 70.5	37 74.0	111 70.3	105 77.2
無回答	297 12.2	18 11.3	43 16.6	50 10.6	4 9.1	7 14.0	21 13.3	13 9.6

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体 (n)	140	25	39	67	169	92	217	327
はい	20 14.3	3 12.0	8 20.5	9 13.4	17 10.1	12 13.0	20 9.2	36 11.0
いいえ	106 75.7	17 68.0	28 71.8	46 68.7	134 79.3	74 80.4	170 78.3	247 75.5
無回答	14 10.0	5 20.0	3 7.7	12 17.9	18 10.7	6 6.5	27 12.4	44 13.5

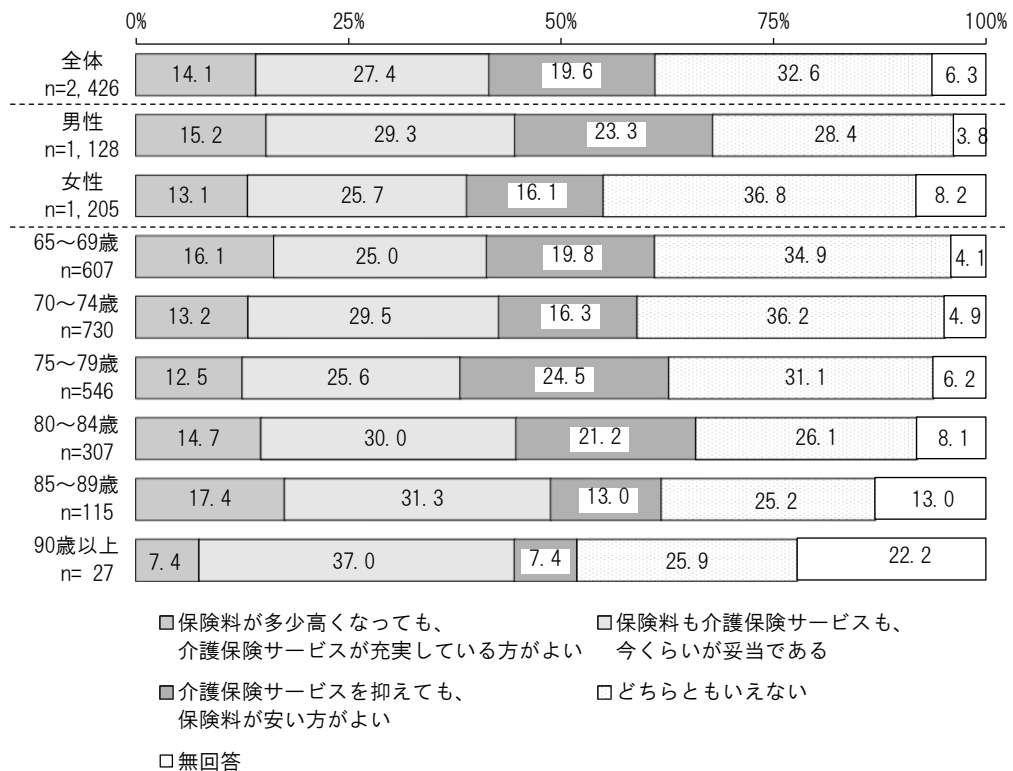
8-問10 介護保険は、保険料などの収入により介護が必要な方のサービス費用をまかなっています。今後の保険料について、どう考えますか（○は1つ）

全体では、「保険料も介護保険サービスも、今くらいが妥当である」が27.4%、「介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい」が19.6%となっています。

性別にみると、「介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい」は男性が7.2ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい」は75～79歳で24.5%と最も高くなっています。

図表 2-90-1 今後の保険料についての考え（性別・年齢階級別）



図表 2-90-2 今後の保険料についての考え（地区別）

上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい	341 14.1	20 12.6	45 17.4	60 12.7	2 4.5	7 14.0	23 14.6	18 13.2
保険料も介護保険サービスも、今くらいが妥当である	665 27.4	41 25.8	91 35.1	144 30.4	9 20.5	18 36.0	37 23.4	40 29.4
介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい	475 19.6	29 18.2	45 17.4	103 21.8	11 25.0	12 24.0	29 18.4	29 21.3
どちらともいえない	791 32.6	51 32.1	63 24.3	143 30.2	18 40.9	13 26.0	58 36.7	42 30.9
無回答	154 6.3	18 11.3	15 5.8	23 4.9	4 9.1	0 0.0	11 7.0	7 5.1

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい	19 13.6	3 12.0	8 20.5	14 20.9	29 17.2	10 10.9	27 12.4	46 14.1
保険料も介護保険サービスも、今くらいが妥当である	31 22.1	6 24.0	8 20.5	17 25.4	38 22.5	24 26.1	62 28.6	87 26.6
介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい	21 15.0	6 24.0	7 17.9	11 16.4	32 18.9	20 21.7	40 18.4	63 19.3
どちらともいえない	60 42.9	8 32.0	13 33.3	22 32.8	56 33.1	35 38.0	72 33.2	112 34.3
無回答	9 6.4	2 8.0	3 7.7	3 4.5	14 8.3	3 3.3	16 7.4	19 5.8

8-問 11 これからの高齢者福祉施策として、町に力を入れてもらいたいことは次のうちどれですか（〇はいくつでも）

全体では、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」が51.1%と最も高く、次いで「介護している家族の負担の軽減」が43.9%、「高齢者の外出等の移動に関する支援」が38.9%、「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が32.3%となっています。

性別にみると、「高齢者への就労支援」は男性が5.3ポイント高く、「高齢者の外出等の移動に関する支援」は女性が9.2ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「介護している家族の負担の軽減」、「高齢者に配慮した住まいや住環境づくり」などの項目では加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 2-91-1 町に力を入れてもらいたい高齢者施策（性別・年齢階級別）

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体（n）	2,426	1,128	1,205	607	730	546	307	115	27
介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供	1,240 51.1	606 53.7	589 48.9	314 51.7	375 51.4	277 50.7	169 55.0	49 42.6	9 33.3
健康づくりや介護予防のための支援	589 24.3	281 24.9	287 23.8	155 25.5	175 24.0	133 24.4	71 23.1	26 22.6	4 14.8
趣味や教養・学習活動への支援	311 12.8	137 12.1	160 13.3	85 14.0	110 15.1	64 11.7	32 10.4	5 4.3	0 0.0
高齢者への就労支援	364 15.0	200 17.7	150 12.4	140 23.1	121 16.6	51 9.3	30 9.8	4 3.5	2 7.4
ボランティアやNPO活動への支援	119 4.9	50 4.4	66 5.5	31 5.1	40 5.5	22 4.0	16 5.2	6 5.2	0 0.0
高齢者に配慮した住まいや住環境づくり	475 19.6	232 20.6	230 19.1	148 24.4	148 20.3	94 17.2	45 14.7	17 14.8	5 18.5
高齢者の外出等の移動に関する支援	943 38.9	389 34.5	526 43.7	253 41.7	277 37.9	210 38.5	125 40.7	38 33.0	8 29.6
在宅での生活を切れ目なく支える医療・介護サービスの整備	653 26.9	311 27.6	325 27.0	180 29.7	210 28.8	146 26.7	56 18.2	30 26.1	6 22.2
デイサービスやショートステイなどを実施する施設の充実	617 25.4	268 23.8	318 26.4	177 29.2	208 28.5	115 21.1	62 20.2	24 20.9	5 18.5
特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	783 32.3	365 32.4	395 32.8	222 36.6	249 34.1	179 32.8	73 23.8	30 26.1	7 25.9
ひとり暮らし高齢者などを見守る地域づくり	674 27.8	303 26.9	345 28.6	171 28.2	222 30.4	133 24.4	89 29.0	29 25.2	3 11.1
高齢者の居場所づくりの支援	430 17.7	182 16.1	229 19.0	121 19.9	124 17.0	93 17.0	54 17.6	15 13.0	4 14.8
介護している家族の負担の軽減	1,064 43.9	485 43.0	551 45.7	307 50.6	337 46.2	238 43.6	106 34.5	36 31.3	10 37.0
認知症高齢者への支援	482 19.9	211 18.7	253 21.0	128 21.1	150 20.5	108 19.8	55 17.9	21 18.3	2 7.4
高齢者の虐待防止や成年後見制度に対する支援	213 8.8	98 8.7	108 9.0	50 8.2	70 9.6	50 9.2	26 8.5	10 8.7	2 7.4
その他	60 2.5	29 2.6	30 2.5	13 2.1	26 3.6	17 3.1	2 0.7	1 0.9	1 3.7
特にない・わからない	279 11.5	140 12.4	125 10.4	60 9.9	81 11.1	75 13.7	30 9.8	16 13.9	3 11.1
無回答	105 4.3	41 3.6	55 4.6	16 2.6	19 2.6	23 4.2	17 5.5	16 13.9	5 18.5

地区別にみると、ほとんどの地区で「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」が1位となっており、特に長岡長谷部では70.0%と高くなっています。また、二本木、武蔵では「高齢者の外出等の移動に関する支援」が48%を超えて1位となっており、長岡長谷部、高根、富士山栗原新田でも48%以上となっています。

図表 2-91-2 町に力を入れてもらいたい高齢者施策（地区別） 上段：人/下段：%

	全体	殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡 下師岡	長岡 長谷部	二本木	駒形 富士山
全体（n）	2,426	159	259	473	44	50	158	136
介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供	1,240 51.1	79 49.7	150 57.9	243 51.4	26 59.1	35 70.0	66 41.8	71 52.2
健康づくりや介護予防のための支援	589 24.3	41 25.8	66 25.5	108 22.8	11 25.0	16 32.0	40 25.3	37 27.2
趣味や教養・学習活動への支援	311 12.8	24 15.1	40 15.4	58 12.3	6 13.6	4 8.0	20 12.7	23 16.9
高齢者への就労支援	364 15.0	26 16.4	52 20.1	48 10.1	8 18.2	7 14.0	21 13.3	21 15.4
ボランティアやNPO活動への支援	119 4.9	12 7.5	8 3.1	20 4.2	4 9.1	2 4.0	8 5.1	7 5.1
高齢者に配慮した住まいや住環境づくり	475 19.6	37 23.3	55 21.2	94 19.9	15 34.1	10 20.0	27 17.1	32 23.5
高齢者の外出等の移動に関する支援	943 38.9	61 38.4	99 38.2	171 36.2	17 38.6	24 48.0	77 48.7	55 40.4
在宅での生活を切れ目なく支える医療・介護サービスの整備	653 26.9	38 23.9	71 27.4	132 27.9	17 38.6	13 26.0	40 25.3	43 31.6
デイサービスやショートステイなどを実施する施設の充実	617 25.4	29 18.2	79 30.5	118 24.9	15 34.1	13 26.0	34 21.5	34 25.0
特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	783 32.3	39 24.5	82 31.7	154 32.6	16 36.4	22 44.0	46 29.1	45 33.1
ひとり暮らし高齢者などを見守る地域づくり	674 27.8	43 27.0	81 31.3	121 25.6	10 22.7	16 32.0	35 22.2	38 27.9
高齢者の居場所づくりの支援	430 17.7	31 19.5	43 16.6	84 17.8	9 20.5	8 16.0	18 11.4	27 19.9
介護している家族の負担の軽減	1,064 43.9	64 40.3	115 44.4	204 43.1	23 52.3	26 52.0	63 39.9	70 51.5
認知症高齢者への支援	482 19.9	29 18.2	53 20.5	97 20.5	10 22.7	8 16.0	28 17.7	24 17.6
高齢者の虐待防止や成年後見制度に対する支援	213 8.8	14 8.8	20 7.7	35 7.4	4 9.1	4 8.0	10 6.3	22 16.2
その他	60 2.5	6 3.8	2 0.8	16 3.4	0 0.0	1 2.0	7 4.4	3 2.2
特にない・わからない	279 11.5	23 14.5	20 7.7	44 9.3	2 4.5	2 4.0	21 13.3	12 8.8
無回答	105 4.3	11 6.9	9 3.5	20 4.2	5 11.4	1 2.0	6 3.8	3 2.2

図表 2-91-2 町に力を入れてもらいたい高齢者施策（地区別）

上段：人/下段：%

	高根	富士山 栗原新田	武蔵	箱根ヶ崎 東松原	箱根ヶ崎 西松原	南平	長岡	むさし野
全体（n）	140	25	39	67	169	92	217	327
介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供	79 56.4	13 52.0	17 43.6	35 52.2	88 52.1	42 45.7	101 46.5	157 48.0
健康づくりや介護予防のための支援	28 20.0	7 28.0	10 25.6	19 28.4	38 22.5	22 23.9	56 25.8	66 20.2
趣味や教養・学習活動への支援	10 7.1	4 16.0	8 20.5	7 10.4	20 11.8	11 12.0	31 14.3	33 10.1
高齢者への就労支援	21 15.0	3 12.0	3 7.7	12 17.9	26 15.4	15 16.3	35 16.1	54 16.5
ボランティアやNPO活動への支援	2 1.4	2 8.0	4 10.3	2 3.0	10 5.9	7 7.6	10 4.6	18 5.5
高齢者に配慮した住まいや住環境づくり	22 15.7	5 20.0	3 7.7	15 22.4	35 20.7	18 19.6	35 16.1	60 18.3
高齢者の外出等の移動に関する支援	69 49.3	12 48.0	19 48.7	26 38.8	66 39.1	30 32.6	77 35.5	117 35.8
在宅での生活を切れ目なく支える医療・介護サービスの整備	39 27.9	3 12.0	9 23.1	22 32.8	41 24.3	19 20.7	57 26.3	93 28.4
デイサービスやショートステイなどを実施する施設の充実	33 23.6	7 28.0	9 23.1	19 28.4	45 26.6	19 20.7	52 24.0	88 26.9
特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	46 32.9	8 32.0	10 25.6	26 38.8	60 35.5	26 28.3	70 32.3	112 34.3
ひとり暮らし高齢者などを見守る地域づくり	43 30.7	8 32.0	8 20.5	19 28.4	50 29.6	25 27.2	55 25.3	100 30.6
高齢者の居場所づくりの支援	28 20.0	6 24.0	9 23.1	11 16.4	32 18.9	13 14.1	42 19.4	54 16.5
介護している家族の負担の軽減	65 46.4	14 56.0	11 28.2	29 43.3	81 47.9	36 39.1	100 46.1	140 42.8
認知症高齢者への支援	25 17.9	5 20.0	5 12.8	16 23.9	34 20.1	16 17.4	41 18.9	77 23.5
高齢者の虐待防止や成年後見制度に対する支援	15 10.7	4 16.0	2 5.1	7 10.4	19 11.2	5 5.4	20 9.2	28 8.6
その他	3 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.8	3 3.3	8 3.7	8 2.4
特にない・わからない	18 12.9	4 16.0	6 15.4	6 9.0	17 10.1	14 15.2	30 13.8	48 14.7
無回答	5 3.6	1 4.0	3 7.7	3 4.5	5 3.0	3 3.3	13 6.0	14 4.3

第 3 章

在宅介護実態調査

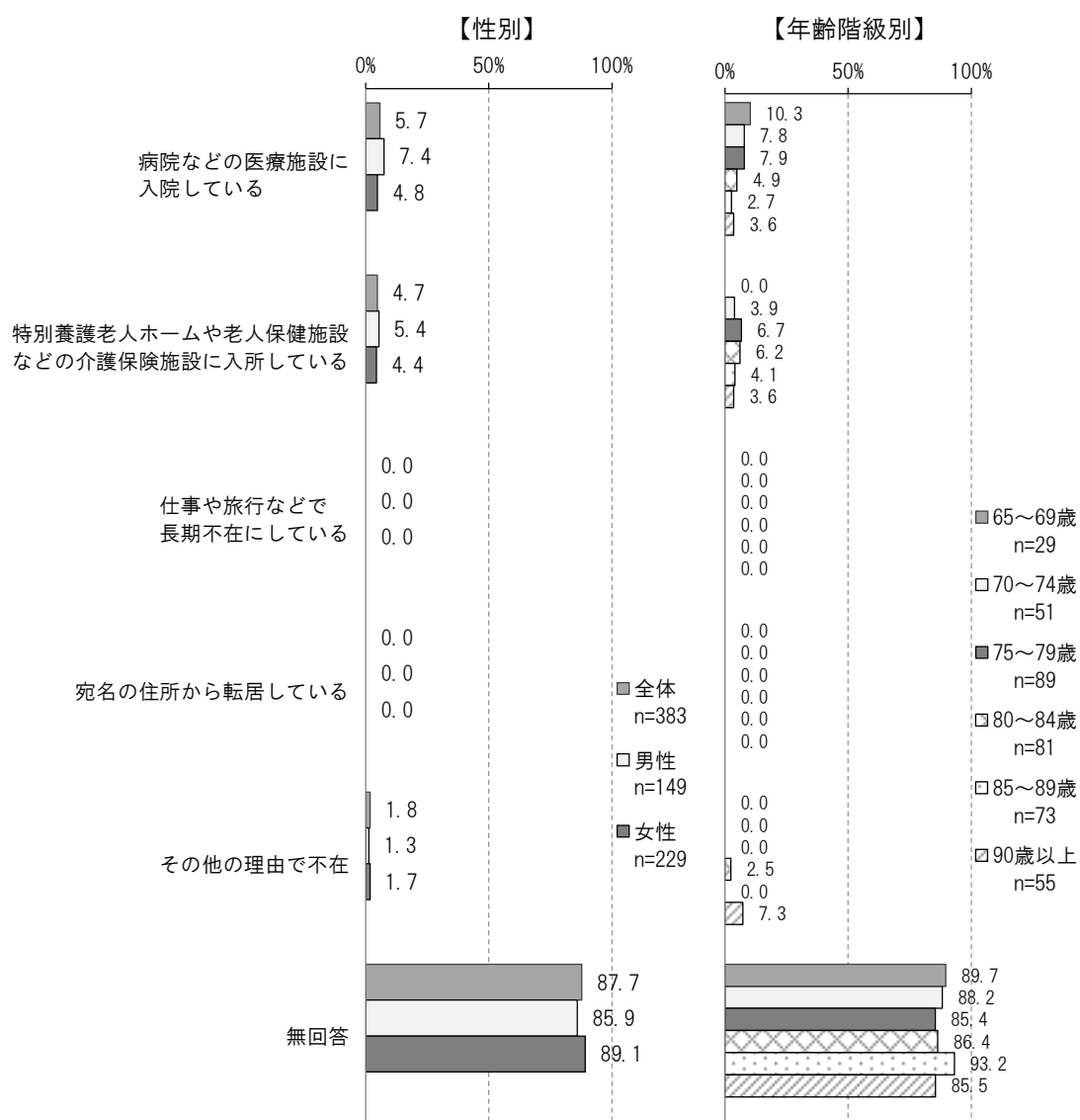
第3章 在宅介護実態調査

1 ご本人（あて名の方）の状況について

1-問1 ご本人（あて名の方）が以下の理由で不在の場合は、あてはまる番号に○をした後、調査票を同封の返信封筒に入れて返送してください。

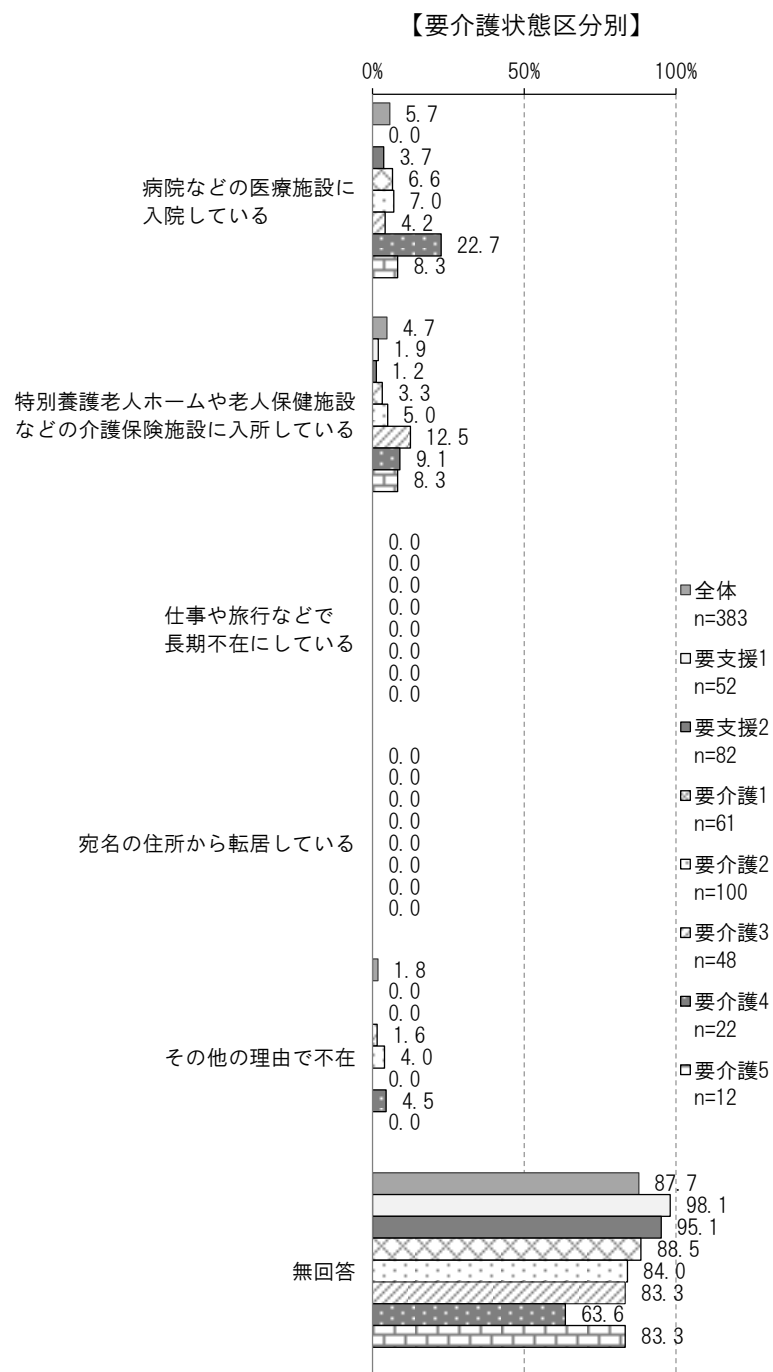
全体では、「病院などの医療施設に入院している」が5.7%となっています。
性別にみると、大きな差はみられません。
年齢階級別にみると、「病院などの医療施設に入院している」は65～69歳で10.3%となっています。

図表 3-1-1 不在理由（性別・年齢階級別）



要介護状態区分別にみると、要介護 4 では「病院などの医療施設に入院している」が 22.7%と 2 割を超え、要介護 3 では「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所している」が 12.5%と 1 割を超えています。

図表 3-1-2 不在理由（要介護状態区分別）



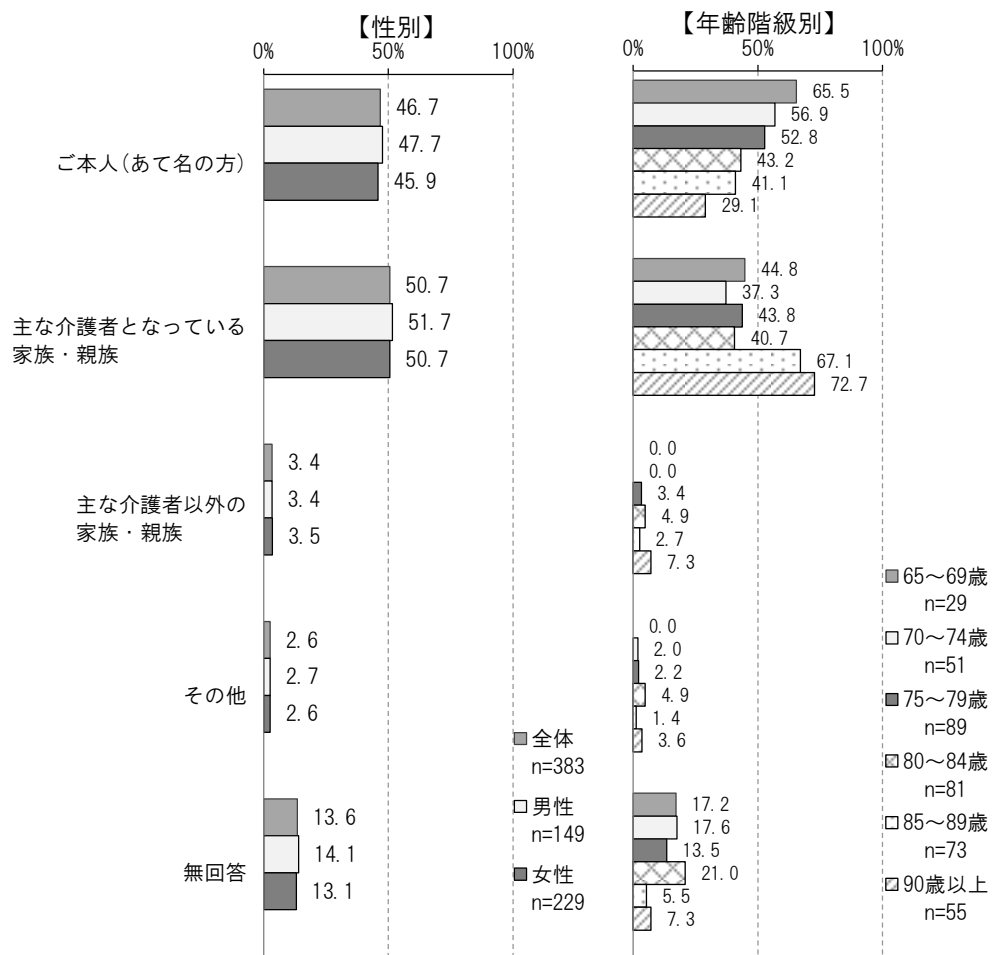
1-問2 この調査票に回答されているのはどなたですか（○は1つ）

全体では、「ご本人（あて名の方）」が46.7%となっています。

性別にみると、「ご本人（あて名の方）」は男女で同程度となっています。

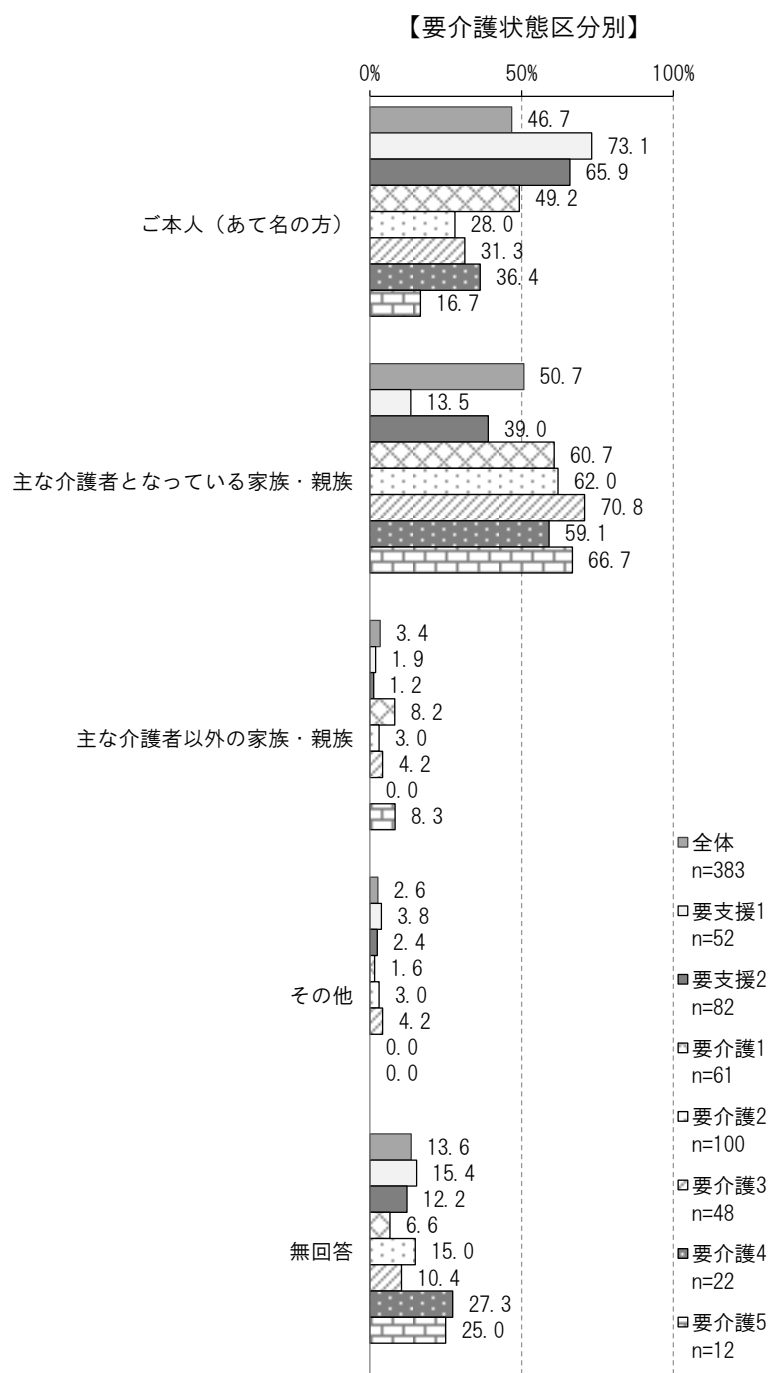
年齢階級別にみると、「ご本人（あて名の方）」は加齢とともに低くなっています。

図表 3-2-1 回答者（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「ご本人（あて名の方）」は要支援 2 で 73.1%と最も高くなっています。「主な介護者となっている家族・親族」は、要介護 1～ 5 で約 6 割以上となっています。

図表 3-2-2 回答者（要介護状態区分別）

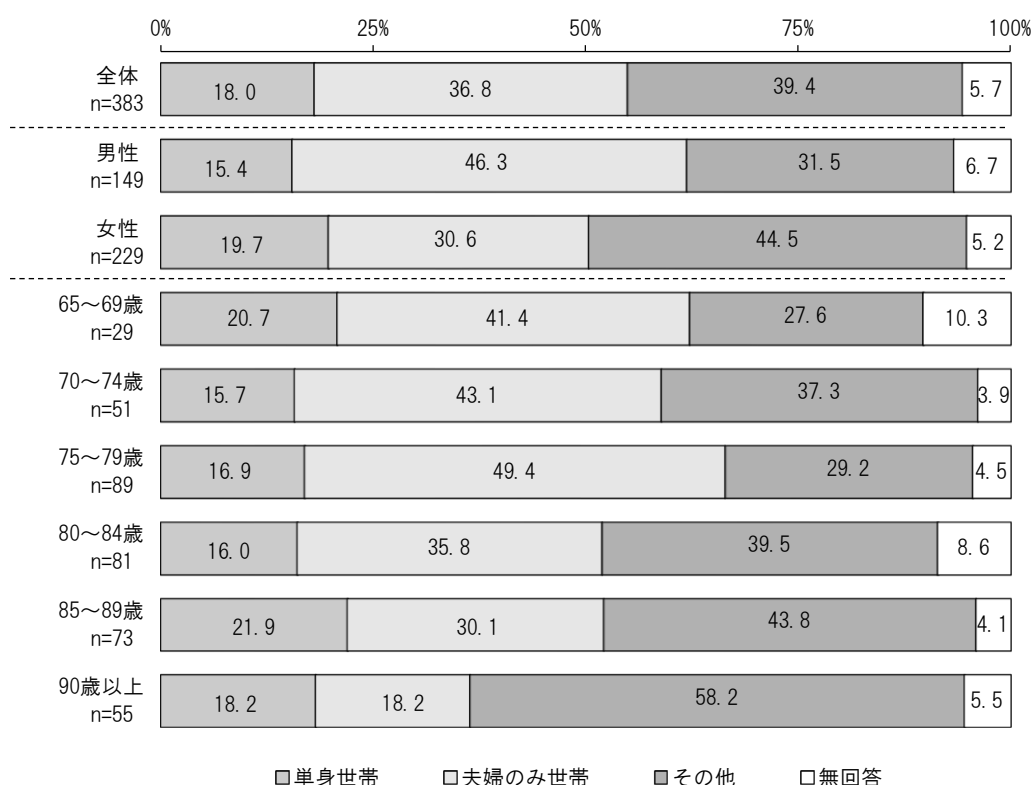


2 ご本人（あて名の方）の生活状況について

2-問1 家族構成をお答えください（○は1つ）

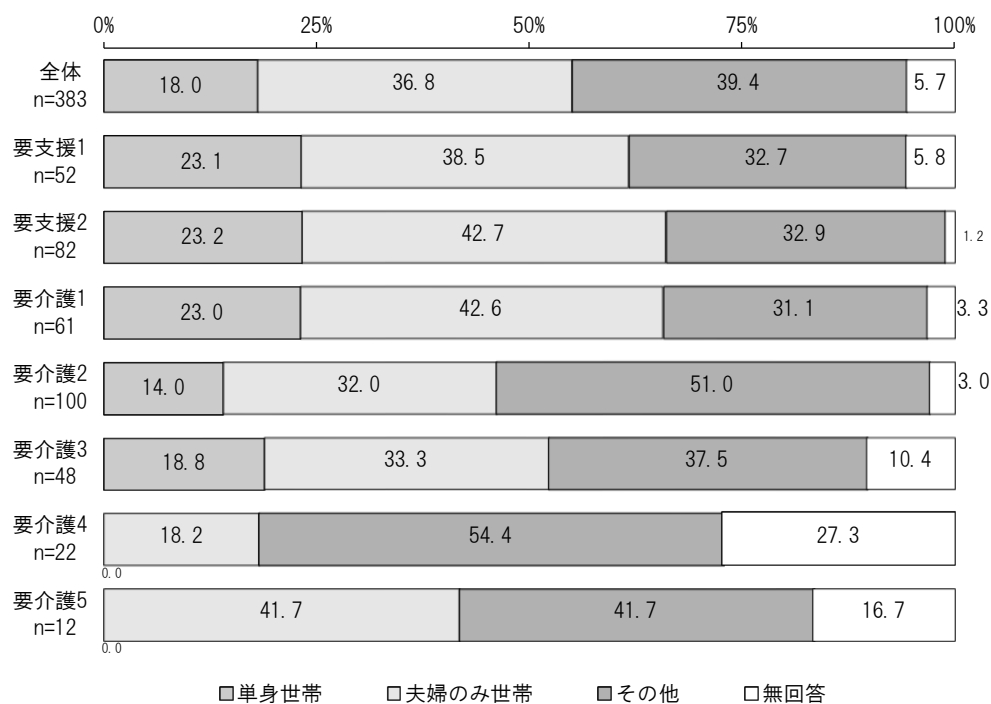
全体では、「夫婦のみ世帯」は36.8%、「単身世帯」が18.0%となっています。
 性別にみると、「単身世帯」は女性が4.3ポイント高く、「夫婦のみ世帯」は男性が15.7ポイント高くなっています。
 年齢階級別にみると、「夫婦のみ世帯」は75～79歳をピークに加齢とともに低くなっています。

図表 3-3-1 家族構成（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「単身世帯」は要支援 1、要支援 2、要介護 1 で 2 割以上となっています。「夫婦のみ世帯」は要支援 2、要介護 1、要介護 5 で 4 割以上となっています。

図表 3-3-2 家族構成（要介護状態区分別）



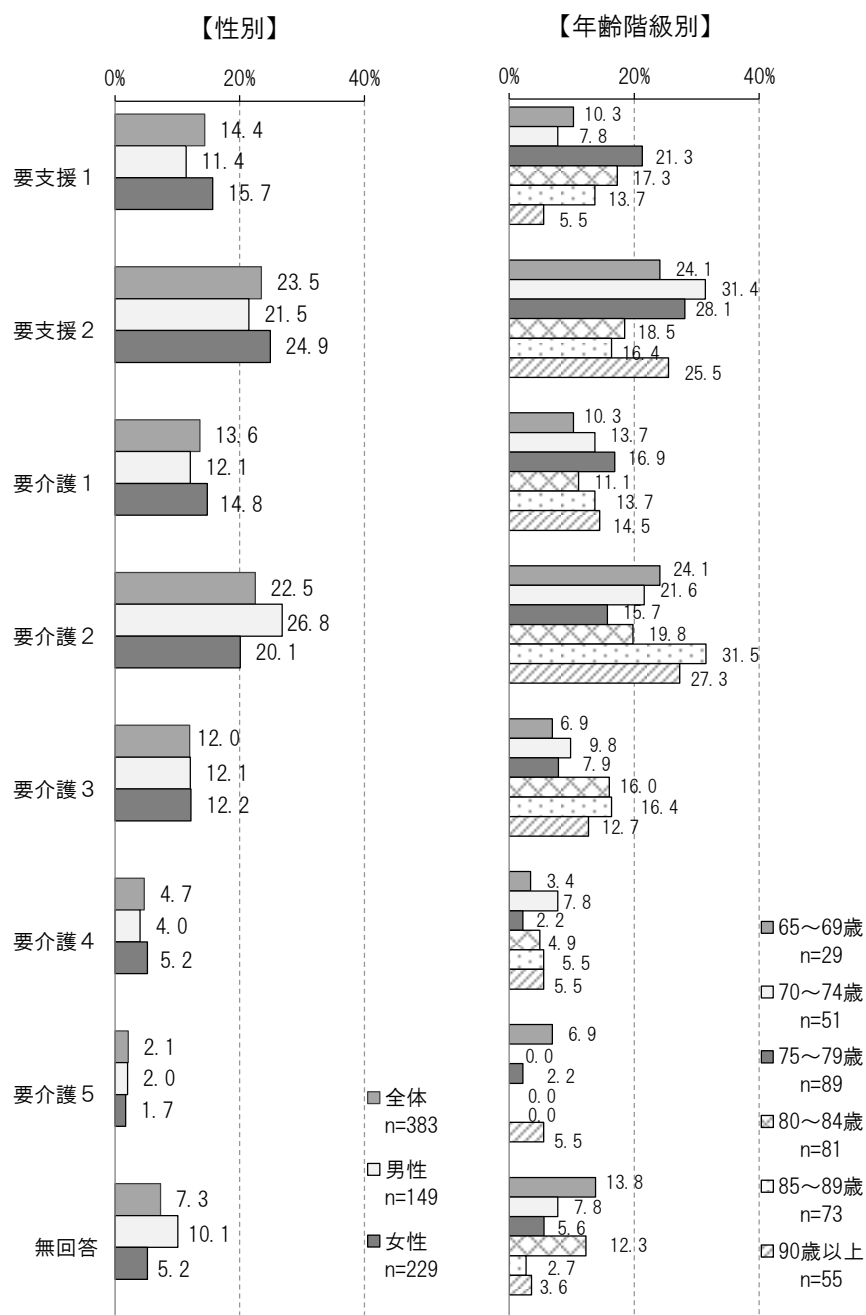
2-問2 ご本人の要介護度について、お答えください（〇は1つ）

全体では、「要支援 2」が 23.5%と最も高く、次いで「要介護 2」が 22.5%となっています。

性別にみると、「要介護 2」、「要介護 5」は男性が高く、それ以外の介護度は全て女性が高くなっています。

年齢階級別にみると、「要支援 2」は 70～74 歳で 31.4%、「要介護 2」では 85～89 歳で 31.5%となっています。

図表 3-4-1 要介護度（性別・年齢階級別）



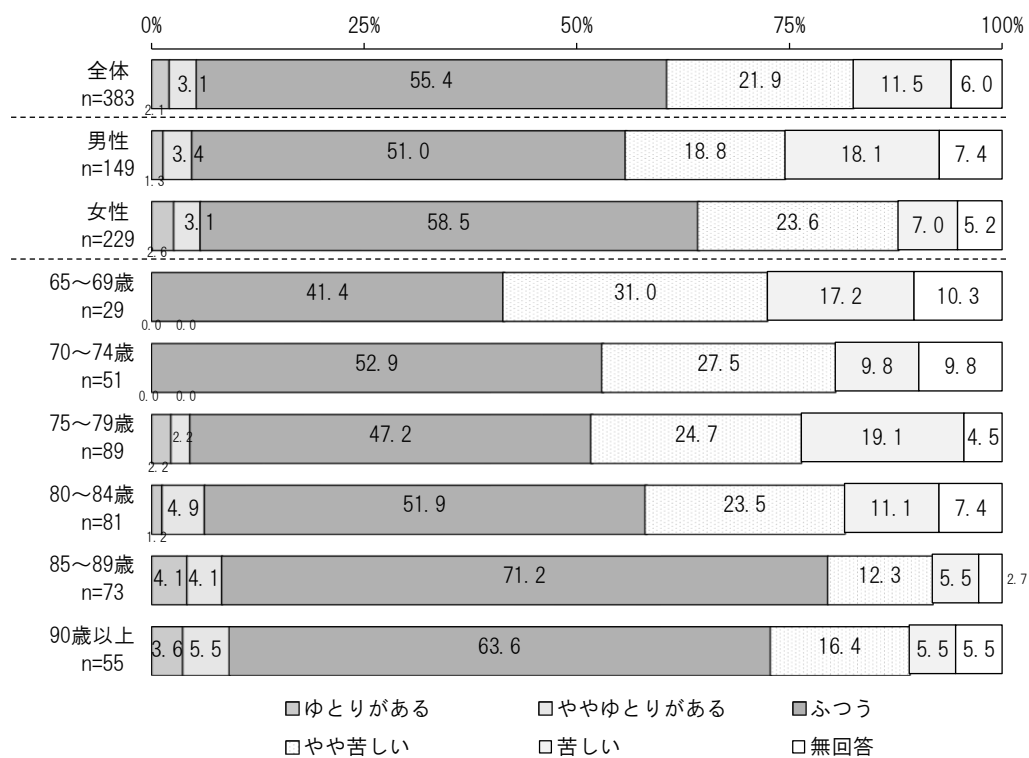
2-問3 経済的にみて、現在の暮らしの状況をどう感じていますか（○は1つ）

全体では、「ふつう」が 55.4%、『苦しい』（「やや苦しい」＋「苦しい」）は 33.4%となっています。

性別にみると、『苦しい』は男性が 6.3 ポイント高くなっています。

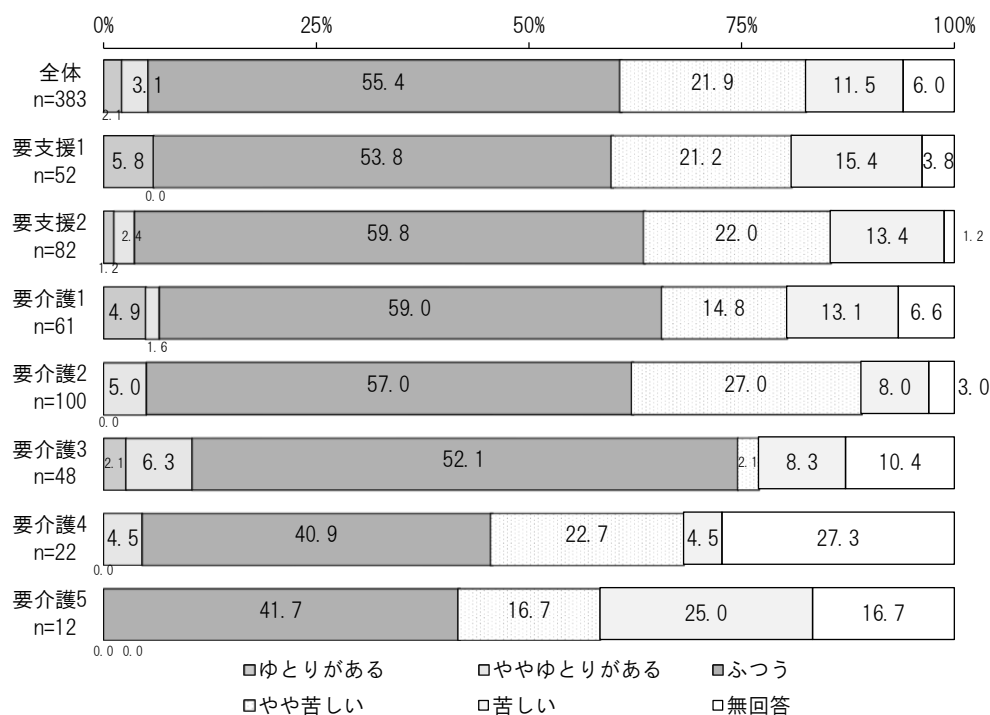
年齢階級別にみると、『苦しい』は 65～69 歳で 48.2%と最も高くなっています。

図表 3-5-1 経済的状況（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「ふつう」は要介護3以下で5割以上となっています。『苦しい』（「やや苦しい」＋「苦しい」）は要介護5で41.7%と最も高く、次いで要支援1で36.6%となっています。

図表 3-5-2 経済的状况（要介護状態区別）



2-問4 現在の傷病についてお答えください（〇はいくつでも）

全体では、「認知症（アルツハイマー病等）」が23.0%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.1%、「心疾患（心臓病）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が各20.4%となっています。現在の傷病が「なし」という人は1.0%となっています。

性別にみると、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「変形性関節疾患」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」は女性が、それ以外の項目では男性が高くなっています。「認知症（アルツハイマー病等）」は男女で同程度になっています。

年齢階級別にみると、「脳血管疾患（脳卒中）」は65～69歳をピークに加齢とともに低くなる傾向にありますが、一方「心疾患（心臓病）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「認知症（アルツハイマー病等）」では加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 3-6-1 現在の傷病（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上
全体（n）	383	149	229	29	51	89	81	73	55
脳血管疾患（脳卒中）	60 15.7	32 21.5	27 11.8	9 31.0	10 19.6	14 15.7	15 18.5	11 15.1	0 0.0
心疾患（心臓病）	78 20.4	36 24.2	41 17.9	3 10.3	7 13.7	17 19.1	19 23.5	14 19.2	17 30.9
がん（悪性新生物）	28 7.3	15 10.1	12 5.2	2 6.9	8 15.7	6 6.7	3 3.7	6 8.2	2 3.6
呼吸器疾患 （肺気腫・肺炎等）	24 6.3	15 10.1	9 3.9	0 0.0	1 2.0	7 7.9	5 6.2	5 6.8	6 10.9
腎疾患（透析）	17 4.4	9 6.0	8 3.5	0 0.0	2 3.9	7 7.9	5 6.2	0 0.0	3 5.5
筋骨格系疾患 （骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等）	81 21.1	21 14.1	59 25.8	4 13.8	8 15.7	20 22.5	20 24.7	17 23.3	11 20.0
膠原病 （関節リウマチ含む）	14 3.7	6 4.0	8 3.5	2 6.9	1 2.0	4 4.5	2 2.5	4 5.5	1 1.8
変形性関節疾患	48 12.5	8 5.4	38 16.6	1 3.4	2 3.9	12 13.5	13 16.0	9 12.3	9 16.4
認知症 （アルツハイマー病等）	88 23.0	34 22.8	54 23.6	2 6.9	5 9.8	22 24.7	16 19.8	27 37.0	16 29.1
パーキンソン病	19 5.0	10 6.7	9 3.9	4 13.8	7 13.7	4 4.5	2 2.5	2 2.7	0 0.0
難病 （パーキンソン病除く）	7 1.8	4 2.7	3 1.3	3 10.3	1 2.0	2 2.2	1 1.2	0 0.0	0 0.0
糖尿病	76 19.8	32 21.5	43 18.8	8 27.6	6 11.8	19 21.3	22 27.2	17 23.3	3 5.5
眼科・耳鼻科疾患 （視覚・聴覚障害を 伴うもの）	78 20.4	28 18.8	50 21.8	2 6.9	3 5.9	24 27.0	14 17.3	19 26.0	16 29.1
その他	92 24.0	28 18.8	63 27.5	3 10.3	15 29.4	20 22.5	20 24.7	14 19.2	19 34.5
なし	4 1.0	1 1.7	3 1.3	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	2 2.7	1 1.8
わからない	5 1.3	3 2.0	2 0.9	1 3.4	1 2.0	1 1.1	1 1.2	0 0.0	1 1.8
無回答	19 5.0	10 6.7	9 3.9	3 10.3	2 3.9	4 4.5	6 7.4	1 1.4	3 5.5

要介護状態区分別にみると、要支援1では「糖尿病」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が約3割、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が25.0%となっています。要支援2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が29.3%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.7%となっています。要介護1では「認知症（アルツハイマー病等）」が41.0%、「心疾患（心臓病）」が26.2%となっています。要介護2では「認知症（アルツハイマー病等）」が29.0%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」22.0%となっています。要介護3では「認知症（アルツハイマー病等）」が39.6%、「脳血管疾患（脳卒中）」29.2%となっています。要介護4では「認知症（アルツハイマー病等）」が31.8%、「心疾患（心臓病）」が27.3%となっています。要介護5では回答者が少ないので参考としますが、「脳血管疾患（脳卒中）」、「心疾患（心臓病）」、「認知症（アルツハイマー病等）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」がいずれも25.0%となっています。

図表 3-6-2 現在の傷病（要介護状態区分別）

上段：人/下段：%

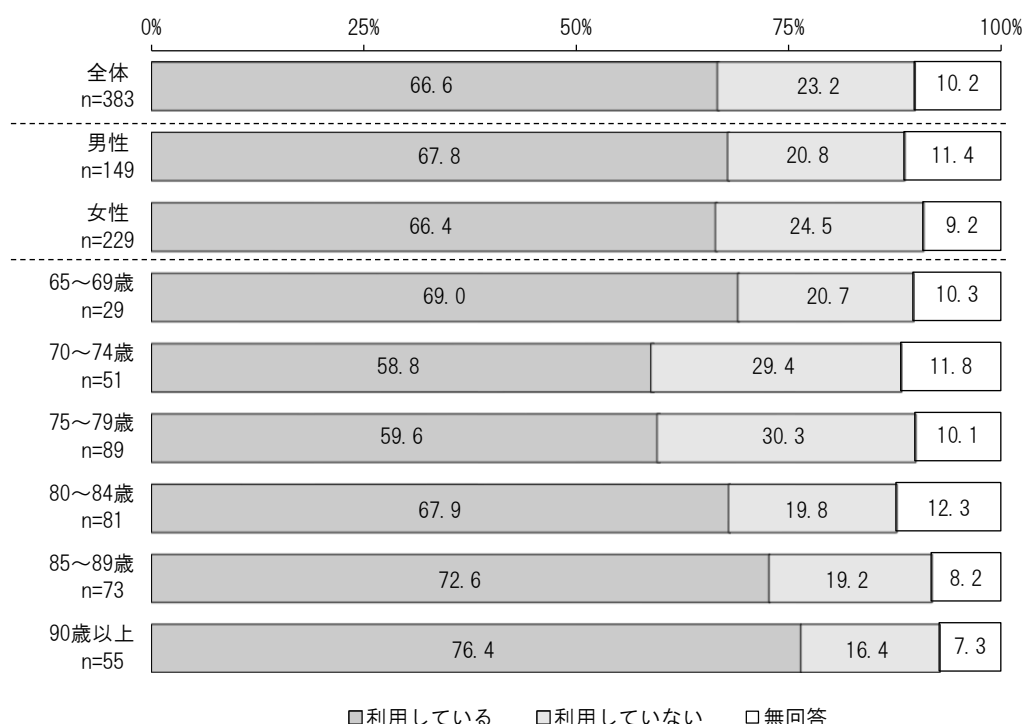
	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体（n）	383	52	82	61	100	48	22	12
脳血管疾患（脳卒中）	60 15.7	4 7.7	8 9.8	12 19.7	16 16.0	14 29.2	2 9.1	3 25.0
心疾患（心臓病）	78 20.4	8 15.4	15 18.3	16 26.2	21 21.0	8 16.7	6 27.3	3 25.0
がん（悪性新生物）	28 7.3	4 7.7	10 12.2	3 4.9	6 6.0	3 6.3	1 4.5	0 0.0
呼吸器疾患 （肺気腫・肺炎等）	24 6.3	1 1.9	3 3.7	10 16.4	6 6.0	1 2.1	1 4.5	2 16.7
腎疾患（透析）	17 4.4	1 1.9	3 3.7	3 4.9	5 5.0	1 2.1	4 18.2	0 0.0
筋骨格系疾患 （骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等）	81 21.1	15 28.8	24 29.3	10 16.4	20 20.0	5 10.4	5 22.7	1 8.3
膠原病 （関節リウマチ含む）	14 3.7	4 7.7	2 2.4	3 4.9	2 2.0	1 2.1	1 4.5	0 0.0
変形性関節疾患	48 12.5	8 15.4	13 15.9	6 9.8	14 14.0	4 8.3	1 4.5	0 0.0
認知症 （アルツハイマー病等）	88 23.0	2 3.8	3 3.7	25 41.0	29 29.0	19 39.6	7 31.8	3 25.0
パーキンソン病	19 5.0	1 1.9	6 7.3	1 1.6	7 7.0	1 2.1	3 13.6	0 0.0
難病 （パーキンソン病除く）	7 1.8	1 1.9	2 2.4	1 1.6	2 2.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0
糖尿病	76 19.8	16 30.8	13 15.9	13 21.3	16 16.0	11 22.9	4 18.2	2 16.7
眼科・耳鼻科疾患 （視覚・聴覚障害を 伴うもの）	78 20.4	13 25.0	17 20.7	11 18.0	22 22.0	10 20.8	2 9.1	3 25.0
その他	92 24.0	14 26.9	19 23.2	12 19.7	26 26.0	12 25.0	6 27.3	2 16.7
なし	4 1.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	2 2.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0
わからない	5 1.3	0 0.0	2 2.4	1 1.6	1 1.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0
無回答	19 5.0	0 0.0	0 0.0	2 3.3	3 3.0	6 12.5	6 27.3	2 16.7

3 介護保険等のサービス利用について

3-問1 令和元年12月の1か月間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか（○は1つ）

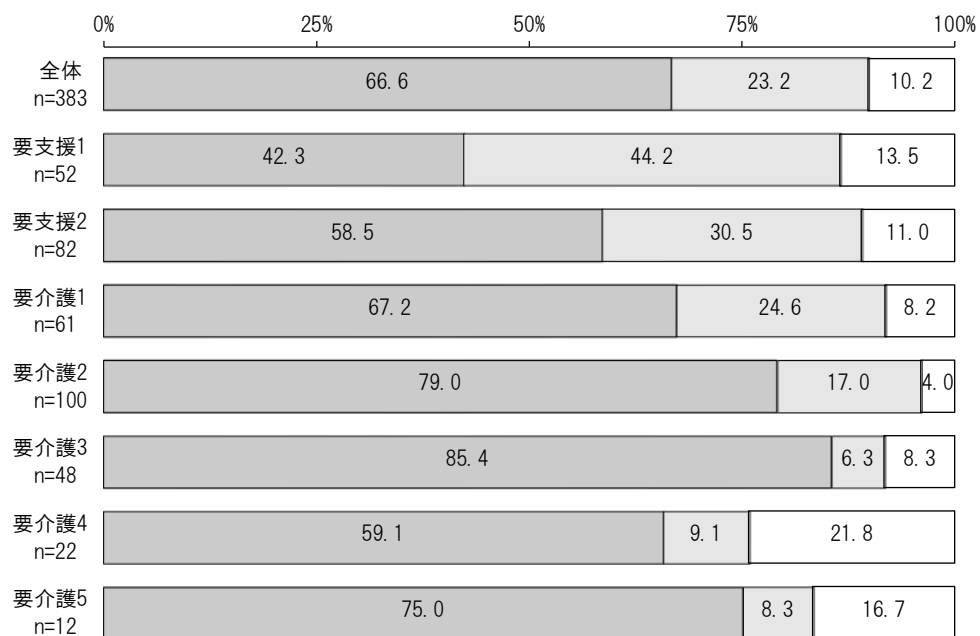
全体では、「利用している」が66.6%となっています。
 性別にみると、「利用している」は男性が1.4ポイント高くなっています。
 年齢階級別にみると、「利用している」は70～74歳以降、加齢とともに高くなっています。

図表 3-7-1 介護保険サービス利用の有無（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「利用している」は要介護度が進むにつれ要介護3まで高くなっており、要介護3で85.4%、要介護2で79.0%となっています。

図表 3-7-2 介護保険サービス利用の有無（要介護状態区分別）



□利用している □利用していない □無回答

3-問1 (1)【問1で「1. 利用している」の方のみ】

以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をお答えください（1つの項目につき○は1つ）

全体では、「利用している」はE:通所介護（デイサービス）が53.3%、F:通所リハビリテーション（デイケア）が29.0%、A:訪問介護（ホームヘルプ）が22.0%となっています。C:訪問看護では、「週1回程度」が12.2%となっています。F:通所リハビリテーションでは、「週2回程度」が13.3%となっています。H:定期巡回・随時対応型訪問介護看護、I:小規模多機能型居宅介護、J:看護小規模多機能型居宅介護、K:短期入所生活（療養）介護（ショートステイ）、L:居宅療養管理指導では、「利用していない」が6割以上となっています。

図表 3-8-1 1週間あたりの利用回数

上段：人/下段：%

全体（n=2,426）	利用している	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	利用していない	無回答
A:訪問介護（ホームヘルプ）	56 22.0	13 5.1	19 7.5	11 4.3	3 1.2	10 3.9	51 20.0	148 58.0
B:訪問入浴介護	13 5.1	3 1.2	7 2.7	2 0.8	0 0.0	1 0.4	69 27.1	173 67.8
C:訪問看護	48 18.8	31 12.2	12 4.7	1 0.4	4 1.6	0 0.0	52 20.4	155 60.8
D:訪問リハビリテーション	45 17.6	24 9.4	16 6.3	1 0.4	3 1.2	1 0.4	52 20.4	158 62.0
E:通所介護（デイサービス）	136 53.3	22 8.6	58 22.7	34 13.3	11 4.3	11 4.3	31 12.2	88 34.5
F:通所リハビリテーション（デイケア）	74 29.0	14 5.5	34 13.3	17 6.7	4 1.6	5 2.0	52 20.4	129 50.6
G:夜間対応型訪問介護（訪問のあった回数を回答）	3 1.2	2 0.8	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	71 27.8	181 71.0

図表 3-8-2 利用の有無

上段：人/下段：%

全体（n=2,426）	利用していない	利用した	無回答
H:定期巡回・随時対応型訪問介護看護	165 64.7	19 7.5	71 27.8
I:小規模多機能型居宅介護	171 67.1	5 2.0	79 31.0
J:看護小規模多機能型居宅介護	172 67.5	3 1.2	80 31.4

図表 3-8-3 1か月あたりの利用日数

上段：人/下段：%

全体（n=2,426）	利用している	月1-7日程度	月8-14日程度	月15-21日程度	月22日以上	利用していない	無回答
K:短期入所生活（療養）介護（ショートステイ）	48 18.8	31 12.2	11 4.3	5 2.0	1 0.4	156 61.2	51 20.0

図表 3-8-4 1か月あたりの利用回数

上段：人/下段：%

全体（n=2,426）	利用している	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	利用していない	無回答
L:居宅療養管理指導	29 11.4	9 3.5	14 5.5	2 0.8	4 1.6	167 65.5	59 23.1

3-問1 (2) 【問1で「2. 利用していない」の方のみ】

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（○はいくつでも）

全体では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が32.6%、「本人（介護者）にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が22.5%となっています。

性別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人（介護者）にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」は男性が低くなっています。

年齢階級別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は70～74歳以降、加齢とともに低くなっています。「本人（介護者）にサービス利用の希望がない」は65～69歳で50.0%、「家族が介護をするため必要ない」は70～74歳で46.7%と約半数を占めています。

図表 3-9-1 介護保険サービスを利用していない理由（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上
全体（n）	89	31	56	6	15	27	16	14	9
現状では、サービスを利用 するほどの状態ではない	29 32.6	7 22.6	21 37.5	2 33.3	7 46.7	10 37.0	5 31.3	3 21.4	1 11.1
本人（要介護者）にサービス 利用の希望がない	20 22.5	7 22.6	13 23.2	3 50.0	3 20.0	5 18.5	2 12.5	4 28.6	3 33.3
家族が介護をするため 必要ない	20 22.5	6 19.4	14 25.0	2 33.3	7 46.7	6 22.2	0 0.0	3 21.4	2 22.2
以前、利用していた サービスに不満があった	4 4.5	1 3.2	3 5.4	0 0.0	1 6.7	3 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
利用料を払うのが難しい	4 4.5	2 6.5	2 3.6	1 16.7	2 13.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0
利用したサービスが利用 できない、身近にない	1 1.1	0 0.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
住宅改修、福祉用具貸与・ 購入のみを利用するため	6 6.7	0 0.0	6 10.7	1 16.7	0 0.0	3 11.1	1 6.3	0 0.0	1 11.1
サービスを利用したいが 手続や利用方法がわから ない	4 4.5	2 6.5	2 3.6	0 0.0	1 6.7	1 3.7	1 6.3	0 0.0	1 11.1
その他	23 25.8	9 29.0	14 25.0	0 0.0	5 33.3	7 25.9	4 25.0	3 21.4	4 44.4
無回答	13 14.6	5 16.1	7 12.5	0 0.0	0 0.0	4 14.8	3 18.8	4 28.6	1 11.1

要介護状態区別にみると、要支援 1・要支援 2 では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高くなっています。要介護 1 では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」がいずれも 26.7%となっています。要介護 2 では「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」が 29.4%と最も高くなっています。要介護 3 では「家族が介護をするため必要ない」、要介護 4 では「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が最も高くなっています。要介護 5 では「利用したサービスが利用できない、身近にない」という理由があがっています。

図表 3-9-2 介護保険サービスを利用していない理由（要介護状態区別） 上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	89	23	25	15	17	3	2	1
現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	29 32.6	12 52.2	8 32.0	4 26.7	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
本人（要介護者）にサービス利用の希望がない	20 22.5	4 17.4	5 20.0	4 26.7	5 29.4	0 0.0	1 50.0	0 0.0
家族が介護をするため必要ない	20 22.5	4 17.4	6 24.0	4 26.7	3 17.6	1 33.3	1 50.0	0 0.0
以前、利用していたサービスに不満があった	4 4.5	1 4.3	2 8.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
利用料を払うのが難しい	4 4.5	0 0.0	1 4.0	2 13.3	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
利用したサービスが利用できない、身近にない	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	6 6.7	2 8.7	3 12.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービスを利用したいが手続や利用方法がわからない	4 4.5	0 0.0	1 4.0	1 6.7	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	23 25.8	4 17.4	9 36.0	5 33.3	2 11.8	3 100.0	0 0.0	0 0.0
無回答	13 14.6	3 13.0	3 12.0	3 20.0	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0

3-問2 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか（○はいくつでも）

全体では、「掃除・洗濯」が 7.0%、「配食」が 5.7%、「外出同行（通院、買物等）」が 5.0%となっています。「利用していない」は 52.0%となっています。

性別にみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」以外の項目は全て男性が低くなっています。

年齢階級別にみると、「買物（宅配は含まない）」は 75～79 歳で 10.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は 75～79 歳で 11.2%となっています。「配食」と「掃除・洗濯」は 85～89 歳で各 11.0%となっています。

図表 3-10-1 介護保険以外で利用しているサービス（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上
全体（n）	383	149	229	29	51	89	81	73	55
配食	22 5.7	3 2.0	19 8.3	0 0.0	0 0.0	7 7.9	3 3.7	8 11.0	4 7.3
調理	15 3.9	5 3.4	10 4.4	1 3.4	2 3.9	4 4.5	4 4.9	4 5.5	0 0.0
掃除・洗濯	27 7.0	9 6.0	18 7.9	0 0.0	2 3.9	8 9.0	7 8.6	8 11.0	2 3.6
買物（宅配は含まない）	17 4.4	5 3.4	12 5.2	1 3.4	0 0.0	9 10.1	3 3.7	3 4.1	1 1.8
ゴミ出し	17 4.4	5 3.4	12 5.2	0 0.0	3 5.9	5 5.6	6 7.4	3 4.1	0 0.0
外出同行（通院、買物等）	19 5.0	5 3.4	14 6.1	2 6.9	4 7.8	5 5.6	2 2.5	3 4.1	3 5.5
移送サービス （介護・福祉タクシー等）	18 4.7	10 6.7	8 3.5	1 3.4	2 3.9	10 11.2	5 6.2	0 0.0	0 0.0
見守り・声かけ	6 1.6	0 0.0	6 2.6	1 3.4	0 0.0	1 1.1	2 2.5	2 2.7	0 0.0
サロンなどの定期的な 通いの場	7 1.8	2 1.3	5 2.2	1 3.4	0 0.0	3 3.4	0 0.0	2 2.7	1 1.8
その他	14 3.7	7 4.7	7 3.1	0 0.0	3 5.9	5 5.6	3 3.7	1 1.4	2 3.6
利用していない	199 52.0	77 51.7	119 52.0	17 58.6	23 45.1	44 49.4	36 44.4	43 58.9	33 60.0
無回答	101 26.4	42 28.2	57 24.9	7 24.1	20 39.2	19 21.3	25 30.9	15 20.5	13 23.6

要介護状態区別にみると、「利用していない」は要支援 2 を除く全ての要介護状態区分で 4 割以上、要介護 2 で 66.0%と最も高くなっています。要支援 2 では「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が各 9.8%となっています。要介護 1 では「掃除・洗濯」が 16.4%、「ゴミ出し」が 11.5%、「配食」が 9.8%となっています。

図表 3-10-2 介護保険以外で利用している支援・サービス（要介護状態区分別）

上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	383	52	82	61	100	48	22	12
配食	22 5.7	4 7.7	4 4.9	6 9.8	6 6.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0
調理	15 3.9	3 5.8	4 4.9	5 8.2	1 1.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0
掃除・洗濯	27 7.0	2 3.8	8 9.8	10 16.4	3 3.0	4 8.3	0 0.0	0 0.0
買物（宅配は含まない）	17 4.4	1 1.9	7 8.5	3 4.9	2 2.0	3 6.3	0 0.0	1 8.3
ゴミ出し	17 4.4	2 3.8	4 4.9	7 11.5	2 2.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0
外出同行（通院、買物等）	19 5.0	4 7.7	6 7.3	5 8.2	2 2.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0
移送サービス （介護・福祉タクシー等）	18 4.7	1 1.9	8 9.8	2 3.3	4 4.0	1 2.1	1 4.5	1 8.3
見守り・声かけ	6 1.6	1 1.9	0 0.0	3 4.9	1 1.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0
サロンなどの定期的な 通いの場	7 1.8	2 3.8	1 1.2	1 1.6	3 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	14 3.7	2 3.8	4 4.9	2 3.3	3 3.0	1 2.1	2 9.1	0 0.0
利用していない	199 52.0	24 46.2	30 36.6	30 49.2	66 66.0	30 62.5	9 40.9	6 50.0
無回答	101 26.4	13 25.0	25 30.5	13 21.3	20 20.0	12 25.0	11 50.0	5 41.7

3-問3 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス(現在利用中を含む)が必要だと思いますか(○はいくつでも)

全体では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が18.5%、「外出同行(通院、買物等)」が18.0%となっています。

性別にみると、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」と「利用するものはない」以外の項目は全て男性が低くなっています。

年齢階級別にみると、「配食」は75～79歳で20.2%、「買物(宅配は含まない)」は75～79歳で21.3%となっています。「外出同行(通院、買物等)」は65～69歳で27.6%、75～79歳で20.2%、90歳以上で20.0%となっています。「見守り・声かけ」は85～89歳で19.2%と約2割となっています。

図表 3-11-1 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス(性別・年齢階級別)

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体(n)	383	149	229	29	51	89	81	73	55
配食	51 13.3	17 11.4	34 14.8	3 10.3	4 7.8	18 20.2	7 8.6	11 15.1	8 14.5
調理	37 9.7	12 8.1	25 10.9	5 17.2	3 5.9	10 11.2	8 9.9	7 9.6	4 7.3
掃除・洗濯	54 14.1	18 12.1	36 15.7	5 17.2	5 9.8	14 15.7	11 13.6	12 16.4	7 12.7
買物(宅配は含まない)	45 11.7	16 10.7	29 12.7	2 6.9	2 3.9	19 21.3	10 12.3	7 9.6	5 9.1
ゴミ出し	36 9.4	9 6.0	27 11.8	3 10.3	2 3.9	10 11.2	8 9.9	6 8.2	7 12.7
外出同行(通院、買物等)	69 18.0	24 16.1	45 19.7	8 27.6	7 13.7	18 20.2	14 17.3	11 15.1	11 20.0
移送サービス (介護・福祉タクシー等)	71 18.5	30 20.1	40 17.5	4 13.8	10 19.6	22 24.7	15 18.5	12 16.4	7 12.7
見守り・声かけ	46 12.0	14 9.4	32 14.0	1 3.4	2 3.9	10 11.2	9 11.1	14 19.2	10 18.2
サロンなどの定期的な 通いの場	22 5.7	5 3.4	17 7.4	1 3.4	1 2.0	5 5.6	3 3.7	6 8.2	6 10.9
その他	16 4.2	6 4.0	9 3.9	0 0.0	0 0.0	6 6.7	1 1.2	6 8.2	2 3.6
利用するものはない	87 22.7	39 26.2	46 20.1	7 24.1	11 21.6	17 19.1	19 23.5	21 28.8	10 18.2
無回答	113 29.5	46 30.9	66 28.8	8 27.6	24 47.1	23 25.8	26 32.1	15 20.5	16 29.1

要介護状態区別にみると、「利用するものはない」は要介護 3 で 31.3%、要支援 1、要介護 2、要介護 4 で 2 割以上となっています。要支援 1、要支援 2 では「外出同行（通院、買物等）」が 2 割以上で最も高く、要介護 1 では「掃除・洗濯」、「外出同行」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 2 割以上となっています。

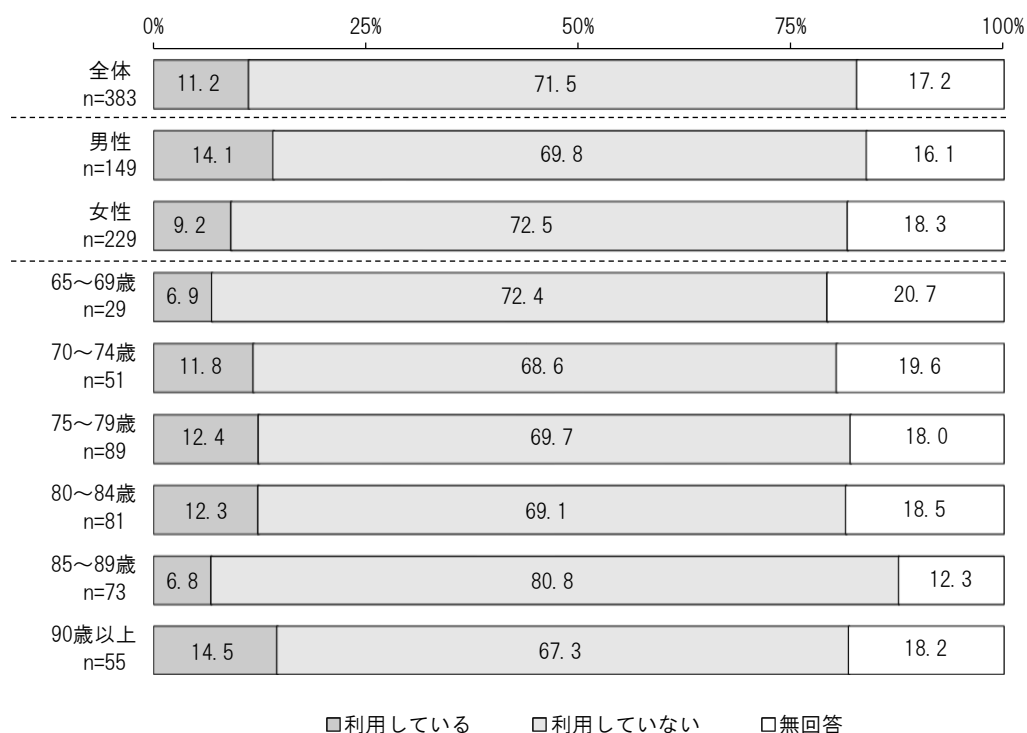
図表 3-11-2 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス（要介護状態区分別）
上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	383	52	82	61	100	48	22	12
配食	51 13.3	9 17.3	11 13.4	11 18.0	15 15.0	3 6.3	1 4.5	1 8.3
調理	37 9.7	6 11.5	8 9.8	8 13.1	7 7.0	5 10.4	1 4.5	2 16.7
掃除・洗濯	54 14.1	10 19.2	12 14.6	13 21.3	13 13.0	3 6.3	1 4.5	2 16.7
買物（宅配は含まない）	45 11.7	8 15.4	12 14.6	10 16.4	7 7.0	4 8.3	1 4.5	3 25.0
ゴミ出し	36 9.4	3 5.8	8 9.8	11 18.0	8 8.0	3 6.3	1 4.5	2 16.7
外出同行（通院、買物等）	69 18.0	13 25.0	19 23.2	13 21.3	13 13.0	5 10.4	3 13.6	3 25.0
移送サービス （介護・福祉タクシー等）	71 18.5	8 15.4	16 19.5	14 23.0	18 18.0	9 18.8	2 9.1	3 25.0
見守り・声かけ	46 12.0	7 13.5	7 8.5	10 16.4	12 12.0	7 14.6	1 4.5	2 16.7
サロンなどの定期的な 通いの場	22 5.7	4 7.7	1 1.2	5 8.2	9 9.0	1 2.1	1 4.5	1 8.3
その他	16 4.2	0 0.0	3 3.7	2 3.3	4 4.0	4 8.3	2 9.1	0 0.0
利用するものはない	87 22.7	12 23.1	13 15.9	11 18.0	26 26.0	15 31.3	6 27.3	1 8.3
無回答	113 29.5	10 19.2	27 32.9	15 24.6	30 30.0	14 29.2	10 45.5	6 50.0

3-問4 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（○は1つ）

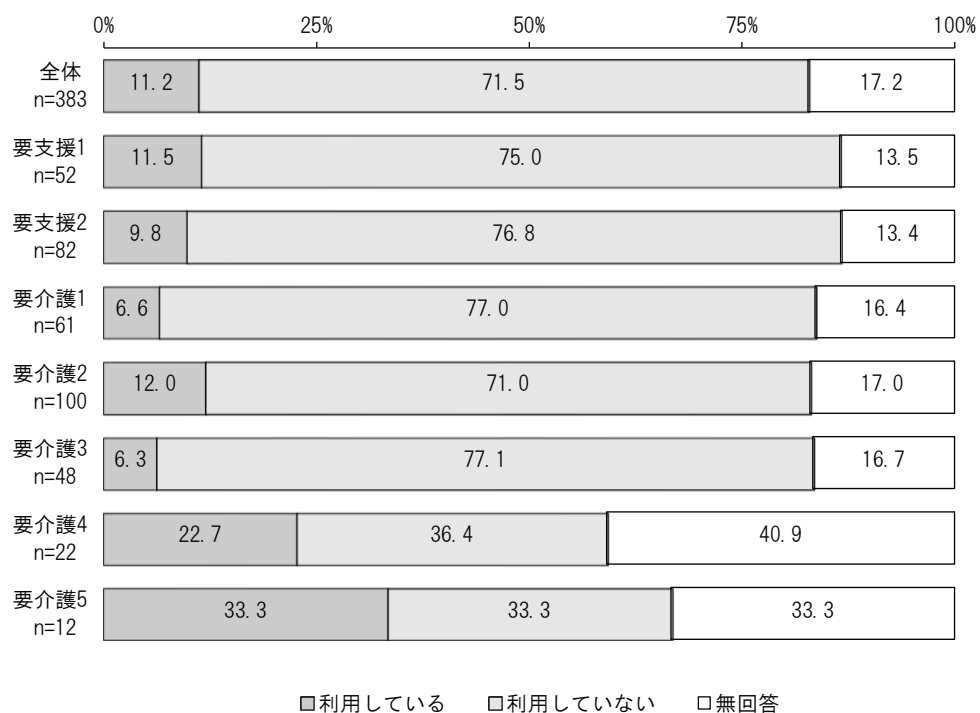
全体では、「利用している」が11.2%、「利用していない」が71.5%となっています。
性別にみると、「利用している」は男性が4.9ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「利用している」は90歳以上で14.5%と最も高くなっています。
「利用していない」は全ての年齢階級で6割以上となっています。

図表 3-12-1 訪問診療サービス利用の有無（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「利用している」は要介護 5 で 33.3%と最も高く、次いで要介護 4 で 22.7%となっています。「利用していない」は要介護 4、要介護 5 を除く全ての要介護状態区分で 7 割以上となっています。

図表 3-12-2 訪問診療サービス利用の有無（要介護状態区分別）



4 施設等への入所・入居について

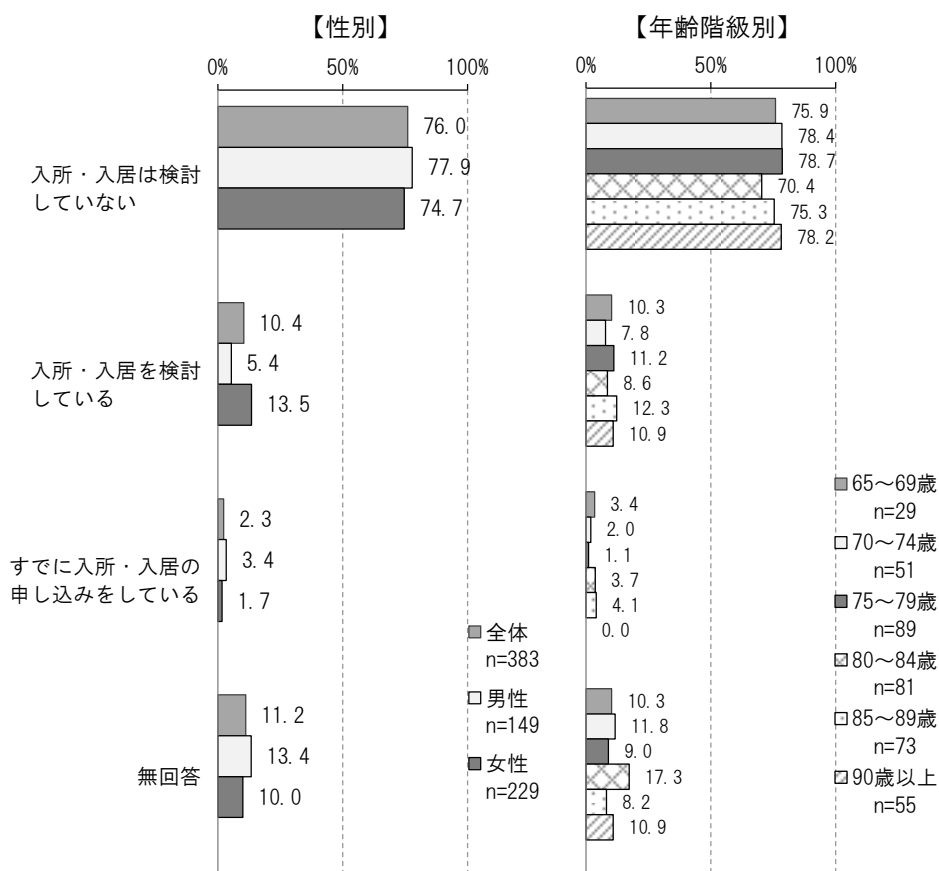
4-問1 現在のところ、施設等への入所・入居を検討されていますか（○は1つ）

全体では、「入所・入居は検討していない」が76.0%となっています。

性別にみると、「入所・入居は検討していない」は男性が3.2ポイント高く、「入所・入居を検討している」は女性が8.1ポイント高くなっています。

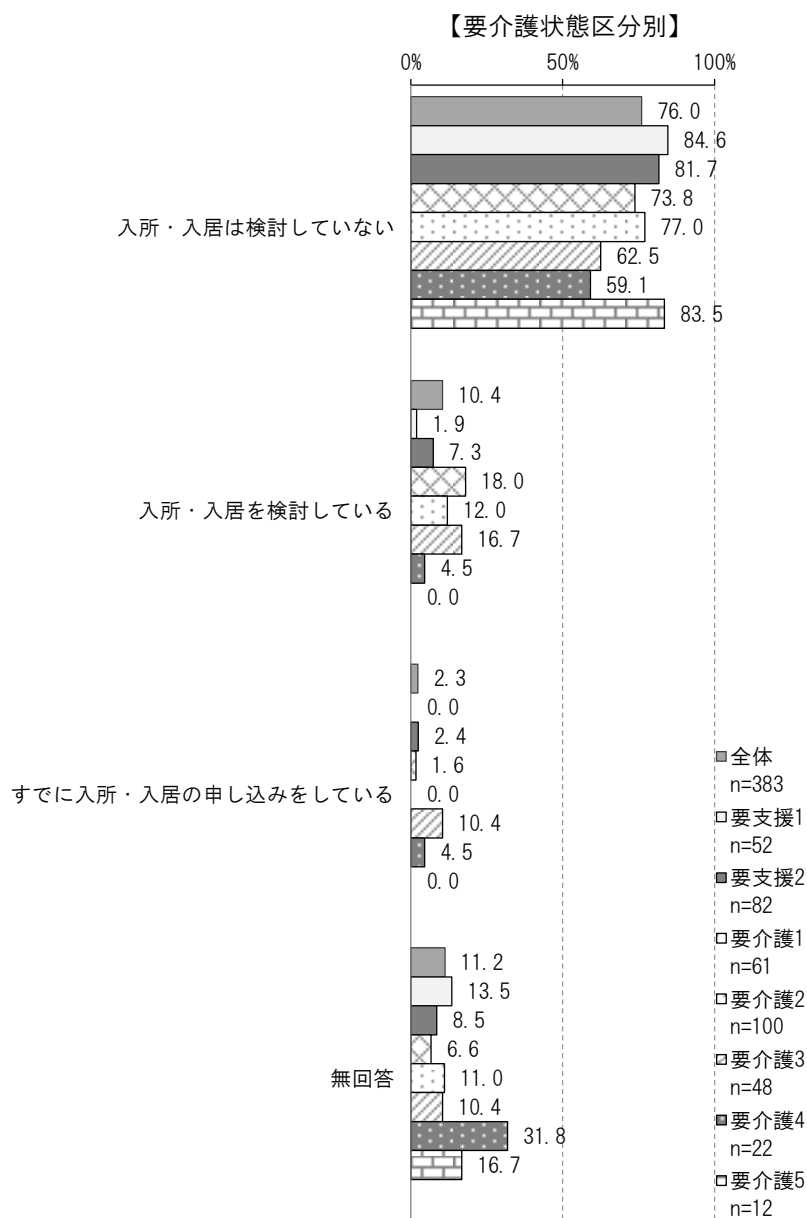
年齢階級別にみると、「入所・入居は検討していない」は全ての年齢階級で7割以上となっています。

図表 3-13-1 施設等への入所・入居検討の有無（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「入所・入居は検討していない」は全ての要介護状態区分で半数以上となっており、要支援1で84.6%と最も高くなっています。「入所・入居を検討している」は要介護1で18.0%、要介護3で16.7%となっています。「すでに入所・入居の申し込みをしている」は要介護3で10.4%と最も高くなっています。

図表 3-13-2 施設等への入所・入居検討の有無（要介護状態区分別）



4-問1 (1)【問1で「1. 入所・入居は検討していない」の方のみ】

施設等への入所・入居を検討していない理由をお答えください(○はいくつでも)

全体では、「家族による介護が受けられるから」が62.5%と最も高くなっています。
 性別にみると、「家族による介護が受けられるから」は男性が10.5ポイント高くなっています。
 年齢階級別にみると、「家族による介護が受けられるから」は全ての年齢階級で5割以上となっています。

図表 3-14-1 施設等への入所・入居を検討していない理由(性別・年齢階級別)

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体(n)	291	116	171	22	40	70	57	55	43
家族による介護が 受けられるから	182 62.5	80 69.0	100 58.5	14 63.6	24 60.0	37 52.9	32 56.1	43 78.2	30 69.8
住み慣れた場所で 生活したいから	152 52.2	58 50.0	91 53.2	12 54.5	17 42.5	30 42.9	35 61.4	30 54.5	25 58.1
家族と離れることに 不安があるから	75 25.8	30 25.9	43 25.1	8 36.4	5 12.5	16 22.9	15 26.3	21 38.2	8 18.6
施設で他人との共同 生活をしたくないから	49 16.8	14 12.1	35 20.5	4 18.2	7 17.5	8 11.4	8 14.0	9 16.4	13 30.2
在宅の方が施設に比べ て経済的な負担が少ない から	80 27.5	32 27.6	46 26.9	6 27.3	13 32.5	15 21.4	22 38.6	13 23.6	9 20.9
介護保険施設のことが よくわからないから	25 8.6	5 4.3	20 11.7	2 9.1	3 7.5	7 10.0	4 7.0	5 9.1	4 9.3
地域社会とのつながり が希薄になる不安が あるから	19 6.5	6 5.2	13 7.6	1 4.5	3 7.5	6 8.6	2 3.5	5 9.1	2 4.7
その他	20 6.9	11 9.5	9 5.3	2 9.1	2 5.0	8 11.4	2 3.5	2 3.6	4 9.3
特に理由はない	36 12.4	10 8.6	26 15.2	2 9.1	6 15.0	13 18.6	13 22.8	2 3.6	0 0.0
無回答	7 2.4	5 4.3	2 1.2	2 9.1	1 2.5	1 1.4	0 0.0	2 3.6	1 2.3

要介護状態区分別にみると、要支援 1 では「住み慣れた場所で生活したいから」が 43.2% と最も高く、それ以外の要介護状態区分では「家族による介護が受けられるから」が最も高くなっています。

図表 3-14-2 施設等への入所・入居を検討していない理由（要介護状態区分別）

上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	291	44	67	45	77	30	13	10
家族による介護が 受けられるから	182 62.5	16 36.4	40 59.7	28 62.2	53 68.8	25 83.3	10 76.9	7 70.0
住み慣れた場所で 生活したいから	152 52.2	19 43.2	34 50.7	22 48.9	48 62.3	14 46.7	5 38.5	6 60.0
家族と離れることに 不安があるから	75 25.8	9 20.5	13 19.4	12 26.7	23 29.9	8 26.7	3 23.1	4 40.0
施設で他人との共同 生活をしたくないから	49 16.8	6 13.6	6 9.0	10 22.2	21 27.3	2 6.7	2 15.4	1 10.0
在宅の方が施設に比べ て経済的な負担が少ない から	80 27.5	7 15.9	19 28.4	12 26.7	24 31.2	11 36.7	2 15.4	3 30.0
介護保険施設のことが よくわからないから	25 8.6	4 9.1	5 7.5	4 8.9	6 7.8	2 6.7	1 7.7	2 20.0
地域社会とのつながり が希薄になる不安が あるから	19 6.5	3 6.8	2 3.0	5 11.1	7 9.1	1 3.3	0 0.0	0 0.0
その他	20 6.9	5 11.4	3 4.5	3 6.7	5 6.5	0 0.0	4 30.8	0 0.0
特に理由はない	36 12.4	11 25.0	11 16.4	7 15.6	6 7.8	1 3.3	0 0.0	0 0.0
無回答	7 2.4	0 0.0	1 1.5	2 4.4	3 3.9	1 3.3	0 0.0	0 0.0

4-問1 (2) 【問1で「2. 入所・入居を検討している」

または「3. すでに入所・入居の申し込みをしている」の方のみ】

施設等への入所・入居を検討している、またはすでに入所・入居の申し込みをしている理由をお答えください。(○はいくつでも)

全体では、「施設に入所した方が安心だから」が61.2%、「家族に負担をかけたくないから」が57.1%、「専門的な介護が受けられるから」が55.1%となっています。

性別にみると、「心身の状況から在宅での介護が困難だから」以外の項目は全て男性が高くなっています。

年齢階級別にみると、「家族に負担をかけたくないから」が70～74歳で80.0%、90歳以上で83.3%となっています。「施設に入所した方が安心だから」が全ての年齢階級で5割以上となっています。

図表 3-15-1 施設等への入所・入居を検討している理由（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体（n）	49	13	35	4	5	11	10	12	6
家族に負担をかけたくないから	28 57.1	8 61.5	19 54.3	2 50.0	4 80.0	7 63.6	5 50.0	4 33.3	5 83.3
介護してくれる家族がいないから	10 20.4	4 30.8	6 17.1	1 25.0	1 20.0	2 18.2	2 20.0	2 16.7	2 33.3
家族が働いているため	16 32.7	5 38.5	11 31.4	2 50.0	1 20.0	3 27.3	4 40.0	5 41.7	1 16.7
心身の状況から在宅での介護が困難だから	19 38.8	5 38.5	14 40.0	1 25.0	1 20.0	4 36.4	4 40.0	6 50.0	3 50.0
施設に入所した方が安心だから	30 61.2	8 61.5	21 60.0	2 50.0	4 80.0	6 54.5	5 50.0	8 66.7	4 66.7
現在の住居が介護に適していないから	12 24.5	3 23.1	8 22.9	2 50.0	1 20.0	3 27.3	2 20.0	2 16.7	1 16.7
専門的な介護が受けられるから	27 55.1	8 61.5	18 51.4	2 50.0	4 80.0	4 36.4	7 70.0	5 41.7	4 66.7
その他	5 10.2	0 0.0	4 11.4	0 0.0	0 0.0	1 9.1	2 20.0	0 0.0	1 16.7
特に理由はない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	1 2.0	1 7.7	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

要介護状態区分別にみると、要介護 1～3（参考値として傾向をみる）では「専門的な介護が受けられるから」「施設に入所した方が安心だから」「家族に負担をかけたくないから」と回答した割合が高くなっています。

図表 3-15-2 施設等への入所・入居を検討している理由（要介護状態区分別）

上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	49	1	8	12	12	13	2	0
家族に負担をかけたくないから	28 57.1	1 100.0	5 62.5	5 41.7	7 58.3	7 53.8	2 100.0	0 0.0
介護してくれる家族がいないから	10 20.4	1 100.0	2 25.0	1 8.3	3 25.0	3 23.1	0 0.0	0 0.0
家族が働いているため	16 32.7	0 0.0	3 37.5	3 25.0	5 41.7	4 30.8	1 50.0	0 0.0
心身の状況から在宅での介護が困難だから	19 38.8	1 100.0	0 0.0	3 25.0	7 58.3	8 61.5	0 0.0	0 0.0
施設に入所した方が安心だから	30 61.2	0 0.0	3 37.5	8 66.7	9 75.0	7 53.8	2 100.0	0 0.0
現在の住居が介護に適していないから	12 24.5	0 0.0	2 25.0	4 33.3	3 25.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0
専門的な介護が受けられるから	27 55.1	0 0.0	3 37.5	6 50.0	8 66.7	9 69.2	0 0.0	0 0.0
その他	5 10.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	3 23.1	0 0.0	0 0.0
特に理由はない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	1 2.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

5 ご本人（あて名の方）の健康について

5-問1 ご本人（あて名の方）の健康状態について、①～⑦のそれぞれ1つに○を
してください（1つの質問につき○は1つ）

全体では、①現在、治療中の病気はありますか「はい」が82.5%、⑥ひざや腰が痛く、
立ち歩きに支障がありますか「はい」が73.1%となっています。

図表 3-16-1 ご本人の健康状態

上段：人/下段：%

全体（n=2,426）	はい	いいえ	無回答
①現在、治療中の病気はありますか	316 82.5	38 9.9	29 7.6
②最近1年以内に入院しましたか	121 31.6	222 58.0	40 10.4
③身体のどこかに麻痺の部分（脳梗塞後など）はありますか	115 30.0	222 58.0	46 12.0
④ものが見えにくいなど、視力に支障はありますか	147 38.4	188 49.1	48 12.5
⑤声が聞こえにくいなど、聴力に支障はありますか	169 44.1	168 43.9	46 12.0
⑥ひざや腰が痛く、立ち歩きに支障はありますか	280 73.1	65 17.0	38 9.9
⑦虚弱で横になっていることが多いですか	136 35.5	193 50.4	54 14.1

5-問2 ふだんから治療や指導を受けたり相談のできる、かかりつけ医、かかりつ
け歯科医、かかりつけ薬局はありますか（1つの質問につき○は1つ）

全体では、①かかりつけ医は「いる」が84.9%、②かかりつけ歯科医は「いる」が52.2%
となっています。①かかりつけ医は「町内にいる」が44.6%、「福生病院以外の町外にい
る」が27.9%となっています。②かかりつけ歯科医は「町内にいる」が32.1%となっ
ています。③かかりつけ薬局は「ある」が74.7%、「町内にある」が40.5%、「町外にある」
が34.2%となっています。

図表 3-17-1 かかりつけ医・かかりつけ歯科医

上段：人/下段：%

全体（n=2,426）	いる	町内にいる	福生病院にいる	福生病院以外の 町外にいる	いない	無回答
①かかりつけ医	325 84.9	171 44.6	47 12.3	107 27.9	17 4.4	41 10.7
②かかりつけ歯科医	200 52.2	123 32.1	4 1.0	73 19.1	126 32.9	57 14.9

図表 3-17-2 かかりつけ薬局

上段：人/下段：%

全体（n=2,426）	ある	町内にある	町外にある	ない	無回答
③かかりつけ薬局	286 74.7	155 40.5	131 34.2	54 14.1	43 11.2

※聞取り調査の選択肢「福生病院にある」「福生病院以外の町外にある」は「町外にある」に含め
ています。

6 ご本人（あて名の方）の住まいについて

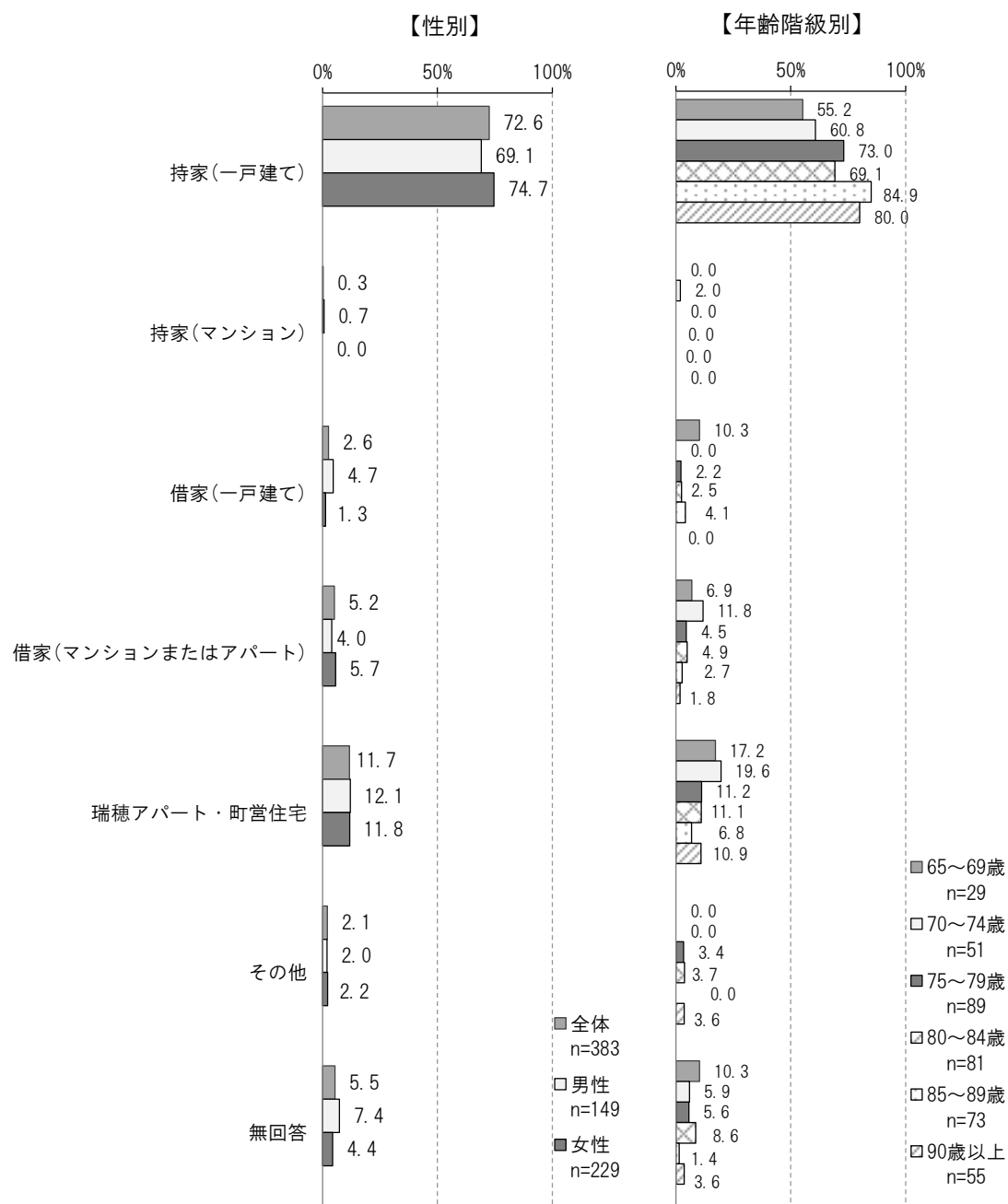
6-問1 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（○は1つ）

全体では、「持家（一戸建て）」が72.6%となっています。

性別にみると、「持家（一戸建て）」は女性が5.6ポイント高くなっています。

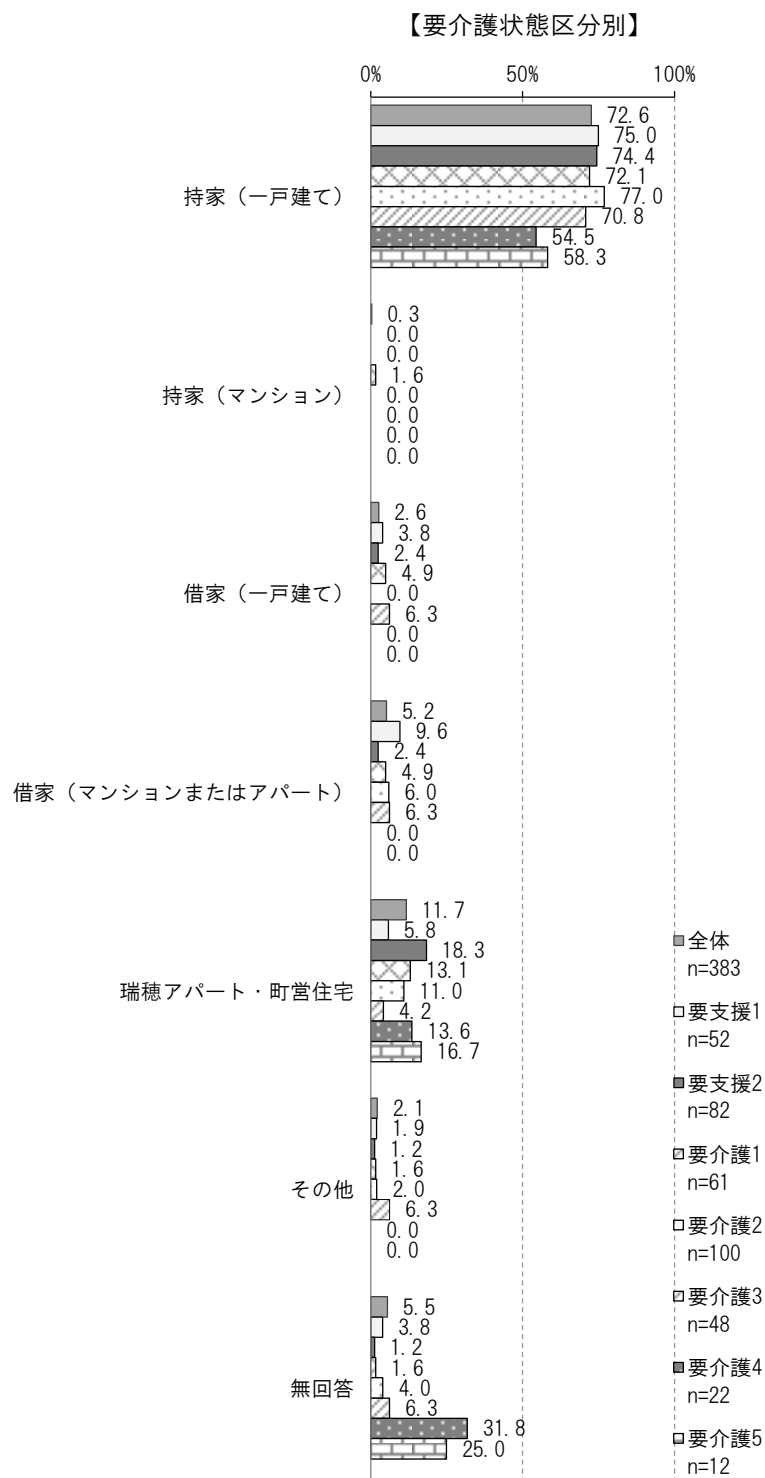
年齢階級別にみると、「持家（一戸建て）」は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 3-18-1 居住形態（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「持家（一戸建て）」は要介護4、要介護5を除く全ての要介護状態区分で7割以上となっています。「瑞穂アパート・町営住宅」は要支援2で18.3%、要介護5で16.7%となっています。

図表 3-18-2 居住形態（要介護状態区別別）



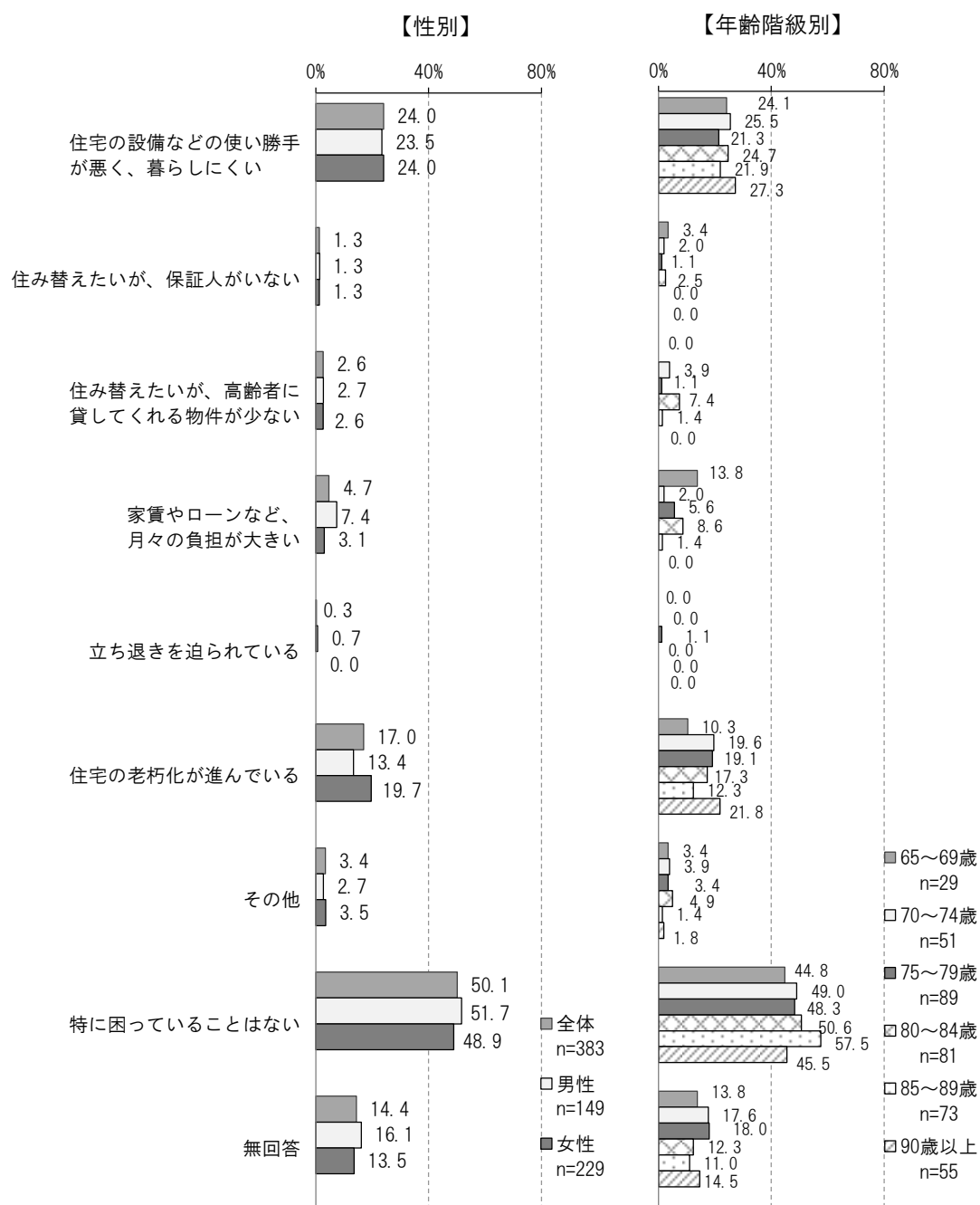
6-問2 現在、お住まいの住宅でお困りのことはありますか（〇はいくつでも）

全体では、「特に困っていることはない」が50.1%、「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」が24.0%、「住宅の老朽化が進んでいる」が17.0%となっています。

性別にみると、「住宅の老朽化が進んでいる」は女性が6.3ポイント高く、「家賃やローンなど、月々の負担が大きい」は男性が4.3ポイント高くなっています。

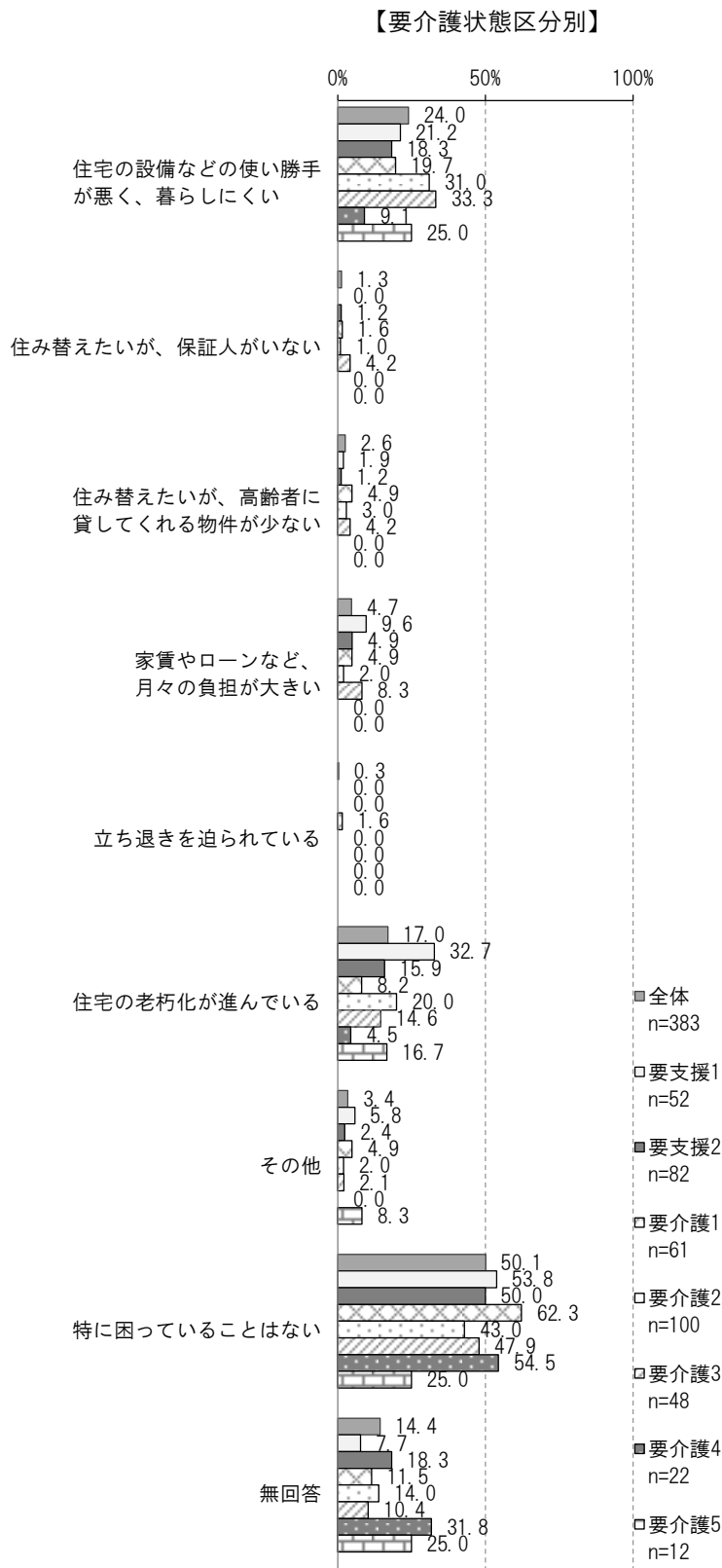
年齢階級別にみると、「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」は全ての年齢階級で2割以上になっています。「住宅の老朽化が進んでいる」は90歳以上で2割以上、「家賃やローンなど、月々の負担が大きい」は65～69歳で1割以上となっています。

図表 3-19-1 住宅で困っていること（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、要介護2、要介護3では「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」が、要支援1では「住宅の老朽化が進んでいる」が3割以上となっています。

図表 3-19-2 住宅で困っていること（要介護状態区別別）



6-問2（1）【問2で「1. 住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」
の方のみ】

具体的にどのような設備などに困っていますか（○はいくつでも）

全体では、「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい」が47.8%と最も高く、次いで「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」が31.5%、「居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降りが大変」が27.2%となっています。

性別にみると、「居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降りが大変」は男性が12.5ポイント高く、「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい」は女性が12.7ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」は65～69歳で71.4%、「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい」は70～74歳で6割以上となっています。

図表 3-20-1 困っている住宅の設備（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上
全体（n）	92	35	55	7	13	19	20	16	15
居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降りが大変	25 27.2	12 34.3	12 21.8	1 14.3	2 15.4	6 31.6	7 35.0	4 25.0	4 26.7
玄関、廊下、階段、トイレ 浴室などに手すりがない	29 31.5	10 28.6	17 30.9	5 71.4	5 38.5	4 21.1	4 20.0	3 18.8	6 40.0
玄関、居室、廊下、トイレ、 浴室などに段差がある、 または滑りやすい	44 47.8	14 40.0	29 52.7	2 28.6	8 61.5	10 52.6	10 50.0	6 37.5	7 46.7
玄関、居室などの扉が 開閉しにくい	16 17.4	6 17.1	9 16.4	3 42.9	1 7.7	4 21.1	1 5.0	3 18.8	3 20.0
トイレが和式である	3 3.3	1 2.9	1 1.8	0 0.0	0 0.0	2 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
風呂がない、または 使いにくい	8 8.7	3 8.6	3 5.5	1 14.3	1 7.7	1 5.3	2 10.0	1 6.3	0 0.0
その他	18 19.6	7 20.0	10 18.2	1 14.3	4 30.8	1 5.3	5 25.0	4 25.0	2 13.3
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

要介護状態区別にみると、要支援1では「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい」が63.6%と高く、要支援2では「居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降りが大変」、「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい」がともに26.7%となっています。要介護1では「居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降りが大変」、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」がともに26.7%、要介護1では「居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降りが大変」、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」がともに58.3%となっています。要介護2～4では「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい」が最も高くなっています。要介護5では「玄関、居室などの扉が開閉しにくい」が最も高くなっています。

図表 3-20-2 困っている住宅の設備（要介護状態区別別）

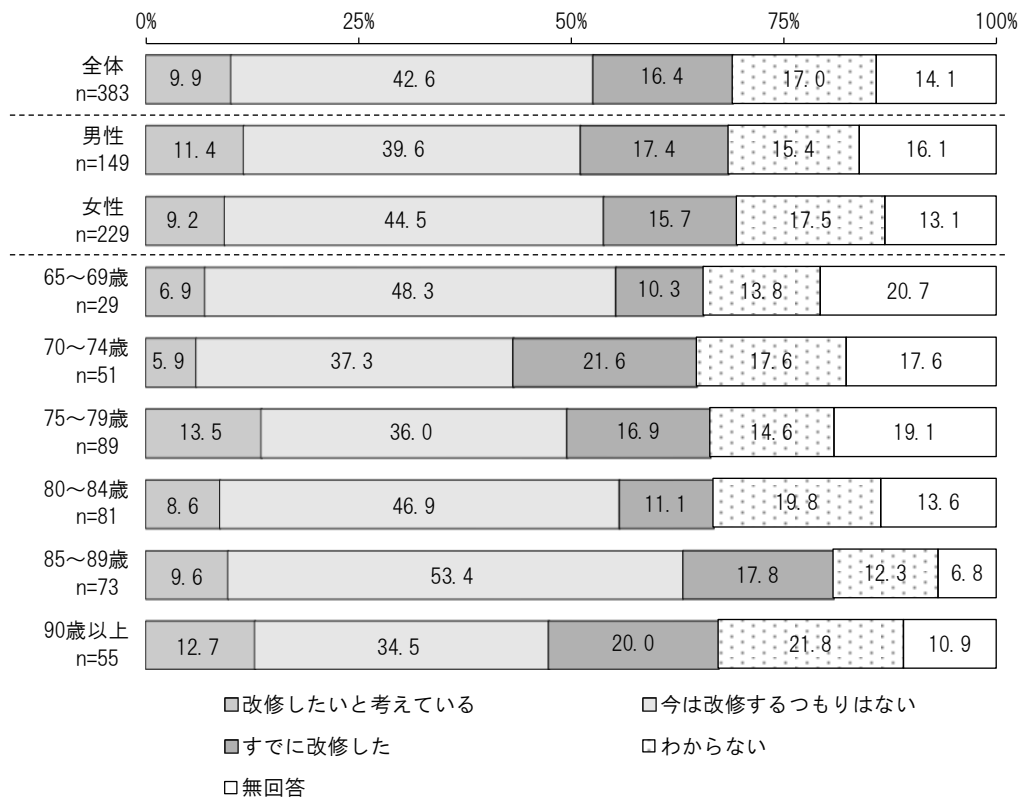
上段：人/下段：%

	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体（n）	92	11	15	12	31	16	2	3
居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降りが大変	25 27.2	4 36.4	4 26.7	7 58.3	4 12.9	4 25.0	0 0.0	1 33.3
玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない	29 31.5	2 18.2	2 13.3	7 58.3	10 32.3	5 31.3	0 0.0	1 33.3
玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい	44 47.8	7 63.6	4 26.7	5 41.7	15 48.4	9 56.3	2 100.0	1 33.3
玄関、居室などの扉が開閉しにくい	16 17.4	3 27.3	2 13.3	1 8.3	5 16.1	1 6.3	1 50.0	2 66.7
トイレが和式である	3 3.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
風呂がない、または使いにくい	8 8.7	0 0.0	2 13.3	2 16.7	1 3.2	1 6.3	0 0.0	0 0.0
その他	18 19.6	0 0.0	2 13.3	1 8.3	6 19.4	7 43.8	0 0.0	1 33.3
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

6-問3 お住まいの住宅を改修したいと考えていますか（○は1つ）

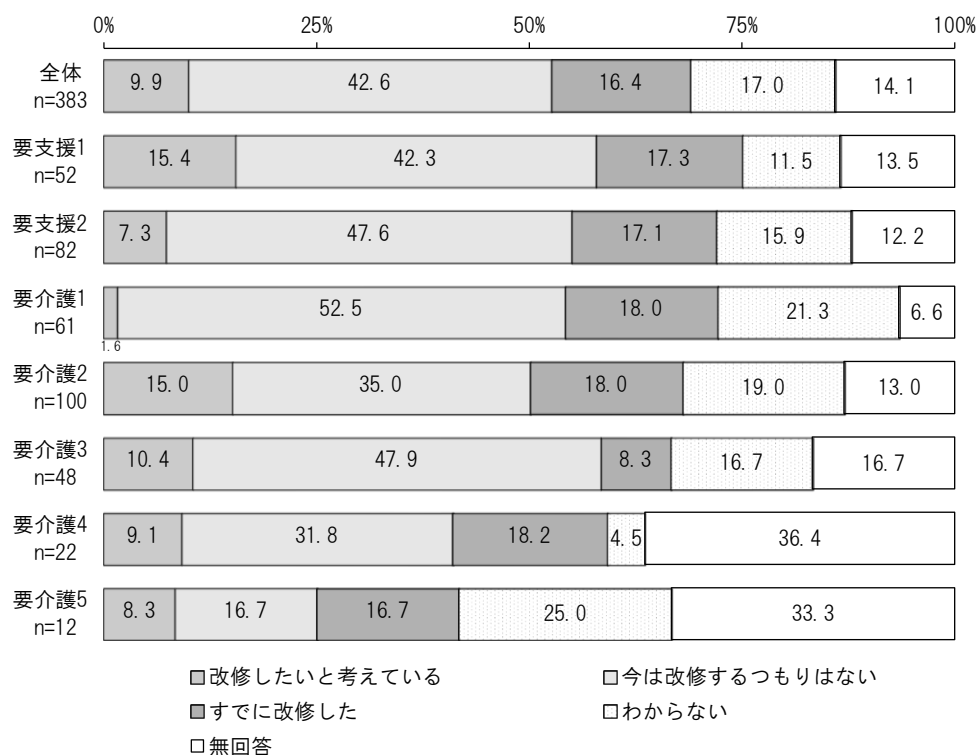
全体では、「今は改修するつもりはない」が42.6%と最も高くなっています。
性別にみると、「今は改修するつもりはない」は女性が4.9ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「今は改修するつもりはない」は85～89歳で5割以上となっています。

図表 3-21-1 住宅改修意向の有無（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、要介護5を除いては「今は改修するつもりはない」割合が最も高くなっています。「改修したいと考えている」割合は要支援1が15.4%と最も高くなっています。

図表 3-21-2 住宅改修意向の有無（要介護状態区別別）

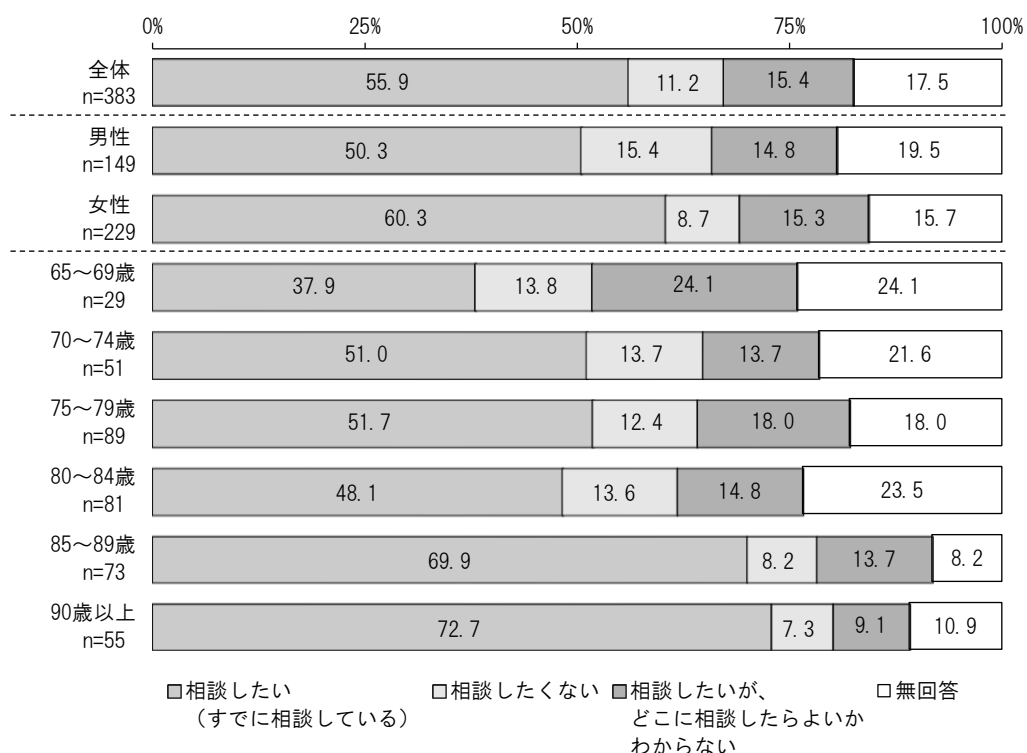


7 認知症や成年後見制度について

7-問1 もしあなた（あて名の方）が認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外でどこに相談したいと思いますか（○は1つ）

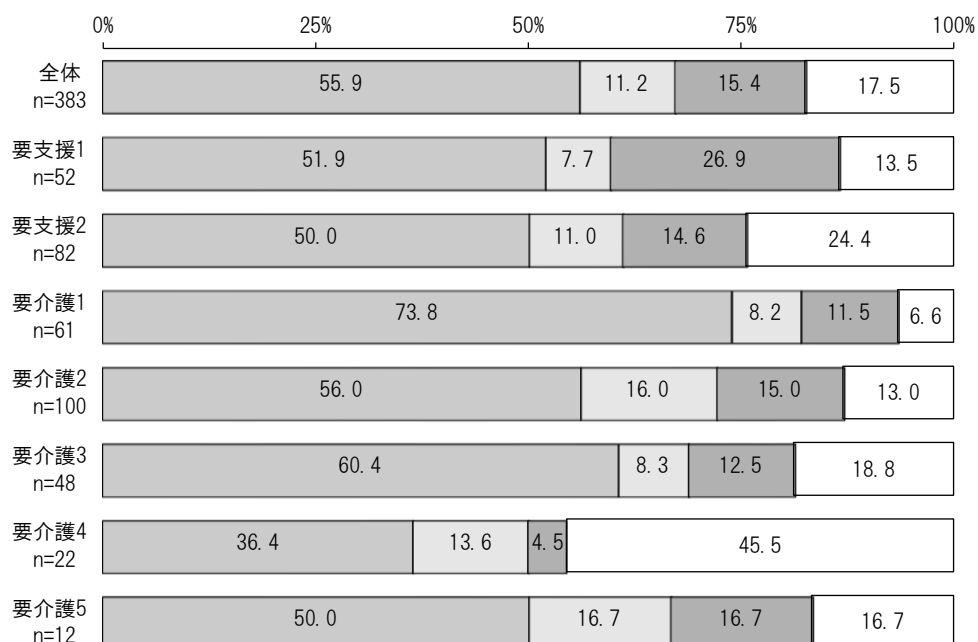
全体では、「相談したい（すでに相談している）」が55.9%となっています。
 性別にみると、「相談したい（すでに相談している）」は女性が10.0ポイント高くなっています。
 年齢階級別にみると、「相談したい（すでに相談している）」は加齢とともに高くなる傾向にあり、90歳以上で72.7%となっています。

図表 3-22-1 認知症になった場合、家族以外でどこに相談するかについて（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、要支援1では「相談したいが、どこに相談したらよいかわからない」が26.9%となっています。要介護1では「相談したい（すでに相談している）」が7割以上と高く、要介護3では約6割となっています。

図表 3-22-2 認知症になった場合、家族以外でどこに相談するかについて（要介護状態区分別）



- 相談したい(すでに相談している)
- 相談したくない
- 相談したいが、どこに相談したらよいかわからない
- 無回答

7-問1（1）【問1で「1. 相談したい（すでに相談している）」の方のみ】

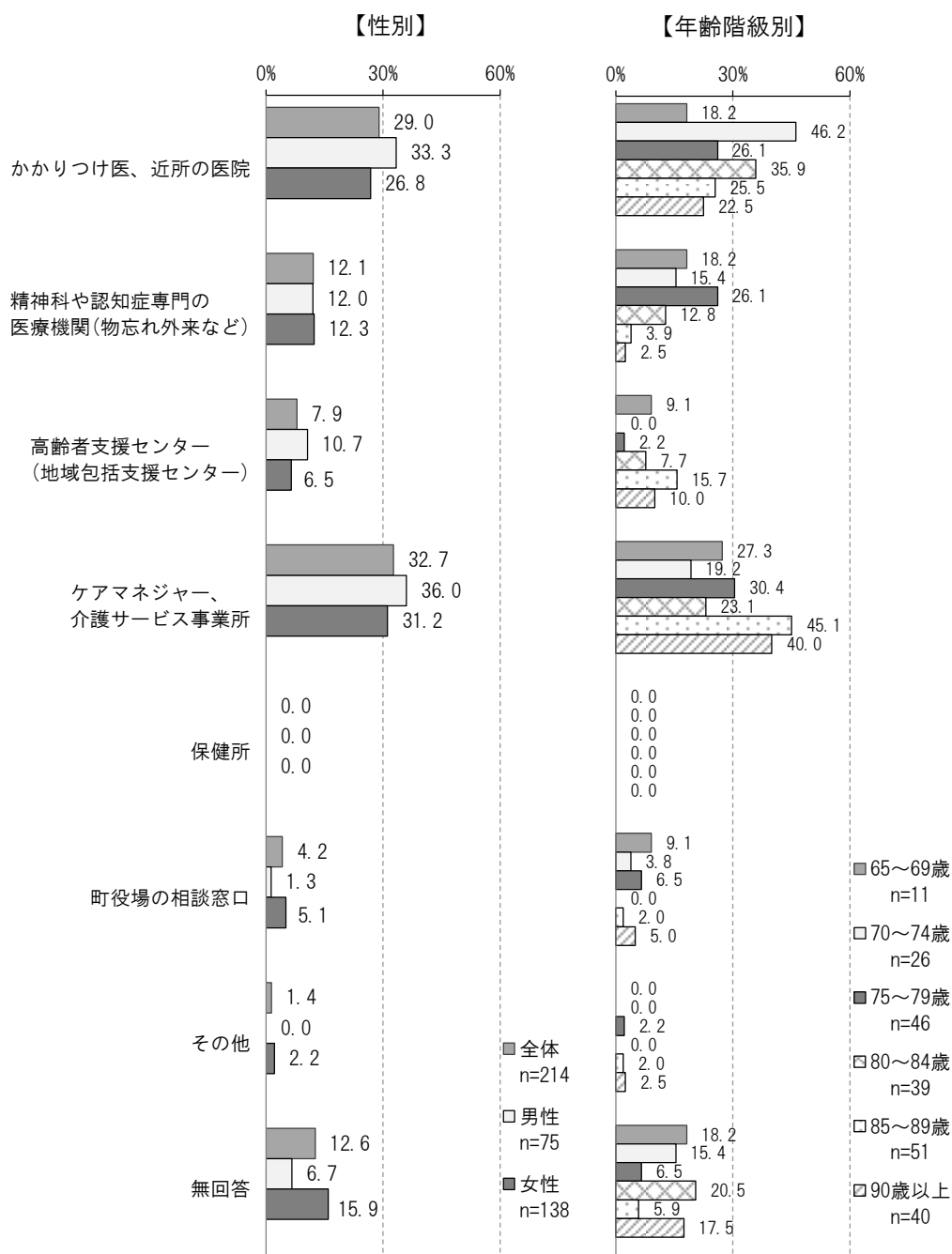
どこに最初に相談しますか（相談しましたか）（○は1つ）

全体では、「ケアマネジャー、介護サービス事業所」が32.7%と最も高く、次いで「かかりつけ医、近所の医院」が29.0%となっています。

性別にみると、「かかりつけ医、近所の医院」、「高齢者支援センター（地域包括支援センター）」、「ケアマネジャー、介護サービス事業所」は男性が4.0ポイント以上高くなっています。

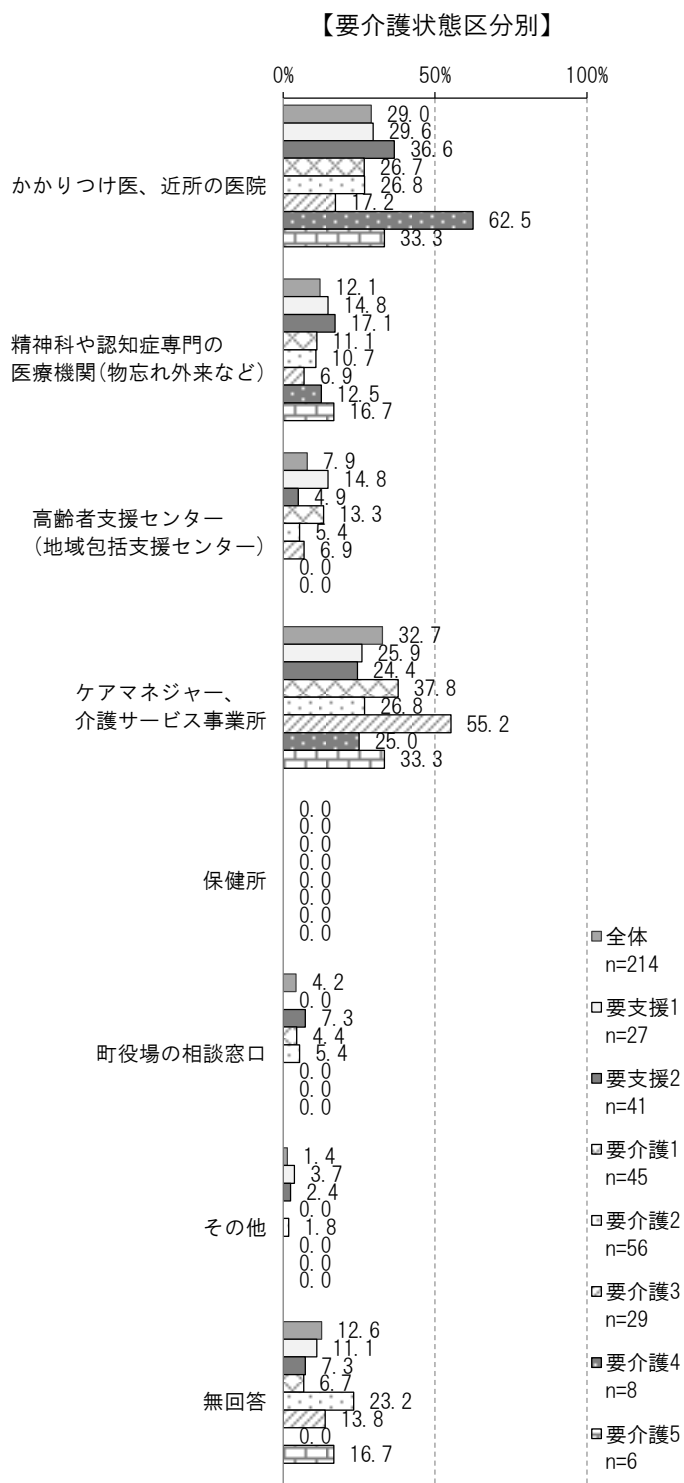
年齢階級別にみると、「かかりつけ医、近所の医院」は70～74歳で4割以上と高くなっています。「ケアマネジャー、介護サービス事業所」は85歳以上で4割以上と高くなっています。

図表 3-23-1 認知症について最初の相談相手（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「かかりつけ医、近所の医院」では要介護4が6割以上、「ケアマネジャー、介護サービス事業所」では要介護3が5割以上となっています。

図表 3-23-2 認知症について最初の相談相手（要介護状態区分別）



7-問1（2）【問1で「2. 相談したくない」の方のみ】

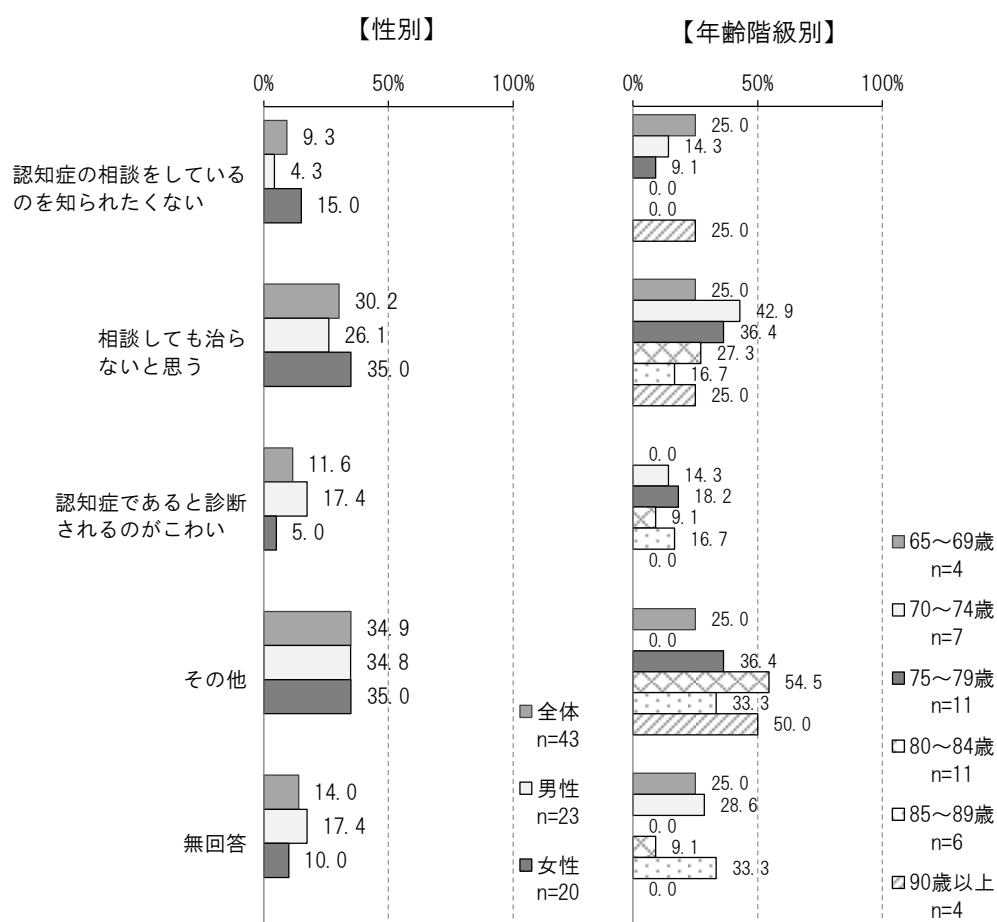
相談したくない理由を教えてください（○は1つ）

全体では、「相談しても治らないと思う」が30.2%となっています。

性別にみると、「認知症の相談をしているのを知られたくない」は女性が10.7ポイント、「相談しても治らないと思う」は8.9ポイント高くなっています。また、「認知症であると診断されるのが怖い」は男性が12.4ポイント高くなっています。

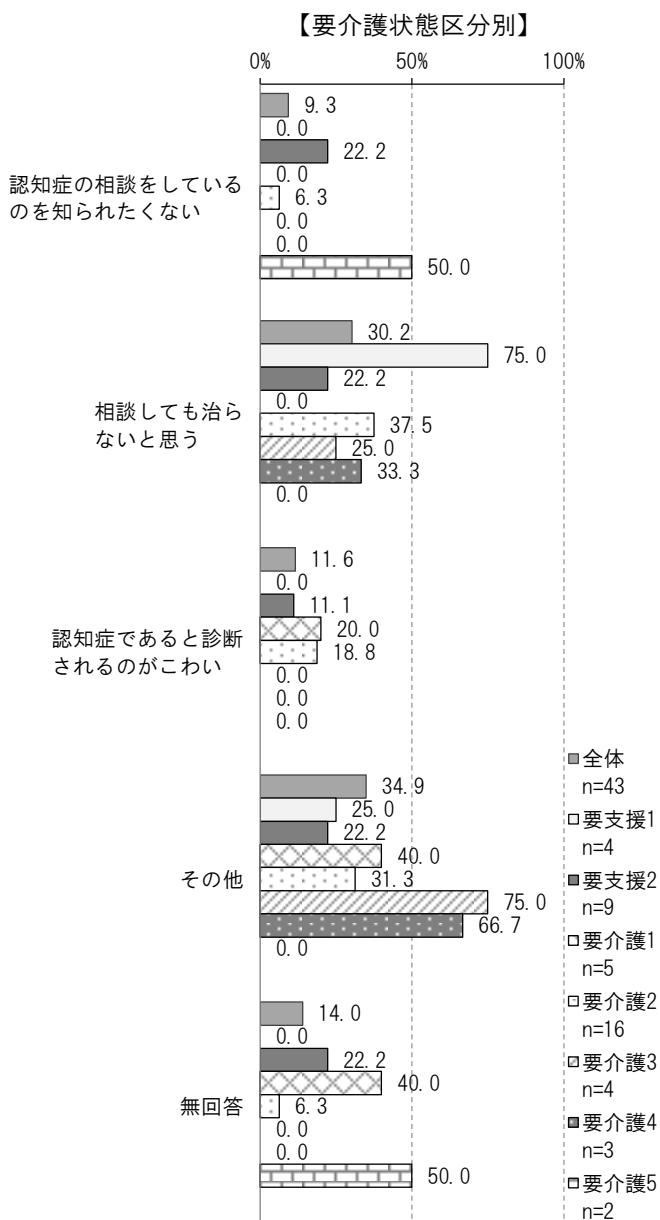
年齢階級別にみると、「相談しても治らないと思う」は70～74歳以降、加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 3-24-1 認知症の相談をしたくない理由（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、回答者が少ないため参考としますが、「認知症の相談をしているのを知られたくない」は要介護5で50.0%、要支援2で22.2%となっています。「相談しても治らないと思う」は要支援1で75.0%、要介護2では「相談しても治らないと思う」が37.5%となっています。

図表 3-24-2 認知症の相談をしたくない理由（要介護状態区別）



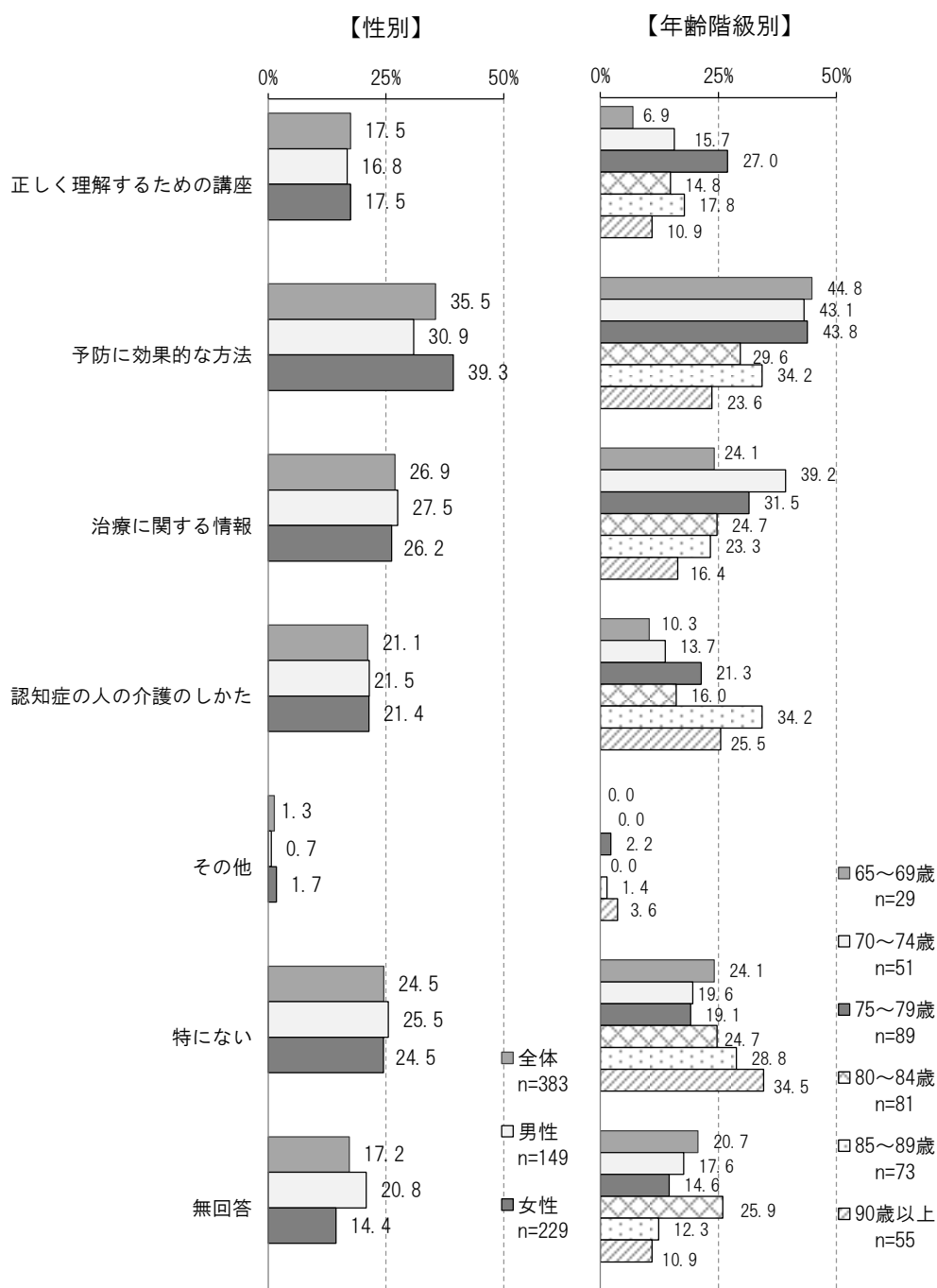
7-問2 あなた（あて名の方）は、認知症のどのようなことに興味がありますか
（〇はいくつでも）

全体では、「予防に効果的な方法」が35.5%と最も高く、次いで「治療に関する情報」が26.9%、また「特にない」が24.5%となっています。

性別にみると、「予防に効果的な方法」は女性が8.4ポイント高くなっています。

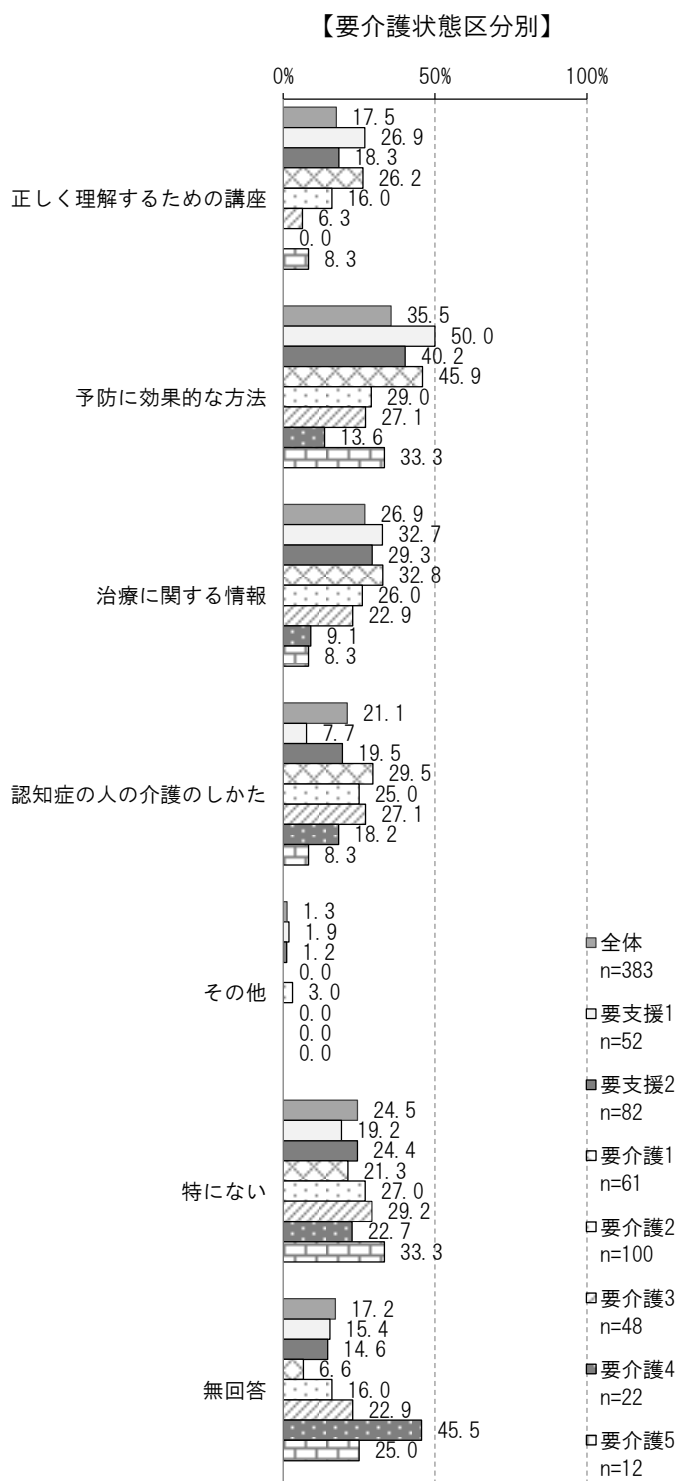
年齢階級別にみると、「予防に効果的な方法」は加齢とともに低くなる傾向にあります。

図表 3-25-1 認知症についての関心事（性別・年齢階級別）



要介護状態区分別にみると、要介護4以外では「予防に効果的な方法」が最も高くなっています。要介護3では「予防に効果的な方法」と並んで「認知症の人の介護のしかた」が27.1%で最も高く、要介護4では「認知症の人の介護のしかた」が18.2%で最も高くなっています。

図表 3-25-2 認知症についての関心事（要介護状態区分別）



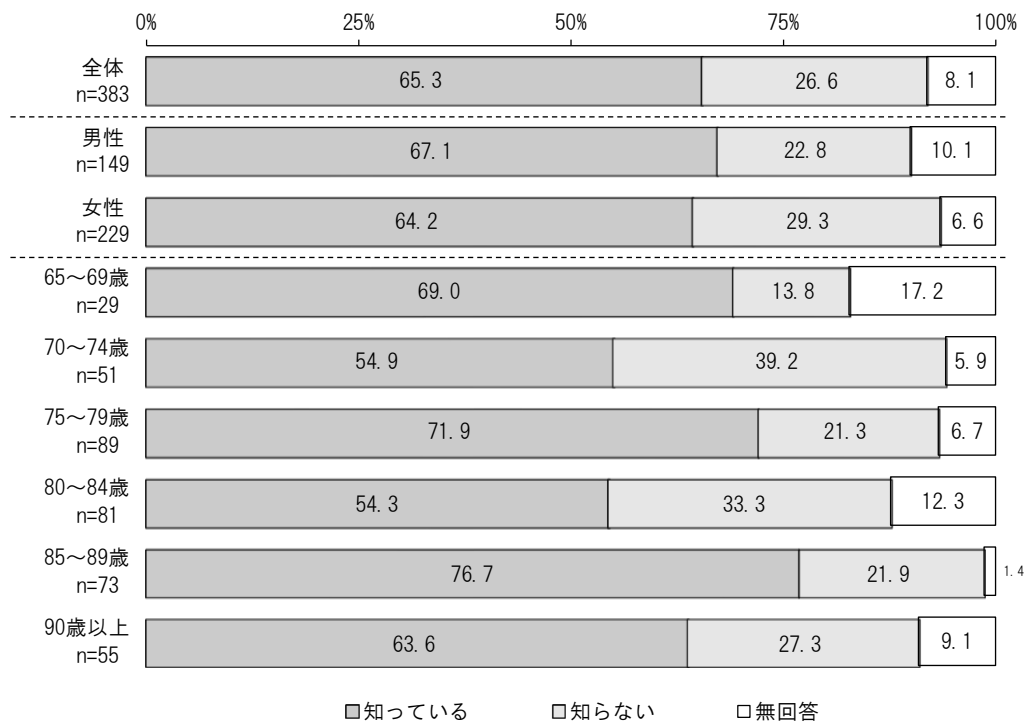
7-問3 高齢者の方への介護予防の助言や権利擁護、地域でのネットワーク構築など総合的な相談窓口として活動している「高齢者支援センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか（○は1つ）

全体では、「知っている」が65.3%となっています。

性別にみると、「知らない」は女性が6.5ポイント高くなっています。

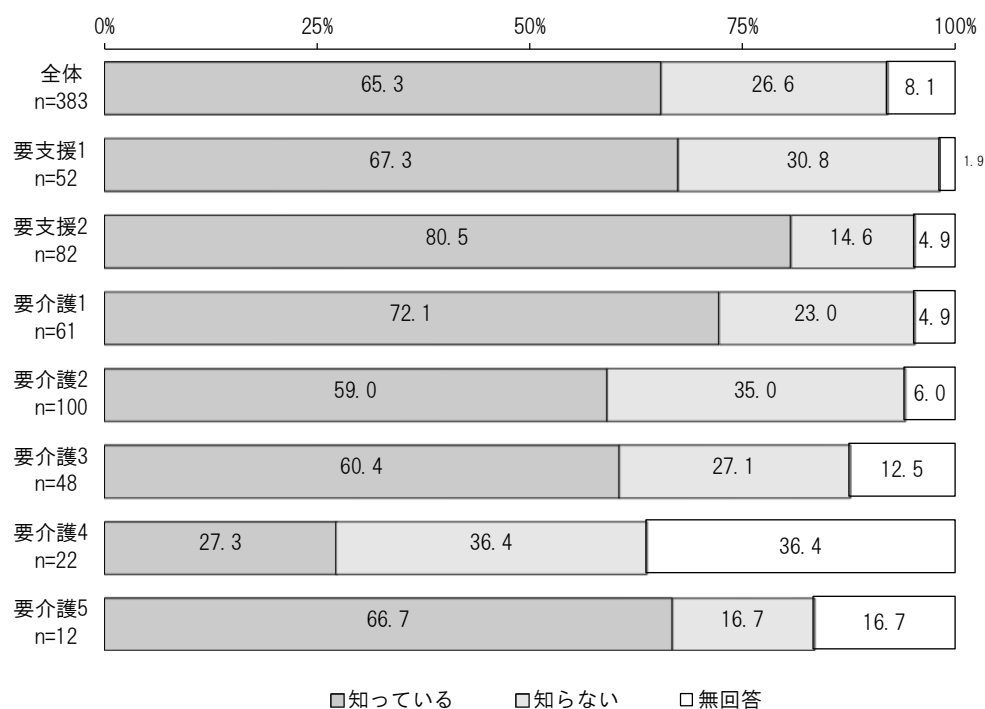
年齢階級別にみると、「知っている」は85～89歳で76.7%、75～79歳で71.9%と7割以上となっています。

図表 3-26-1 高齢者支援センター（地域包括支援センター）の認知度（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、要支援2では「知っている」が約8割、要介護1では「知っている」が7割以上となっています。一方、要支援1と要介護2では「知らない」が3割以上となっています。

図表 3-26-2 高齢者支援センター（地域包括支援センター）の認知度（要介護状態区分別）



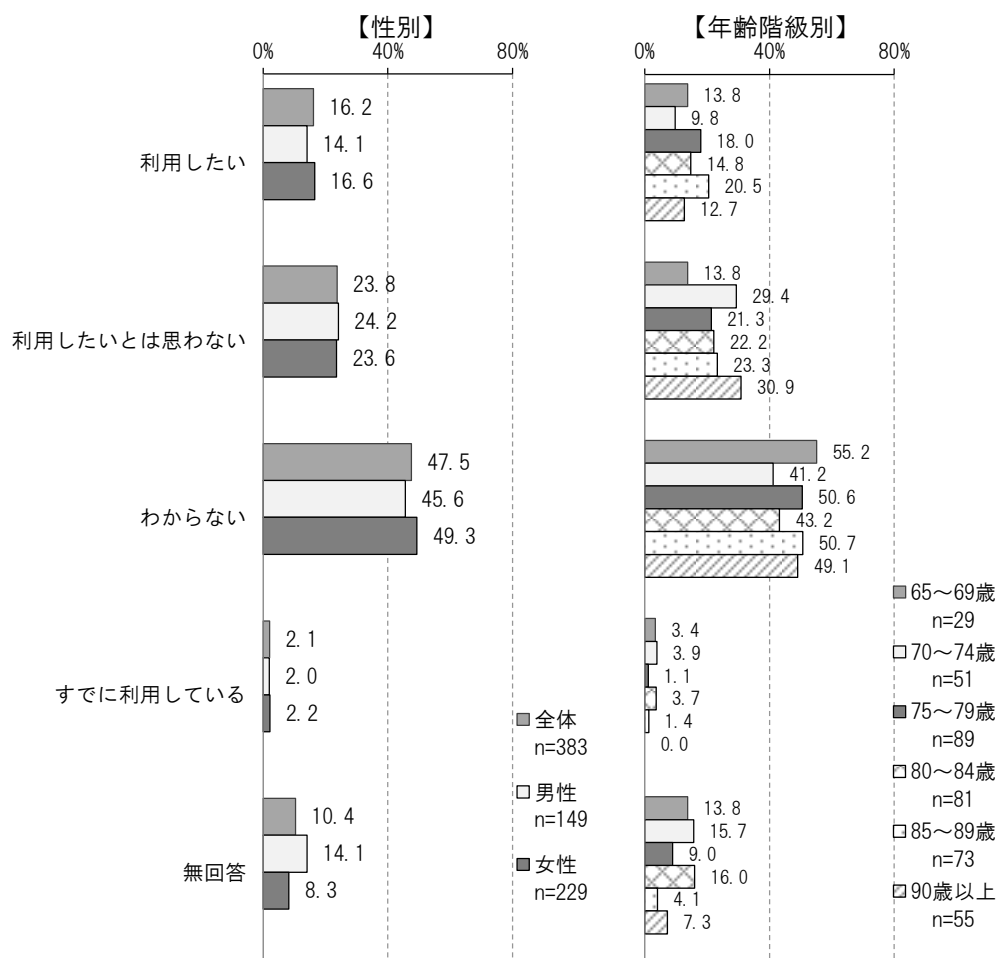
7-問4 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見」という制度があります。あなたが、判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか（○は1つ）

全体では、「わからない」が 47.5%、「利用したいと思わない」が 23.8%、「利用したい」が 16.2%となっています。

性別にみると、「わからない」は女性が 3.7 ポイント高くなっています。

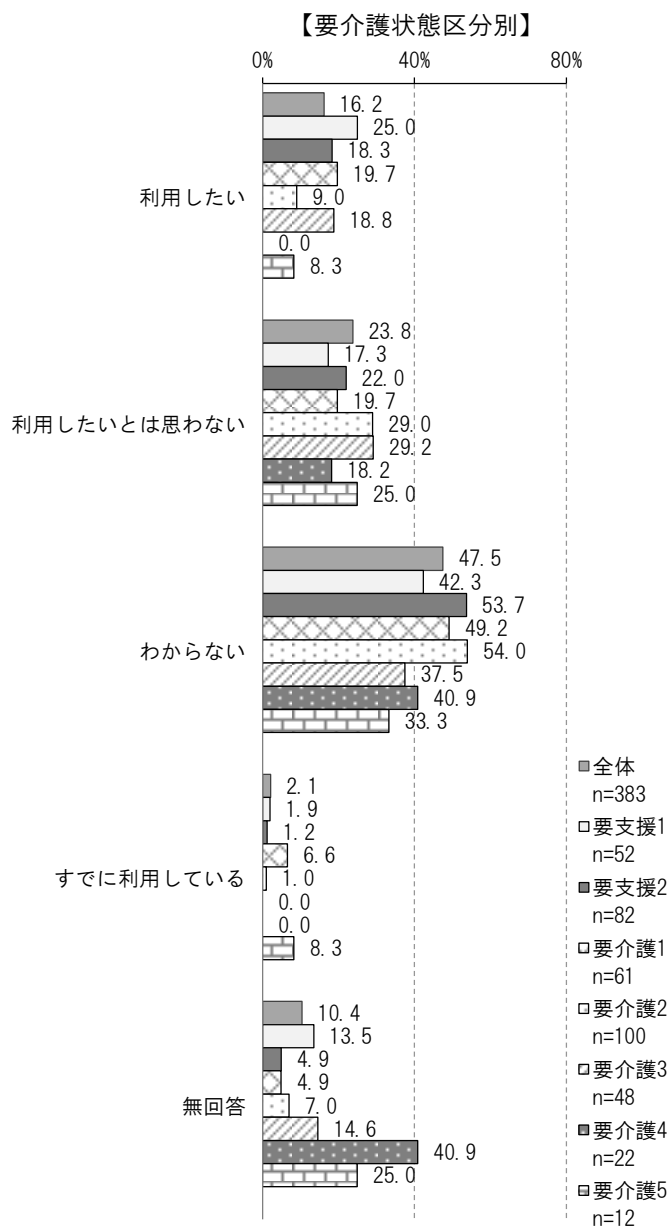
年齢階級別にみると、「利用したい」は 85～89 歳で 20.5%と高くなっています。

図表 3-27-1 「成年後見制度」の利用意向の有無（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「利用したい」は要支援1で25.0%と最も高くなっています。「利用したいとは思わない」は要介護2、要介護3で約3割となっています。「わからない」は要支援2、要介護2で5割以上となっています。

図表 3-27-2 「成年後見制度」の利用意向の有無（要介護状態区別別）



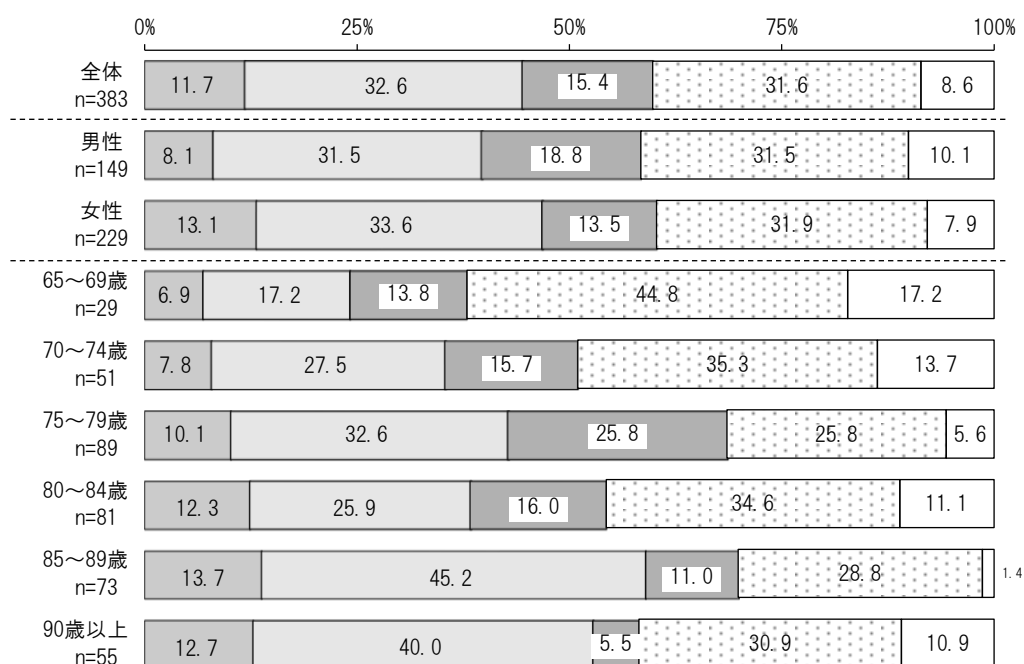
7-問5 介護保険は、保険料などの収入により介護が必要な方のサービス費用をまかなっています。今後の保険料について、どう考えますか（○は1つ）

全体では、「保険料も介護保険サービスも、今くらいが妥当である」が32.6%、「介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい」が15.4%となっています。

性別にみると、「保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい」は女性が5.0ポイント高くなっています。「介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい」は男性が5.3ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい」は加齢とともに高くなる傾向があります。また、75～79歳で「介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい」が25.8%と2割以上となっています。

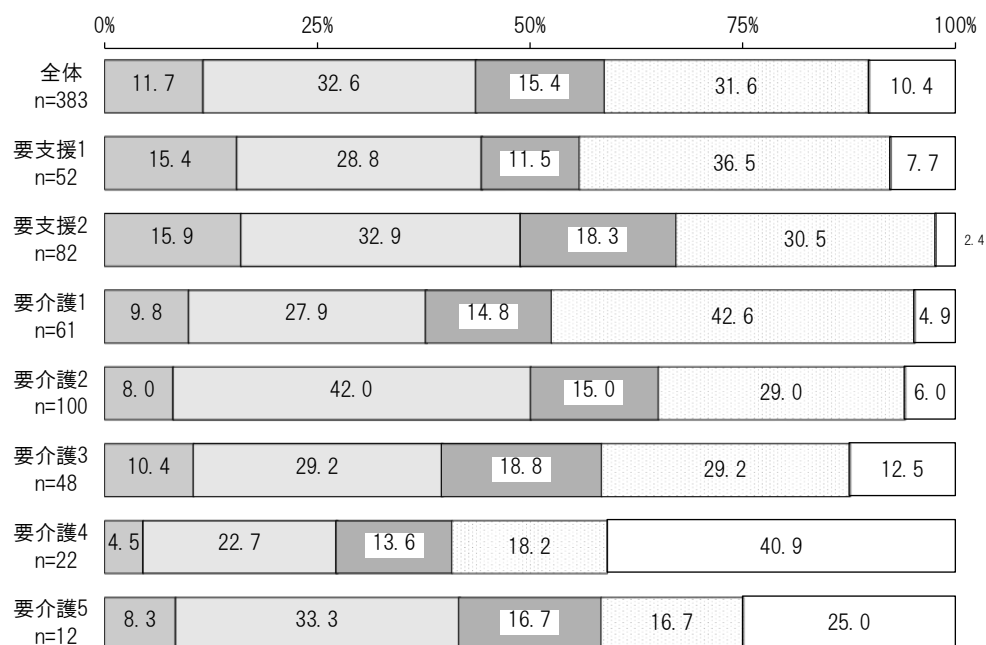
図表 3-28-1 今後の保険料についての考え（性別・年齢階級別）



- ☐ 保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい
- ☐ 保険料も介護保険サービスも、今くらいが妥当である
- ☐ 介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい
- ☐ どちらともいえない
- ☐ 無回答

要介護状態区別にみると、要支援 1、要支援 2 では「保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい」が 15%を超えています。また、要支援 2、要介護 3 では「介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい」が 18%を超えています。

図表 3-28-2 今後の保険料についての考え（要介護状態区分別）



- ☐ 保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい
- ☐ 保険料も介護保険サービスも、今くらいが妥当である
- ☐ 介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい
- ☐ どちらともいえない
- ☐ 無回答

8 地域住民によるサービス提供について

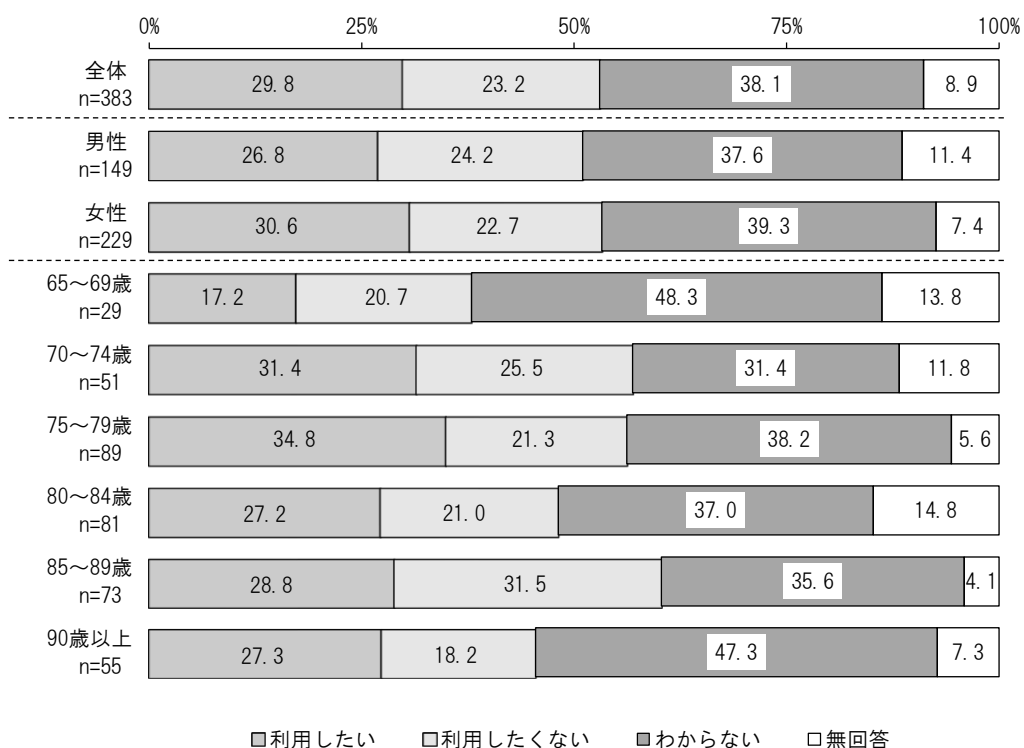
8-問1 今後、近所・地域・ボランティアの方が提供する、生活援助のサービス（買物や掃除などの日常生活のお手伝いをしてくれるサービス）を利用したいと思いますか（○は1つ）

全体では、「利用したい」が29.8%となっています。

性別にみると、「利用したい」は女性が3.8ポイント高くなっています。

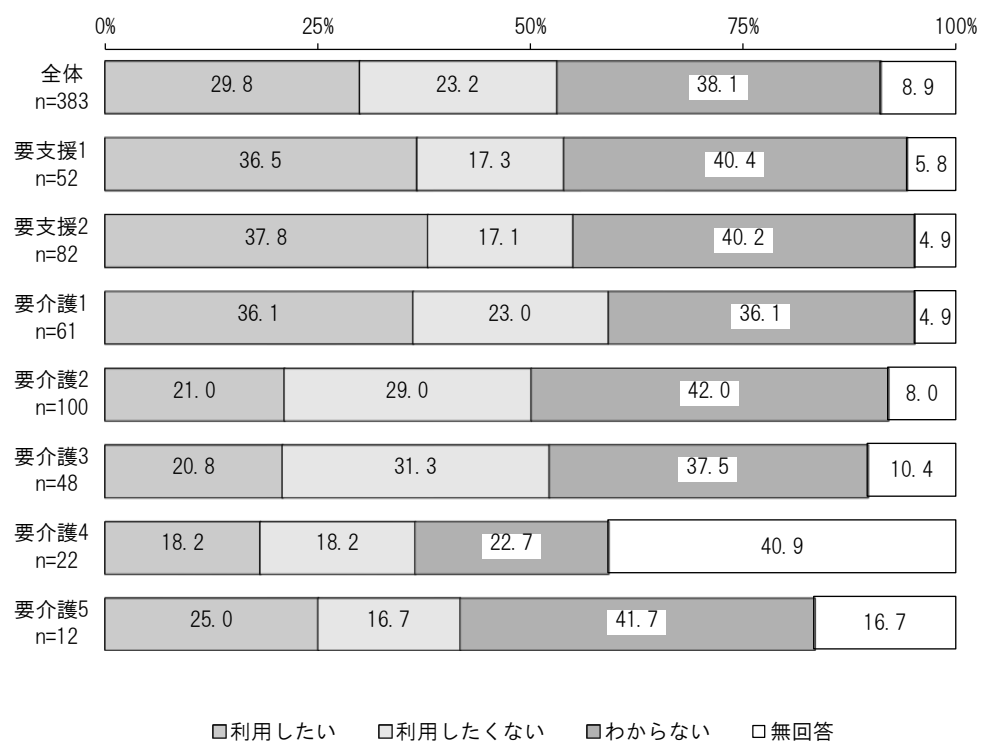
年齢階級別にみると、「利用したい」は70～74歳で31.4%、75～79歳で34.8%と3割以上となっています。

図表 3-29-1 生活援助のサービス利用意向の有無（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、要支援 1、要支援 2、要介護 1 では「利用したい」が 3 割以上、要介護 2、要介護 3 では「利用したい」が約 2 割となっています。

図表 3-29-2 生活援助のサービス利用意向の有無（要介護状態区別別）



8-問1（1）【問1で「1. 利用したい」の方のみ】

近所・地域・ボランティアの方にどのような手助けをしてもらいたいですか
(○はいくつでも)

全体では、「買物」が50.0%と最も高く、次いで「車での送迎」が49.1%、「通院の付添い」が34.2%となっています。

性別にみると、「家具の移動」は男性が10.4ポイント高く、「買物」、「ゴミ出し」、「炊事・洗濯」は女性が10ポイント以上高くなっています。

年齢階級別にみると、「見守りや声かけ」は加齢とともに高くなる傾向があります。また、「買物」は70～74歳以外で4割以上、「車での送迎」は90歳以上以外で4割以上となっています。

図表 3-30-1 近所・地域・ボランティアに手助けしてほしいこと（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体（n）	114	40	70	5	16	31	22	21	15
買物	57 50.0	15 37.5	39 55.7	3 60.0	6 37.5	17 54.8	10 45.5	12 57.1	6 40.0
ゴミ出し	32 28.1	9 22.5	23 32.9	2 40.0	4 25.0	7 22.6	5 22.7	6 28.6	8 53.3
部屋の掃除	36 31.6	12 30.0	23 32.9	3 60.0	5 31.3	11 35.5	5 22.7	6 28.6	5 33.3
布団干し	17 14.9	4 10.0	13 18.6	1 20.0	1 6.3	5 16.1	3 13.6	3 14.3	4 26.7
炊事・洗濯	30 26.3	7 17.5	21 30.0	1 20.0	3 18.8	11 35.5	5 22.7	5 23.8	3 20.0
電球の取り換え	23 20.2	10 25.0	12 17.1	1 20.0	5 31.3	8 25.8	2 9.1	6 28.6	0 0.0
家具の移動	13 11.4	7 17.5	5 7.1	1 20.0	2 12.5	4 12.9	2 9.1	3 14.3	0 0.0
庭の手入れ	28 24.6	12 30.0	16 22.9	0 0.0	4 25.0	10 32.3	7 31.8	5 23.8	2 13.3
見守りや声かけ	29 25.4	11 27.5	17 24.3	1 20.0	2 12.5	7 22.6	6 27.3	8 38.1	4 26.7
話し相手	30 26.3	11 27.5	18 25.7	1 20.0	1 6.3	6 19.4	8 36.4	7 33.3	6 40.0
外出の同行	17 14.9	6 15.0	10 14.3	1 20.0	2 12.5	6 19.4	2 9.1	4 19.0	1 6.7
通院の付添い	39 34.2	12 30.0	25 35.7	1 20.0	8 50.0	9 29.0	6 27.3	9 42.9	4 26.7
車での送迎	56 49.1	19 47.5	33 47.1	2 40.0	9 56.3	15 48.4	10 45.5	12 57.1	4 26.7
自主グループの 立ち上げ・運営	3 2.6	1 2.5	2 2.9	0 0.0	0 0.0	1 3.2	1 4.5	1 4.8	0 0.0
その他	2 1.8	1 2.5	1 1.4	0 0.0	0 0.0	1 3.2	1 4.5	0 0.0	0 0.0
特にない	10 8.8	4 10.0	6 8.6	0 0.0	1 6.3	4 12.9	3 13.6	0 0.0	2 13.3
無回答	3 2.6	1 2.5	2 2.9	0 0.0	1 6.3	1 3.2	1 4.5	0 0.0	0 0.0

要介護状態区別にみると、要支援 1、要支援 2 では「買物」、「車での送迎」が 4 割以上で上位 2 項目となっています。要介護 1 では「買物」、「ゴミ出し」が 4 割以上で上位 2 項目となっています。要介護 2 では「車での送迎」が 42.9%で最も高く、「買物」、「庭の手入れ」がともに 33.3%となっています。

図表 3-30-2 近所・地域・ボランティアに手助けしてほしいこと（要介護状態区別別）

上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	114	19	31	22	21	10	4	3
買物	57 50.0	11 57.9	14 45.2	13 59.1	7 33.3	4 40.0	2 50.0	3 100.0
ゴミ出し	32 28.1	5 26.3	7 22.6	9 40.9	5 23.8	3 30.0	1 25.0	2 66.7
部屋の掃除	36 31.6	3 15.8	12 38.7	8 36.4	5 23.8	2 20.0	2 50.0	3 100.0
布団干し	17 14.9	1 5.3	6 19.4	4 18.2	3 14.3	0 0.0	1 25.0	2 66.7
炊事・洗濯	30 26.3	3 15.8	6 19.4	7 31.8	3 14.3	4 40.0	2 50.0	3 100.0
電球の取り換え	23 20.2	7 36.8	3 9.7	6 27.3	3 14.3	1 10.0	0 0.0	2 66.7
家具の移動	13 11.4	2 10.5	3 9.7	1 4.5	2 9.5	3 30.0	0 0.0	1 33.3
庭の手入れ	28 24.6	4 21.1	8 25.8	5 22.7	7 33.3	1 10.0	1 25.0	2 66.7
見守りや声かけ	29 25.4	3 15.8	6 19.4	8 36.4	5 23.8	3 30.0	2 50.0	1 33.3
話し相手	30 26.3	4 21.1	5 16.1	7 31.8	6 28.8	5 50.0	1 25.0	1 33.3
外出の同行	17 14.9	2 10.5	2 6.5	3 13.6	3 14.3	3 30.0	1 25.0	2 66.7
通院の付添い	39 34.2	5 26.3	12 38.7	7 31.8	6 28.6	3 30.0	2 50.0	2 66.7
車での送迎	56 49.1	9 47.4	18 58.1	8 36.4	9 42.9	4 40.0	1 25.0	3 100.0
自主グループの 立ち上げ・運営	3 2.6	0 0.0	1 3.2	0 0.0	1 4.8	0 0.0	1 25.0	0 0.0
その他	2 1.8	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特にない	10 8.8	1 5.3	2 6.5	2 9.1	3 14.3	1 10.0	1 25.0	0 0.0
無回答	3 2.6	2 10.5	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0

9 支援・サービスの利用状況及びニーズについて

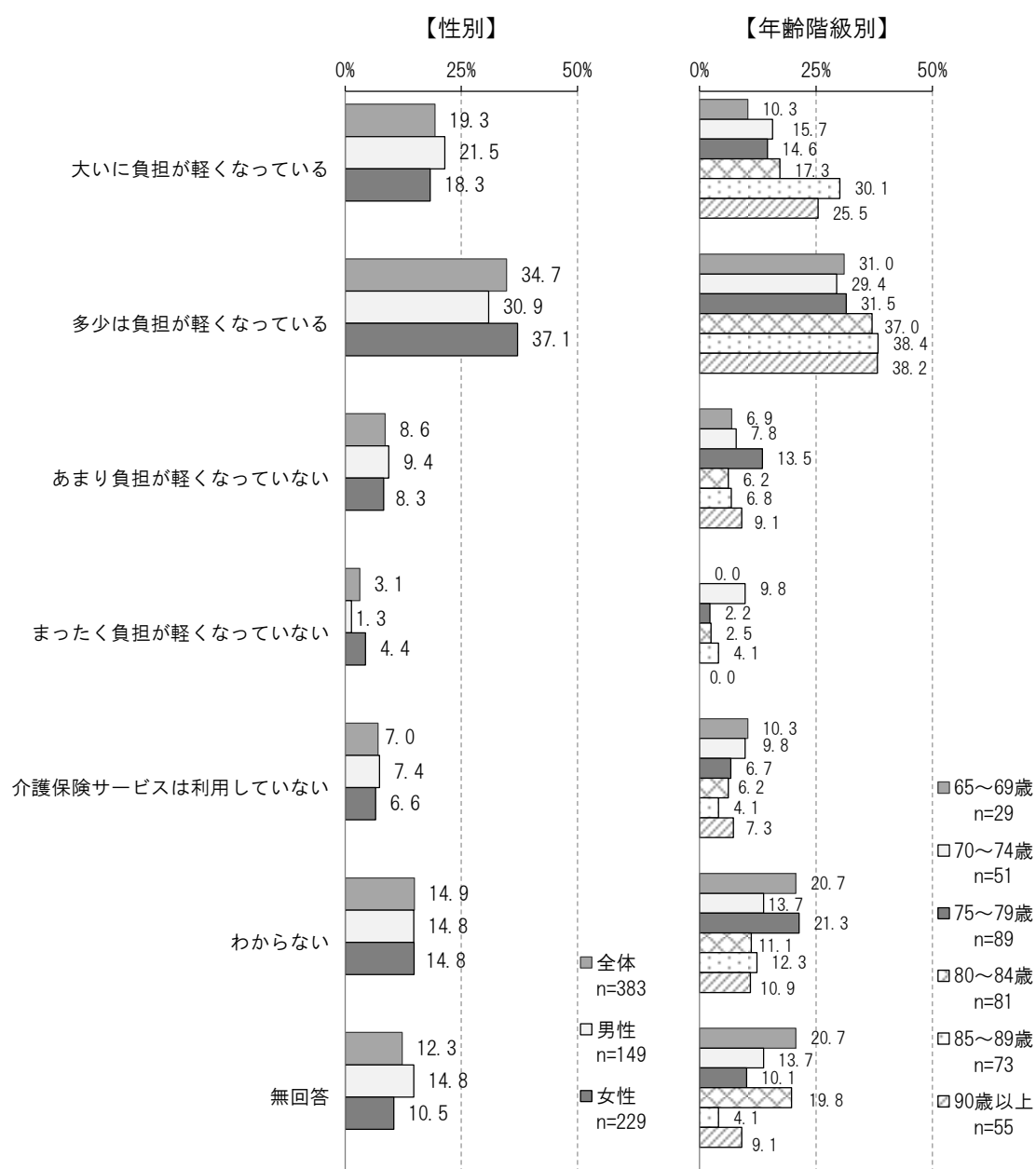
9-問1 介護保険サービスを利用することで、介護をしている方の負担は軽くなっていると思いますか（○は1つ）

全体では、『負担が軽くなっている』（「大いに負担が軽くなっている」＋「多少は負担が軽くなっている」）は54.0%となっています。

性別にみると、『負担が軽くなっている』は女性が3.0ポイント高くなっています。

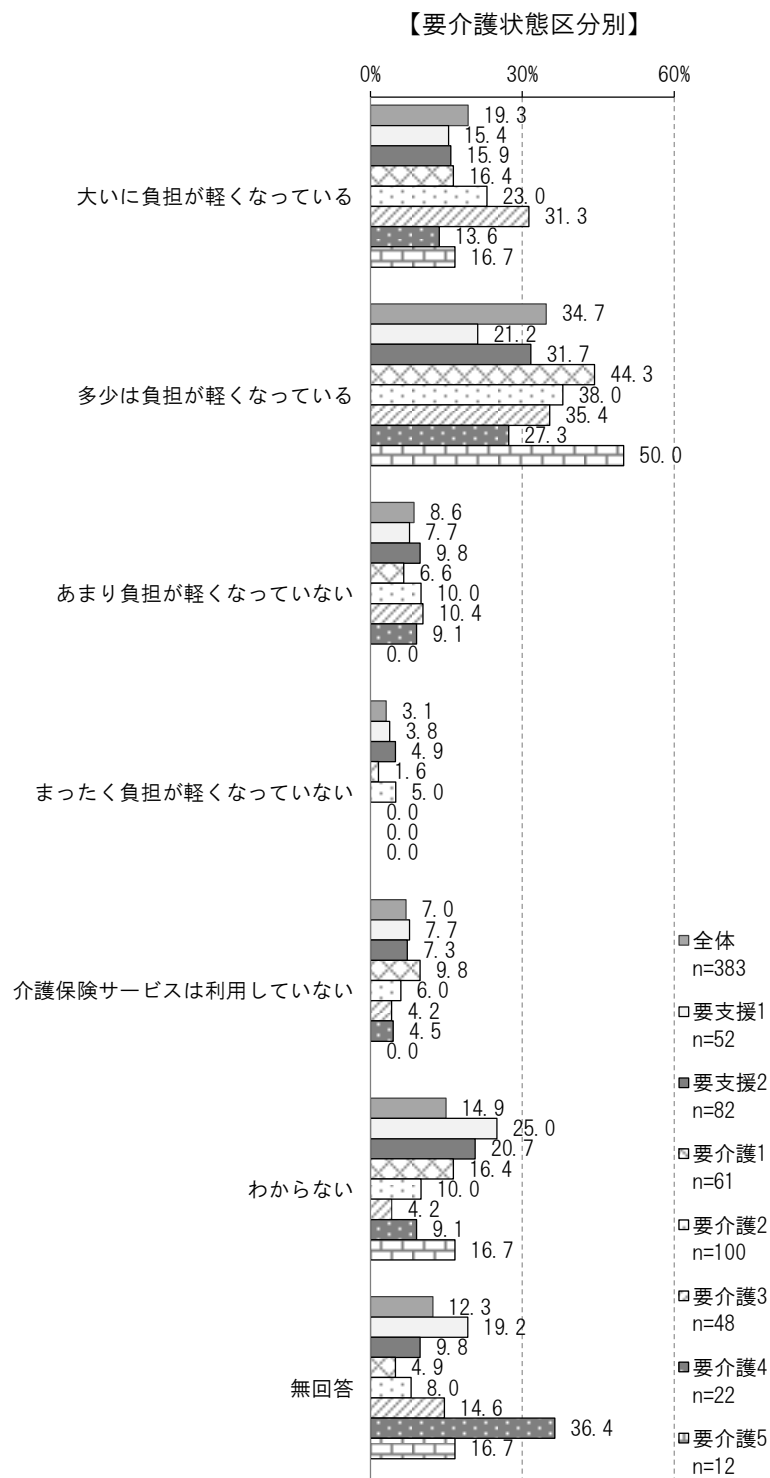
年齢階級別にみると、『負担が軽くなっている』は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 3-31-1 介護保険サービス利用による介護者の負担についての考え（性別・年齢階級別）



要介護状態区分別にみると、『負担が軽くなっている』（「大いに負担が軽くなっている」＋「多少は負担が軽くなっている」）は要介護度が進むにつれ高くなる傾向にあります。また、要支援1、要支援2では「わからない」が2割以上となっています。

図表 3-31-2 介護保険サービス利用による介護者の負担についての考え（要介護状態区分別）



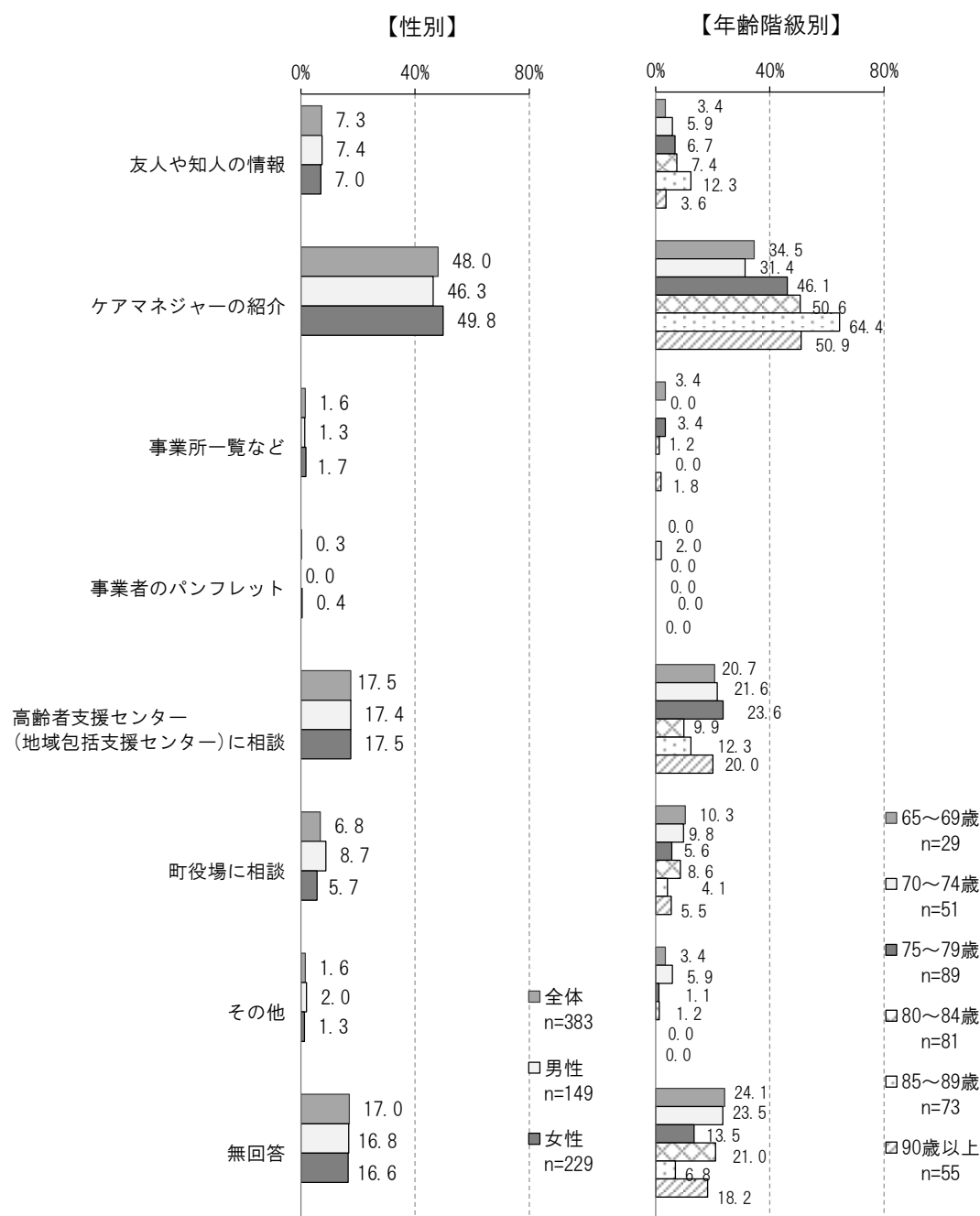
9-問2 介護保険サービス事業者を選択する場合、どのような情報をもとに決めようと思いますか（〇は1つ）

全体では、「ケアマネジャーの紹介」が48.0%と最も高く、次いで「高齢者支援センター（地域包括支援センター）に相談」が17.5%となっています。

性別にみると、「ケアマネジャーの紹介」は女性が3.5ポイント高くなっています。

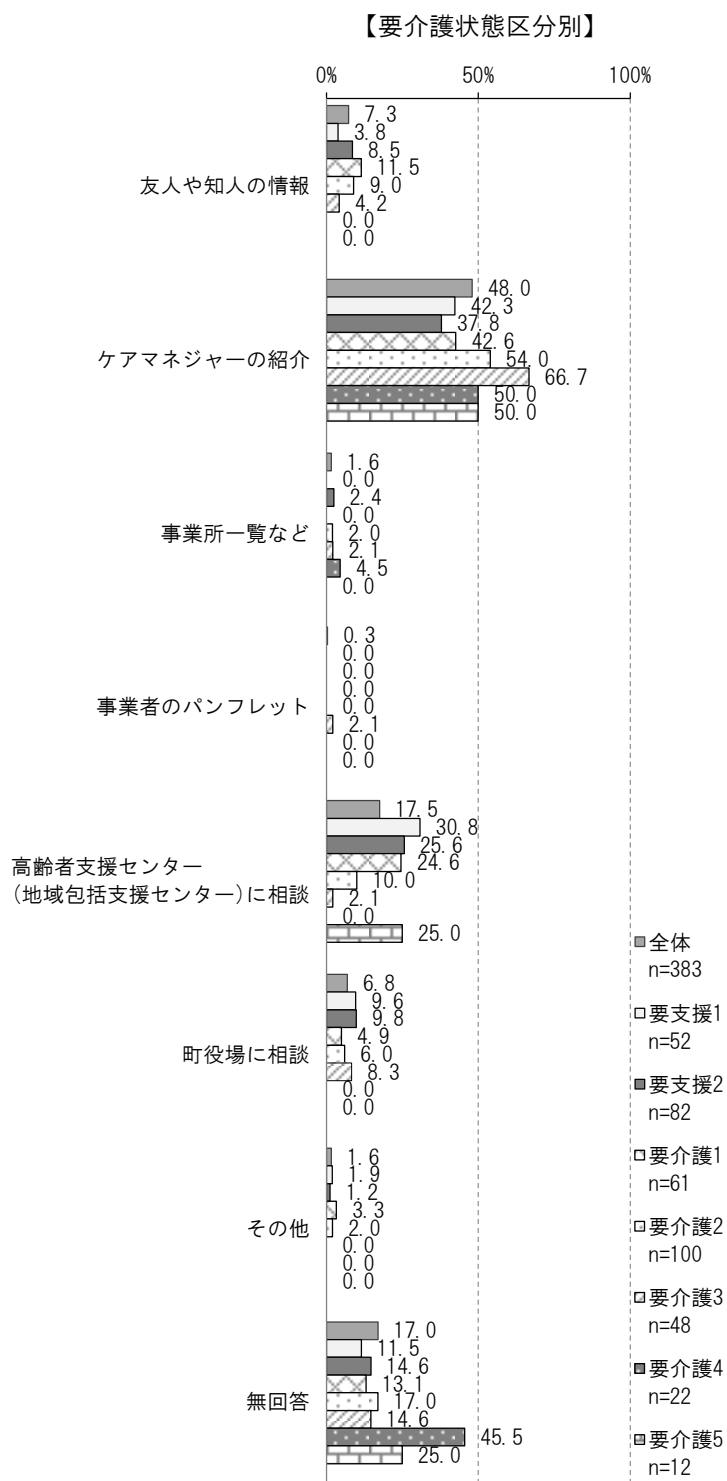
年齢階級別にみると、「ケアマネジャーの紹介」は加齢とともに高くなる傾向にあり、85～89歳で64.4%となっています。

図表 3-32-1 介護保険サービス事業者を選ぶ際の情報源（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、「ケアマネジャーの紹介」は全ての要介護区分で3割以上となっており、要介護3で66.7%となっています。「高齢者支援センター（地域包括支援センター）に相談」は要支援1、要支援2、要介護1、要介護5で2割以上となっており、要支援1で30.8%となっています。

図表 3-32-1 介護保険サービス事業者を選ぶ際の情報源（要介護状態区分別）



10 主な介護者の状況について

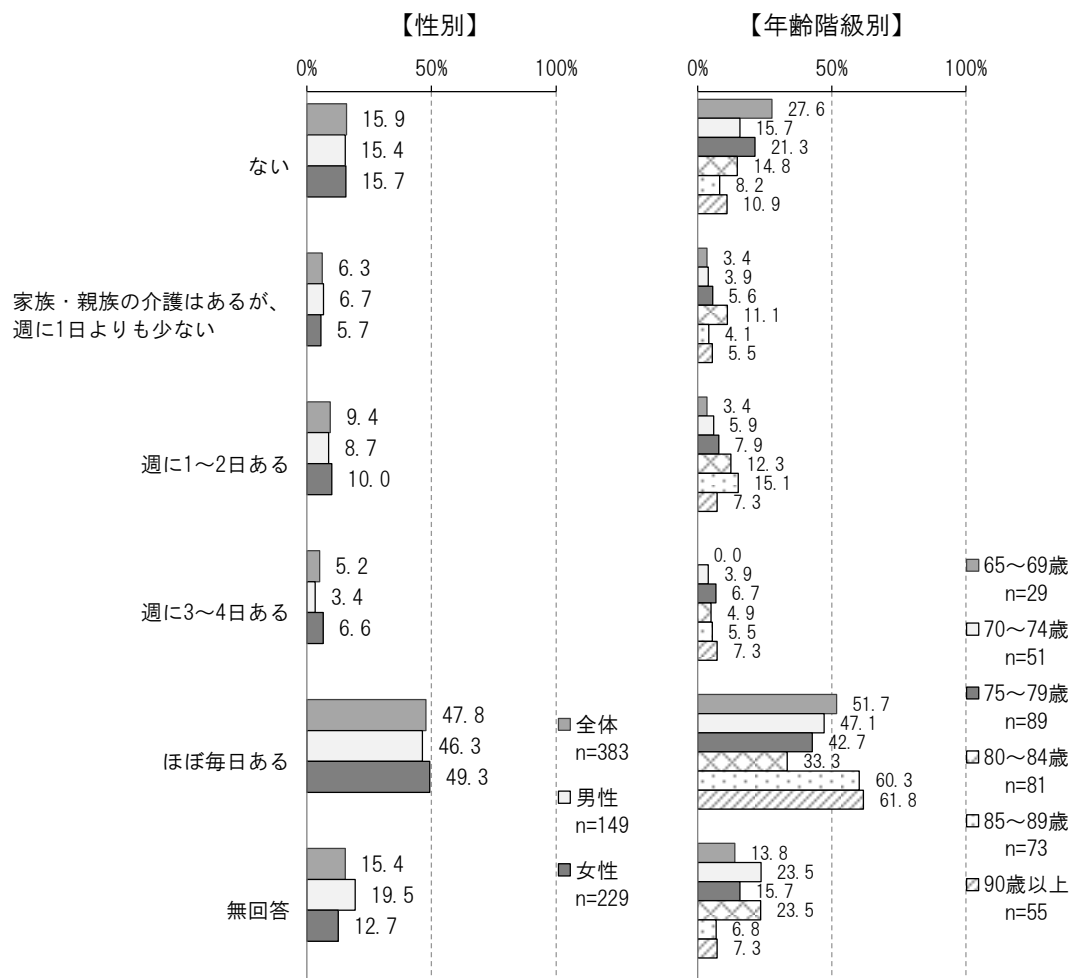
10-問1 家族や親族の方が介護をする日は、週にどのくらいありますか（○は1つ）

全体では、「ほぼ毎日ある」が47.8%となっています。

性別にみると、「ほぼ毎日ある」は女性が3.0ポイント高くなっています。

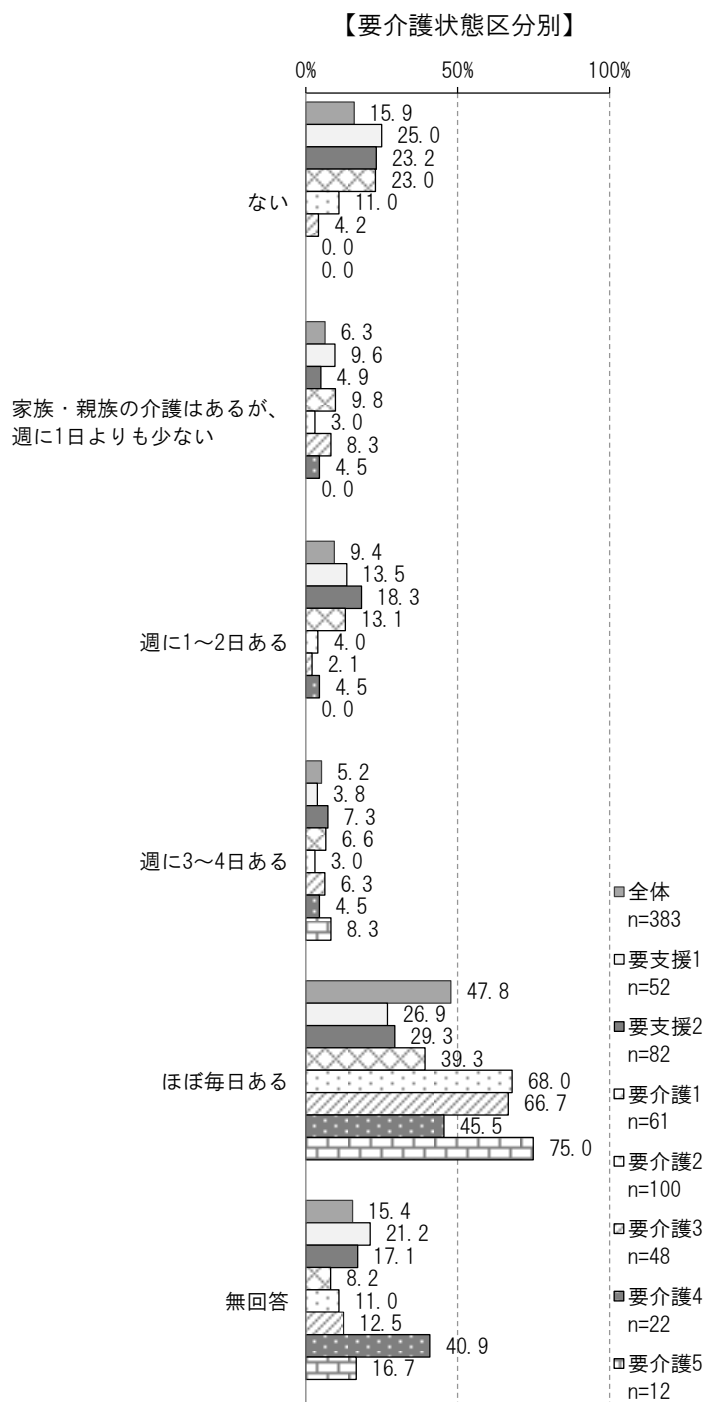
年齢階級別にみると、「ほぼ毎日ある」は85歳以上で6割以上となっています。

図表 3-33-1 家族や親族が介護をする頻度（性別・年齢階級別）



要介護状態区分別にみると、要介護2以上では「ほぼ毎日ある」が4割以上となり、要介護2、要介護3では7割弱となっています。一方、要支援1、要支援2、要介護1では「ない」が2割以上となっています。

図表 3-33-2 家族や親族が介護をする頻度（要介護状態区分別）



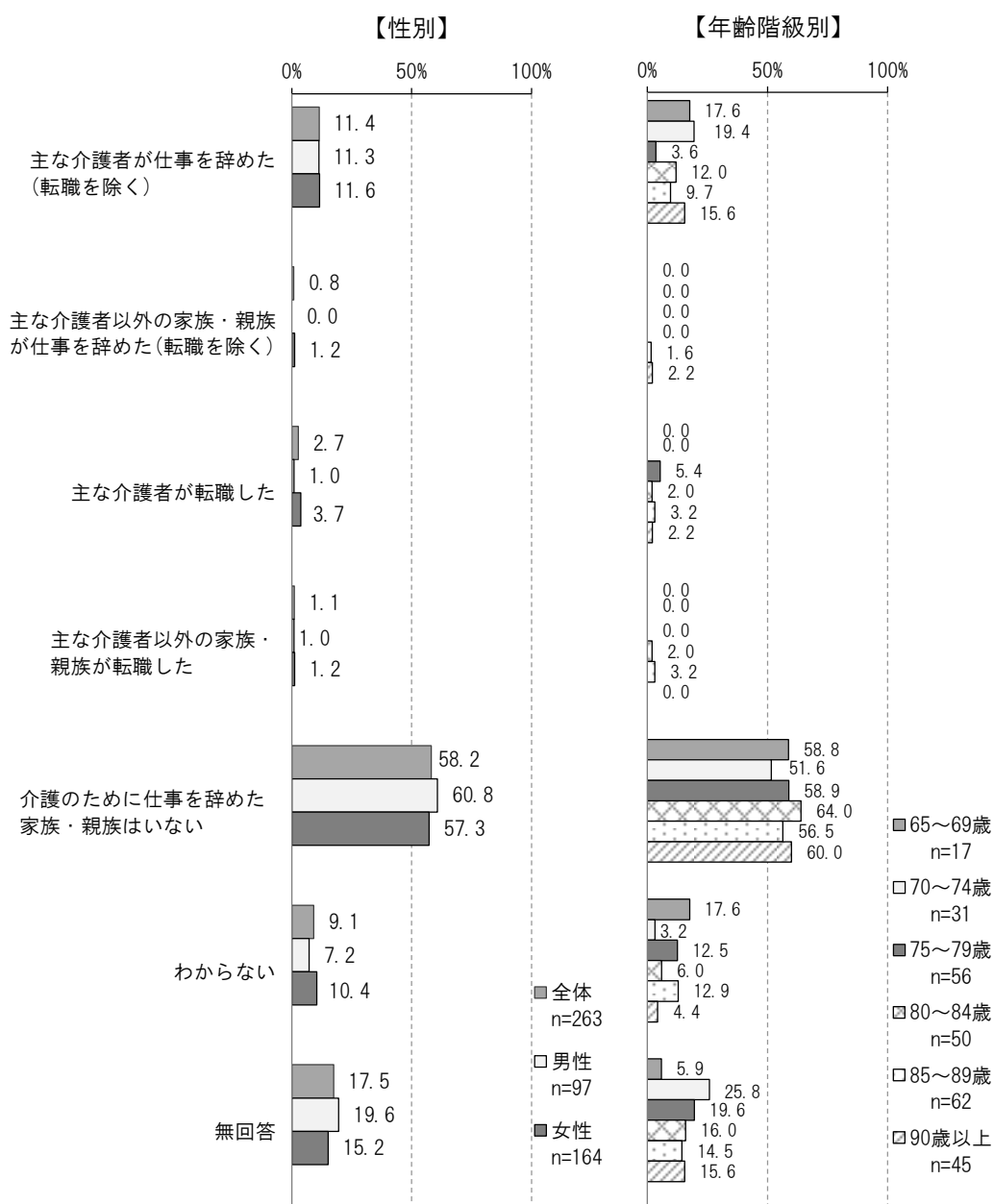
10-問2 ご家族や親族の方で、ご本人(要介護者等)の介護のために、過去1年の間に仕事を辞めた方・転職された方はいらっしゃいますか(○はいくつでも)

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が58.2%となっています。一方、「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」が11.4%となっています。

性別にみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は男性が3.5ポイント高くなっています。

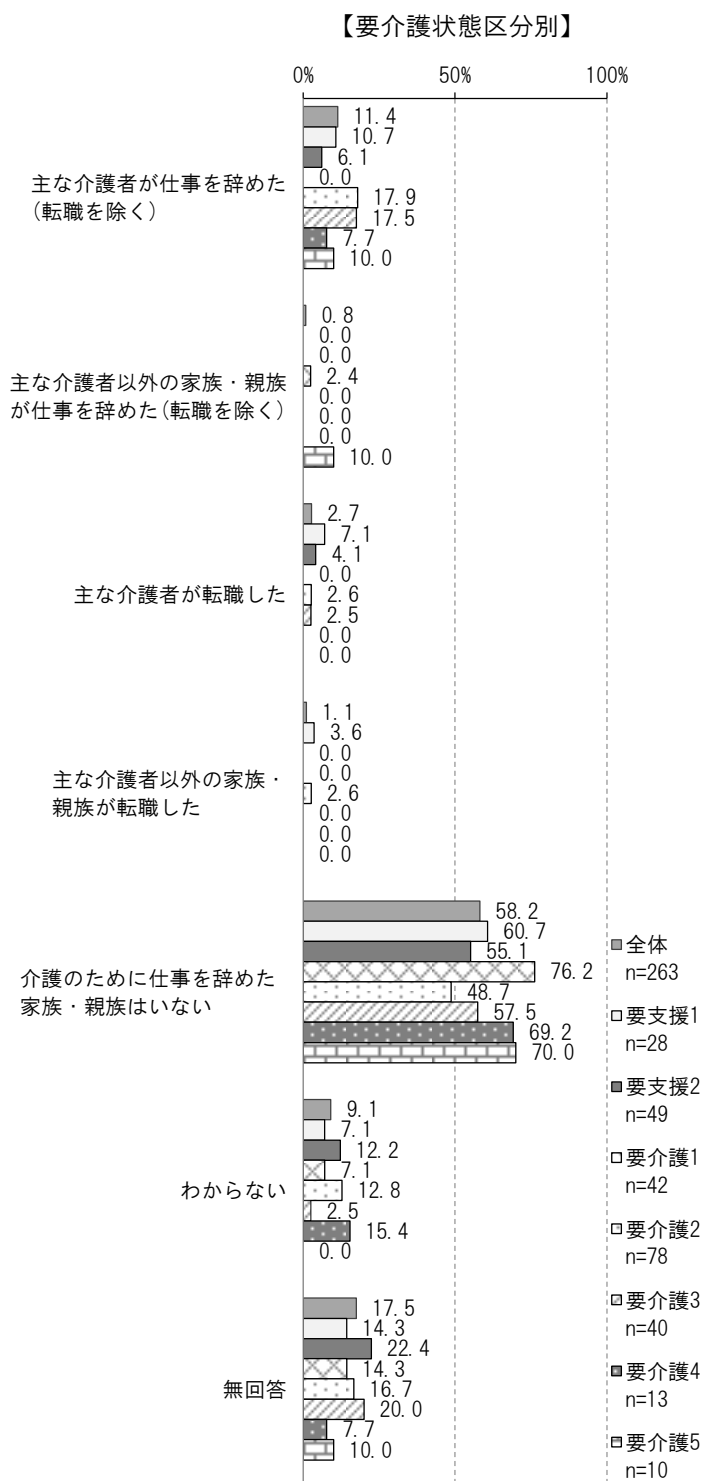
年齢階級別にみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は全ての年齢階級で5割以上となっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」は70～74歳で19.4%と高くなっています。

図表 3-34-1 家族や親族が介護のために退職・転職したことの有無(性別・年齢階級別)



要介護状態区別にみると、要介護2、要介護3では「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」がそれぞれ17.9%、17.5%となっています。要介護5では「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職を除く）」がともに10.0%となっています。

図表 3-34-2 家族や親族が介護のために退職・転職したことの有無（要介護状態区分別）



10-問3 主な介護者の方は、ご本人から見てどなたになりますか（○は1つ）

全体では、「配偶者」が41.4%、「子」が38.4%となっています。
性別にみると、「配偶者」は男性が35.9ポイント、「子」は女性が31.4ポイント高くなっています。
年齢階級別にみると、「配偶者」は加齢とともに低くなっています。一方、「子」、「子の配偶者」は加齢とともに高くなる傾向があります。

図表 3-35-1 主な介護者の続柄（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上
全体（n）	263	97	164	17	31	56	50	62	45
配偶者	109 41.4	62 63.9	46 28.0	13 76.5	21 67.7	32 57.1	22 44.0	15 24.2	5 11.1
子	101 38.4	18 18.6	82 50.0	3 17.6	5 16.1	17 30.4	21 42.0	31 50.0	23 51.1
子の配偶者	24 9.1	4 4.1	20 12.2	0 0.0	0 0.0	1 1.8	3 6.0	9 14.5	11 24.4
孫	2 0.8	1 1.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.2	0 0.0
兄弟・姉妹	6 2.3	4 4.1	2 1.2	0 0.0	2 6.5	2 3.6	2 4.0	0 0.0	0 0.0
その他	8 3.0	2 2.1	6 3.7	1 5.9	0 0.0	1 1.8	0 0.0	2 3.2	4 8.9
無回答	13 4.9	6 6.2	7 4.3	0 0.0	3 9.7	3 5.4	2 4.0	3 4.8	2 4.4

要介護状態区分別にみると、「配偶者」は全ての要介護区分で3割以上となっており、要介護4、要介護5で半数以上となっています。「子」は要介護4を除く全ての要介護状態区分で3割以上となっており、要支援1、要支援2で約半数以上となっています。

図表 3-35-2 主な介護者の続柄（要介護状態区分別） 上段：人/下段：%

	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体（n）	263	28	49	42	78	40	13	10
配偶者	109 41.4	9 32.1	15 30.6	19 45.2	33 42.3	20 50.0	7 53.8	5 50.0
子	101 38.4	14 50.0	24 49.0	14 33.3	30 38.5	13 32.5	1 7.7	3 30.0
子の配偶者	24 9.1	1 3.6	2 4.1	4 9.5	9 11.5	4 10.0	3 23.1	1 10.0
孫	2 0.8	0 0.0	0 0.0	1 2.4	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
兄弟・姉妹	6 2.3	2 7.1	2 4.1	0 0.0	1 1.3	1 2.5	0 0.0	0 0.0
その他	8 3.0	0 0.0	1 2.0	3 7.1	1 1.3	1 2.5	1 7.7	1 10.0
無回答	13 4.9	2 7.1	5 10.2	1 2.4	3 3.8	1 2.5	1 7.7	0 0.0

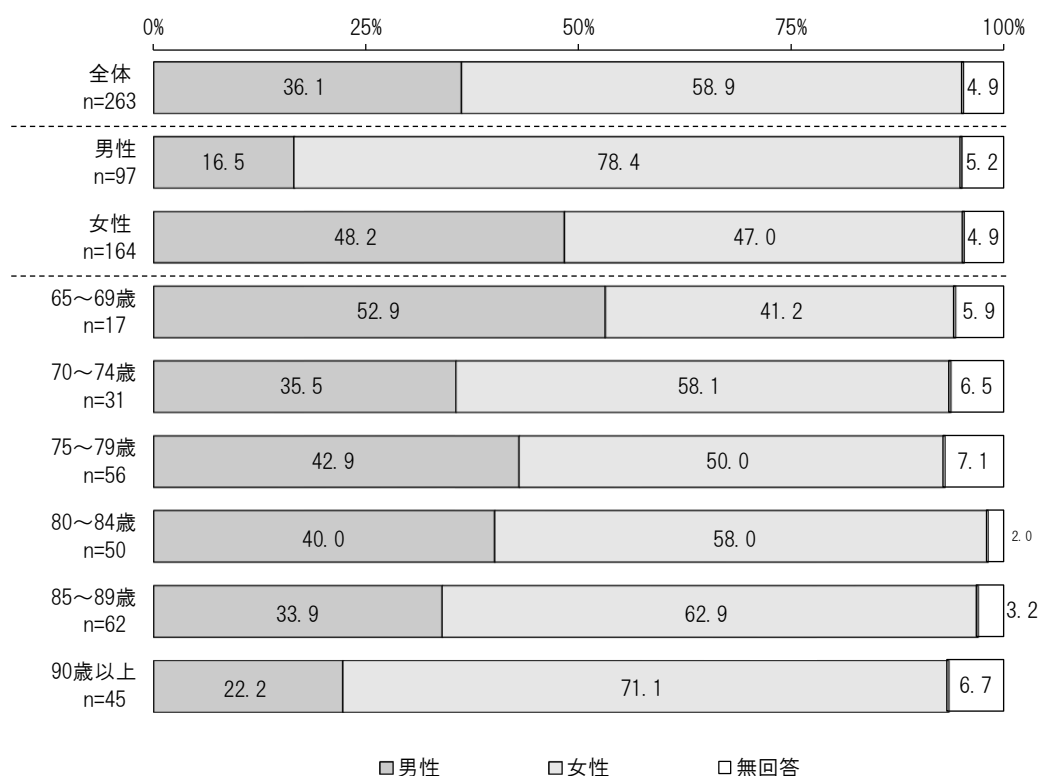
10-問4 主な介護者の方の性別について、お答えください（○は1つ）

全体では、「女性」が58.9%、「男性」が36.1%となっています。

性別にみると、「女性」は男性が、「男性」は女性がともに約31ポイント高くなっています。

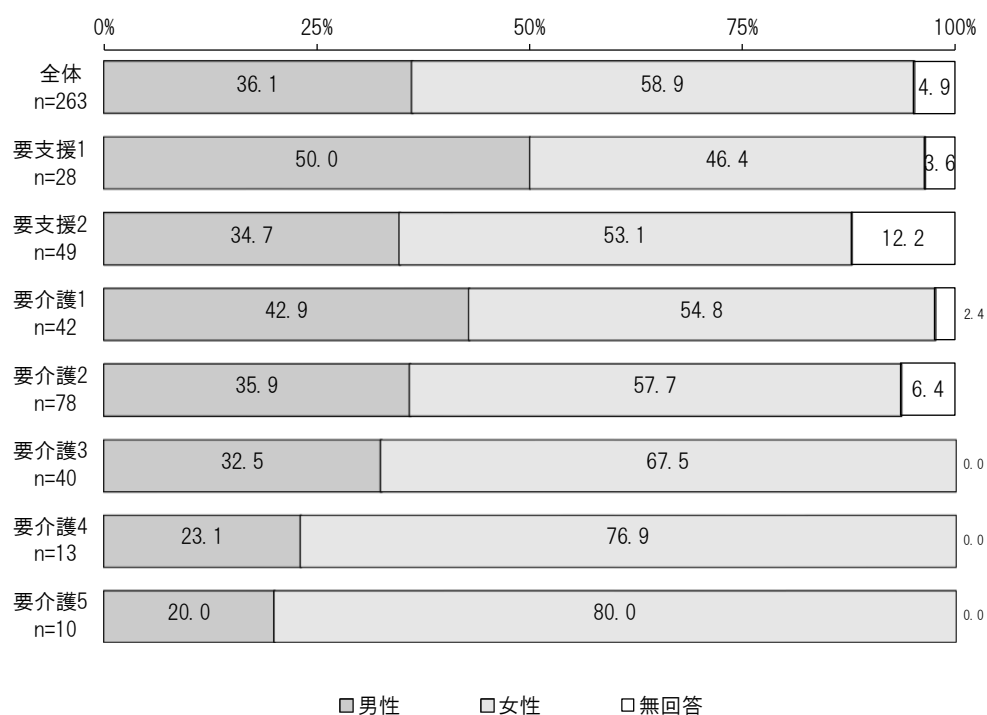
年齢階級別にみると、65～69歳では「男性」が5割以上ですが、70歳以上になると「女性」が5割以上となり、90歳以上では71.1%となっています。

図表 3-36-1 主な介護者の性別（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、要支援 1 では「男性」が 5 割であり、要支援 2 になると「女性」が 5 割以上となり、要介護 4、要介護 5 では 7 割以上となっています。

図表 3-36-2 主な介護者の性別（要介護状態区分別）



10-問5 主な介護者の方の年齢について、お答えください（○は1つ）

全体では、「70～79 歳」が 25.5%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 24.7%、「60～69 歳」が 20.9%となっており、50～79 歳が 7 割以上となっています。

性別にみると、「40～49 歳」「50～59 歳」、「60～69 歳」は女性が 8 ポイント以上高く、「70～79 歳」は男性が 23.7 ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、79 歳までは本人と同じ年齢階級の介護者が高く、80 歳以上では 50 代、60 代が高くなっています。

図表 3-37-1 主な介護者の年齢（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上
全体（n）	263	97	164	17	31	56	50	62	45
20 歳未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20～29 歳	1 0.4	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0
30～39 歳	1 0.4	1 1.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40～49 歳	23 8.7	3 3.1	19 11.6	2 11.8	4 12.9	6 10.7	7 14.0	3 4.8	0 0.0
50～59 歳	65 24.7	19 19.6	46 28.0	2 11.8	1 3.2	12 21.4	17 34.0	23 37.1	10 22.2
60～69 歳	55 20.9	14 14.4	41 25.0	8 47.1	6 19.4	1 1.8	1 2.0	16 25.8	23 51.1
70～79 歳	67 25.5	39 40.2	27 16.5	3 17.6	16 51.6	27 48.2	10 20.0	4 6.5	6 13.3
80～89 歳	41 15.6	16 16.5	25 15.2	0 0.0	1 3.2	7 12.5	15 30.0	14 22.6	4 8.9
90 歳以上	2 0.8	0 0.0	2 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.4
わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	8 3.0	4 4.1	4 2.4	1 5.9	3 9.7	3 5.4	0 0.0	1 1.6	0 0.0

要介護状態区別にみると、要支援 1 では「50～59 歳」が 39.3%、要支援 2 では「70～74 歳」が 32.7%、要介護 1 では「80～89 歳」が 26.2%とそれぞれ最も高くなっています。要介護 2 では「60～69 歳」、要介護 3 以上になると「70～79 歳」が最も高くなっています。

表 3-37-2 主な介護者の年齢（要介護状態区分別）

上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	263	28	49	42	78	40	13	10
20 歳未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20～29 歳	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30～39 歳	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40～49 歳	23 8.7	4 14.3	6 12.2	4 9.5	4 5.1	1 2.5	1 7.7	2 20.0
50～59 歳	65 24.7	11 39.3	14 28.6	8 19.0	17 21.8	9 22.5	4 30.8	1 10.0
60～69 歳	55 20.9	3 10.7	5 10.2	8 19.0	28 35.9	8 20.0	0 0.0	3 30.0
70～79 歳	67 25.5	4 14.3	16 32.7	9 21.4	17 21.8	11 27.5	6 46.2	3 30.0
80～89 歳	41 15.6	6 21.4	3 6.1	11 26.2	8 10.3	10 25.0	2 15.4	1 10.0
90 歳以上	2 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	1 2.5	0 0.0	0 0.0
わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	8 3.0	0 0.0	5 10.2	1 2.4	2 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0

10-問6 主な介護者の方が行っている介護等をお答えください（〇はいくつでも）

全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が78.3%と最も高く、次いで「外出の付きそい、送迎等」が75.7%、「食事の準備（調理等）」が73.4%となっています。

性別にみると、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「服薬」は男性が10ポイント以上高く、「食事の介助（食べる時）」は女性が5.4ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」、「食事の準備（調理等）」、「外出の付きそい、送迎等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が全ての年齢階級で5割以上となっています。

図表 3-38-1 主な介護者が行っている介護（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 以上
全体（n）	263	97	164	17	31	56	50	62	45
日中の排泄	48 18.3	16 16.5	31 18.9	5 29.4	6 19.4	8 14.3	10 20.0	8 12.9	10 22.2
夜間の排泄	48 18.3	18 18.6	29 17.7	6 35.3	7 22.6	7 12.5	6 12.0	9 14.5	12 26.7
食事の介助 （食べる時）	61 23.2	19 19.6	41 25.0	5 29.4	11 35.5	6 10.7	6 12.0	13 21.0	19 42.2
入浴・洗身	72 27.4	33 34.0	39 23.8	8 47.1	11 35.5	16 28.6	9 18.0	17 27.4	11 24.4
身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	64 24.3	33 34.0	30 18.3	5 29.4	8 25.8	13 23.2	12 24.0	13 21.0	12 26.7
衣服の着脱	102 38.8	45 46.4	56 34.1	11 64.7	16 51.6	19 33.9	17 34.0	21 33.9	17 37.8
屋内での移乗・移動	62 23.6	22 22.7	39 23.8	7 41.2	6 19.4	11 19.6	11 22.0	14 22.6	12 26.7
外出の付添い、送迎等	199 75.7	71 73.2	126 76.8	16 94.1	25 80.6	41 73.2	35 70.0	48 77.4	32 71.1
服薬	124 47.1	52 53.6	71 43.3	10 58.8	13 41.9	17 30.4	16 32.0	40 64.5	27 60.0
認知症状への対応	65 24.7	25 25.8	39 23.8	1 5.9	2 6.5	13 23.2	12 24.0	20 32.3	16 35.6
医療面での対応 （経管栄養、ストーマ等）	47 17.9	16 16.5	30 18.3	1 5.9	6 19.4	8 14.3	5 10.0	13 21.0	13 28.9
食事の準備（調理等）	193 73.4	76 78.4	117 71.3	14 82.4	18 58.1	40 71.4	32 64.0	48 77.4	41 91.1
その他の家事 （掃除、洗濯、買物等）	206 78.3	78 80.4	128 78.0	13 76.5	22 71.0	44 78.6	35 70.0	49 79.0	43 95.6
金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	182 69.2	72 74.2	110 67.1	12 70.6	18 58.1	40 71.4	28 56.0	46 74.2	38 84.4
その他	10 3.8	2 2.1	8 4.9	0 0.0	0 0.0	3 5.4	2 4.0	3 4.8	2 4.4
わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	16 6.1	6 6.2	10 6.1	0 0.0	3 9.7	4 7.1	6 12.0	3 4.8	0 0.0

要介護状態区分別にみると、要支援 1、要支援 2、要介護 1 では「外出の付添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が上位 2 項目となっており、要介護 2、要介護 3 では「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が上位 2 項目となっています。要介護 4 では加えて「服薬」が 7 割を超え、要介護 5 では加えて「衣服の着脱」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が上位となっています。

図表 3-38-2 主な介護者が行っている介護（要介護状態区分別） 上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	263	28	49	42	78	40	13	10
日中の排泄	48 18.3	0 0.0	1 2.0	2 4.8	13 16.7	19 47.5	6 46.2	6 60.0
夜間の排泄	48 18.3	0 0.0	2 4.1	2 4.8	12 15.4	18 45.0	7 53.8	6 60.0
食事の介助 （食べる時）	61 23.2	0 0.0	5 10.2	5 11.9	25 32.1	12 30.0	7 53.8	6 60.0
入浴・洗身	72 27.4	2 7.1	10 20.4	12 28.6	24 30.8	14 35.0	3 23.1	6 60.0
身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	64 24.3	0 0.0	5 10.2	8 19.0	17 21.8	20 50.0	6 46.2	7 70.0
衣服の着脱	102 38.8	0 0.0	9 18.4	11 26.2	33 42.3	30 75.0	9 69.2	9 90.0
屋内での移乗・移動	62 23.6	1 3.6	6 12.2	7 16.7	22 28.2	13 32.5	6 46.2	6 60.0
外出の付添い、送迎等	199 75.7	17 60.7	39 79.6	31 73.8	63 80.8	31 77.5	9 69.2	6 60.0
服薬	124 47.1	3 10.7	8 16.3	19 45.2	47 60.3	26 65.0	10 76.9	9 90.0
認知症状への対応	65 24.7	2 7.1	4 8.2	16 38.1	19 24.4	16 40.0	5 38.5	2 20.0
医療面での対応 （経管栄養、ストーマ等）	47 17.9	1 3.6	7 14.3	9 21.4	19 24.4	5 12.5	3 23.1	2 20.0
食事の準備（調理等）	193 73.4	15 53.6	23 46.9	26 61.9	70 89.7	37 92.5	12 92.3	9 90.0
その他の家事 （掃除、洗濯、買物等）	206 78.3	17 60.7	32 65.3	32 76.2	69 88.5	36 90.0	10 76.9	9 90.0
金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	182 69.2	13 46.4	23 46.9	30 71.4	63 80.8	34 85.0	9 69.2	9 90.0
その他	10 3.8	1 3.6	1 2.0	4 9.5	3 3.8	0 0.0	1 7.7	0 0.0
わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	16 6.1	5 17.9	7 14.3	0 0.0	3 3.8	1 2.5	0 0.0	0 0.0

10-問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等をお答えください（○は3つまで）

全体では、「認知症状への対応」が36.5%と最も高く、次いで「外出の付添い、送迎等」が36.1%、「食事の準備（調理等）」が32.7%、「夜間の排泄」が30.4%となっています。

性別にみると、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「外出の付添い、送迎等」、「服薬」は男性が7ポイント以上高く、「夜間の排泄」は女性が10.4ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、65～69歳では「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」がともに41.2%、70～74歳、75～79歳では「外出の付添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」が上位2項目、80～84歳では「外出の付添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が上位3項目、85～89歳、90歳以上では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が上位2項目となっています。

図表 3-39-1 主な介護者が不安に感じる介護（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体（n）	263	97	164	17	31	56	50	62	45
日中の排泄	55 20.9	16 16.5	38 23.2	2 11.8	4 12.9	9 16.1	13 26.0	12 19.4	14 31.1
夜間の排泄	80 30.4	23 23.7	56 34.1	2 11.8	7 22.6	15 26.8	11 22.0	19 30.6	25 55.6
食事の介助 （食べる時）	27 10.3	10 10.3	17 10.4	2 11.8	6 19.4	4 7.1	3 6.0	7 11.3	5 11.1
入浴・洗身	71 27.0	26 26.8	45 27.4	6 35.3	7 22.6	17 30.4	12 24.0	15 24.2	14 31.1
身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	16 6.1	11 11.3	5 3.0	0 0.0	1 3.2	4 7.1	3 6.0	8 12.9	0 0.0
衣服の着脱	27 10.3	14 14.4	13 7.9	4 23.5	1 3.2	6 10.7	6 12.0	8 12.9	2 4.4
屋内での移乗・移動	37 14.1	17 17.5	20 12.2	0 0.0	2 6.5	7 12.5	13 26.0	11 17.7	4 8.9
外出の付添い、送迎等	95 36.1	44 45.4	51 31.1	6 35.3	11 35.5	25 44.6	19 38.0	21 22.9	13 28.9
服薬	31 11.8	16 16.5	15 9.1	2 11.8	2 6.5	6 10.7	3 6.0	12 19.4	6 13.3
認知症状への対応	96 36.5	39 40.2	56 34.1	2 11.8	8 25.8	20 35.7	16 32.0	31 50.0	18 40.0
医療面での対応 （経管栄養、ストーマ等）	26 9.9	10 10.3	16 9.8	0 0.0	2 6.5	4 7.1	4 8.0	9 14.5	7 15.6
食事の準備（調理等）	86 32.7	33 34.0	53 32.3	7 41.2	13 41.9	23 41.1	12 24.0	17 27.4	14 31.1
その他の家事 （掃除、洗濯、買物等）	78 29.7	30 30.9	48 29.3	7 41.2	6 19.4	18 32.1	16 32.0	17 27.4	14 31.1
金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	71 27.0	30 30.9	40 24.4	4 23.5	6 19.4	20 35.7	13 26.0	14 22.6	13 28.9
その他	27 10.3	15 15.5	11 6.7	6 35.3	1 3.2	6 10.7	3 6.0	7 11.3	3 6.7
不安に感じている ことは、特にない	13 4.9	5 5.2	8 4.9	1 5.9	0 0.0	2 3.6	5 10.0	2 3.2	3 6.7
主な介護者に確認 しないと、わからない	1 0.4	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	23 8.7	5 5.2	17 10.4	1 5.9	5 16.1	5 8.9	5 10.0	6 9.7	0 0.0

要介護状態区分別にみると、要支援 1 では「食事の準備（調理等）」、「外出の付添い、送迎等」が上位 2 項目、要支援 2 では「外出の付添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が上位 2 項目、要介護 1 では「認知症状への対応」、「外出の付添い、送迎等」が上位 2 項目、要介護 2 では「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」、「夜間の排泄」が上位 3 項目、要介護 3 では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が上位 2 項目、要介護 4 では「外出の付添い、送迎等」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が上位 3 項目、要介護 5 では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が上位となっています。

図表 3-39-2 主な介護者が不安に感じる介護（要介護状態区分別） 上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	263	28	49	42	78	40	13	10
日中の排泄	55 20.9	3 10.7	6 12.2	7 16.7	20 25.6	15 37.5	2 15.4	1 10.0
夜間の排泄	80 30.4	3 10.7	9 18.4	11 26.2	28 35.9	21 52.5	4 30.8	3 30.0
食事の介助 （食べる時）	27 10.3	0 0.0	1 2.0	2 4.8	18 23.1	4 10.0	1 7.7	1 10.0
入浴・洗身	71 27.0	8 28.6	12 24.5	13 31.0	20 25.6	13 32.5	2 15.4	3 30.0
身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	16 6.1	1 3.6	3 6.1	2 4.8	7 9.0	3 7.5	0 0.0	0 0.0
衣服の着脱	27 10.3	1 3.6	2 4.1	3 7.1	12 15.4	6 15.0	1 7.7	2 20.0
屋内での移乗・移動	37 14.1	3 10.7	2 4.1	6 14.3	12 15.4	11 27.5	1 7.7	2 20.0
外出の付添い、送迎等	95 36.1	10 35.7	19 38.8	19 45.2	27 34.6	12 30.0	6 46.2	2 20.0
服薬	31 11.8	4 14.3	2 4.1	8 19.0	11 14.1	5 12.5	0 0.0	1 10.0
認知症状への対応	96 36.5	5 17.9	12 24.5	21 50.0	30 38.5	20 50.0	4 30.8	3 30.0
医療面での対応 （経管栄養、ストーマ等）	26 9.9	2 7.1	6 12.2	3 7.1	7 9.0	2 5.0	2 15.4	4 40.0
食事の準備（調理等）	86 32.7	12 42.9	13 26.5	14 33.3	28 35.9	13 32.5	3 23.1	3 30.0
その他の家事 （掃除、洗濯、買物等）	78 29.7	8 28.6	18 36.7	16 38.1	24 30.8	10 25.0	1 7.7	1 10.0
金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	71 27.0	3 10.7	11 22.4	17 40.5	26 33.3	9 22.5	2 15.4	2 20.0
その他	27 10.3	0 0.0	3 6.1	7 16.7	11 14.1	2 5.0	2 15.4	1 10.0
不安に感じている ことは、特にない	13 4.9	2 7.1	3 6.1	1 2.4	4 5.1	1 2.5	1 7.7	0 0.0
主な介護者に確認 しないと、わからない	1 0.4	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	23 8.7	6 21.4	10 20.4	1 2.4	4 5.1	1 2.5	0 0.0	0 0.0

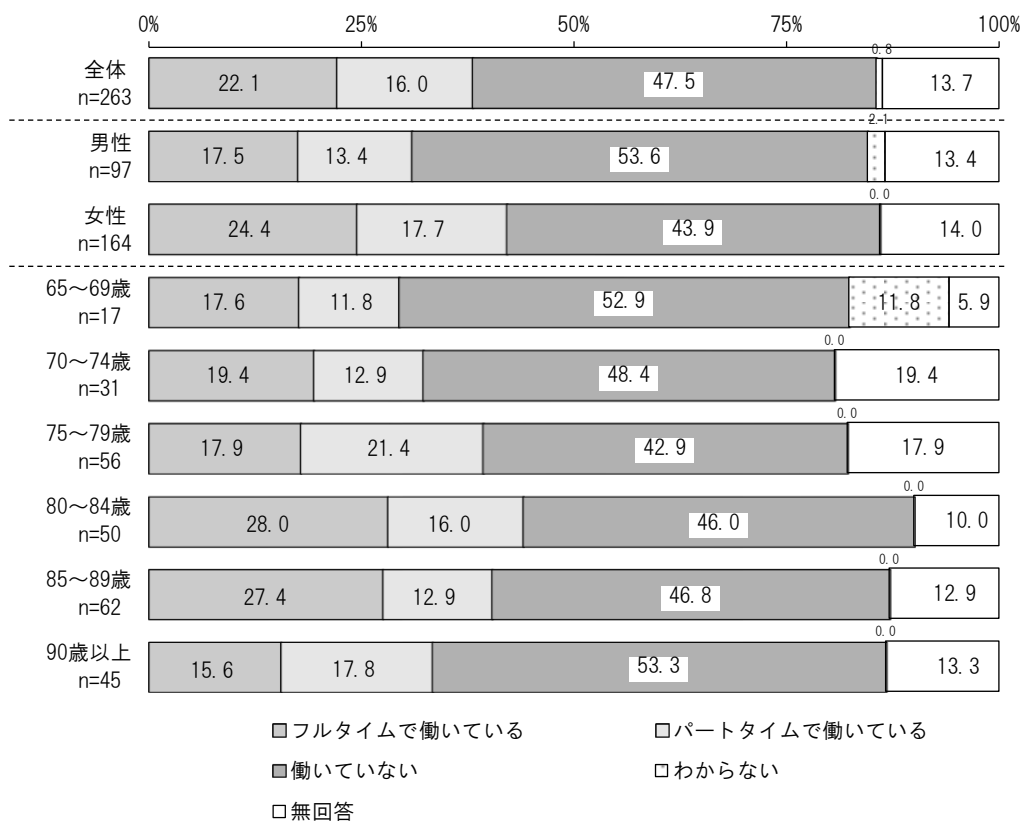
10-問8 主な介護者の方の現在の勤務形態をお答えください（○は1つ）

全体では、『働いている』（「フルタイムで働いている」＋「パートタイムで働いている」）は38.1%となっています。

性別にみると、『働いている』は女性が11.2ポイント高くなっています。

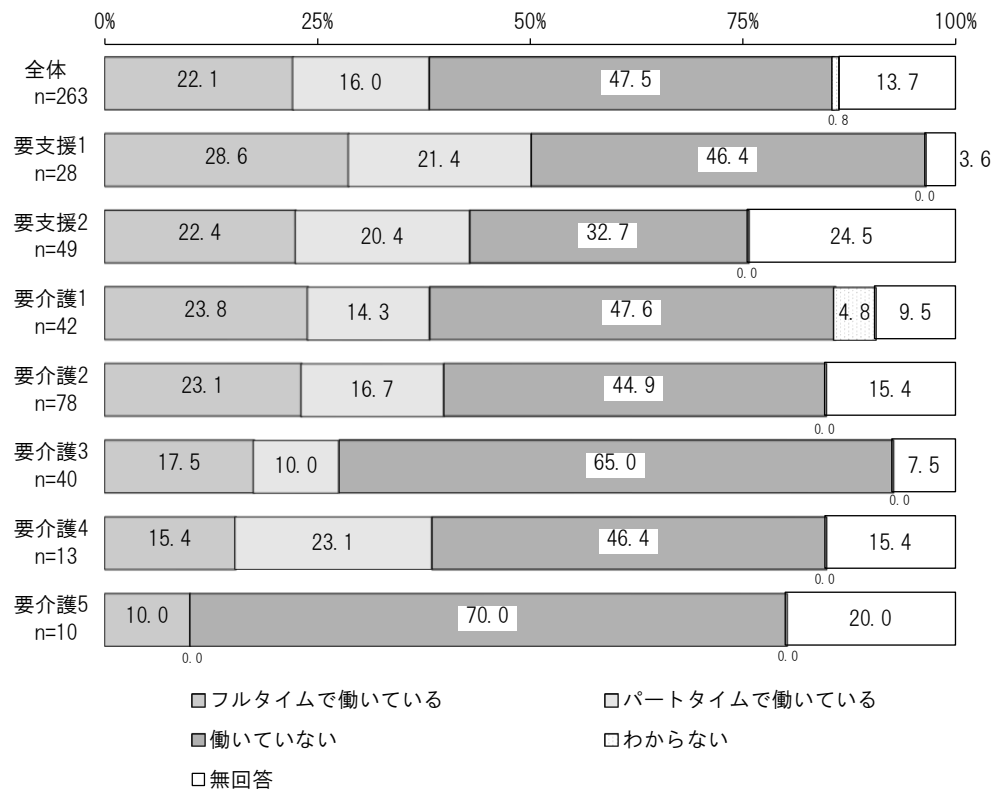
年齢階級別にみると、『働いている』は80～84歳まで、加齢とともに高くなっています。

図表 3-40-1 主な介護者の現在の勤務形態（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、要支援 1、要支援 2 では『働いている』（「フルタイムで働いている」＋「パートタイムで働いている」）は 4 割以上となっています。要介護 1 では『働いている』は 38.1%、要介護 2 では 39.8%、要介護 4 では 38.5%となっています。一方、要介護 3、要介護 5 では「働いていない」が 6 割以上となっています。

図表 3-40-2 主な介護者の現在の勤務形態（要介護状態区分別）



10-問8 (1)【問8で「1. フルタイムで働いている」
または「2. パートタイムで働いている」の方のみ】

介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
(○はいくつでも)

全体では、「特に調整していない」が31.0%と最も高く、次いで「介護のために『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が30.0%、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が26.0%となっています。

性別にみると、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」は男性が10.1ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」は80～84歳で50.0%と高くなっています。「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」は70～74歳で50.0%と高くなっています。

図表 3-41-1 介護にあたっての働き方の調整の有無（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体（n）	100	30	69	5	10	22	22	25	15
特に調整していない	31 31.0	10 33.3	21 30.4	3 60.0	2 20.0	13 59.1	3 13.6	8 32.0	2 13.3
介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	26 26.0	10 33.3	16 23.2	1 20.0	5 50.0	4 18.2	5 22.7	7 28.0	4 26.7
介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	30 30.0	10 33.3	20 29.0	1 20.0	3 30.0	4 18.2	11 50.0	5 20.0	6 40.0
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	2 2.0	1 3.3	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.0	0 0.0
介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	16 16.0	4 13.3	12 17.4	0 0.0	2 20.0	3 13.6	3 13.6	5 20.0	3 20.0
わからない	6 6.0	1 3.3	5 7.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	4 16.0	1 6.7
無回答	5 5.0	1 3.3	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	0 0.0	2 13.3

要介護状態区別にみると、要支援 1、要介護 1、要介護 2 では「特に調整していない」が最も高く、要支援 2 では「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が 42.9%と最も高くなっています。要介護 3 以上では「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が上位となっています。

図表 3-41-2 介護にあたっての働き方の調整の有無（要介護状態区別） 上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	100	14	21	16	31	11	5	1
特に調整していない	31 31.0	7 50.0	4 19.0	7 43.8	11 35.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0
介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	26 26.0	3 21.4	5 23.8	2 12.5	7 22.6	5 45.5	3 60.0	1 100.0
介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	30 30.0	3 21.4	9 42.9	2 12.5	8 25.8	5 45.5	2 40.0	1 100.0
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	2 2.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0
介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	16 16.0	0 0.0	4 19.0	4 25.0	4 12.9	3 27.3	1 20.0	0 0.0
わからない	6 6.0	0 0.0	1 4.8	2 12.5	3 9.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	5 5.0	1 7.1	1 4.8	0 0.0	1 3.2	0 0.0	1 20.0	0 0.0

10-問8 (2) 【問8で「1. フルタイムで働いている」
または「2. パートタイムで働いている」の方のみ】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が28.0%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が23.0%となっています。

性別にみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）」、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」、は女性が7ポイント以上高く、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」は男性が7.4ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」は80～84歳で36.4%最も高くなっています。「制度を利用しやすい職場づくり」は85～89歳で36.0%と最も高くなっています。

図表 3-42-1 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体（n）	100	30	69	5	10	22	22	25	15
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	18 18.0	7 23.3	11 15.9	1 20.0	3 30.0	1 4.5	6 27.3	5 20.0	2 13.3
介護休業・介護休暇等の制度の充実	28 28.0	7 23.3	21 30.4	1 20.0	2 20.0	7 31.8	8 36.4	7 28.0	3 20.0
制度を利用しやすい職場づくり	23 23.0	5 16.7	18 26.1	0 0.0	1 10.0	7 31.8	3 13.6	9 36.0	3 20.0
労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）	21 21.0	3 10.0	18 26.1	0 0.0	2 20.0	7 31.8	5 22.7	4 16.0	3 20.0
働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク）	2 2.0	1 3.3	1 1.4	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	1 4.0	0 0.0
仕事と介護の両立に関する情報の提供	12 12.0	1 3.3	11 15.9	1 20.0	0 0.0	2 9.1	3 13.6	2 8.0	4 26.7
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	4 4.0	0 0.0	4 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	2 8.0	0 0.0
介護をしている従業員への経済的な支援	16 16.0	6 20.0	10 14.5	2 40.0	2 20.0	3 13.6	1 4.5	4 16.0	4 26.7
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特にない	18 18.0	7 23.3	11 15.9	1 20.0	3 30.0	6 27.3	1 4.5	2 8.0	5 33.3
わからない	9 9.0	2 6.7	7 10.1	1 20.0	0 0.0	3 13.6	1 4.5	4 16.0	0 0.0
無回答	5 5.0	1 3.3	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 13.6	1 4.0	0 0.0

要介護状態区別にみると、要支援 1 では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 50.0%と最も高く、要支援 2、要介護 1 では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）」が 3 割台で最も高く、要介護 2 では「制度を利用しやすい職場づくり」が 32.3%と最も高く、要介護 3 では「介護をしている従業員への経済的な支援」が 36.4%と最も高くなっています。

図表 3-42-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援（要介護状態区分別）
上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	100	14	21	16	31	11	5	1
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	18 18.0	1 7.1	5 23.8	3 18.8	4 12.9	3 27.3	2 40.0	0 0.0
介護休業・介護休暇等の制度の充実	28 28.0	7 50.0	5 23.8	4 25.0	7 22.6	2 18.2	2 40.0	1 100.0
制度を利用しやすい職場づくり	23 23.0	5 35.7	1 4.8	3 18.8	10 32.3	3 27.3	0 0.0	1 100.0
労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）	21 21.0	4 28.6	8 38.1	5 31.3	3 9.7	0 0.0	1 20.0	0 0.0
働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク）	2 2.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0
仕事と介護の両立に関する情報の提供	12 12.0	1 7.1	3 14.3	1 6.3	4 12.9	2 18.2	1 20.0	0 0.0
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	4 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.2	1 9.1	1 20.0	1 100.0
介護をしている従業員への経済的な支援	16 16.0	1 7.1	2 9.5	1 6.3	5 16.1	4 36.4	2 40.0	1 100.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特にない	18 18.0	2 14.3	4 19.0	4 25.0	7 22.6	1 9.1	0 0.0	0 0.0
わからない	9 9.0	0 0.0	2 9.5	3 18.8	3 9.7	1 9.1	0 0.0	0 0.0
無回答	5 5.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	2 6.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0

10-問8（3）【問8で「1. フルタイムで働いている」
または「2. パートタイムで働いている」の方のみ】

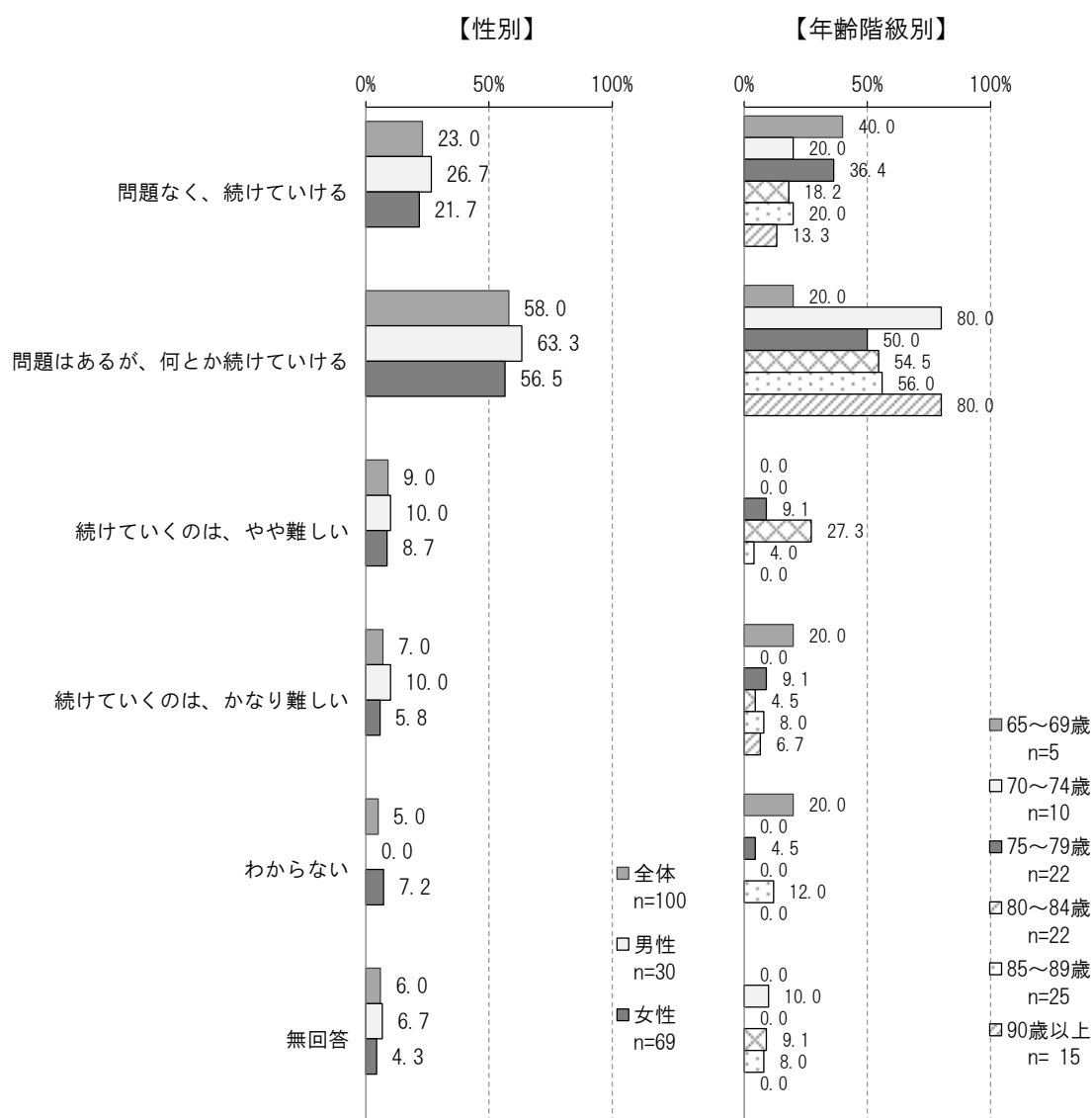
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は3つまで）

全体では、『続けていける』（「問題なく、続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」）が81.0%となっています。

性別にみると、『続けていける』は男性が11.8ポイント高くなっています。

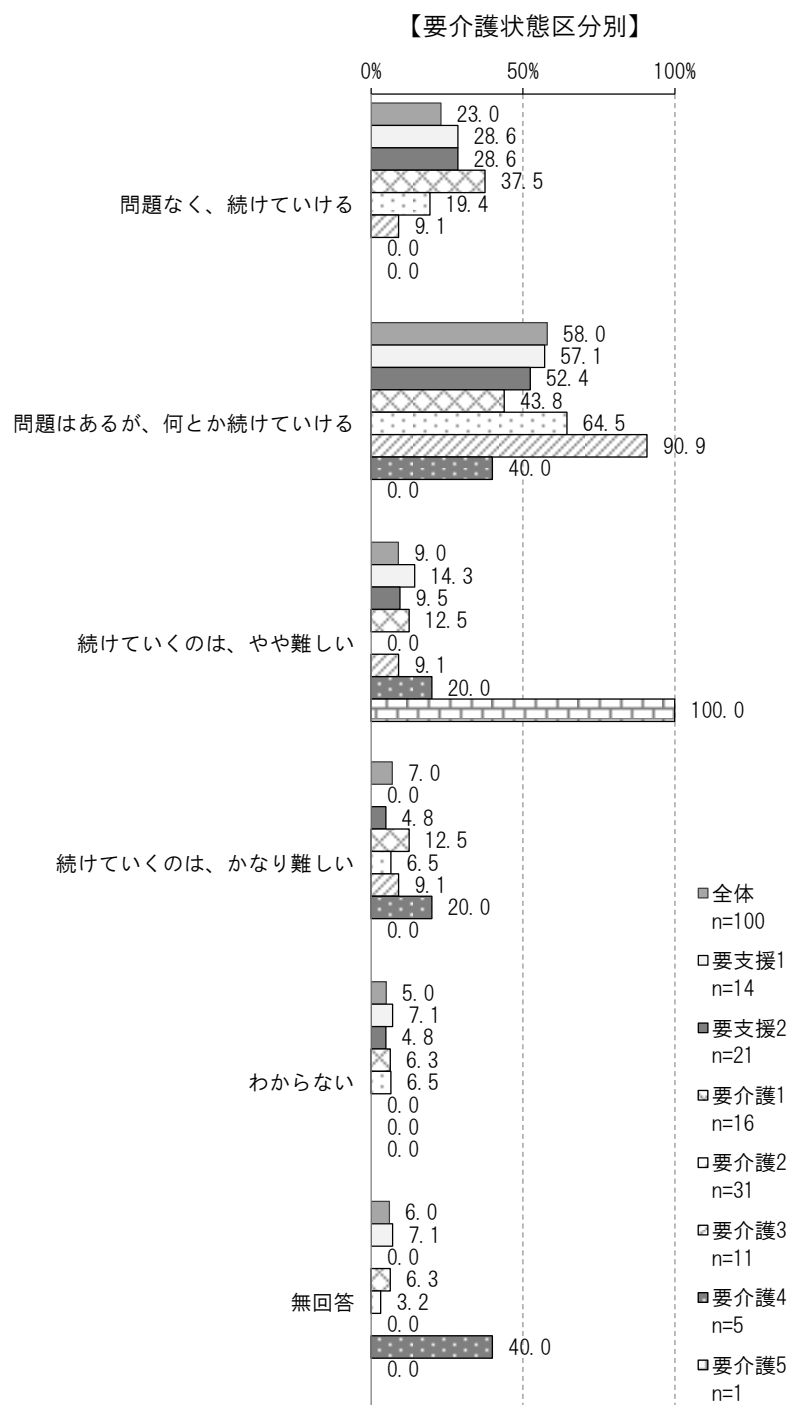
年齢階級別にみると、「問題はあるが、何とか続けていける」は70～74歳と90歳以上で80.0%となっています。

図表 3-43-1 主な介護者の就労継続の見通し（性別・年齢階級別）



要介護状態区別にみると、『続けていける』（「問題なく、続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」）は要介護３までで８割以上となっています。『続けていくのは、難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）は要介護５で100.0%、要介護４で40.0%と高くなっています。

図表 3-43-2 主な介護者の就労継続の見通し（要介護状態区分別）



10-問9 主な介護者の方は、介護に関する不安や悩みをどこに(誰に)相談していますか(〇はいくつでも)

全体では、「ケアマネジャー」が63.9%と最も高く、次いで「かかりつけ医」が31.6%、「子・孫」が29.7%となっています。

性別にみると、「子・孫」は男性が17.0ポイント高く、「かかりつけ医」は男性が4.1ポイント高くなっています。一方、「配偶者」は女性が8.2ポイント、「高齢者支援センター(地域包括支援センター)」は女性が5.8ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、「ケアマネジャー」は加齢とともに高くなる傾向にあります。

図表 3-44-1 主な介護者の介護に関する不安や悩みの相談相手(性別・年齢階級別)

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体(n)	263	97	164	17	31	56	50	62	45
町役場の相談窓口	21 8.0	7 7.2	14 8.5	2 11.8	2 6.5	3 5.4	5 10.0	7 11.3	2 4.4
高齢者支援センター (地域包括支援センター)	58 22.1	18 18.6	40 24.4	4 23.5	6 19.4	17 30.4	10 20.0	15 24.2	6 13.3
民生委員・児童委員	2 0.8	0 0.0	2 1.2	0 0.0	0 0.0	1 1.8	1 2.0	0 0.0	0 0.0
サービス提供者(ホームヘルパー、デイサービスの職員など)	42 16.0	16 16.5	26 15.9	1 5.9	4 12.9	9 16.1	4 8.0	14 22.6	10 22.2
ケアマネジャー	168 63.9	61 62.9	106 64.6	8 47.1	14 45.2	31 55.4	30 60.0	48 77.4	36 80.0
かかりつけ医	83 31.6	33 34.0	49 29.9	4 23.5	9 29.0	16 28.6	17 34.0	17 27.4	19 42.2
配偶者	51 19.4	14 14.4	37 22.6	1 5.9	2 6.5	10 17.9	7 14.0	16 25.8	15 33.3
子・孫	78 29.7	39 40.2	38 23.2	4 23.5	12 38.7	16 28.6	16 32.0	15 24.2	14 31.1
近所の人・友人・知人	36 13.7	13 13.4	23 14.0	1 5.9	5 16.1	7 12.5	4 8.0	11 17.7	8 17.8
その他	19 7.2	6 6.2	13 7.9	4 23.5	2 6.5	2 3.6	2 4.0	3 4.8	6 13.3
どこに(誰に)相談して よいかわからない	7 2.7	2 2.1	5 3.0	0 0.0	0 0.0	4 7.1	0 0.0	2 3.2	1 2.2
相談したくない、 する必要はない	4 1.5	2 2.1	2 1.2	0 0.0	1 3.2	1 1.8	1 2.0	1 1.6	0 0.0
無回答	18 6.8	5 5.2	12 7.3	3 17.6	3 9.7	3 5.4	3 6.0	4 6.5	1 2.2

要介護状態区分別にみると、要支援 1、要支援 2 では「ケアマネジャー」、「高齢者支援センター（地域包括支援センター）」が上位 2 項目、要介護 1 以上では「ケアマネジャー」が 6 割以上と最も高くなっています。要介護 1、要介護 2 では「ケアマネジャー」に次いで「子・孫」が高く、要介護 3 以上では「かかりつけ医」となっています。

図表 3-44-2 主な介護者の介護に関する不安や悩みの相談相手（要介護状態区分別）

上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	263	28	49	42	78	40	13	10
町役場の相談窓口	21 8.0	1 3.6	6 12.2	5 11.9	4 5.1	5 12.5	0 0.0	0 0.0
高齢者支援センター （地域包括支援センター）	58 22.1	11 39.3	21 42.9	11 26.2	9 11.5	5 12.5	1 7.7	0 0.0
民生委員・児童委員	2 0.8	1 3.6	0 0.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス提供者（ホームヘルパー、デイサービスの職員など）	42 16.0	2 7.1	4 8.2	4 9.5	18 23.1	11 27.5	1 7.7	2 20.0
ケアマネジャー	168 63.9	13 46.4	18 36.7	26 61.9	60 76.9	33 82.5	11 84.6	6 60.0
かかりつけ医	83 31.6	10 35.7	13 26.5	13 31.0	20 25.6	16 40.0	5 38.5	4 40.0
配偶者	51 19.4	5 17.9	12 24.5	9 21.4	8 10.3	9 22.5	4 30.8	3 30.0
子・孫	78 29.7	5 17.9	8 16.3	18 42.9	24 30.8	15 37.5	4 30.8	3 30.0
近所の人・友人・知人	36 13.7	5 17.9	5 10.2	9 21.4	8 10.3	8 20.0	1 7.7	0 0.0
その他	19 7.2	0 0.0	2 4.1	2 4.8	8 10.3	5 12.5	0 0.0	2 20.0
どこに（誰に）相談して よいかわからない	7 2.7	2 7.1	2 4.1	1 2.4	1 1.3	0 0.0	0 0.0	1 10.0
相談したくない、 する必要はない	4 1.5	2 7.1	0 0.0	0 0.0	2 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	18 6.8	3 10.7	10 20.4	2 4.8	2 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0

10-問 10 主な介護者の方は、どのような支援やサービスがあれば介護を続けられると思いますか（〇はいくつでも）

全体では、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が42.2%と最も高く、次いで「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」が34.6%となっています。

性別にみると、「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」は女性が4.0ポイント高くなっています。

年齢階級別にみると、65～69歳、70～74歳では「経済的支援の充実」が最も高く、75～79歳では「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」、「経済的支援の充実」が各37.5%、80～84歳では「介護に関する相談支援の充実」が32.0%、85歳以上では「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が5割以上と最も高くなっています。

図表 3-45-1 主な介護者が介護を続けるのに必要と思う支援やサービス（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

	全体	男性	女性	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
全体（n）	263	97	164	17	31	56	50	62	45
リフレッシュへの支援	55 20.9	21 21.6	33 20.1	2 11.8	3 9.7	9 16.1	11 22.0	18 29.0	11 24.4
介護者同士の交流 の場の提供	17 6.5	5 5.2	12 7.3	1 5.9	1 3.2	5 8.9	2 4.0	7 11.3	1 2.2
介護のコツなどが学べる 介護教室の開催	29 11.0	9 9.3	20 12.2	1 5.9	4 12.9	7 12.5	5 10.0	7 11.3	5 11.1
介護に関する相談支援 の充実	75 28.5	27 27.8	48 29.3	4 23.5	9 29.0	18 32.1	16 32.0	18 29.0	10 22.2
介護に関する情報提供 の充実	59 22.4	20 20.6	38 23.2	4 23.5	5 16.1	15 26.8	12 24.0	13 21.0	9 20.0
冠婚葬祭・急病時等 に預けられる緊急 ショートステイ	111 42.2	41 42.3	69 42.1	7 41.2	10 32.3	21 37.5	14 28.0	32 51.6	26 57.8
必要に応じて夜間の利用 や宿泊ができるサービス や施設	91 34.6	31 32.0	59 36.0	6 35.3	7 22.6	19 33.9	9 18.0	26 41.9	23 51.1
経済的支援の充実	75 28.5	27 27.8	48 29.3	9 52.9	11 35.5	21 37.5	14 28.0	9 14.5	11 24.4
その他	10 3.8	2 2.1	8 4.9	0 0.0	0 0.0	5 8.9	0 0.0	1 1.6	4 8.9
特にない	28 10.6	14 14.4	14 8.5	3 17.6	2 6.5	6 10.7	11 22.0	5 8.1	1 2.2
無回答	26 9.9	7 7.2	18 11.0	3 17.6	6 19.4	6 10.7	4 8.0	5 8.1	1 2.2

要介護状態区別にみると、要支援 1、要支援 2 では「介護に関する相談支援の充実」が最も高く、要介護 1～4 では「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が 4 割以上と最も高く、次いで「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」が高くなっています。

図表 3-45-2 主な介護者が介護を続けるのに必要と思う支援やサービス（要介護状態区別）
上段：人/下段：%

	全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全体（n）	263	28	49	42	78	40	13	10
リフレッシュへの支援	55 20.9	5 17.9	9 18.4	9 21.4	16 20.5	11 27.5	2 15.4	2 20.0
介護者同士の交流 の場の提供	17 6.5	2 7.1	1 2.0	6 14.3	3 3.8	4 10.0	0 0.0	1 10.0
介護のコツなどが学べる 介護教室の開催	29 11.0	1 3.6	7 14.3	4 9.5	8 10.3	7 17.5	0 0.0	2 20.0
介護に関する相談支援 の充実	75 28.5	8 28.6	20 40.8	15 35.7	18 23.1	10 25.0	3 23.1	1 10.0
介護に関する情報提供 の充実	59 22.4	6 21.4	11 22.4	9 21.4	19 24.4	8 20.0	3 23.1	2 20.0
冠婚葬祭・急病時等 に預けられる緊急 ショートステイ	111 42.2	7 25.0	11 22.4	19 45.2	38 48.7	22 55.0	7 53.8	5 50.0
必要に応じて夜間の利用 や宿泊ができるサービス や施設	91 34.6	6 21.4	12 24.5	16 38.1	28 35.9	18 45.0	6 46.2	4 40.0
経済的支援の充実	75 28.5	7 25.0	13 26.5	11 26.2	25 32.1	11 27.5	3 23.1	5 50.0
その他	10 3.8	1 3.6	1 2.0	1 2.4	3 3.8	3 7.5	1 7.7	0 0.0
特になし	28 10.6	5 17.9	5 10.2	6 14.3	8 10.3	2 5.0	2 15.4	0 0.0
無回答	26 9.9	4 14.3	11 22.4	2 4.8	4 5.1	3 7.5	0 0.0	1 10.0

資料編・使用した調査票

資料編・使用した調査票

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

165歳以上の方・要支援の方

《瑞穂町》
介護保険と高齢者保健福祉に関するアンケート調査

日頃より町政の推進について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、瑞穂町では、高齢者保健福祉施策の基本方針を示す「瑞穂町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを進めています。そのため、この調査を通して皆様のお考えやご意見をお聞かせいただき、計画策定と今後の推進のための貴重な資料にしたいと考えています。

そこで、町内にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方から無作為に選ばせていただき、回答をお願いしています。ご記入いただいた内容については統計的に集約し、調査の目的以外に使用することは一切ございません。
お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願い申し上げます。

令和2年1月 瑞穂町長 杉浦 裕之

ご記入にあたってのお願い

- この調査対象者は、町内にお住まいで、令和元年12月1日現在、要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の方です。
- 回答にあたっては、「あて名のご本人」についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- 回答は、黒のボールペンまたは鉛筆ではっきりとお書きください。
- 回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を（例）62 kg）
○で囲み、数字を記入する欄は右欄までご記入ください。
- 選択された回答によっては、次に進む段階が異なる場合があります。
特にことわりのない場合は次の段階に、ことわり書きや矢印がある場合は指示に従い、次へお進みください。
- この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。
介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても
常病に家族などの支援を受けている状態
介護…ご自分の意思により、一時的に他人に支援を頼んでいる状態

回答したアンケート調査票は **2月17日(月)までに** ご返送ください。

＜この調査に関するお問い合わせ先＞ 瑞穂町 高齢者福祉課
電話：042-557-7623（直通） FAX：042-556-3401

1 あなた（あて名のご本人）自身や生活状況について

※ここでいう「あなた」とは、調査票をお送りしている「あて名のご本人」のことです。
お間違えのないようお答えください。

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか（○は1つ）

- あて名のご本人が記入
- ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____ ）
- その他

問2 あなたの性別と年齢をお答えください（性別に○は1つ、年齢は数字を記入）

性別	1. 男性	年齢	令和2年1月1日現在 歳 _____ 歳
	2. 女性		

問3 あなたのお住まいをお答えください（○は1つ）

1. 殿ヶ谷	2. 石畑	3. 箱根ヶ崎
4. 長岡下郎岡	5. 長岡長谷部	6. 二本木
7. 駒形富士山	8. 高根	9. 富士山栗原新田
10. 武蔵	11. 箱根ヶ崎東松原	12. 箱根ヶ崎西松原
13. 南平	14. 長岡	15. むさし野

問4 要支援認定状況をお答えください（○は1つ）

- 要支援認定を受けていない
- 要支援1
- 要支援2
- 介護予防・日常生活支援総合事業※の対象者と認定を受けている

※介護保険の要支援認定を受けた方および基本チェックリストで事業対象の方と認定された方が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業」と、65歳以上のすべての方が利用できる「一級介護予防事業」で構成され、高齢者の介護予防と日常生活の自立を支援します。

問5 家族構成をお答えください（○は1つ）

- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- 息子・娘との2世帯
- その他（ _____ ）

問5（1）【問5で「1. 1人暮らし」以外の方のみ】
日中、1人になることがありますか（○は1つ）

- よくある
- たまにある
- ない

2

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問6（1）【問6で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（○はいくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）	4. 呼吸器の病気（肺炎、気管炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）	6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病	8. 糖尿病
9. 腎臓病（透析）	10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒	12. 骨粗鬆症
13. 高齢による衰弱	14. その他（ _____ ）
15. 不明	

問6（2）【問6で「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
主にどなたの介護・介助を受けていますか（○はいくつでも）

1. 配偶者（夫・妻）	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他（ _____ ）	

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（○は1つ）

- 大変苦しい
- やや苦しい
- ふつう
- ややゆとりがある
- 大変ゆとりがある

問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（○は1つ）

1. 持家（一戸建て）	2. 持家（マンション）
3. 借家（一戸建て）	4. 借家（マンションまたはアパート）
5. 瑞穂アパート・町営住宅	6. その他（ _____ ）

2 からだを動かすことについて

問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（○は1つ）

- できるし、している
- できるけどしてない
- できない

問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（○は1つ）

- できるし、している
- できるけどしてない
- できない

問3 15分位続けて歩いていますか（○は1つ）

- できるし、している
- できるけどしてない
- できない

問4 過去1年間に転んだ経験がありますか（○は1つ）

- 何度もある
- 1度ある
- ない

問5 転倒に対する不安は大きいですか（○は1つ）

- とても不安である
- やや不安である
- あまり不安でない
- 不安でない

問6 週に1回以上は外出していますか（○は1つ）

- ほとんど外出しない
- 週1回
- 週2～4回
- 週5回以上

問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（○は1つ）

- とても減っている
- 減っている
- あまり減っていない
- 減っていない

問8 外出を控えていますか（○は1つ）

- はい
- いいえ

問8（1）【問8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】
外出を控えている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）

1. 病気	2. 障害（脳卒中の後遺症など）
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配（失禁など）
5. 耳の障害（聞こえの問題など）	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他（ _____ ）

3

4

問9 外出する際の移動手段は何ですか（○はいくつでも）

- | | | |
|-------------------|------------------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車（自分で運転） | 5. 自動車（人に乗せてもらう） | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設等のバス | 9. 福祉バス |
| 10. 車いす | 11. 電動車いす（カート） | |
| 12. 杖・歩行器・シニアパーカー | 13. タクシー | |
| 14. その他（ ） | | |

3 食べることにについて

問1 身長・体重（数字を記入）

身長 cm 体重 kg

問2 半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問3 お茶や汁物等でむせることがありますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問4 口の渾きが気になりますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください（○は1つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、
かつ入れ歯を利用 | 2. 自分の歯は20本以上、
入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、
かつ入れ歯を利用 | 4. 自分の歯は19本以下、
入れ歯の利用なし |

問6（1）噛み合わせは良いですか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問6（2）【問6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」
「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】
毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問8 どなたかと食事をとる機会がありますか（○は1つ）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

5

6

4 毎日の生活について

問1 物忘れが多いと感じますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問2 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるだけしてない 3. できない

問3 自分で食品・日用品の買物をしていますか（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるだけしてない 3. できない

問3（1）【問3で「2. できるだけしてない」「3. できない」の方のみ】
食品・日用品の買物は主にどなたに頼んでいますか（○は1つ）

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配達や通販を利用 5. その他

問4 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるだけしてない 3. できない

問4（1）【問4で「2. できるだけしてない」「3. できない」の方のみ】
食事の用意は主にどなたに頼んでいますか（○は1つ）

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配食サービスを利用 5. その他

問5 自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるだけしてない 3. できない

問6 自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるだけしてない 3. できない

問7 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問8 今日が何月何日かわからない時がありますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問10 新聞を読んでいますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問11 本や雑誌を読んでいますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問12 健康についての記事や番組に関心がありますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問13 友人の家に訪ねていますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問14 家族や友人の相談にのっていますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問15 病人を見舞うことができますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問16 若い人に自分から話しかけることができますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問17 趣味がありますか（○は1つ）

1. 趣味あり →（内容： ） 2. 思いつかない

問18 生きがいがありますか（○は1つ）

1. 生きがいあり →（内容： ） 2. 思いつかない

問19 5分前に自分が何をしていたか思い出せますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

7

8

問20 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか（○は1つ）

1. 困難なくできる
2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要
4. ほとんど判断できない

問21 人に自分の考えをうまく伝えられますか（○は1つ）

1. 伝えられる
2. いくらか困難であるが、伝えられる
3. あまり伝えられない
4. ほとんど伝えられない

問22 食事は自分で食べられますか（○は1つ）

1. できる
2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる
3. できない

5 地域での活動について

問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑤それぞれに回答してください（1つの質問につき○は1つ）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤「にこにこおさらい会」、「ほほえみ自主グループ」などの介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥地域住民などが集まる交流の場（サロンなど）	1	2	3	4	5	6
⑦老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑧町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑨収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑩その他の団体や会	1	2	3	4	5	6

問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. すでに参加している

問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. すでに参加している

9

10

6 たすけあいについて

問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問4 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はどなたですか（○はいくつでも）

1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員・児童委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師
5. 高齢者支援センター（地域包括支援センター）・町役場
6. その他（ ）
7. そのような人はいない

11

問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（○は1つ）

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（○は1つ）

同じ人にも何度会っても1人と数えることとします

1. 0人（いない）
2. 1～2人
3. 3～5人
4. 6～9人
5. 10人以上

問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（○はいくつでも）

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他（ ）
8. いない

問9 あなたは、介護や保健・福祉に関する情報をどこから知ることが多いですか。（○はいくつでも）

1. 広報紙・ずば
2. 町のパンフレットなど
3. インターネット
4. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍
5. 家族・親族
6. 近所の人・友人・知人
7. 高齢者支援センター（地域包括支援センター）
8. 社会福祉協議会
9. 民生委員・児童委員
10. 医療機関
11. ケアマネジャー・介護サービス事業所
12. 町役場
13. その他（ ）
14. 特にない

問10 普段、近所の方との程度のお付き合いをしていますか（○は1つ）

1. 何か困った時に助け合える付き合い
2. お互いに訪問しあう付き合い
3. 立ち話をする程度の付き合い
4. あいさつをする程度の付き合い
5. その他（ ）
6. ほとんど付き合いはない

12

7 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか（○は1つ）

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問2 あなたは、現在どの程度幸せですか
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字をご記入ください）

点 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問4 この1か月間、どうしても物事に對して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問5 お酒は飲みますか（○は1つ）

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. ほとんど飲まない

問6 タバコは吸っていますか（○は1つ）

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. ほとんど吸っていない

問7 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか（○はいくつでも）

1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症（脂質異常）
7. 呼吸器の病気（肺炎・気管支炎等） 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）
11. 外傷（転倒・骨折等） 12. がん（悪性新生物）
13. 血圧・発熱の病気 14. うつ病
15. 認知症（アルツハイマー病等） 16. パーキンソン病
17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他（ ）

13

問8 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか（○は1つ）

1. 市内の病院・医院に通院している 2. 福生病院に通院している
3. 福生病院以外の市内の病院・医院に通院している
4. 治療が必要だが通院していない 5. 特に通院の必要はない

8 その他の質問

問1 ふだんから治療や指導を受けたり相談のできる、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか（1つの質問につき○は1つ）

①かかりつけ医	1. 市内にいる 3. 福生病院以外の市内にいる	2. 福生病院にいる 4. いない
②かかりつけ歯科医	1. 市内にいる 3. 福生病院以外の市内にいる	2. 福生病院にいる 4. いない
③かかりつけ薬局	1. 市内にある 3. ない	2. 市外にある

問2 あなたが病気になったり介護が必要になった場合、自宅での在宅医療や介護を希望しますか、また、それは実現可能だと思いますか（○は1つ）

1. 在宅医療や介護を希望する（実現可能だと思う）
2. 在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う
3. 在宅医療や介護を希望しない
4. 現在、在宅医療や介護を受けている
5. その他（ ）
6. わからない

問2（1）【問2で「2. 在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う」「3. 在宅医療や介護を希望しない」の方のみ】

在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか（○はいくつでも）

1. 家族に負担をかけてしまう 2. 介護をしてくれる家族がいない
3. 自宅で急に病状が変わったときが不安 4. 経済的に負担が大きい
5. 住宅の環境が整っていない 6. 訪問看護や訪問介護の体制が不十分
7. 住み替えてくれる医師がいない 8. 病院や施設にいた方が安心できる
9. その他（ ）

14

問3 あなたの家族が病気になったり介護が必要になった場合、自宅での在宅医療や介護を希望しますが、また、それは実現可能だと思いますか（○は1つ）

1. 家族の在宅医療や介護を希望する（実現可能だと思う）
2. 家族の在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う
3. 家族の在宅医療や介護を希望しない 4. 家族は現在、在宅医療や介護を受けている
5. その他（ ） 6. わからない

問4 高齢者の方の介護予防の助言や権利擁護、地域でのネットワーク構築など総合的な相談窓口として活動している「高齢者支援センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか（○は1つ）

1. 知っている 2. 知らない

問5 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい 2. いいえ

問6 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい 2. いいえ

問7 もしあなたが認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外でどこに相談したいと思えますか（○は1つ）

※認知症は、早期診断・対応により、進行を遅らせ、生活の質を保つことができることも多くなってきた病気です。

1. 相談したい（すでに相談している）
2. 相談したくない 3. 相談したいが、どこに相談したらよいかわからない

問7（1）【問7で「2. 相談したくない」の方のみ】
相談したくない理由を教えてください（○は1つ）

1. 認知症の相談をしているのを知られたくない 2. 相談しても治らないと思う
3. 認知症であると診断されるのが怖い 4. その他（ ）

問8 認知症などにより判断能力が十分にない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問9 成年後見制度の利用を支援する「権利擁護センターみずほ」を知っていますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

15

問10 介護保険は、保険料などの収入により介護が必要な方のサービス費用をまかなっています。今後の保険料について、どう考えますか（○は1つ）

1. 保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい
2. 保険料も介護保険サービスも、今くらいが妥当である
3. 介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい
4. どちらともいえない

問11 これからの高齢者福祉施策として、町に力を入れてもらいたいことは次のうちどれですか（○はいくつでも）

1. 介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供
2. 健康づくりや介護予防のための支援
3. 趣味や教養・学習活動への支援
4. 高齢者への就労支援
5. ボランティアやNPO活動への支援
6. 高齢者に配慮した住まいや住環境づくり
7. 高齢者の外出等の移動に関する支援
8. 在宅での生活を切れ目なく支える医療・介護サービスの整備
9. デイサービスやショートステイなどを実施する施設の充実
10. 特別養護老人ホームなどの入所施設の整備
11. ひどい暮らし高齢者などを見守る地域づくり
12. 高齢者の居場所づくりの支援
13. 介護している家族の負担の軽減
14. 認知症高齢者への支援
15. 高齢者の虐待防止や成年後見制度に対する支援
16. その他（ ）
17. 他にない・わからない

ご協力ありがとうございました。

アンケートは、同封の返信用封筒に入れ、

2月17日（月）までに ポストへ投函してください。

16

2 在宅介護実態調査

②表支取・受介費の方

《瑞穂町》
介護保険と高齢者保健福祉に
関するアンケート調査

日頃より御社の推進について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、瑞穂町では、高齢者保健福祉施策の基本方針を示す「瑞穂町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の推進を進めています。そのため、この調査を通じて皆様のお考えやご意見を伺いたく、計画策定と今後の推進のための貴重な資料にしたいと考えています。

そこで、町内にお住まいの要支援・要介護認定を受けている65歳以上の方から無作為に選ばせていただき、回答をお願いしています。ご記入いただいた内容については統計的に集約し、調査の目的以外に使用することはいっさいありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いします。

令和2年1月 瑞穂町長 杉浦 裕之

ご記入にあたってのお願い

- この調査対象者は、町内にお住まいで、令和元年12月1日現在、要支援1・2または要介護1～5の認定を受けている65歳以上の方です。
- この調査は、「ご本人（あて名の方）」と「主な介護者」への設問があります。
- 回答にあたっては、「ご本人（あて名の方）」についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されても構いません。
- 回答は、黒のボールペンまたは鉛筆ではっきりとお書きください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけるものと、数字や文字をご記入いただくものがあります。また、回答する数が「1つ」や「3つまで」など、指定されているものがあります。設問ごとに示している指示に従って、回答してください。
- 選択された回答によっては、次に進む設問が異なる場合があります。特にことわりのない場合は次の設問に、ことわり書きや矢印がある場合は指示に従い、次へお進みください。
- この調査で使用する用紙の裏面は、以下のとおりです。
介護・介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても、常時に家族などの支援を受けている状態
介護・ご自分の意思により、一時的に他人に支援を頼んでいる状態

回答したアンケート調査票は **2月17日(月)までに** へ返送ください。

＜この調査に関するお問い合わせ先＞ **瑞穂町 高齢者福祉課**
 電話：042-557-0594（直通） FAX：042-556-3401

1 ご本人（あて名の方）の状況について

問1 ご本人（あて名の方）が以下の理由で不在の場合は、あてはまる番号に○をした後、調査票を**別封の返信用封筒に入れて**返送してください。

1. 病院などの医療施設に入所している
2. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所している
3. 仕事や旅行などで長期不在にしている
4. 病気の住所から転居している
5. その他の理由で不在（ ）

ご本人（あて名の方）がいらっしゃる場合は、 次の質問にお進みください

問2 この調査票に回答されているのはなたですか。（○はいくつでも）

1. ご本人（あて名の方）
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. その他（ ）

2

2 ご本人（あて名の方）の生活状況について

問1 家族構成をお答えください（○は1つ）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他（ ）

問2 ご本人の要介護度について、お答えください（○は1つ）

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5

問3 経済的にみて、現在の暮らしの状況をどう感じていますか（○は1つ）

1. ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. ぶつろ
4. やや苦しい
5. 苦しい

問4 現在の病状についてお答えください（○はいくつでも）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器疾患（肺炎、気管支炎等）
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、肩こり、腰痛等）
7. 膠原病（関節リウマチ等）
8. 変形性関節症
9. 認知症（アルツハイマー病等）
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 感染症・寄生虫病（ウイルス、細菌、真菌等）
14. その他（ ）
15. なし
16. わからない

3

3 介護保険等のサービス利用について

問1 令和元年12月の1か月間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか（○は1つ）

1. 利用している → 問1(1)へ
2. 利用していない → 問1(2)へ

問1(1) 【問1で「1. 利用している」の方のみ】
以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をお答えください（1つの項目につき○は1つ）

	1週間あたりの利用回数（1つの項目につき○は1つ）				
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度
回答例：●●サービス	○回	1回	2回	3回	4回
A：訪問介護（ホームヘルプ）	○回	1回	2回	3回	4回
B：訪問入浴介護	○回	1回	2回	3回	4回
C：訪問看護	○回	1回	2回	3回	4回
D：訪問リハビリテーション	○回	1回	2回	3回	4回
E：通所介護（デイサービス）	○回	1回	2回	3回	4回
F：通所リハビリテーション（デイケア）	○回	1回	2回	3回	4回
G：夜間対応型訪問介護（訪問のあった回数を回答）	○回	1回	2回	3回	4回

	利用の有無（1つの項目につき○は1つ）	
H：定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I：小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J：看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数（○は1つ）				
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日 以上
K：ショートステイ	○日	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数（○は1つ）			
	利用して いない	月1回程度	月2回程度	月3回程度
L：居宅療養管理指導	○回	1回	2回	3回

4

※A：訪問介護（ホームヘルプ）。介護福祉士や訪問介護員（ホームヘルパー）によって提供される入浴、排せ、食事等の介護。その他の日常生活を送るうえで必要な介護を受けられるサービスです。

※B：訪問入浴介護。家庭での入浴が困難な高齢者に対して、介護福祉士が専任に浴槽設置や浴槽掃除を持ち込んで、入浴の介助を行うサービスです。

※C：訪問看護。看護師等が患者を訪問して、疾患に関する世話や診療の補助を行うサービスです。

※D：訪問リハビリテーション。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が患者を訪問して、心身の機能の維持回復、日常生活の自立を助けるリハビリテーションを行うサービスです。

※E：通所介護（デイサービス）。施設に遊び、入浴、排せ、食事等の介護。その他の日常生活を送るうえで必要な介護や機能訓練を受けられるサービスです。

※F：訪問リハビリテーション（デイケア）。介護者（保護施設、病院や診療所）に遊び、心身機能の維持回復、日常生活の自立を助けるリハビリテーションが行われるサービスです。

※G：訪問訪問介護。訪問中の定期的な訪問や利用者からの連絡によって、利用者の居宅を訪問して行われる入浴、排せ、食事等の介護。その他の日常生活を送るうえで必要な介護や機能訓練を受けられるサービスです。

※H：定額訪問・施設型訪問介護。定額料を定額利用者が利用するから、利用者の居宅を訪問して行われる入浴、排せ、食事等の介護や療養生活を支援するための看護、その他の日常生活を送るうえで必要な介護や機能訓練を受けられるサービスです。

※I：小規模多機能型居宅介護。利用者の居宅、または利用者のサービス拠点への通所や短期間の宿泊により提供される、入浴、排せ、食事等の介護や療養生活を支援するための看護、その他の日常生活を送るうえで必要な介護や機能訓練を受けられるサービスです。

※J：小規模多機能型居宅介護。利用者の居宅、または利用者のサービス拠点への通所や短期間の宿泊により提供される、入浴、排せ、食事等の介護や療養生活を支援するための看護、その他の日常生活を送るうえで必要な介護や機能訓練を受けられるサービスです。

※K：ショートステイ。介護者（家族等）の短期間の短期入所して、施設で行われる入浴、排せ、食事等の介護。その他の日常生活を送るうえで必要な介護や機能訓練を受けられるサービスです。

※L：在宅療養支援診療所。医師、歯科医師、薬剤師等が在宅を訪問し、薬の飲みかきや食事等の療養上の管理・指導を行うサービスです。

問1（2）【問1で「2. 利用していない」の方のみ】
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外[※]の介護保険サービスを利用していない理由は何か（〇はいくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人（要介護者等）にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法がわからない
9. その他（ ）

問2 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか（〇はいくつでも）

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）	5. ゴミ出し	
6. 外出同行（通院、買い物など）	7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	
8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場	
10. その他（ ）	11. 利用していない	

問3 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス（現在利用中を含む）が必要だと思いますか（〇はいくつでも）

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）	5. ゴミ出し	
6. 外出同行（通院、買い物など）	7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	
8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場	
10. その他（ ）	11. 利用するものはない	

問4 ご本人は、現在、「訪問診療」を利用していますか（〇は1つ）
※訪問歯科診療や在宅療養管理指導等は含まれません。

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

5

6

4 施設等への入所・入居について

問1 現在のところ、施設等[※]への入所・入居を検討されていますか（○は1つ）

※「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護療養型、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特別介護老人ホームを指します。

1. 入所・入居を検討していない	→ 問1 (1)へ
2. 入所・入居を検討している	
3. すでに入所・入居の申し込みをしている	→ 問1 (2)へ

問1 (1) 【問1で「1. 入所・入居を検討していない」の方のみ】
施設等への入所・入居を検討していない理由をお答えください（○はいくつでも）

1. 家族による介護が受けられるから
2. 住み慣れた場所で生活したいから
3. 家族と離れることに不安があるから
4. 施設で他人与人の共同生活をしたくないから
5. 在宅の方が施設に比べて経済的な負担が少ないから
6. 介護保険施設のことがよくわからないから
7. 地域社会とのつながりが希薄になる不安があるから
8. その他
9. 特に理由はない

問1 (2) 【問1で「2. 入所・入居を検討している」または「3. すでに入所・入居の申し込みをしている」の方のみ】
施設等への入所・入居を検討している、またはすでに入所・入居の申し込みをしている理由をお答えください（○はいくつでも）

1. 家族に負担をかけたくないから
2. 介護をしてくれる家族がいらないから
3. 家族が働いているため
4. 自身の状況から在宅での介護が困難だから
5. 施設に入所した方が安心だから
6. 現在の生活が介護に適していないから
7. 専門的な介護が受けられるから
8. その他
9. 特に理由はない

5 ご本人（あて名の方）の健康について

問1 ご本人（あて名の方）の健康状態について、①～⑦のそれぞれ1つに○をしてください（1つの質問につき○は1つ）

①現在、治療中の病気はありますか	1. はい 2. いいえ
②最近1年以内に入院しましたか	1. はい 2. いいえ
③身体 [※] のどこかに痺 ^{しび} れ ^る の部分（脳梗塞後など）はありますか	1. はい 2. いいえ
④ものが見えにくいなど、視力に支障はありますか	1. はい 2. いいえ
⑤声が聞こえにくいなど、聴力に支障はありますか	1. はい 2. いいえ
⑥ひざや腰が痛く、立ち歩きに支障はありますか	1. はい 2. いいえ
⑦歯槽 [※] で寝込んでいることが多いですか	1. はい 2. いいえ

問2 ふだんから治療や指導を受けたり相談のできる、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか（1つの質問につき○は1つ）

①かかりつけ医	1. 町内にいる	2. 福生病院にいる
②かかりつけ歯科医	3. 福生病院以外の町外にいる	4. いらない
③かかりつけ薬局	1. 町内にいる	2. 福生病院にいる
	3. 福生病院以外の町外にいる	4. いらない
	1. 町内にある	2. 町外にある
	3. ない	

6 ご本人（あて名の方）の住まいについて

問1 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（○は1つ）

1. 持家（一戸建て）	2. 持家（マンション）
3. 借家（一戸建て）	4. 借家（マンションまたはアパート）
5. 瑞穂アパート・町営住宅	6. その他（ ）

問2 現在、お住まいの住宅で困りのことはありますか（○はいくつでも）

1. 住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい
2. 住み替えたいが、保証人がいない
3. 住み替えたいが、高齢者に貸してくれる物件が少ない
4. 家賃やローンなど、月々の負担が大きい
5. 立ち退きを迫られている
6. 住宅の老朽化が進んでいる
7. その他（ ）
8. 特に困っていることはない

問2（1）【問2で「1. 住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」の方のみ】
具体的にどのような設備などに困っていますか（○はいくつでも）

1. 居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降りが大変
2. 玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりが無い
3. 玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい
4. 玄関、居室などの扉の開閉がしにくい
5. トイレが和式である
6. 風呂がない、または使いにくい
7. その他（ ）

問3 お住まいの住宅を改修したいと考えていますか（○は1つ）

1. 改修したいと考えている	2. 今は改修するつもりはない
3. すでに改修した	4. わからない

9

7 認知症や成年後見制度について

問1 もしあなた（あて名の方）が認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外でどこに相談したいと思いますか（○は1つ）
※認知症は、早期診断・対応により、進行を遅らせ、生活の質を保つことができることも多くなってきた病気です。

1. 相談したい（すでに相談している）
2. 相談したくない
3. 相談したいが、どこに相談したらよいかわからない

問1（1）【問1で「1. 相談したい（すでに相談している）」の方のみ】
どこに最初に相談しますか（相談しましたか）（○は1つ）

1. かかりつけ医、近所の医院
2. 精神科や認知症専門の医療機関（物忘れ外来など）
3. 高齢者支援センター（地域包括支援センター）
4. ケアマネジャー、介護サービス事業所
5. 保健所
6. 市役所の相談窓口
7. その他（ ）

問1（2）【問1で「2. 相談したくない」の方のみ】
相談したくない理由を教えてください（○は1つ）

1. 認知症の相談をしているを知られたくない
2. 相談しても治らないと思う
3. 認知症であると診断されるのがこわい
4. その他（ ）

問2 あなた（あて名の方）は、認知症のどのようなことに関心がありますか（○はいくつでも）

1. 正しく理解するための講座	2. 予防に効果的な方法
3. 治療に関する情報	4. 認知症の人の介護のしかた
5. その他（ ）	
6. 特にない	

10

問3 高齢者の方への介護予防の助言や権利擁護、地域でのネットワーク構築など総合的な相談窓口として活動している「高齢者支援センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか（○は1つ）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問4 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見」という制度があります。あなたが、判断能力が十分でなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか（○は1つ）

1. 利用したい	2. 利用したいとは思わない
3. わからない	4. すでに利用している

問5 介護保険は、保険料などの収入により介護が必要な方のサービス費用をまかなっています。今後の保険料について、どう考えますか（○は1つ）

1. 保険料が多少高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい
2. 保険料も介護保険サービスも、今くらいが妥当である
3. 介護保険サービスを抑えても、保険料が安い方がよい
4. どちらともいえない

8 地域住民によるサービス提供について

問1 今後、近所・地域・ボランティアの方が提供する、生活援助のサービス（買物や掃除などの日常生活のお手伝いをしてくれるサービス）を利用したいと思いますか（○は1つ）

1. 利用したい	2. 利用したくない	3. わからない
----------	------------	----------

問1（1）【問1で「1. 利用したい」の方のみ】
近所・地域・ボランティアの方どのような手助けをしてもらいたいですか（○はいくつでも）

1. 買物	2. ゴミ出し	3. 部屋の掃除	4. 布団干し
5. 炊事・洗濯	6. 電線の取り換え	7. 家具の移動	8. 庭の手入れ
9. 見守りや声かけ	10. 話し相手	11. 外出の同行	
12. 通院の付き添い	13. 車での送迎	14. 自主グループの立ち上げ・運営	
15. その他（ ）			
16. 特にない			

11

9 支援・サービスの利用状況及びニーズについて

問1 介護保険サービスを利用することで、介護をしている方の負担は軽くなっていると思いますか（○は1つ）

1. 大に負担が軽くなっている	2. 多少は負担が軽くなっている
3. あまり負担が軽くなっていない	4. まったく負担が軽くなっていない
5. 介護保険サービスは利用していない	6. わからない

問2 介護保険サービス事業者を選択する場合、どのような情報をもとに決めようと思いますか（○は1つ）

1. 友人や知人の情報	2. ケアマネジャーの紹介	3. 事業所一覧など
4. 事業者のパンフレット	5. 高齢者支援センター（地域包括支援センター）に相談	
6. 市役所に相談	7. その他（ ）	

10 主な介護者の状況について

問1 家族や親族の方が介護をする日は、週にどのくらいありますか（○は1つ）

※同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。

1. ない	→ これで調査は終了です。 ご協力ありがとうございました。
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	
3. 週に1～2日ある	
4. 週に3～4日ある	
5. ほぼ毎日ある	

ここからは、あて名の方を主に介護している方（主な介護者の方）が、お答えください。

12

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

在宅介護実態調査

結果報告書

発 行 令和2年3月

発行者 瑞穂町福祉部高齢者福祉課

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335

電話 042-557-7623（高齢者支援係）

042-557-0594（介護支援係）